

平成28年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

目 次

安曇野市の重点項目	1	頁		
事業別予算概要説明	2			
一般会計					
議会事務局	5			
総務部					
総務課	8			
行政管理課	16			
職員課	17			
危機管理課	18			
人権男女共同参画課	23			
政策部					
政策経営課	27			
秘書広報課	31			
情報統計課	33			
財政部					
財政課	41			
市民税課	46			
資産税課	47			
収納課	48			
財産管理課	49			
市民生活部					
地域づくり課	55			
市民課	60			
環境課	61			
廃棄物対策課	67			
穂高地域課	76			
三郷地域課	79			
堀金地域課	83			
明科地域課	86			
福祉部					
長寿社会課	94			
福祉課	102			
子ども支援課	111			
保健医療部					
健康推進課	140			
介護保険課	153			
国保年金課	155			
農林部					
農政課	159			
耕地林務課	180			
				商工観光部	
				商工労政課 196
				観光交流促進課 206
				都市建設部	
				監理課 218
				建設課 226
				都市計画課 235
				建築住宅課 241
				上下水道部	
				経営管理課 245
				会計課 247
				教育部（教育委員会）	
				学校教育課 250
				生涯学習課 307
				文化課 321
				図書館交流課 330
				監査委員事務局 335
				選挙管理委員会事務局 337
				農業委員会事務局 346
				公平委員会事務局 349
				特別会計	
				国民健康保険特別会計 353
				後期高齢者医療特別会計 398
				介護保険特別会計 405
				上川手山林財産区特別会計 427
				北の沢山林財産区特別会計 431
				有明山林財産区特別会計 435
				富士尾沢山林財産区特別会計 438
				穂高山林財産区特別会計 441
				産業団地造成事業特別会計 444
				観光宿泊施設特別会計 446

重点施策と推進政策

1	健康長寿のまちづくり
1-1	「いきいきと暮らせるまちをつくる」取組み
1-2	生活習慣病の予防活動の充実と健康診断の受診率向上など、健康寿命延伸に向けた取組み
1-3	老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み
2	豊かな人を育むまちづくり
2-1	「安心して出産し子育てできるまちをつくる」「若者や女性が活躍できるまちをつくる」取組み
2-2	奨学金制度創設による市外進学者の支援に向けた取組み
2-3	心身の健康増進と技術向上を目指した生涯スポーツの推進を図る取組み
2-4	特色ある学校教育及び、国際感覚豊かな人づくりにより次代を担う「人財」の育成を推進する取組み
2-5	郷土の伝統・文化などを継承する取組み
3	活力あふれるまちづくり
3-1	「新たな雇用を生み出す」取組み
3-2	「安曇野暮らしツーリズム」の実現に向けた交流人口の拡大を図る取組み
3-3	森林環境を守り、豊かな里山再生を目指す取組み
3-4	商店街を活性化し、企業の本社機能誘致等活力ある商工業の振興を目指す取組み
3-5	ものづくりの精神を育み、技術と技能を継承・高度化できる人材の確保・育成を目指す取組み
3-6	農業の担い手育成と特産品の販路拡大に向けた取組み
4	環境を守り、安全・安心なまちづくり
4-1	環境にやさしい生活スタイル(循環型社会)の創出に向けた取組み
4-2	地下水の保全・涵養など、適正利用に向けた取組み
4-3	自主防災組織などのすべての人が助け合える仕組みづくりに向けた取組み
4-4	誰もが安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりに向けた取組み
4-5	緑のまちづくり事業による住宅地の緑化推進を図る取組み
4-6	総合的な交通安全対策に取組む活動の充実を図り、地域住民と協働する防犯活動に関する取組み
5	協働によるまちづくりと行政サービスの向上
5-1	自治組織との協働や連携強化及び、自治組織の活用に対する支援の取組み
5-2	市民の視点に立った行政運営を図り「地域と行政の連携を強化」する取組み
5-3	市民サービスの充実を基本に健全財政を維持するため、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み
5-4	自治基本条例によるまちづくりの推進に対する取組み

事業別予算概要説明

一般会計

議会事務局

予算書ページ	52
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11401100
		部・課・係等	議会事務局 庶務係

予算	款	1	議会費	総合計画	基本方針	
	項	1	議会費		主要施策	
	目	1	議会費		基本施策	
	事業	0101010	議会費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	275,224					275,224
前年度	298,344					298,344
増減額	△ 23,120	0	0	0	0	△ 23,120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか
【効果】
 ・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、議会活動への理解を得る場となる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・議会改革推進委員会を中心に、平成26・27年度と開催した議会報告会の反省等を踏まえ、次年度の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取り組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	109,464	議員報酬109,464千円		12	役務費	94	インターネット回線使用料74千円		
3	職員手当等	39,590	議員期末手当39,590千円		13	委託料	12,618	会議録調製業務8,964千円 会議録配信業務1,695千円		
4	共済費	44,605	議員共済組合給付金44,605千円		14	使用料及び賃借料	2,746	議場映像配信ASPシステム使用料1,361千円		
8	報償費	595	議員研修会講師謝礼400千円 議会傍聴託児者謝礼65千円		18	備品購入費	166	図書購入費65千円、ベルトパーテーション等101千円		
9	旅費	7,858	行政視察、議員研修、議長会総会等の費用弁償5,883千円		19	負担金補助及び交付金	3,227	全国市議会議長会等負担金977千円 政務活動費2,250千円		
10	交際費	180	議長交際費180千円							
11	需要費	4,617	議会だより印刷費2,904千円、追録代等939千円							
上記の合計		225,760	職員の人件費合計	49,464	事業費総合計	275,224	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	・議会だより印刷製本費 ・会議録調製業務 ・会議録配信業務 ・議会映像配信ASPシステム使用	議会の審議概要などについて年4回広報紙を発行する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、会議録や本会議のライブ中継及び録画映像をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める	11	需用費	2,904	
				13	委託料	8,964	
				13	委託料	1,695	
				14	使用料及び賃借料	1,361	
					計	14,924	
					計	0	

総務部

重点施策と 推進政策	5-3		コード	10101100		予算書ページ	56
			部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当			
予算	款	2	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102010	一般管理費		具体的な施策	業務の効率化	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	溶解
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	941,572	19	1,100		64,002	876,451	
前年度	1,004,557	15	1,100		64,000	939,442	
増減額	△ 62,985	4	0	0	2	△ 62,991	

特定財源の内訳	款	14	自衛官募集事務委託金	金額	19	款	20	派遣職員給与費負担金	金額	64,000	合計金額
		15	特定処理事務交付金	金額	1,100		20	電報電話料	金額	1	
		17	指定寄付金	金額	1						
										65,121	

【目的・効果】
【目的】
 ・市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費、行政運営経費及び平和推進事業に係る経費を計上する。
【効果】
 ・議案の印刷や会議賄等、行政運営上必要な経費の計上による、円滑な行政運営を図る。
 ・市の平和行政を推進するため、広島平和記念式典への市内中学生の派遣、安曇野市平和のつどいの開催に係る費用を計上し、市民の平和意識の高揚を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・固定資産評価審査委員報酬
 ・特別職、一般職の人件費
 ・議案書作成に要する経費
 ・平和推進事業(中学生の広島平和記念式典への派遣、安曇野市平和のつどい)への参加、開催経費
 ・支出基準による食糧費予算の適正な執行

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	86	・固定資産評価審査委員報酬 3人分	19	負担金補助及び交付金	52	・県暴力追放県民センター賛助会費50千円 ・平和首長会議メンバーシップ納付金2千円
7	賃金	22	・広島平和記念式典参加随行者 看護師				
8	報償費	118	・平和のつどい講師謝礼30千円 ・平和のつどい参加生徒 図書カード61千円				
9	旅費	1,401	・広島平和記念式典参加 随行者旅費3人分162千円 ・広島平和記念式典参加 中学生生徒21人分1,239千円				
11	需用費	1,526	・消耗品100千円・庁舎視察対応経費200千円・食糧費50千円・議案書等印刷製本1,176千円・平和記念式典参加文集211千円				
12	役務費	107	・広告料101 ・広島平和記念式典参加者旅行保険6千円				
14	使用料及び賃借料	192	・平和のつどいパネル展20千円 ・広島平和記念式典バス162千円・駐車場使用料10千円				
上記の合計		3,504	職員の人件費合計	938,068	事業費総合計	941,572	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	平和推進事業(広島平和祈念式典への中学生派遣及び平和のつどい開催)	・広島平和記念式典へ市内中学校から生徒代表21名を派遣し、戦争の悲惨さを実際に見て、学び平和に対する意識の高揚を図る。また、安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、平和のつどいを開催し、市民の平和に対する意識の醸成を図る。	7	賃金	22
				8	報償費	118
				9	旅費	1,401
				11	需用費	409
					計	1,950
2					計	0

予算書ページ	56
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10101100
		部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102015	ふるさと寄附		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	585,490				300,000	285,490
前年度	0					0
増減額	585,490	0	0	0	300,000	285,490

溶解

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	300,000							

【目的・効果】

【目的】

安曇野市を「応援したい」「貢献したい」という思いを実現するために、安曇野市にふるさと寄附をしてくれる寄附者に対して、御礼の贈呈品代等の経費を計上する。
また、寄附者の思いを実現するために、基金に積み立てる。

【効果】

安曇野市を応援するために寄せられた寄附金を、それぞれの寄附者の思いを実現するための事業の財源に充てる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
安曇野ふるさと寄附に係る経費を計上する。

- ・ふるさと寄附受付事務非常勤職員1人
- ・ふるさと寄附御礼の贈呈品代
- ・前年度のふるさと寄附者に対する繋がり経費
- ・ふるさと寄附クレジット決済に係る経費
- ・ふるさと納税支援システム
- ・ふるさと寄附積立金

※一般管理費より移動した事業、平成27年度の実績を踏まえた予算計上

【一般財源増加理由】平成27年度は、一般管理費の中にあつた事業だが、予算規模が大きくなり、より明確にするため、新規に「ふるさと寄附」事業を分けたもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	賃金	1,712	・ふるさと寄附受付事務等非常勤職員 1人				
8	報償費	275,000	・ふるさと寄附御礼の贈呈品等(特産品、工業製品等)				
11	需用費	3,142	・前年度ふるさと寄附者送付観光冊子5000人分1,500千円 ・ふるさと寄附クーポン券3000セット1,296千円				
12	役務費	5,000	・ふるさと寄附クレジット決済手数料				
14	使用料及び賃借料	636	・ふるさと納税支援システム使用料				
25	積立金	300,000	・ふるさと寄附積立金				

上記の合計	585,490	職員の人件費合計		事業費総合計	585,490	OK
-------	---------	----------	--	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	ふるさと寄附者との繋がり事業	8	報償費	9,000
			・前年度ふるさと寄附をした寄附者に対して、1回の寄附で繋がりを終わりにするのではなく、市内観光施設の特典付パンフレットや、パンフレットに掲載されている施設で利用できるクーポン券を送付し、安曇野市に訪れてもらい利用してもらうことで、市内業者及び観光行政の活性化につながる。	11	需用費	2,796
					計	11,796
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-3		コード	10101100		予算書ページ	72
			部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当			
予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	2	文書広報費		基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102190	文書管理費		具体的な施策	業務の効率化	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,885		79		400	81,406
前年度	88,676		79		400	88,197
増減額	△ 6,791	0	0	0	0	△ 6,791

特定財源の内訳	款	15	特別児童扶養手当事務委託金	金額	79	合計金額
	款	20	コピー等サービス料	金額	400	
					479	

溶解

【目的・効果】

【目的】

- ・ファイリングシステム方式を活用した、文書の適正な管理に努め、業務の効率化を図る。
- ・例規の制定、改正等の整備を行い、適正な運用を図る。

【効果】

- ・市民サービスの公平性を図ることができる。
- ・ファイリングシステム方式の活用により、機能的で効率性の高い文書管理ができる。
- ・適正に文書事務処理を行うことで、文書の郵送、收受、作成、起案から決裁、施行、保存、廃棄までの一連の事務の徹底が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・郵便、支所間メール便、文書仕分業務等に係る非常勤職員、臨時職員賃金 9人(うち支所7人)
- ・外部書庫(旧豊科法務局、旧明科法務局、旧上川手分場)の維持管理
- ・公文書の管理(郵送、收受、作成、起案、決裁、施行、保存、廃棄等)
- ・ファイリングシステム維持管理
- ・文書管理システムの維持管理
- ・例規の審査、例規集等の管理
- ・行政手続の総合調整

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,213	・郵便業務全般、メール便業務外 2人分3,416千円 ・支所文書仕分配達業務(豊科、三郷、明科)7人分721千円	18	備品購入費	632	・公文書整理用書架(旧豊科法務局設置)
9	旅費	80	・職員研修旅費	19	負担金補助及び交付金	70	・職員研修受講料
11	需用費	725	・郵便業務用消耗品39千円 ・法規追録146千円・ファイリング用品218千円・書庫施設修繕及び電気料322千円				
12	役務費	65,286	・郵便料63,111千円 ・宅配料1,150千円 ・官報閲覧26千円				
13	委託料	8,502	・外部書庫管理695千円・支所(穂高、堀金)文書仕分配達817千円・例規システム等の管理等4,776千円・ファイリングシステム維持管理2,214千円				
14	使用料及び賃借料	389	判例体系利用料外				
15	工事請負費	1,988	旧豊科法務局消防施設等設置工事				
上記の合計		81,885	職員の人件費合計	事業費総合計	81,885	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ファイリングシステム維持管理業務	・平成26・27年度で全課にファイリングシステム導入支援を行った。 平成28年度では、ファイリングシステムを維持していくための維持管理業務を委託し、機能的で効率性の高い文書管理が図れる。また、平成28年度より本庁舎の書庫の運用が開始される予定であり、ファイリングシステムと連動した文書保管ができる。	11	需用費	218
				13	委託料	2214
					計	2,432
2					計	0

重点施策と推進政策	5-3	コード	10101100	予算書ページ	92
		部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当		

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102420	諸費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	溶解
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	2,621					2,621	
前年度	2,621					2,621	
増減額	0	0	0	0	0	0	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・市の行政運営における法的問題を、適正かつ迅速に対応するため、市の考え方に対する助言と指導を受ける。
 ・市が被告とされる係争事件の口頭弁論対応と、課題の早期解決を図るため、訴訟代理人弁護士委託を行う。
【効果】
 ・法的な問題の早期解決を目指し、理解と協力が得られる行政運営の実現が図れる。
 ・職員負担の軽減と的確な裁判対応が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・行政運営上の法的問題等を早期解決するため、顧問弁護士を選任し委託する。(3人)
 ・係争案件に係る訴訟代理人弁護士の、口頭弁論出廷に要する諸経費(日当・旅費等)
 ・弁護士の助言、相談を求める中で、書類の作成を委託した場合の費用

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1	弁護士成功報酬					
13	委託料	2,620	・顧問弁護士委託及び書類作成等2,160千円 ・係争案件に係る実費弁償、日当460千円					
上記の合計		2,621	職員の人件費合計		事業費総合計		2,621	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	5-2	コード	10101100	予算書ページ	96
		部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当		

予算	款	2	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102450	情報公開管理費		具体的な施策	行政資料の公表・情報提供の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	221				100	121
前年度	237				100	137
増減額	△ 16		0	0	0	△ 16

溶解

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】

【目的】

- ・市が保有している公文書を市民と共有し、情報公開制度の総合的な推進を図り、市民参加を促進する。
- ・市の実施機関が保有する個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図る。

【効果】

- ・市民の市政に対する理解と信頼を深めることができる。
- ・基本的人権の擁護及び公正で開かれた市政の確立ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・情報公開事務の適正を図り、情報公開制度の適切な運用を推進する。
- ・個人情報取扱事務の適正化を図り、個人情報の適切な取扱いと保護を両立する。
- ・情報公開請求及び個人情報開示請求に係る、不服申立てに対する「情報公開・個人情報保護審査委員会」への諮問、答申事務を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査委員会委員5人				
8	報償費	45	不服申立てに対する答申書作成謝礼				
9	旅費	45	委員旅費				
11	需用費	30	目隠しテープ				
上記の合計		221	職員の人件費合計	事業費総合計	221	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-2	コード	10101100
		部・課・係等	総務部総務課庶務法規担当

予算書ページ	96
--------	----

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費		具体的な施策	行政資料の公表・情報提供の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	191					191
前年度						0
増減額	191		0	0	0	191

溶解

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・行政不服審査法の改正により、市民の権利利益の救済を図るとともに、市の適正な運営を確保する。

【効果】

・簡易迅速な手続きにより、手数料無料で市民の権利利益を救済することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・行政庁に対して市民が簡易に迅速かつ公正な手続の下で、不服申立てをすることができるための制度として、行政不服審査法が大幅に改正され、本市としてもこの制度に対応するため、審理員制度、第三者機関の設置等を行い、不服申立てに対応する事務を行う。

【一般財源増加理由】 行政不服審査法が改正され、H28.4.1施行に伴い、法に定める第三者機関等の設置に係る経費が必要となるため。(H28.4.1施行で条例を制定する予定)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	101	行政不服審査会委員報酬				
8	報償費	45	不服申立てに対する答申書作成謝礼				
9	旅費	45	委員旅費				

上記の合計	191	職員の人件費合計		事業費総合計	191	OK
-------	-----	----------	--	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	行政不服審査会管理業務	1	報酬	101	
			・行政不服審査法の大幅な改正に伴い、本市においても、簡易迅速な手続により、市民の権利利益を救済するため、審理員制度、第三者機関の設置等を行い、不服申立てに対応する。	2	報償費	45	
				3	旅費	45	
					計	191	
2							
					計	0	

予算書ページ	78
--------	----

重点施策と 推進政策	5	コード	10101400
		部・課・係等	総務部 総務課 契約担当

予算	款	2	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102260	契約管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,283					3,283
前年度	4,071					4,071
増減額	△ 788	0	0	0	0	△ 788

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・競争性、透明性、公平性が確保された契約事務を執行する。
【効果】
 ・予算の効率的な執行をする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・一般競争入札を基本とした契約の執行

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	816	契約事務及び入札参加資格定期申請受付業務				
09	旅費	53	工事、リース契約等実務研修				
11	需用費	60	事務用品外				
13	委託料	1,167	電子入札システム保守				
14	使用料及び賃借料	734	落札業者データ検索システム・電子入札システム・契約システム				
18	備品購入費	40	ICカード読取機器				
19	負担金補助及び交付金	413	電子コアシステム負担金、契約研修負担金				
上記の合計		3,283	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,283	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	58
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10101300
		部・課・係等	総務部総務課検査係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経済的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経済的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102180	検査管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	263					263
前年度	267					267
増減額	△ 4	0	0	0	0	△ 4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・的確な検査実施の為に技術指針等の図書充実を図り、また実務研修へ参加する。
 ・工事検査においては技術検査を実施し、評価対象工事においては技術検査結果に基づき評価者が公正かつ的確に評価できるようにする。
 ・安曇野市建設工事請負人等選定委員会の審査資料等を作成する。
【効果】
 ・職員の検査、評定技術向上が見込める。 ・請負業者の指導育成に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・請負契約又は物の買入れ等について契約書、仕様書等に基づいて、適切に履行されているか確認する。
 ・公共建設工事の評定を公正かつ的確に行い、優良工事の表彰を行うと共に職員及び業者の技術向上に寄与する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
8	報償費	13	優良工事表彰記念品(賞状、額、手提げ袋他) 5件								
9	旅費	81	NOMA検査実務研修の交通費(名古屋3回)、宿泊費、日当 3回								
11	需用費	60	参考図書、表彰用生花、事務用品								
12	役務費	15	優良工事表彰の表彰状筆耕料 5件								
19	負担金補助及び交付金	94	NOMA検査実務研修の参加費 3回								
上記の合計		263	職員の人件費合計	0	事業費総合計		263	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	80
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10106100
		部・課・係等	総務部 行政管理課 行政担当

予算	款	02	総務費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	06	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102310	行政改革		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	438					438
前年度	438					438
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・第3次安曇野市行財政改革大綱に掲げた実施計画の進捗管理。
- ・平成28年度に指定期間が終了する公の施設及び新規施設等の指定管理者の選定。

【効果】

- ・第3次大綱に掲げた実施計画の確実かつ着実な推進を図る。
- ・指定管理者の応募団体等の審査にあたり公正・公平な選定が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第3次行財政改革大綱の実施計画について、「行政改革推進委員会」へ進捗状況等の報告を行い意見を求める。
- ・「公の施設指定管理者審査委員会」に、募集要項及び応募団体等審査を依頼する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	416	・行政改革推進委員会14名及び指定管理者審査委員会5名の委員報酬				
11	需用費	22	・参考図書他				

上記の合計	438	職員の人件費合計	0	事業費総合計	438	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第3次行財政改革大綱実施計画の進捗管理	大綱の基本理念である「発展・持続可能なまちづくりに向けて」の実現を目指す。	1	報酬	196
				11	需用費	22
					計	218
2	ソフト	指定管理者の選定	公の施設を適切に管理できる指定管理者の選定を行う。	1	報酬	220
					計	220

予算書ページ	58
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10102100
		部・課・係等	総務部 職員課 職員担当

予算	款	2	総務費	総合計 画	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102030	職員管理		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	879,793				6,058	873,735
前年度	911,702				6,465	905,237
増減額	△ 31,909	0	0	0	△ 407	△ 31,502

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	職員健康診断共済組合補助	70	20	共済組合研修会助成	100				
20	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金	8	20	職員駐車場利用料	5,757					
20	団体定期保険事務費外	123								

【目的・効果】

【目的】

・市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現のため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置を行うとともに、定員適正化計画に基づく適正な管理を行う。
 ・人材育成システムの中心となる人事評価制度及び職員研修の実施により、職員の意識改革及び職務遂行能力の向上を図り、組織力の強化と拡充を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・人事評価結果の全職員への反映を平成28年度に予定しており、職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るために、職員研修を実施する。また、人材育成、職員の処遇等の反映に向け、人事評価結果を運用及び活用する。
- ・人事評価制度を根幹とした複線型人事制度の構築を行う。
- ・職場内研修(OJT)の充実と職務階層別の内部研修・外部研修の計画的な実施により、職員の意識開発・組織的人材育成の風土づくりなどを行う。
- ・職員の定員適正化計画に基づき、適正な定員管理及び職員採用を行う。
- ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・カウンセリング事業等を実施する。
- ・本庁舎の職員駐車場の管理(借地料、除雪等)
- ・特別職等報酬審議会の開催

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	1,185	産業医報酬(2人分)、特別職等報酬審議会報酬(10人)	14	使用料及び賃借料	12,714	人事評価システム借上料、職員駐車場借地料
7	賃金	12,985	正職員不在時対応分(一般事務6人分)、職員課配置分(2名分)	19	負担金補助及び交付金	461,689	職員研修負担金、安全運転管理者協会負担金、退職手当負担金、職員互助会負担金、職員自主研修助成金
8	報償費	792	研修講師謝礼、健康管理研修会講師謝礼、採用試験面接官講師謝礼、退職者記念品、研修等土産				
9	旅費	14,157	職員研修旅費、派遣職員日額旅費				
11	需用費	1,370	事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)、ICカード				
12	役務費	375	職員採用広報活動(学生向け就職サイト利用料、就職説明会参加手数料)、安全運転管理者運転記録証明料等				
13	委託料	19,034	採用試験(1・2次試験、作文)、職員研修、人事制度構築支援・評価システム保守運用)、職員駐車場管理、職員健診等				
上記の合計		524,301	職員の人件費合計	355,492	事業費総合計	879,793	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	人事評価制度	地公法改正に基づき平成28年度から人事評価の全職員への処遇反映を行う。また複線型昇任制度を構築し「能力及び実績に基づく人事管理の徹底」と「主体的キャリア形成の確立」による組織力の強化を目指す。	13	委託料	4,655	構築支援・システム保守
				14	使用料及び賃借料	1,200	システムリース
					計	5,855	
2	ソフト	職員研修	安曇野市人材育成基本方針及び安曇野市研修計画に基づく職員研修を実施し、職員資質の向上を目指す。	9	旅費	963	研修旅費
				13	委託料	2,536	外部研修委託
				19	負担金及び補助金	1,819	研修負担金、自主研修補助
					計	5,318	

予算書ページ	270
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部危機管理課消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109010	常備消防負担金		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,012,300				6,583	1,005,717
前年度	973,659				5,160	968,499
増減額	38,641	0	0	0	1,423	37,218

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	高速自動車道救急支弁金	6,583							

【目的・効果】
【目的】
 ・常備消防の松本広域消防局が行う消防、救急業務が、効率的、効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について構成団体として応分の負担をする。
【効果】
 ・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施され、市民の安全と安心の確保が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 当年度の一般財源額が前年度を上回った理由;
 ・常備消防分負担金が前年度より31,931千円の増。
 ・県消防防災航空隊の負担金が前年度より126千円の増。
 ・『高速自動車国道における救急業務に関する覚書』に基づき、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として6,584千円を支出する。

【一般財源増加理由】 松本広域連合消防費負担金外の増額による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	2,611	県消防防災航空隊負担金				
19	負担金補助及び交付金	1,003,105	松本広域連合負担金(常備消防分)				
19	負担金補助及び交付金	6,584	高速自動車道救急事業に対する支弁金				
上記の合計		1,012,300	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,012,300	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	270
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部危機管理課消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	2	非常備消防費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109020	非常備消防費		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	247,410			21,400	25,811	200,199
前年度	256,289			19,800	30,444	206,045
増減額	△ 8,879	0	0	1,600	△ 4,633	△ 5,846

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	消防団員退職報償金	20,361	21	防災基盤整備事業	21,400				
20	団員等公務災害補償給付金	5,220								
20	消防団員福祉共済	230								

【目的・効果】

【目的】

・火災時における初期消火活動の充実、強化。多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化。

【効果】

・火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防組織法第9条に定める消防団の運営
- ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
- ・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安心、安全を確保するための活動を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	26,437	消防団員報酬、消防委員報酬	13	委託料	505	運転代行委託、出初式分列行進警備委託
5	災害補償費	5,221	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	891	ポンプ操法会場・簡易トイレ等借り上げ料外
7	賃金	1,724	臨時職員賃金	18	備品購入費	29,089	可搬ポンプ積載車3台、ソフト吸管外
8	報償費	48,014	災害・訓練等出勤・出席謝礼 退団者退職報奨金外	19	負担金補助及び交付金	43,750	消防団員退職報償金掛金、消防団運営費補助金外
9	旅費	419	消防団幹部視察研修外	27	公課費	1,190	自動車重量税
11	需用費	22,189	ポンプ用ホース、法被、活動服、車両・可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕外				
12	役務費	2,712	消防車両検査登録外				

上記の合計	182,141	職員の人員費合計	65,269	事業費総合計	247,410	OK
-------	---------	----------	--------	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	消防団員の装備充実	団員自身の身を守る装備として、ケブラー繊維製防火手袋とゴーグルを配備することで、安全が確保される。	11	需用費	5,081	防火手袋
				11	需用費	2,666	ゴーグル
					計	7,747	
2					計	0	

予算書ページ	272
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部危機管理課消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		具体的な施策	消防体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	128,849	5,386				123,463
前年度	122,603	5,386				117,217
増減額	6,246	0	0	0	0	6,246

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	消防防災施設整備費補助金	5,386							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
 ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。
【効果】
 ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・本市に望ましい消防水利の基準数は、7,639メッシュ(1メッシュ:140m×140m:1基の消火栓か防火水槽)であり、現状として約4,044メッシュが不足している。充足率は約47.06%であるため、継続的に消防水利施設を設置する。
 ・当年度に新設する消防水利は、防火水槽1基と消火栓13基である。新設については、行政区等の要望を聴取するとともに、現有消防水利施設の設置場所の確認、メッシュとの整合性を図り推進する。

【一般財源増加理由】 第7分団第1部詰所新築工事による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,184	消火栓用ホース、消防団詰所修繕費、消防団詰所光熱水費外				
12	役務費	31	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請手数料				
13	委託料	5,922	消防機材廃棄処分委託、消防団詰所耐震化整備工事実施設計委託料外				
14	使用料及び賃借料	386	消防設備用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	89,157	詰所耐震改修(2棟)、防火水槽更新(1基)、無蓋防火水槽撤去工事(4基)、第7分団第1部詰所新築外				
18	備品購入費	1,047	消火栓用ホース格納箱外				
19	負担金補助及び交付金	23,122	消火栓維持修繕13基、新設13基外				
上記の合計		128,849	職員の人件費合計	0	事業費総合計	128,849	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	第7分団第1部詰所新築工事	15	工事請負費	39,555
			消防団分団の再編に伴い、第7分団の第1・2・3部を一つの部に纏める。出場体制の確保と効率化が図れる。			
					計	39,555
2						
					計	0

予算書ページ	274
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10103200
		部・課・係等	総務部危機管理課消防防災係

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	3	消防施設費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費		具体的な施策	防災施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,132					38,132
前年度	87,085			50,200	20	36,865
増減額	△ 48,953	0	0	△ 50,200	△ 20	1,267

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・防災行政無線を適切に管理し、災害時における県と市町村、防災関係機関との円滑な情報連絡を確保する。
【効果】
 ・防災行政無線により市民への注意喚起や避難行動を促すための情報をいち早く伝達し、災害による被害の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 デジタル移動系(統制台、中継2局、移動352局)及びデジタル同報系(親局、遠隔制御装置、中継局、236子局、Jアラート) 防災行政無線の適正な維持管理を行い、防災行政無線に付随する電気・電話回線料・電波利用料を賄う。また、アナログ方式の移動系と同報系防災行政無線の廃局業を行う。避難行動に支援が必要な方などの対策として、防災ラジオの調査研究を進める。

【一般財源増加倍】 デジタル同報系防災行政無線設備の保守委託を開始することによるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	29	防災ラジオ先進地視察研修	19	負担金補助及び交付金	9,307	県衛星系防災行政無線設備更新負担金、第3級陸上無線技士養成講習会負担金
11	需用費	2,044	防災行政無線施設電気料、無線設備修繕外				
12	役務費	7	防災行政無線資格取得手数料				
13	委託料	14,217	デジタル移動系及びデジタル同報系防災行政無線設備保守、アナログ移動系無線廃局業務				
14	使用料及び賃借料	2,281	電波利用料、NTT回線使用料外				
15	工事請負費	10,214	アナログ同報系無線設備撤去、屋外拡声子局移設外				
18	備品購入費	33	デジタル移動系用アンテナ				
上記の合計		38,132	職員の人件費合計	0	事業費総合計	38,132	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	274
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10103100
		部・課・係等	総務部 危機管理課 危機管理担当

予算	款	9	消防費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	消防費		主要施策	災害に強いまち
	目	4	災害対策費		基本施策	防災対策の充実
	事業	0109050	災害対策費		具体的な施策	危機管理体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51,070					51,070
前年度	79,352					79,352
増減額	△ 28,282	0	0	0	0	△ 28,282

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市民の生命及び財産を侵害する事態に迅速かつ的確に対処するため、危機管理体制の充実・強化、防災倉庫の整備、自主防災組織の充実・強化、防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。

【効果】

・市民の生命、身体及び財産を災害などから守る災害に強いまちづくりの体制を確立することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事前登録制メール配信システムを運用し、災害情報等の伝達を迅速に行う。
 ・第3次長野県地震被害想定調査報告書を参考に定めた備蓄計画に基づき、食料、飲料水、日用品、資機材を計画的に備蓄する。また、大規模災害発生時に指定避難所を迅速に開設するため、指定避難所の開設に資する資機材を備蓄する防災倉庫を、小中学校3校に整備する。
 ・自主防災組織の充実・強化を図るため、活性化事業の実施及び防災活動支援として資機材整備と防災訓練に補助金を交付する。
 ・市民への啓発の機会として市総合防災訓練及び防災講演会を開催し、災害に強い体制を確立するとともに防災意識の高揚を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	98	防災会議委員報酬	15	工事請負費	11,186	防災倉庫設置工事、避難所看板取り換え・撤去工事、防災訓練会場整備工事
8	報償費	60	防災講演会講師謝礼、職員研修会講師謝礼	18	備品購入費	5,705	災害救助用品、防災倉庫備品
9	旅費	68	職員研修、防災講演会等講師旅費	19	負担金補助及び交付金	2,834	自主防災組織防災活動支援補助金、防災訓練等災害補償加入負担金
11	需用費	20,604	災害対策用備蓄品、防災訓練特殊消耗品・食糧費、防災広場管理清掃用品・光熱水費外				
12	役務費	74	防災倉庫建築確認申請手数料、自主防災アドバイザー保険料				
13	委託料	5,355	メール配信システム管理委託、防災広場清掃・芝生広場維持管理委託外、防災倉庫設計監理業務委託				
14	使用料及び賃借料	5,086	防災訓練用機械等借上、メール配信システム借上、衛星電話回線使用料外、情報ネットワーク使用料				
上記の合計		51,070	職員の人件費合計	0	事業費総合計	51,070	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	災害対策備蓄品整備事業	食料、飲料水、日用品、資機材を計画的に購入して備蓄するとともに、指定避難所で使用する資機材を備蓄するため、防災倉庫を整備する。これにより災害発生時の避難者への備えとする。	11	需用費	18,301
				15	工事請負費	10,260
				18	備品購入費	5,705
					役務費・委託料	1,044
					計	35,310
2	ソフト	自主防災組織支援事業	自主防災組織の活性化のため、地域自主防災会議を開催し、市及び組織同士の連携を強化するとともに、資機材整備と防災訓練に補助金を交付し、自主防災組織の充実・強化を図る。	12	役務費	2
				19	負担金補助及び交付金	2,828
					計	2,830

予算書ページ	92
--------	----

重点施策と 推進政策	5	コード	10104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,630				133	2,497
前年度	2,261				133	2,128
増減額	369	0	0	0	0	369

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	厚生住宅使用料	132							
13	厚生住宅使用料滞納繰越分	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。
【効果】
 ・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
 ・人権擁護団体の育成を図ることにより、支援・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域イベント等、市民が多く参加する場において、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。
 ・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。
 ・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」の開設を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
 ・同和対策推進団体と共に同和対策事業を推進する。
 ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。
 ・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。
 ・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力する。

【一般財源増加理由】 人権のつどい講演会における講師紹介手数料を、教育委員会予算から移管したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
08	報償費	28	「人権のつどい講演会」託児サービス、「中学生人権作文コンテスト」入選者受賞記念品 ほか				
09	旅費	26	人権施策関連集会参加職員旅費				
11	需用費	511	「人権のつどい講演会」等の人権啓発用品、人権特設相談所贈り、広報用チラシ・ポスター印刷 ほか				
12	役務費	569	「人権のつどい講演会」講師紹介手数料、託児サービス保険料、手話通訳料				
19	負担金補助及び交付金	1,443	人権擁護委員・犯罪被害者支援負担金、同和対策推進団体・保護司会補助金 ほか				
上記の合計		2,630	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,630	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権のつどい講演会	中学生人権作文コンテスト優秀作品の発表や、講演会を通じ、人権を尊重し認め合う意識の高揚を図り、差別や偏見をなくすとともに、一人ひとりが平等な立場で、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を図る。	08	報償費	28
				11	需用費	177
				12	役務費	569
					計	774
2						
					計	0

予算書ページ	138
--------	-----

重点施策と推進政策	5	コード	10104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	社会福祉費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	4	男女共同施策費		基本施策	男女共同参画の推進
	事業	0103220	男女共同推進費		具体的な施策	女性の社会活動参画推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	958					958
前年度	893					893
増減額	65	0	0	0	0	65

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。

【効果】

・国・県・市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
 ・女性の社会活動を推進するため、自らの意識改革に向けた啓発を行うとともに、学習機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第2次男女共同参画計画の実施状況審議、第3次男女共同参画計画の策定準備のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
- ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
- ・自治会や地域公民館等の地域活動の中において、男女共同参画コミュニケーターによる啓発活動を行う。
- ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して「男女共同参画講座」を開催し、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
- ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
- ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【一般財源増加理由】 第3次安曇野市男女共同参画計画策定準備を行うため、審議会の回数増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	179	男女共同参画推進審議会委員報酬				
8	報償費	18	フォーラム託児サービス謝礼				
9	旅費	69	男女共同参画推進団体視察研修、大会参加職員旅費				
11	需用費	32	啓発用チラシ用紙、会議資料、啓発用品作成消耗品ほか				
12	役務費	17	フォーラム託児サービス、コミュニケーター傷害保険料				
13	委託料	89	大会・研修会・視察研修 バス運転委託料				
19	負担金補助及び交付金	554	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金				

上記の合計	958	職員の人件費合計	0	事業費総合計	958	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	男女共同参画フォーラム	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意志で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラムを開催する。	08	報償費	18
				11	需用費	10
				12	役務費	9
					計	37
2						
					計	0

予算書ページ	138
--------	-----

重点施策と 推進政策	5	コード	10104100
		部・課・係等	総務部 人権男女共同参画課 人権男女共生係

予算	款	3	民生費	総合 計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	社会福祉費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	5	人権同和推進費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46		10			36
前年度						0
増減額	46	0	10	0	0	36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	住宅新築資金県補助金	10							

【目的・効果】
【目的】
 ・住宅新築資金等貸付事業の債権管理を適正に行う。
【効果】
 ・債権回収を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入通知書、催告書等を発送する。
 ・個別ファイルにより、返済経過、折衝記録の管理を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	23	研修会職員旅費				
11	需用費	10	旧年度特別会計分決算書印刷 ほか				
19	負担金補助及び交付金	13	事務担当者研修会参加負担金				
上記の合計		46	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

政策部

重点施策と 推進政策	5-2	コード	10201100		予算書ページ	80
		部・課・係等	政策部・政策経営課・企画担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点に立った行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	6	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102320	企画総務費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
32,402	60,328	27,926	0	20	0	29,687
						30,624
						1,761

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	土地利用規制対策交付金	20							20

【目的・効果】
【目的】
 1 行政評価:行政運営の透明性、信頼性の向上、総合計画の適正な進行管理、行政資源の効率的な活用及び職員の意識改革を図る。
 2 移住等の促進。 3 国土利用計画の策定(～H29)。 4 中長期的なまちづくりの指針である第2次安曇野市総合計画の策定(～H29)。
 5 市のイメージアップに向けたシティプロモーションの取組み。
【効果】
 1 行政評価:市民への説明責任の一手段となるとともに、実施計画、予算査定に反映される。
 2 移住希望者を支援することにより、人口増加が見込まれる。 3 市土利用に関する基本構想となる。
 4 経営的視点にたった行財政運営の推進が図れる。 5 積極的な情報発信(魅力・情報の提供)を展開することで、知名度の向上や若者・子育て世代の興味・関心が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【行政評価関係】
 実施計画 予算編成 行政評価のサイクルを確立し、より経営的視点に立った行財政運営に取組む。
【移住等促進関係】
 都市圏での「安曇野暮らしセミナー」開催(市主催3回・県等主催2回程度)、体験ツアー開催、移住ガイドブックの改訂(2,000部 主に都市圏へ設置)、おためし住宅2戸並びに一元的な移住相談窓口の運営、(仮称)安曇野暮らし支援協議会により移住促進のあり方を検討する。
【第2次総合計画の策定】
 平成28年度は、総合計画審議会、市民会議などの設置、庁内策定体制の整備、市民意向調査等の基礎資料の収集等を行う。
【シティプロモーション】
 平成28年度は先進事例の調査、市役所内部の連携のあり方を検討し、効果的な情報発信に取組む。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	438	総合計画審議会委員報酬			19	負担金補助及び交付金	19,165	中央東線高速化促進期成同盟会外(352千円)、移住セミナー会場使用負担金外(338千円)、松本広域連合(16,455千円)		
7	賃金	2,000	地域おこし協力隊員賃金(月額200千円 支給月:6月～3月)								
8	報償費	1,363	松本山雅ホームタウンデー関係(150千円)、行政評価外部評価委員(200千円)、移住セミナー協力員外(389千円)、まち・ひと・しごと創生有識者会議(216千円)、総合計画審議会関係(115千円)								
9	旅費	876	研修旅費外(89千円)、移住セミナー(375千円)、シティプロモーション事業(128千円)、地域おこし協力隊(208千円)								
11	需要費	2,317	事務用品(412千円)、市政懇話会外(48千円)、おためし住宅光熱水費外(988千円)、市制施行10周年記念事業実績報告書外(869千円)								
13	委託料	6,106	おためし住宅管理(117千円)、移住セミナー・体験ツアー外バス運行(183千円)、行政評価支援(700千円)、国土利用計画策定業務(360千円)、総合計画策定支援(4,697千円)								
14	使用料及び賃借料	137	移住セミナー駐車料(55千円)、おためし住宅TV受信料(28千円)、移住ホームページ用サーバー使用料(54千円)								
上記の合計		32,402	職員の人件費合計	0	事業費総合計		32,402	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	移住定住施策における地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊を活用することにより、さらに移住定住施策の充実が図れる。	7	賃金	2,000
				9	旅費	131
				計		2,131
2	ソフト	第2次安曇野市総合計画策定業務	中長期的なまちづくりの指針である第2次安曇野市総合計画を策定することで、選択と集中による、計画的で効果的かつ効率的な事業展開が図れる。	1	報酬	438
				8	報償費	115
				11	需要費	68
				13	委託料	4,697
				計		5,318

重点施策と 推進政策	3	コード	10201100		予算書ページ	82
		部・課・係等	政策部・政策経営課・企画担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	利便性の高いまち
	目	6	企画費		基本施策	公共交通の整備
	事業	0102330	新公共交通構築運行事業		具体的な施策	公共交通体系の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,840					78,840
前年度	80,566					80,566
増減額	1,726	0	0	0	0	1,726

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】**
【目的】
 1 市民の移動手段の確保・維持
【効果】
 1 市民生活の利便性や質的向上が図れる。
 2 地域間交流の活性化を促し、市域全体の活性化につながる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】** また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- 「あづみん」をはじめとする地域公共交通の現状・問題点の洗い出しと、課題を整理するために市民アンケートを実施する。
 - アンケート結果を踏まえ、市の将来の公共交通ネットワークのマスタープランとして新たに「地域公共交通網形成計画」を策定する。(～H29)
 - 「あづみん」等に係る運行車両の更新に伴い、市内タクシー事業者2社が購入する車両3台の費用の一部を助成する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	107	アンケート用発送・返信用封筒印刷代(107千円)				
13	委託料	1,941	【債務負担行為】 地域公共交通網形成計画策定業務(1,941千円)				
14	使用料及び賃借料	13	田沢駅構内使用料(13千円)				
19	負担金補助及び交付金	76,779	市地域公共交通協議会負担金(72,876千円)、運行車両購入費補助(3,903千円)				
上記の合計		78,840	職員の人件費合計	0	事業費総合計	78,840	OK

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	【債務負担行為】地域公共交通網形成計画策定業務	公共交通事業者・市民・行政が協働しながら「地域公共交通網形成計画」を策定(～H29)することで、課題・要望等を共通認識するとともに利便性の向上が図れる。 H28年度 1,941千円 + H29年度 3,619千円 = 策定委託料 計 5,560千円	13	委託料	1,941
					計	1,941
2	ソフト	運行車両費購入補助	車両購入費の一部を助成し、タクシー業者の車両買替を促すことで、市民等利用者の安全・安心の確保が図れる。	19	負担金補助及び交付金	3,903
					計	3,903

重点施策と 推進政策	2	コード	10201200		予算書ページ	94
		部・課・係等	政策部・政策経営課・都市交流係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102430	国内友好交流事業		具体的な施策	都市間の連携と交流の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
5,920	9,090	3,170	0	0	0	487
						345
						142
						5,433
						8,745
						3,312

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	交流事業参加負担金	487							

【目的・効果】

【目的】
友好提携都市との連携・交流を深め、市民や地域などが主体となる多様な交流の展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。
【効果】
友好提携を結んでいる国内都市との交流事業をとおして、安曇野市の特産品ならびに安曇野市を発信することにより、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。青少年同士の交流をとおして、息の長い人的交流が期待できるとともに、様々な経験をとおしての人材育成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

友好提携を結んでいる各都市へのイベントへ27年度同様参加する。さらに、武蔵野市...隔年で実施している「武蔵野市への芸術文化の旅」の開催年度に当たるため、参加者募集、見学地を武蔵野市と検討の上実施する。
江戸川区...江戸川区花火大会観覧事業参加者を募集の上実施する。
福岡市東区...例年実施している青少年交流事業で東区を受け入れる年度となるため、参加者を募集の上実施する。
三郷市・三郷町...三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会が本市で開催される。また同協議会の「住民ふれあい事業」が安曇野ハーフマラソンを軸に開催されるため、交流方法を検討の上実施する。
真鶴町...例年実施している青少年交流事業で真鶴町を受け入れる年度となるため、参加者を募集の上実施する。
東金市...東金市の「あづみの探検隊」の受入れと、翌月東金市を訪れての青少年交流事業を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	112	青少年交流事業における看護師賃金	19	負担金補助及び交付金	1,075	友好都市協議会負担金400千円、江戸川区民まつり負担金70千円、民間交流補助金605千円
8	報償費	857	青少年交流事業講師45千円、江戸川区民祭りステージ発表謝礼250千円、友好都市交流における土産・記念品代562千円				
9	旅費	657	イベント参加普通旅費589千円、費用弁償50千円、江戸川区招待卓球大会参加に係る監督への実費弁償18千円				
11	需用費	791	交流事業に係る消耗品費161千円、青少年受入れ事業、新そばと食の感謝祭受入れに伴う友好都市参加者食糧費630千円				
12	役務費	211	イベント出展時使用法被クリーニング代20千円、イベント出展時参加者傷害保険191千円				
13	委託料	551	友好都市交流事業受入れ時バス運転委託料213千円、訪問時バス運転委託料338千円				
14	使用料及び賃借料	1,666	友好都市イベント参加時の駐車料金65千円、青少年交流事業受入れ時の交流会場使用料等1601千円				
上記の合計		5,920	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,920	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷・安曇野友好都市交流推進協議会	三郷・安曇野友好都市交流推進協議会の発足30周年を記念し、相互に市村関連書籍の贈呈等を行うことで、友好都市間の相互理解が一層深まる。	8	報償費	100
				19	負担金補助及び交付金	300
					計	400
2	ソフト	東金市との青少年交流事業	H27年度の東金市との友好都市締結を契機として、青少年の相互訪問を実施することで、両市の青少年交流の活性化が図れる。	8	報償費	10
				9	旅費	9
				11	需用費	10
					その他	212
			計	241		

予算書ページ	96
--------	----

重点施策と推進政策	2	コード	10201200
		部・課・係等	政策部・政策経営課・都市交流係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業		具体的な施策	国際交流の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,622	4,663	1,959	0	0	0	992
						954
						38
						5,630
						3,709
						1,921

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年交流事業支援基金利子	26							992
	16	国際交流基金利子	82							
	18	国際交流基金繰入金	884							

【目的・効果】

【目的】

広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。

【効果】

国際姉妹都市であるクラムザッハとの交流事業をとおり、

安曇野市及び日本文化を広く発信できる。

海外の文化と交流した市民の活動により、広く市民に姉妹都市の文化を伝えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハとの交流事業を進める。

本年度は理事者等が公式訪問として当地を訪れ、交流・視察を行い、次年度以降の交流事業の更なる推進に向けての協議をする。

また、市内で活動している国際交流団体の上部団体への負担金補助や交流団体の実施事業に対する補助金交付をとおり、民間の国際交流事業の促進を図り、もって、国際化を担う市民の育成に努める。

【一般財源増加理由】 国際姉妹都市クラムザッハへの公式訪問に諸経費必要なため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	137	クラムザッハ訪問団記念写真等25千円、クラムザッハ訪問時土産112千円	25	積立金	27	青少年交流事業支援基金利子27千円
9	旅費	858	市長157千円・随行職員等旅費701千円				
11	需用費	42	クラムザッハ訪問団答礼パーティ食糧費42千円				
12	役務費	140	クラムザッハ訪問時、海外旅行保険140千円				
13	委託料	3,344	クラムザッハ訪問添乗業務等委託3,344千円				
14	使用料及び賃借料	1,180	クラムザッハ訪問送迎時、空港駐車料金30千円、オーストリア国内移動車使用料1,150千円				
19	負担金補助及び交付金	894	県日中賛助会費10千円、クラムザッハ友好会135千円、日中友好協会257千円、国際交流協会492千円				
上記の合計		6,622	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,622	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国際姉妹都市クラムザッハ訪問事業	国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハへの公式訪問を実施し、市民どうしの交流を一層深める。	8	報償費	137
				9	旅費	858
				11	需用費	42
					その他	4,664
					計	5,701
2	ソフト	市内国際交流団体への補助事業	市内で活動している国際交流団体への支援として、実施事業に対して補助金を交付することにより、各団体の主体的な活動を促し、国際交流の推進を図ることができる。	19	負担金補助及び交付金	894
					計	894

重点施策と 推進政策	5	コード	10202100		予算書ページ	60
		部・課・係等	政策部 秘書広報課 秘書広報担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102060	秘書・渉外		具体的な施策	-

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	7,445	国支出金	県支出金	市債	その他	7,145
前年度	9,892				300	5,683
増減額	2,447	0	0	0	3,909	1,462

特定財源の内訳	款	20	新年祝賀会費	金額	300	合計金額	300
	細節名称						

【目的・効果】

【目的】

・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。

【効果】

・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
 ・市功労表彰式及び新年祝賀会の開催により、市の更なる一体感の醸成が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市長日程・交際費等を市ホームページで公開し、開かれた市政を進める。
- ・市功労表彰式を開催し、功労者に対して感謝と敬意を表する。
- ・新年祝賀会を開催し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
- ・各市との連携により、市長会を通じて国・県等に対して政策要望を行う。
- ・第168回北信越市長会総会、及び第139回長野県市長会総会を本市において開催し、市長会の一層の発展に資する。

【一般財源増加理由】

前年度、「市制施行10周年記念式典」(平成27年10月4日挙行)の開催経費に対して、特定財源(地域振興基金)を充当したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	318	市功労表彰記念品代他				
9	旅費	1,076	市長・副市長、随員職員旅費				
10	交際費	960	市長・副市長交際費				
11	需用費	855	事務消耗品費、新年祝賀会会費、名刺印刷代他				
12	役務費	270	表彰状等筆耕料他				
14	使用料及び賃借料	680	新年祝賀会等会場使用料、市長・副市長タクシー料金				
19	負担金補助及び交付金	3,286	全国市長会他負担金、市長会議出席者負担金、北信越市長会及び県市長会総会開催市負担金				
上記の合計		7,445	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,445	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	・第168回北信越市長会総会(H28.5.12～5.13) ・第139回長野県市長会総会(H28.8.25～8.26)	北信越69市、及び県内19市の各市長を本市に迎え、市長会の一層の発展に資するとともに、安曇野市の情報発信を行う。	19	負担金補助及び交付金	1,500	
					計	1,500	
					計	0	

予算書ページ	74
--------	----

重点施策と推進政策	5	コード	10202100
		部・課・係等	政策部 秘書広報課 秘書広報担当

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102210	広報費		具体的な施策	広報制度の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55,516				2,962	52,554
前年度	46,389				5,183	41,206
増減額	9,127	0	0	0	2,221	11,348

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	広告料収入	2,962							

【目的・効果】

【目的】

・広報紙やホームページ、コミュニティーFMなどの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。

【効果】

・市の事業に関わるさまざまな情報を市民に知ってもらうことができる。

・市政への関心、参画意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市発行の全市民向け広報紙を作成配布する。発行部数 37,000部
(発行:お知らせ版...月の第1水曜日、通常版...毎月第3水曜日 総数年21回発行)
- ・市ホームページで市政情報を広く発信する。
広報紙は新聞販売店を通じて、全世帯に迅速に届ける。
広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源を確保する。
市ホームページのお問い合わせフォーム等から市民の意見を集め、広聴の充実にも努める。
- ・コミュニティーFMを活用し広く市政情報を発信する。(防災行政無線アナログ放送廃止への対応)

【一般財源増加理由】 コミュニティーFM市政情報放送業務委託、ホームページ保守業務委託、ホームページシステムリース料、広報写真用備品

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	112	広報セミナー、基礎講座、フォトショップ講座 参加旅費				
11	需用費	16,082	広報紙印刷費他				
12	役務費	83	市長と語る会手話通訳料				
13	委託料	34,599	広報紙配布委託料、コミュニティーFM市政情報放送業務委託料、市ホームページ保守委託料				
14	使用料及び賃借料	3,909	市ホームページシステムリース料				
18	備品購入費	636	カメラ・レンズ・ホームページ用備品購入費				
19	負担金補助及び交付金	95	日本広報協会負担金、広報研修会参加負担金				
上記の合計		55,516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	55,516	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	広報紙発行業務 ホームページ運営業務	広報紙やホームページを活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。	11	需用費	15,980
				13	委託料	25,575
				14	使用料及び賃借料	3,909
					計	45,464
2	ソフト	コミュニティーFM市政情報放送業務	防災行政無線アナログ放送廃止に伴い、コミュニティーFMを活用し、市民に迅速に市政情報を提供する。	13	委託料	9,024
					計	9,024

重点施策と 推進政策	5 - 3	コード	10203100		予算書ページ	88
		部・課・係等	政策部 情報統計課 情報政策係			
予算	款	2	総務費	総合計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	345,530	国支出金	県支出金	市債	その他	339,347
前年度	443,318	27,232			662	415,424
増減額	97,788	21,711	0	0	0	76,077

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	社会保障・税番号制度システム整備費	5,521							
20	財務会計処理実費徴収	662								

【目的・効果】

【目的】

・行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。

【効果】

・情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 ・行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
- ・情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。
- ・情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
- ・情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
- ・平成29年7月開始の個人番号情報連携に向けて、引き続き現行システムの改修を行う。
- ・支所改築に伴うネットワーク見直し、センターサーバー設置等学校系ネットワークの再構築を行う。
- ・平成28年度に更新時期を迎える一部システム(内部情報系、施設予約の各システム)について、システムの更新を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	156	情報システム研修や先進地視察に係る旅費	19	負担金補助及び交付金	2,200	中間サーバー・プラットフォーム(運用)に係る負担金 地方公共団体情報システム機構会費
11	需用費	10,653	プリンタのトナー代、納付書等帳票用紙代、パソコン・プリンタ等修繕費				
12	役務費	34,830	支所、出先、インターネットへの接続に係るネットワーク通信料				
13	委託料	105,546	各種情報システム保守料、番号法対応システム改修委託 支所、学校系ネットワーク再構築業務委託				
14	使用料及び賃借料	191,545	パソコン、プリンタ、各種情報システムリース料、ケーブルテレビ・各種情報システム使用料				
15	工事請負費	100	電柱移設に伴う通信ケーブル移設工事費				
18	備品購入費	500	リース満了機器の買い取り				
上記の合計		345,530	職員の人件費合計	0	事業費総合計	345,530	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	88
--------	----

重点施策と推進政策	5 - 3	コード	010203100
		部・課・係等	政策部 情報統計課 情報政策係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	7	情報施策費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,474					6,474
前年度	3,140					3,140
増減額	3,334	0	0	0	0	3,334

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・電子申請・公的個人認証等情報化による市民生活の利便性向上や防災・減災システムを構築し、安心して暮らせるまちづくりに寄与する。

【効果】

・公的個人認証により、税務署等に出向がなくても所得税還付・確定申告ができる。
 ・LGWAN(総合行政ネットワーク)からの、給与支払報告書や確定申告書等のデータ受信を行うことにより、迅速・正確に市税の課税事務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第4次安曇野市情報化計画を策定する。
- ・LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
- ・ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加依頼に伴う設定情報の追加・修正を行う。
- ・市民サービスとして、公共施設に公衆無線LANの設置を行う。

次期安曇野市情報化計画策定(3年毎)に係る費用増(委託料 2,916千円)
 公衆無線LAN設置(委託料 916千円、通信費 778千円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	778	公衆無線LAN通信費				
13	委託料	4,474	情報化計画策定業務委託、公衆無線LAN設置委託 LGWAN関係機器等保守				
14	使用料及び賃借料	489	LGWAN等情報システムリース料				
19	負担金補助及び交付金	733	情報プロドウェイながの利用負担金 ながの電子申請利用負担金				

上記の合計	6,474	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,474	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第4次安曇野市情報化計画策定	・市民の要求と日々変化するICT環境を分析し、市民サービスの向上、市政運営の効率化をはかるため、情報化施策の方向性を定める。	13	委託料	2,916
					計	2,916
2					計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10203200		予算書ページ	110
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計調査費	計画	主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	統計調査総務費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	65		19			46
前年度	322		19			303
増減額	257	0	0	0	0	257

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市の各種統計データをホームページへ掲載し、各種施策に役立てることを目的としています。
 ・国が行う統計調査の実施にあたり県からの委託により調査員の推薦を行い、調査を円滑に実施するために登録調査員の確保を行います。

【効果】市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表し、これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されます。また、調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進します。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・安曇野市の各種統計データを作成し、ホームページへ掲載します。
 ・統計登録調査員の確保、統計調査員・指導員台帳の作成整備を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	37	宛名ラベル等消耗品37千円				
12	役務費	10	統計調査員諸連絡郵便料10千円				
13	委託料	18	県統計調査員表彰式参加のためのマイクロバス運行委託18千円				

上記の合計	65	職員の人件費合計	0	事業費総合計	65	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10203200		予算書ページ	112
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係			
予算	款	2	総務費	総	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計調査費	合	主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費	計	基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費	画	具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18		17			1
前年度	18		17			1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	15	学校基本調査委託金	金額	17	合計金額	17
	細節名称						
	金額						
	合計金額						17

【目的・効果】
【目的】 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われます。
【効果】 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する下記の調査実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行う。
【調査の概要】
 ・所管省庁 文部科学省
 ・調査周期 毎年
 ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(2園)と安曇野市教育委員会
 ・調査方法 教育委員会を通じて、調査協力依頼及び関係書類配布(調査は全てオンライン調査による)
 ・調査基準日 平成28年5月1日現在

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	18	統計調査関係の消耗品の購入18千円					

上記の合計	18	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10203200		予算書ページ	112
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計調査費	基本方針	主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費	基本方針	基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費	画	具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46		41			5
前年度	18		8			10
増減額	28	0	33	0	0	5

特定財源の内訳	款	15	工業統計調査委託金	金額	41	合計金額	41
	金額						

【目的・効果】
【目的】 製造業を営む経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われます。
【効果】 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【調査の概要】
 ・所管省庁 経済産業省
 ・対象区域 市内92調査区
 ・事業内容 調査対象事業所の確認、修正等、平成29年調査準備を行う。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	33	調査事務用品コピー用紙外33千円					
12	役務費	13	郵便料3千円					
上記の合計		46	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10203200		予算書ページ	112
		部・課・係等	政策部情報統計課統計係			
予算	款	2	総務費	総合計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	5	統計調査費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	2	基幹統計費		基本施策	地域情報化の推進
	事業	0102720	経済センサス		具体的な施策	情報化の推進と活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,444		4,392			52
前年度	20		10			10
増減額	4,424	0	4,382	0	0	42

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】 経済センサス-活動調査は、事業所の経済活動及び企業の経済活動の状態を調査し、全ての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を全国的及び地域別に明らかにする基幹統計を作成すること並びに各種統計調査実施のための事業所及び企業の名簿を得ることを目的とします。

【効果】 調査結果は、行政施策への利用、(経済、環境、雇用、中小企業、男女共同参画、振興施策、交通計画策定、地域災害対策)や国民経済計算の推計への利用、各種白書における分析で利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

下記の調査実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査、県へ調査票等を提出する。

【調査の概要】 調査名称 平成28年経済センサス-活動調査

・所管省庁 総務省・経済産業省 ・調査周期 5年周期

・調査対象 市内の事業所及び企業

・調査方法 調査員の調査客体への調査票配布、回収を実施

・主な調査事項 経営組織、事業所の開設時期、従業員数、事業所の主な事業内容、売上及び費用の金額、事業別売上金額等

・調査基準日 平成28年6月1日

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,999	調査員報酬2,772千円、指導員報酬227千円	13	委託料	146	調査用品配送業務委託146千円
3	職員手当等	142	時間外勤務142千円	14	使用料及び賃借料	55	コピー複合機使用料55千円
7	賃金	620	調査票等整理等620千円				
8	報償費	10	調査協力者記念品等10千円				
9	旅費	88	調査員交通費74千円、指導員交通費14千円				
11	需用費	227	調査員・指導員写真代11千円、コピー用紙外216千円				
12	役務費	157	調査員通信費10千円、指導員通信費1千円、郵便料69千円、返信用切手代77千円				
上記の合計		4,444	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,444	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策		5	コード 10203200	部・課・係等 政策部情報統計課統計係		予算書ページ 112				
予算	款	2	総務費		総 合 計	基本方針 経営的視点にたった行財政運営の推進				
	項	5	統計調査費		計	主要施策 経営的視点の行政運営がなされるまち				
	目	2	基幹統計費		画	基本施策 地域情報化の推進				
	事業	0102730	商業統計調査費			具体的な施策 情報化の推進と活用				
単位:千円										
当初予算額		特定財源				一般財源				
		国支出金	県支出金	市債	その他					
本年度	21		19			2				
前年度	56		46			10				
増減額	35	0	27	0	0	8				
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額			
	15	商業統計調査委託金		19				19		
<p>【目的・効果】 【目的】 商業・卸売業を営む経営の態様、販売額等について調査を実施し、商業の実態を明らかにすることを目的に行われます。 【効果】 調査結果は、商業振興政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。</p>										
<p>【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する 【調査の概要】 ・所管省庁 経済産業省 ・対象区域 市内92調査区 ・事業内容 調査対象事業所の確認、修正等を行う。</p>										
【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	16	調査関係消耗品コピー用紙外16千円							
12	役務費	5	郵便料5千円							
上記の合計		21	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21	OK			
【上記予算の内の『重点事業』の概要】										
事業区分	新規	重点事業名称			重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								計	0	
2								計	0	

財政部

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10301100			予算書ページ	76
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当				
予算	款	2	総務費		総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		計画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	3	財政管理費			基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102230	財政管理費			具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	134					134
前年度	134					134
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

財政事務に必要な職員の実務能力の向上、情報収集、物品の購入。

【効果】

知識の習得や継続的な学習・情報収集等を通じ、適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	35	公会計制度研修、財政一般研修旅費				
11	需用費	99	地方財務実務提要外参考図書代				

上記の合計 134 職員の人件費合計 0 事業費総合計 134 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	5-2	コード	10301100			予算書ページ	78
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当				
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	総務管理費	画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	5	財産管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進	
	事業	0102250	基金積立金		具体的な施策	健全な財政運営	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
245,847	28,947	216,900	0	0	190,000	45,844
						10,003
						3
						10,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	財政調整基金利子	21,453	21	地域振興基金積立金(合併特例債)	190,000				
16	減債基金利子	8,693								
16	公共施設整備基金	15,698								

【目的・効果】

【目的】

地域の振興を目的として、合併特例債を活用し、地域振興基金の積み増しを行う。
 その他条例の定めるところにより、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金の利子を資金を積み立てる。

【効果】

地域の振興を図るとともに市の健全な財政運営を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

地域振興基金の積立てに関し、合併特例債の充当率は95%であるため、この差額は一般財源となるため、前年度を上回る。
 地域振興基金から発生する利子及び合併特例債の償還が終わった部分については、基金の取り崩しを通じて、地域振興策に充当が可能になる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	基金積立金	200,000	地域振興基金積立金				
25	基金積立金利子	45,847	財政調整基金利子、減債基金利子、公共施設整備基金利子				
上記の合計		245,847	職員の人件費合計	0	事業費総合計	245,847	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域振興基金積立	合併後の地域住民の連帯強化、旧合併町村の区域における地域振興に役立てる	25	基金積立金	200,000
					計	200,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10301100		予算書ページ	376
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当			
予算	款	12	公債費	総合	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	公債費	計画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	元金		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112010	長期借入金償還元金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	4,552,744	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	4,176,591			260,700	376,230	3,915,814
増減額	376,153	0	0	260,700	160,000	44,547

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	減債基金繰入金	370,000							
20	地域総合整備資金貸付金	6,230								
21	借換債	260,700								

【目的・効果】

【目的】

地方債元金を償還する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

H27年度までの借入に対し元金を償還する。

(地方債現在高のH27年度末見込額 43,435,261千円)

(内、H26借入までの分4,151,540千円、H27借入見込額401,204千円)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還元金	4,552,744	地方債の償還元金分				

上記の合計	4,552,744	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,552,744	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10301100		予算書ページ	376
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当			
予算	款	12	公債費		基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	公債費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	2	利子		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0112020	長期借入金償還利子		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	315,294					315,294
前年度	372,215					372,215
増減額	56,921	0	0	0	0	56,921

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

- ・地方債利子を償還する。
- ・一時借入のための利子を確保する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

H27年度までの借入に対し利子を償還。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還利子	315,294	地方債の償還利子分						
上記の合計		315,294	職員の人件費合計	0	事業費総合計	315,294	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10301100		予算書ページ	378
		部・課・係等	財政部 財政課 財政担当			
予算	款	14	予備費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	予備費	基本方針	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	予備費	基本方針	基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0114010	予備費	基本方針	具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000					50,000
前年度	50,000					50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

地方自治法217条により予備費を設ける。

【効果】

当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

予備費として50,000千円を計上

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
	予備費	50,000					

上記の合計 50,000 職員の人件費合計 0 事業費総合計 50,000 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	98
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10302100
		部・課・係等	財政部 市民税課 諸税係 (財政部 税務課 諸税係)

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点の行政運営がなされるまち
	目	1	税務総務費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102460	税務総務費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
410,163	413,008	2,845		107,000		1
				107,000		2,161
			0	0	0	2,160
						685

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県民税徴収事務委託金	107,000							
20	その他税関係雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 税の公平・公正・的確な賦課に努める。
 広報活動の充実等により収入率の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。
【効果】
 安定した財政基盤の確保。
 適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 公平・公正・的確な賦課と捕捉率の向上に向け
 未申告者の解消。
 庁内各種資料せん、国、県資料による課税の是認、否認。
 訪問指導等を行う。
 納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
 租税教育の実施。
 広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
 口座振替の推進。
 特別徴収事業所の推進を図る。

〔一般財源増加理由〕・基幹系システムのセンター代行業務が、情報統計課の一括管理から担当課へ移管されたことによる委託料の増
 ・地域振興基金(H27は市制施行10周年記念事業の一環としてオリジナルナンバープレートを作成した)の減

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	10,394	通年雇用臨時職員、申告相談対応臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	2,206	地方税電子化協会負担金
8	報償費	706	租税教育推進協議会で実施する税に関する作文等募集に係る記念品	23	償還金、利子及び割引料	56,300	市税の還付金及び還付加算金
9	旅費	106	地方電子化協議会全国説明会等旅費(東京)				
11	需用費	3,455	事務用品、図書、印刷製本及び物品修繕				
12	役務費	2,980	税のPR用広告料及び軽自動車申告書取扱手数料				
13	委託料	18,332	基幹系システム代行プリント、課税原票管理システム保守、税制改正に伴うシステム改修				
14	使用料及び賃借料	9,419	課税原票管理システム及びeL-TAX使用料				
上記の合計		103,898	職員の人件費合計	306,265	事業費総合計	410,163	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地方税電子申告支援サービス事業	エルタックスを使用した給報等支払報告書、法人の電子申告及び国税連携による確定申告書のデータ取り込みの推進を図り、納税者の利便性の向上と課税事務の効率化、コスト削減に努める。	14	使用料	3,692
				19	負担金	1,666
					計	5,358
2	ソフト	租税教育の実施	将来を担う中高生が税に関する作文・ポスターを作成すること等を通し、税に対する関心と正しい知識を持てるようにする。	8	報償費	706
				11	需用費	33
					計	739

重点項目番号	5-3		コード	10303100		予算書ページ	98
			部・課・係等	財政部 資産税課 家屋担当 (財政部 税務課 家屋担当)			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	2	徴税費	計画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	2	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進	
	事業	0102470	資産税費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
62,127	21,769	40,358	0	0	0	0
						1
						1
						0
						62,126
						21,768
						40,358

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他税務関係雑入	1							

【目的・効果】
 【目的】
 市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適正な賦課。
 【効果】
 ・財政基盤の安定。
 ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 **また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する**
 【事業概要】
 ・H30年度の評価替えに向けて市内の均衡を図り公正な評価を行うため、路線図、状況類似ブロック図、標準宅地位置図を更新する。
 ・地方税法第343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に賦課替えを行うため、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。

【一般財源増加理由】 委託業務(評価替えに係る標準宅地鑑定評価及び納税通知作成システム代行プリント)の増加。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	29	・固定資産評価員報酬	18	備品購入費	77	・災害時におけるり災家屋の調査に必要な機材の購入
07	賃金	6,000	・一般事務補助、相続人調査 ・償却資産申告書封入・発送事務	19	負担金補助及び交付金	222	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修参加費
09	旅費	342	・各課税客体の賦課に係る基礎知識を会得するための研修旅費	20	公課費	7	所管公用車の重量税
11	需用費	1,235	・当初納税通知書へ同封する課税案内の印刷製本 ・賦課資料の保管用ファイル				
12	役務費	159	・公用車点検費用				
13	委託料	53,124	・GIS更新 ・評価体系集約化事業				
14	使用料及び賃借料	932	・税務地図情報システム使用料 ・課税資料電子化ファイリング機器のリース・保守料				
上記の合計		62,127	職員の人件費合計	0	事業費総合計	62,127	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地評価替事務	【鑑定評価】 次期評価替に備えるための標準宅地鑑定に係る業務委託	13	委託料	29,254
					計	29,254
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10304100		予算書ページ	100
		部・課・係等	財政部 収納課			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	2	徴税費		主要施策	経営的視点にたった行財政がなされるまち
	目	2	賦課徴収費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102480	収納費		具体的な施策	安定した財政基盤の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
62,376	54,874	7,502	0	40,000	0	2,500
						19,876
						12,374
						7,502

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	督促手数料	2,500							
	15	県民税徴収事務委託金	40,000							42,500

【目的・効果】

【目的】

・市税納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。

【効果】

・滞納整理業務を執行することにより納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・当初納付書発送時に口座振替勧奨チラシを同封する等、口座振替の啓発を行う。
- ・新規滞納者を増やさないようにコールセンターから初期未納者に対して架電をおこない自主納付を促す。納付がない場合には、財産調査予告及び差押予告書を送り強く納付を促す。
- ・催告に応じない滞納者に対して実態調査及び財産調査をおこなったうえで差押処分を執行する。
- ・長野県地方税滞納整理機構へ大口案件、困難案件を徴収移管する。

【一般財源増加理由】 番号制度対応のシステム改修。H28年度より督促状発行代行業務、滞納管理システムの保守業務の予算を情報統計課から収納課に移行。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,060	滞納整理顧問報酬	14	使用料及び賃借料	812	コンビニ収納システム使用料
07	賃金	16,647	収納嘱託員3名・非常勤嘱託職4名(日給者4名)	19	負担金補助及び交付金	9,717	日本経営協会等研修負担金、長野県地方税滞納整理機構負担金
08	報償費	540	収納員車借上げ料	27	公課費	23	重量税
09	旅費	792	日本経営協会・東京税務協会研修、県外臨戸(関東方面、長野県周辺)				
11	需要費	3,560	口座振替依頼書外印刷、事務用品、公用車等修繕				
12	役務費	17,780	電話料、窓口収納外金融機関手数料、車検、滞納処分手数料、不動産鑑定手数料、広告料				
13	委託料	11,445	コールセンター、滞納管理システム保守・改修業務、督促状センター代行業務				
上記の合計		62,376	職員の人件費合計	0	事業費総合計	62,376	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	納税コールセンター業務	新規滞納者を増やさないようにコールセンターから初期未納者に対して架電をおこない自主納付を促す。	13	委託料	5,560
					計	5,560
2	ソフト					
					計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10305100		予算書ページ	78
		部・課・係等	財政部財産管理課管財担当・施設経営担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の財政運営がされるまち
	目	5	財産管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102270	財産管理費	画	具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
49,862	55,213	5,351	0	0	0	6
						496
						490
						54,723
						5,357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	総合賠償補償等保険金	1							496
	20	安曇野市土地開発公社臨時職員人件費負担金	495							

【目的・効果】

- 【目的】 ・低、未利用地及び低、未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
 ・市有施設の新築、改修、修繕等を発注するため、各種基準に整合させながら適正な設計積算を行う。
 ・地方公会計移行による固定資産台帳の整備と、地図情報に連動した台帳システムの構築に取り組む。
- 【効果】 ・遊休資産の処分により自主財源の確保及び維持管理費の低減と宅地の供給の促進、税の増収を図る。
 ・建築コストの透明性・客観性を確保し、予算の効率的執行を図る。
 ・地方公会計移行時の統一的な財務書類補助簿としての活用が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,229	臨時職員(建築)、臨時職員賃金(一般)	15	工事請負費	2,048	未利用施設不要物撤去工事等
08	報償費	1,000	設計士等謝礼	19	負担金補助及び交付金	121	建築構造研修会負担金・公有財産管理の法律実務研修
09	旅費	144	建築構造別設計及び積算講習・公有財産管理の法律実務研修	22	補償補填及び賠償金	974	財産管理地電気工作物移転補償
11	需用費	294	設計積算書籍及びテキスト代・市有財産管理用除草剤・草刈り刃・事務用品				
12	役務費	16,472	未利用地不動産鑑定・建物災害共済保険・総合賠償補償保険				
13	委託料	27,455	市有地維持管理業務・公共施設等固定資産台帳システム整備業務、設計監理委託				
14	使用料及び賃借料	125	刊行物掲載情報利用料				
上記の合計		49,862	職員の人件費合計	0	事業費総合計	49,862	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	5	コード	10305100		予算書ページ	84
		部・課・係等	財政部財産管理課管財担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった財政運営の推進
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	経営的視点の財政運営がされるまち
	目	6	企画費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102340	土地開発基金費		具体的な施策	公共施設の効果的利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
866	565	301	0	0	0	301
						821
						45
						45
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	土地開発基金利子	821							821

【目的・効果】

【目的】

・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。

【効果】

・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	44	土地改良区負担金				
28	繰出金	822	基金運用益				

上記の合計	866	職員の人件費合計	0	事業費総合計	866	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10305300		予算書ページ	62
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係			
予算	款	2	総務費	総合計 画	基本方針	経営的視点にたった財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の財政運営がされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102020	新本庁舎管理費		具体的な施策	維持費軽減

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
178,092	274,659	96,567	0	0	0	2,264
						1,595
						669
						175,828
						273,064
						97,236

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源ゴミ売却代	120	20	その他雑入	1,927				
20	自動販売機設置(電気料)	216								
20	公衆電話料	1								

【目的・効果】

【目的】本庁舎の維持管理を行う。経費と職員の負担を軽減するため、総合管理業務として民間委託する。

【効果】総合管理により専門的な施設管理ができる事から、施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れる。これにより庁舎利用者の利便性、安全が確保でき、住民サービスの向上につなげられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・委託業務内容は、施設常駐管理・設備管理・警備宿日直業務・清掃業務・受付案内業務・電話交換業務・植栽管理業務・除雪業務を行う。
- ・本庁舎内で使用するコピー用紙、印刷機等の必要経費、光熱水費、通信費の支出。
- ・市有施設のテレビ受信料、危険物取扱者、防火管理者、危険物安全協会の経費を支出する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,738	1名分賃金、手当				
11	需用費	45,240	コピー用紙 7,478千円、印刷機インク 2,967千円、灯油・重油2,979千円、光熱水費29,808千円				
12	役務費	9,772	電話料9,720千円				
13	委託料	85,035	総合管理委託81,359千円、印刷機保守委託1,000千円				
14	使用料及び賃借料	28,542	印刷機、複合機借上料4,789千円、コピー機使用料19,829千円、テレビ受信料2,048千円				
15	工事請負費	7,608	防犯灯設置 3,828千円、防犯カメラ増設 3,780千円				
19	負担金補助及び交付金	157	危険物取扱等負担金				
上記の合計		178,092	職員の人件費合計	0	事業費総合計	178,092	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	本庁舎総合管理業務外	総合管理業務として委託業務を一元化する事により、管理業務間の調整の手間が省け、業務ごとの金額面でのロスも省かれる。	13	委託料	83,993	
					計	83,993	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10305300		予算書ページ	62
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102080	公用車管理費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
43,564	48,849	5,285	0	0	0	1,500
						42,064
						47,349
						5,285

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公有自動車損害共済金	1,500							

【目的・効果】

【目的】

- ・共有車両の維持管理を行う。実施計画に基づき20年経過の車両は修繕費等の費用が高むことから順次更新等を行う。
- ・各支所、各部署で管理していた共有車両を一元管理することにより、効率的な利用と運用を図る。

【効果】

- ・本庁集約に伴い車両の共有化が図れ、より効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。
- ・老朽車両の維持管理経費の節減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・実施計画に基づき公用車更新時の導入規格を統一し、小型化(軽自動車)・共通化(仕様・形状)を進める。

【参考】

公用車管理台数 355台 (危機管理課消防車4台、分団消防車45台・建設課ほか特殊車両56台・市バス6台、貸出し30台を含む)
 用途廃止車両 10台 (対象は初年度登録後20年以上の経過車両や過走行車両とし、車検代等を予算から削減)
 更新購入予定 6台 軽箱バン5台、ハイブリッド型乗用車1台

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	13	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修13千円	27	公課費	656	更新車両 継続車検車両の自動車重量税
11	需用費	14,331	タイヤ等消耗品 2,195千円、燃料7,000千円、物品修繕費5,136千円				
12	役務費	12,148	車検等手数料3,476千円、自賠責722千円、公用車損害賠償任意保険7,856千円、				
14	使用料及び賃借料	6,944	公用車リース料 2,144千円 高速道路使用料 4,800千円				
18	備品購入費	8,539	公用車更新 6台 8,539千円				
19	負担金補助及び交付金	33	自動車事故をめぐる自治体の対応実務研修に伴う負担金				
22	補償補填及び損害金	900	公用車事故発生時の損害賠償金(保険金を充当)				
上記の合計		43,564	職員の人件費合計	0	事業費総合計	43,564	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10305300		予算書ページ	64
		部・課・係等	財政部財産管理課庁舎管理係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0102083	AED維持管理費		具体的な施策	救急医療体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,462					7,462
前年度						0
増減額	皆増					皆増

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	11	需用費		327						
18	備品購入費		7,135							7,462

【目的・効果】

【目的】 市有施設に配置されたAED(自動体外式除細動器)の管理を行う。
 ・耐用年数を迎えた機器、バッテリーの更新。
 ・使用したパッドの補充。

【効果】 適切な管理により、いざという時に機器の使用が可能にしておく。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・AED本体の更新 31台、収納ボックス購入 2台
- ・パッドの購入(予備品含む)、バッテリー更新

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	消耗品	327	パッド、交換用パッド 295千円、交換バッテリー 32千円				
18	備品購入費	7,135	AED更新 7,031千円、収納ボックス 104千円				

上記の合計	7,462	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,462	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

市民生活部

重点施策と推進政策	5-1・5-2	コード	10401100		予算書ページ	84
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 まちづくり推進係			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	協働のまちづくりの推進
	項	1	総務管理費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	6	企画費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102350	まちづくり推進事業	画	具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	143,562		1,717		127,426	14,419
前年度	146,848		3,900		127,924	15,024
増減額	3,286	0	2,183	0	498	605

特定財源の内訳	款	13	その他手数料	1	18	地域振興基金繰入金	81,014			合計金額 129,143
		15	元気づくり支援金	1,717	20	コミュニティ助成事業助成金	46,400			
		16	西穂高会館維持運営基金利息	11						

【目的・効果】
【目的】・まちづくりに全ての市民が関わり、対等な役割分担と相互の連携・協力による具体的な活動を活発化する。
【効果】・市民による主体的なまちづくりを支援する行政の体制と仕組みが確立できる。
 ・市民に近い行政運営を図ることで、市民との協働が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・「協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき市民参画による協働推進を図る。
- ・協働のまちづくり推進のためフォーラムを開催する。
- ・多様化する地域課題の解決のため地域づくりのリーダーとしての技能を有する人材の発掘と育成を目的に「地域リーダー育成講座」を開催する。
- ・様々な協働事業と人材等をつなぎ多様な活動を牽引できる人材の発掘と養成を目的に「協働コーディネーター養成講座」を開催する。
- ・「市民活動センター」はより市民活動支援を進めるため「市民活動サポートセンター」に名称を改め、市民活動コーディネーターを配置し、市民活動のスキルアップや交流等の機会創出拠点とするとともに、「市民記者」を設置し、情報の収集・発信システムの構築を図る。
- ・市が市民との協働事業を公表し、市民活動団体等に提案をしていただく「市民協働提案制度」を実施し、市民主体の協働のまちづくりの推進を図る。
- ・中学生の若い目線による斬新な発想やアイデアを協働のまちづくり推進に活かすため、中学生議会を開催する。
- ・市民活動団体が市内で行う自主的・主体的で、活動の輪を広げ協働の啓発を伴う事業に対し、つながりひろがる地域づくり補助金を交付し支援する。
- ・区が抱える様々な課題を区民全体で解決できる仕組みを構築し地域力の向上を図る取り組みに対し交付金による支援を行う。
- ・多種多様化する地域課題や区の負担増に対し、あらゆる角度から検討し解決策を探るため、平成27年度に設置した「市区長会専門部会」の取り組みを支援し、区長会だけでは解決できない課題に様々な組織が柔軟に参画し解決の検討を行う「まちづくり推進会議(仮称)」の設置を目指す。
- ・市民と市の協働による住みよい地域社会を形成するため、区等に対し区等交付金を交付する。
- ・協働の対等なパートナーと位置づける市区長会の設立10周年記念事業講演会を市区長会と共催する。
- ・自治基本条例の平成28年度制定に向け「安曇野市自治基本条例制定市民会議」「安曇野市自治基本条例検討委員会」を開催し条例案を検討する。
- ・光城山1000人SAKURAプロジェクトを中心に多くの市民と協働し光城山に60本の桜を植樹する。また、桜の育成、周辺環境等の保全を行う。
- ・有明会館・西穂高会館・離山会館の3施設について指定管理制度による維持管理を行う。
- ・信州大学人文学部との連携協定により、市の発展と人材育成に寄与することを目的に、文化、教育、学術分野等の研究を委託する。

[一般財源増加理由]									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	2,255	市民活動コーディネーター賃金		15	工事請負費	525	SAKURAプロジェクト桜植栽穴補修工事(土留め等)	
8	報償費	4,601	まちづくり研修会、フォーラム、市区長会設立10周年記念講演会、地域リーダー・コーディネーター養成講座等講師謝礼、SAKURAプロジェクト講師・協力者謝礼、市民活動交流事業講師、大学研究報告者、市民記者活動謝礼、中学生議会記念品、市区長会理事、まちづくり基本方針策定評価委員、自治基本条例制定市民会議委員等出席謝礼		16	原材料費	98	SAKURAプロジェクト桜苗木	
9	旅費	53	協働のまちづくり、自治基本条例、市区長会先進事例等の視察研修同行職員旅費		18	備品購入費	17	市民活動サポートセンターファックス機	
11	需用費	935	事務用品、市民活動サポートセンター消耗品、桜植樹消耗品、市内桜推進事業消耗品、区加入促進パンフ印刷他		19	負担金補助及び交付金	129,820	コミュニティ助成、つながりひろがる事業補助金、市区長会補助金、地域力向上事業、集会所建設、区等交付金	
12	役務費	333	市民活動サポートセンター電話料、SAKURAプロジェクト協力者、市民記者傷害保険料、手話通訳料		25	積立金	12	西穂高会館維持運営基金利息	
13	委託料	4,913	桜管理、光城山樹木伐採、大学連携研究、バス運転、西穂高会館・有明会館・離山会館指定管理						
上記の合計		141,307	職員の人件費合計	2,255	事業費総合計		143,562	OK	

【上記予算の内の「重点事業」の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野市区長会支援事業	多様化する地域課題や区の負担増等の解決策を検討する「市区長会専門部会」を支援する。区民全体で課題解決する仕組みの構築を推進し地域力の向上を図る。市区長会設立10周年記念事業を実施する。			8	報償費	825
						11	需用費	289
						19	負担金補助及び交付金	80,419
							その他	134
			計	81,667				
2	ソフト	自治基本条例(仮称)制定事業	自治基本条例制定に係わる市民会議等で、市民ワークショップ「報告書」や市民アンケートの意見等を踏まえ、協働のまちづくり推進を基盤とした条例の制定に向けた取り組みを、多くの市民の参画により進めていく。			8	報償費	678
						9	旅費	20
							計	698

重点施策と 推進政策	4-6	コード	10401200			予算書ページ	90
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係				
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	1	総務管理費		主要施策	事件・事故を防ぐまち	
	目	8	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102390	交通安全対策費		具体的な施策	交通安全対策の強化 / 防犯・交通安全施設の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,772					14,772
前年度	12,785					12,785
増減額	1,987	0	0	0	0	1,987

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。

・総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者に対する参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1.「高齢者の交通事故防止」を重点課題とし、関係機関、団体と連携した広報啓発活動、交通安全運動を推進する。
- 2.高齢者交通安全教室では、自動車学校の教習指導員による交通安全講習や屋外体験を通して安全な歩行方法の実践と交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故防止とデマンド交通の利用を促す「運転免許証自主返納支援事業」を推進し、運転に不安を持つ高齢者の支援を拡充する。
- 3.保育園、幼稚園では理解力に応じた段階的な交通安全教室を展開。小中学校ではスケアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)による交通安全教育を取り入れることにより、事故再現等による疑似体験を通して実践的な自転車教育指導に継続して取り組む。

【一般財源増加理由】 主に、生活安全教育の充実を図るための需要費分(829千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	525	交通指導員報酬	14	使用料及び賃借料	1,626	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入
7	賃金	1,718	交通安全協会育成事業関連事務補助員	18	備品購入費	143	交通安全教室の指導用DVDソフト
8	報償費	470	交通安全推進協議会委員、高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	4,733	安曇野交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金、交通安全協会支部補助金
9	旅費	52	交通安全教育指導者研修会旅費	27	公課費	8	公用車自動車重量税
11	需用費	2,562	交通安全用品外				
12	役務費	72	公用車車検点検外				
13	委託料	2,863	運転業務委託、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室の委託、園外一般道路での歩行指導				
上記の合計		14,772	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,772	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	総合的な安全・安心対策のための啓発	高齢者宅を中心に家庭訪問し、加齢に伴う交通事故への備えと複雑化する犯罪から身を守る総合的な対策を紹介した啓発冊子を配布することにより、高齢者の生活安全教育の充実と交通安全思想の普及・浸透を図る。	11	需要費	500	啓発冊子	
					計	500		
2	ソフト	スケアード・ストレイト方式を用いた自転車交通安全教育	・交通事故をスタートマン等が再現する教育技法が交通安全意識の向上に効果を上げていることから、この手法を映像化した小中学生向けの教育用DVDを活用し、交通ルールを守ることの大切さを学ぶ学習機会の充実を図る。	18	備品購入費	143	小・中2種類	
					計	143		

重点施策と 推進政策	4-6	コード	10401200		予算書ページ	90
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 生活安全係			
予算	款	2	総務費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	1	総務管理費	主要施策	事件・事故を防ぐまち	
	目	9	防犯対策費	基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102400	防犯対策費	具体的な施策	防犯体制の充実 / 防犯・交通安全施設の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	108,045	国支出金	県支出金	市債	その他	62,195
前年度	115,243				50,200	63,393
増減額	7,198	0	0	0	6,000	1,198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	12	地区防犯灯新設分担金	200								45,850
	14	道路改良費補助金	1,650								
	18	公共施設整備基金繰入金	44,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯を計画的に整備することで、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
- ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を目指すため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報、啓発活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
- ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1.防犯灯設置事業については、社会資本整備総合交付金(所管 / 建設課)を活用して通学路等への防犯灯の新設を進めるとともに、区等から寄せられる設置拡充の要望に対しても広域的な対応を強化し、積極的な事業推進を図る(補助対象事業費300万円 / 補助率55%)。
また、市内全域を対象とするLED化更新工事を推進し、環境負荷の低減と経費削減に取り組む。
- 2.地域の安全を確保する為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯対策を推進する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	764	防犯指導員等謝礼				
11	需用費	36,685	防犯灯施設修繕費、防犯灯電気料				
12	役務費	772	防犯灯移設				
13	委託料	1,210	防犯灯LED化工事監理業務委託				
15	工事請負費	65,407	防犯灯新設、防犯灯LED化更新工事				
19	負担金補助及び交付金	3,207	安曇野防犯協会連合会負担金、地域防犯協会支部補助金				

上記の合計	108,045	職員の人件費合計	0	事業費総合計	108,045	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防犯灯設置事業 LED化更新工事 豊科地区(豊科・南穂高) 穂高地区(有明・牧)	・市内全域に設置されている電球や蛍光灯等の防犯灯をLED防犯灯に更新することにより、環境負荷の低減と経費削減を図るとともに、防犯灯としての適正な明るさを確保し、安全で安心なまちづくりの形成を進める。		一式	59,617
					計	59,617
					計	0

重点施策と 推進政策	4	コード	10401300		予算書ページ	76
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 市民相談室			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	2	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業		具体的な施策	市民生活相談の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	855					855	
前年度	870					870	
増減額	15	0	0	0	0	15	
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】

【目的】

- ・法的な問題を抱える市民の解消、法律問題が発生した際の早期助言等の実施。
- ・相談相手がいなかったり、手続きや対応の仕方が分からない市民の解消、即座に対応出来る体制の構築。

【効果】

- ・問題や疑問の早期解決や解消へとつなげ、住みやすい地域づくりの実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・長野県弁護士会松本在住会と委託契約を結び、定期的な弁護士派遣をお願いする。
- ・長野県司法書士会松本支部安曇野区会との調整により、定期的な登記法律相談を開催する。
- ・気軽な相談場所として、心配ごと相談と連携しながら行政相談を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	5	各相談賄い				
13	委託料	820	弁護士派遣委託料				
19	負担金補助及び交付金	30	県行政相談委員協議会負担金				

上記の合計	855	職員の人件費合計	0	事業費総合計	855	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	4	コード	10401300		予算書ページ	246	
		部・課・係等	市民生活部 地域づくり課 市民相談室				
予算	款	7	商工費		総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	商工費			主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	4	消費者行政対策費			基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			具体的な施策	消費者教育の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,471		550			2,921
前年度	3,284		408			2,876
増減額	187	0	142	0	0	45

特定財源の内訳	款	15	地方消費者行政活性化事業	金額	550	合計金額	550
---------	---	----	--------------	----	-----	------	-----

【目的・効果】
【目的】
 ・消費者問題に対する相談体制の充実を図るとともに、「安曇野市消費生活センター」の周知を行い、安全安心な地域社会の実現を目指す。
 ・多発する特殊詐欺等の消費者被害を防止するため、被害の早期発見と具体的な対応に関する学習機会の充実を図るとともに、消費者への啓発活動の促進に努める。
【効果】
 ・問題や消費者トラブルに関する情報を迅速かつ広範囲に共有できる、被害が起こりにくい消費生活社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「安曇野市消費生活センター」の周知を図りながら、消費者問題に対する相談体制の充実に取り組む。
 ・消費者被害を未然に防ぐため、各地区や福祉関係者等への出前講座の積極的な開催や敬老会等での詐欺被害防止講座の開催、高齢者宅を中心とした家庭訪問を実施し、消費者教育の推進、広報啓発活動の拡充に取り組む。
 ・弁護士による無料相談会を開催して、法律専門家との連携を図る。

【一般財源増加理由】 中学生への消費生活啓発活動実施に伴う需用費分(228千円増)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	2,443	消費生活相談員賃金				
8	報償費	143	弁護士による法律相談・詐欺被害防止講座謝礼				
11	需用費	811	消費生活啓発物品・資料等				
12	役務費	14	携帯電話使用料				
19	負担金補助及び交付金	60	安曇野市消費者の会補助金				

上記の合計	3,471	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,471	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	消費者教育啓発	若者(中学生)への消費者教育を行い、地域や家族ぐるみでの詐欺被害防止につなげる。	11	需用費	228
					計	228
2	ソフト	消費者教育啓発	各地区や福祉関係者等への出前講座や敬老会等での詐欺被害防止講座・高齢者宅への家庭訪問を実施し、広報啓発活動の拡充に取り組む。	8	報償費	100
				11	需用費	368
					計	468

重点施策と推進政策	5-3	コード	010402100			予算書ページ	102
		部・課・係等	市民生活部 市民課 市民担当				
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	3	戸籍住民基本台帳費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	戸籍住民基本台帳費		基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		具体的な施策	スリムで柔軟な組織・人事体制の構築	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218,564	9,475	87		44,000	165,002
前年度	235,490	34,559	78		44,000	156,853
増減額	16,926	25,084	9	0	0	8,149

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	戸籍住民基本台帳手数料	44,000	15	人口動態調査委託金	87				
14	個人番号カード交付事業費補助金	9,013								
14	中長期在留者居住地届出事務委託金	462								

【目的・効果】

【目的】

行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備を行う。・戸籍事務関係:[平成27年3月末現在]・本籍数 40,009戸籍・本籍人口 98,714人・住民基本台帳事務関係:[平成27年3月末日現在]・人口 98,425人 世帯数 38,291世帯・住民票、印鑑証明発行用自動交付機(豊科・穂高・三郷の各支所設置)利用率[平成27年3月末日現在]25.33%

【効果】

・住民に関する基礎資料を正確且つ統一的に整備することにより、住民の利便の増進、行政の合理化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・証明書のコンビニ交付事業開始に向け、システム構築を行う。
・情報化検討委員会における運用管理見直しにより、自動交付機のリース料及び保守業務委託料を計上。

【一般財源増加理由】		人件費の増					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,396	戸籍住民基本台帳事務	19	負担金補助及び交付金	12,310	県戸籍住民基本台帳事務協議会負担金37千円・通知カード個人番号カード関連事務委任交付金9,013千円
9	旅費	129	住民基本台帳法外改正に係る研修会出席旅費及び証明書コンビニ交付接続試験(試験環境での試験)旅費				
11	需用費	3,234	消耗品2,972千円・印刷製本費239千円・物品修繕費50千円				
12	役務費	1,031	戸籍住民基本台帳関係送達確認用はがき代73千円・個人番号カード交付及び申請書送付郵便料 938千円				
13	委託料	19,856	戸籍システム保守業務委託料2,528千円・証明書コンビニ交付システム構築委託料8,630千円・自動交付機保守業務委託料2,074千円				
14	使用料及び賃借料	14,282	戸籍システム借上料4,819千円・戸籍システム使用料2,722千円・自動交付機リース料5,582千円				
18	備品購入費	58	窓口用備品				
上記の合計		54,296	職員の人件費合計	164,268	事業費総合計	218,564	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	証明書コンビニ交付	コンビニエンスストア(主要4社)にて、住民票の写し、印鑑証明書、戸籍証明書(本籍地が安曇野市の方)を取得することができ、利用時間帯が拡大することで、市民サービスの向上が図れる。	13	委託料	14,386	
				19	負担金、補助金及び交付金	3,000	
					計	17,386	
						0	

重点施策と推進政策	4-1	コード	10403100		予算書ページ	180	
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境政策係				
予算	款	4	衛生費		総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費			主要施策	自然と共生するまち
	目	5	環境衛生費			基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			具体的な施策	自然環境の保全と再生

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	43,298	国支出金	県支出金	市債	その他	43,293
前年度	46,391				115	46,276
増減額	3,093	0	0	0	110	2,983

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他刊行物頒布代	5							

【目的・効果】
【目的】
 ・環境基本計画及び環境行動計画に基づき、市の環境をよりよくするための検討、施策実行、点検評価を行う。
【効果】
 ・自然と人々が共存・共栄する持続可能な社会を築き、市民の健康で豊かな生活を実現するとともに、将来の世代に良好な環境を引き継ぐ。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「環境基本計画推進会議」の運営
 ・市民啓発環境イベント事業(環境フェア)の開催
 ・第二次環境行動計画の推進
 ・生物多様性安曇野市戦略の検討(アレチウリ駆除等)
 ・庁舎内省エネ実践事業(省エネのための緑のカーテンの普及等)
 ・エコアクション21の認証・登録
 ・太陽光発電システム設置補助、太陽熱利用システム設置補助による自然エネルギー-活用の推進

・第1次環境基本計画の計画期間が平成29年度をもって終了するため、本年度は第2次環境基本計画の策定作業が始まる。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	2,391	環境フェア講師謝礼 環境基本計画推進会議委員出席謝礼		19	負担金補助及び交付金	28,570	太陽光発電システム設置補助金 太陽熱利用システム設置補助金	
9	旅費	219	エネルギー管理講習 「エコアクション21」審査人講師旅費						
11	需用費	1,113	環境行動プログラム消耗品 環境フェア印刷製本費						
12	役務費	1,662	環境フェア広告料 環境フェア傷害保険						
13	委託料	8,564	環境基本計画サポートコンサル 環境フェアサポートコンサル						
14	使用料及び賃借料	703	電気自動車借り上げ料						
18	備品購入費	76	拡声器スピーカー						
上記の合計		43,298	職員の人件費合計	0	事業費総合計		43,298	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第二次環境基本計画の策定	「安曇野市環境宣言」の基本理念を念頭に、少子高齢型人口減少社会の進展、地球温暖化等、環境に関わる状況も大きな変化を遂げている状況を踏まえ、市総合計画の基本方針がめざす将来のまちの姿の実現を推進する。	8	報償費	672
				13	委託料	4,061
					計	4,733
2	ソフト	エコアクション21 認証・登録	省エネルギー、省資源、廃棄物削減等の取組による持続可能な社会の構築のため、「エコアクション21」の認証・登録をする。	9	旅費	72
				12	役務費	648
				13	委託料	227
					計	947

重点施策と 推進政策	4-2	コード	10403200		予算書ページ	86
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全担当			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	6	企画費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0102360	水資源対策費		具体的な施策	地下水の保全・涵養・適正利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	39,068	国支出金	県支出金	市債	その他	24,068
前年度	23,736				15,000	23,736
増減額	15,332	0	0	0	15,000	332

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	15,000							15,000

【目的・効果】
【目的】
 ・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。
【効果】
 ・地下水涵養により、安曇野地域の重要な資源を維持できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成27年度に引き続き、水収支や地下水流動の可視化、涵養方策などの研究を行い、得られる結果に基づき、水環境基本計画策定委員会において、有効な地下水涵養方策の検討及びその経費の負担方法を含めた水環境基本計画の策定を行う。
 ・転作田湛水の涵養モデル事業を推進し、涵養面積の拡大を図る。
 ・地下水位測定を実施する。

【一般財源増加理由】 水環境基本計画の実行性を高めることを目的とした「水循環の可視化に資する研究業務」を平成27年度に引き続いて行う。
 転作田湛水の涵養モデル事業である「麦後湛水事業」の面積拡大(40ha→60ha)による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	264	地下水採取審査委員会				
7	賃金	1,718	地下水保全条例施行に伴う届出事務及び涵養事務の臨時職員賃金				
8	報償費	512	水環境基本計画策定委員会				
9	旅費	370	環境省事務打合せ、水環境基本計画策定委員実費弁償、全国名水サミットin志摩出席				
13	委託料	24,304	地下水位観測調査業務委託、水環境基本計画策定コンサル業務委託、水循環の可視化に資する研究業務委託				
19	負担金補助及び交付金	11,900	安曇野市水資源対策協議会負担金、涵養負担金				

上記の合計 39,068 職員の人件費合計 0 事業費総合計 39,068 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水環境基本計画策定業務	水収支や地下水流動の可視化、涵養方策などの研究を行い、現在策定中の水環境基本計画を実行性のある内容とすることで、地下水の保全・涵養・適正利用を推進する。	8	報償費	510
				9	旅費	213
				13	委託料	20,292
					計	21,015
2					計	0

重点施策と 推進政策	4-4	コード	10403200		予算書ページ	180	
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全担当				
予算	款	4	衛生費		総合計 画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	保健衛生費			主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	4	霊園管理費			基本施策	住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			具体的な施策	市営霊園の管理と計画的整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
20,568	15,511	5,057	0	0	0	5,057
						2
						2
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	9,524	13	霊園事務手数料	6				
12	霊園管理料滞納繰越分	16	16	霊園施設整備基金利子	499					
13	霊園使用料	4,950	18	霊園整備基金繰入金	5,571					

【目的・効果】
【目的】
 ・市内10ヶ所の市営霊園の管理と計画的な整備を行い、利用者の利便性の向上と周辺環境の保全に努める。
【効果】
 ・核家族化、少子高齢化等による墓地に対する市民ニーズの変化に対応することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市営霊園(市内10箇所、3,786区画)の維持管理を実施する。
 ・平成29年度に予定している市営霊園敷地内への合葬墓形式墓地の整備に向けて、地下水位及び土質調査と実施設計を行う。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	2,601	市営霊園の除草剤、小破修理、光熱水費他		25	積立金	4,350	霊園整備基金積立金及び基金利子	
12	役務費	192	市営霊園のし尿汲取料、浄化槽法定検査手数料						
13	委託料	10,863	市営10霊園の管理清掃委託、合葬墓造成地地下水位・土質調査、実施設計委託						
14	使用料及び賃借料	303	墓地管理システム使用料						
15	工事請負費	1,072	市営霊園補修工事等						
16	原材料費	87	市営10霊園の植木、肥料代						
23	償還金、利子及び割引	1,100	返還聖地の使用料還付金						
上記の合計		20,568	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,568	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	合葬墓造成事業	合葬墓形式の墓地の必要性が増しており、当市においても平成29年度中の整備を目指している。 平成28年度は、造成予定地の地下水位・土質調査と実施設計を行う。	13	委託料	4,500
					計	4,500
2					計	0

重点施策と 推進政策	4-1	コード	10403200			予算書ページ	184
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全担当				
予算	款	4	衛生費		総合計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費			主要施策	自然と共生するまち
	目	5	環境衛生費			基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104160	環境衛生総務費			具体的な施策	快適な安曇野らしい田園産業都市生活環境の創造

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
236,486	250,731	14,245	0	68	0	5,465
			0	68	0	89
						231,021
						245,287
						14,266

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	園管理料	952							
13	狂犬病予防注射済票交付手数料	3,262								
13	犬の登録手数料	1,251								

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の自然環境、田園環境を生かした快適な生活環境を維持するため、市民の生活に身近な施策を実施する。

【効果】

・身近な生活環境の整備や保全により、安曇野らしい、快適な田園産業都市生活を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・環境審議会の開催
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、注射済票を交付する。
- ・アメリカシロヒトリ防除の薬剤を配布する。
- ・豊科駅前、新田公衆便所の管理を行う。
- ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
- ・安曇野松筑広域環境施設組合の広域豊科葬祭センター施設運営の負担を行う。
- ・広域豊科葬祭センターを利用した市民に対し、火葬の無料化を行う。
- ・雨水貯留施設設置補助金を交付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	238	環境審議会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	76,228	雨水貯留施設設置補助金、公衆浴場経営安定化助成金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金
8	報償費	45	動物慰霊祭供物、空家対策協議会委員謝礼	20	扶助費	350	火葬料
9	旅費	60	犬管理対策協議会研修会、空家等対策研修会	27	公課費	10	公用車自動車重量税
11	需用費	1,654	アメシロ防除薬剤等、豊科駅前、新田公衆便所の光熱水費等				
12	役務費	141	保護犬等の治療代、公用車車検代他				
13	委託料	2,009	豊科駅前、新田公衆便所清掃委託、犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託				
15	工事請負費	324	公共施設への雨水貯留槽設置工事				
上記の合計		81,059	職員の人件費合計	155,427	事業費総合計	236,486	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野松筑広域施設組合	・構成市村での適正な按分等による負担をすることで、施設の円滑な運営に寄与することができる。 ・広域豊科葬祭センターを利用した市民に対し、火葬料の無料化を行う。	19	一部事務組合負担金	73,155
				20	扶助費	350
					計	73,505
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	4-1	コード	10403200
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全担当

予算	款	4	衛生費	総 合 計 画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	環境衛生費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,016	4,050	3,783			10,183
前年度	18,016	4,050	3,783			10,183
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14		浄化槽設置整備補助金(国庫支出金)	4,050						
15		浄化槽設置整備補助金(県支出金)	3,783							

【目的・効果】

〔目的〕

・下水道整備区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上を目指す。

〔効果〕

・生活環境の向上及び公共用水域の水質改善につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・下水道整備区域外で専用住宅に合併浄化槽を設置する者に対して補助金を交付する。
- ・平成28年4月から下水道会計の公営企業への移管に伴い、平成28年度より環境課の所管となる。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	18,016	合併浄化槽設置補助金等(30基分)				
上記の合計		18,016	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,016	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	4-1	コード	10403200		予算書ページ	186
		部・課・係等	市民生活部 環境課 環境保全担当			
予算	款	4	衛生費		基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	自然と共生するまち
	目	6	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104180	公害対策費		具体的な施策	公害対策の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,776					14,776
前年度	16,128					16,128
増減額	1,352	0	0	0	0	1,352

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・水質、大気、騒音等に係る環境調査の実施により、人の健康を保護する上で維持されることが望ましい環境基準を達成する。

【効果】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、公害のない健康で快適な市民生活の保持を目指すことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・環境調査、畜産臭気測定、自動車騒音常時監視等の各種測定を実施する。
 (ダイオキシン類大気検査6カ所、大気中窒素酸化物12回/4カ所、道路騒音調査9カ所、
 河川水質検査2回/50カ所、地下水水質検査2回/28カ所、ゴルフ場農薬検査2回/2カ所、
 三郷地区畜産臭気調査、道路騒音常時監視)
- ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査と、臭気対策技術支援業務を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	240	三郷畜産臭気モニター謝礼				
9	旅費	51	公害対策研修会旅費				
11	需用費	305	水質汚濁事故防止用油吸着マット・吸着剤外				
12	役務費	274	公害苦情処理検査外、公害測定機器校正点検				
13	委託料	13,906	環境調査定期測定、畜産臭気測定、臭気指数調査業務、臭気対策技術支援業務				

上記の合計 14,776 職員の人件費合計 事業費総合計 14,776 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	環境調査測定事業	騒音・臭気・農薬・ダイオキシンなど公害測定を行い、環境基準の達成状況を常に把握することで、生活環境の向上を図る。 臭気指数規制は、必要に応じて臭気対策支援業務を導入するなど、適切な運営を行う。	13	委託料	13,906
					計	13,906
2					計	0

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	1	清掃総務費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104210	清掃費		具体的な施策	排出抑制

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	829,711	国支出金	県支出金	市債	その他	736,711
前年度	874,831				93,000	781,831
増減額	45,120	0	0	0	0	45,120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	可燃ごみ処理手数料	93,000							

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。

【効果】

・ごみの適正な処理を行うにより、清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
- ・可燃ごみ証紙の管理事務
- ・可燃ごみ・不燃ごみ収集運搬業務を委託する。
- ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
- ・市内一斉清掃を実施する。
- ・指定集積所の施設整備に対し補助を行う。
- ・穂高広域施設組合の運営に対し負担する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,394	不法投棄監視連絡員出席謝礼				
11	需用費	1,406	一斉清掃用消耗品、不法投棄防止看板、清掃作業用品、可燃ごみ袋出荷管理票印刷、管理集積所修繕、公用車修繕				
12	役務費	8,182	可燃ごみ証紙売り捌き手数料、公用車点検・車検				
13	委託料	197,711	可燃・不燃ごみ収集運搬、不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬、直営集積所管理、水質検査、犬猫回収処理				
19	負担金補助及び交付金	619,963	穂高広域施設組合負担金、指定集積所施設整備補助金				
27	公課費	55	公用車重量税				
上記の合計		829,711	職員の人件費合計	0	事業費総合計	829,711	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	不法投棄の防止	不法投棄監視連絡員を委嘱し、常習箇所を中心にパトロールを行う。投棄防止の啓発と早期発見に努め、環境の保全を図る。	8	報償費	2,394
				11	需用費	172
				計		2,566
2	ソフト	可燃・不燃ごみ収集運搬業務委託	指定集積所に排出される一般廃棄物の収集運搬を委託し、清潔な環境の維持を図る。	13	委託料	191,030
				計		191,030

予算書ページ	188
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
152,864	159,947	7,083	0	0	0	23,613
						129,251
						18,138
						141,809
						12,558

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	21,055							
20	手作り石けん・BDF販売代	170								
20	再商品化合理化拠出金配分金	2,388								

【目的・効果】

【目的】

・市内から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。

【効果】

・ごみの減量化による行政経費の軽減と、資源化再利用により環境負荷が軽減される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資源物収集運搬・保管・処理業務の委託
- ・ごみ減量化、資源化、分別指導事業
- ・ごみ・資源物収集カレンダーの全戸配布
- ・緑のリサイクル事業の委託
- ・廃食用油回収と石けん等への加工業務委託
- ・生ごみ処理機等の導入補助事業
- ・廃棄公文書の資源化
- ・不用陶磁器再資源化業務委託

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	23	講習会講師謝礼	27	公課費	29	公用車重量税
9	旅費	18	職員旅費				
11	需用費	2,922	資源物分別用品、廃食油精製用品、公用車燃料、電気料、ごみカレンダー印刷、物品・公用車修繕費				
12	役務費	524	ごみフリーダイヤル電話料、タウンピーパー・公用車車検・自賠責保険				
13	委託料	146,378	資源物収集運搬・保管・中間処理、容リ協負担金、剪定枝破碎業務、廃棄文書資源化、不用食器資源化				
14	使用料及び賃借料	70	重機借上げ料				
19	負担金補助及び交付金	2,900	生ごみ処理機器等購入補助金				
上記の合計		152,864	職員の人件費合計	0	事業費総合計	152,864	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	資源物の分別収集	ごみの減量化とリサイクル推進を図るため、分別排出・資源化を進める。指定集積所に排出される各資源物の収集運搬を委託する。	13	委託料	106,272		
					計	106,272		
2								
					計	0		

予算書ページ	190
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費	計画	主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費	画	基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104230	三郷最終処分場		具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	13,652	国支出金	県支出金	市債	その他	13,652
前年度	14,511					14,511
増減額	859	0	0	0	0	859

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 名称:三郷一般廃棄物最終処分場 竣工:平成9年3月 施設構成:埋立処分地4,000㎡(埋立面積)、23,000m³(埋立容量)・浸出水処理施設

【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。

【効果】 ごみ処理の適正な処分を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を埋立て処分する。(32年度中に埋立完了予定)
- ・地元区との協定に基づく埋立て有効期限が平成28年9月30日までとなり、協定条項に基づく黒沢川等周辺環境の整備等を実施し、地元区との再延長協定の締結に繋げる。
- ・処分場の埋立てが進んだため、ガス抜き管の増設工事を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,950	施設機械老朽化による施設修繕、薬剤・除草剤等消耗品				
12	役務費	48	電話料				
13	委託料	10,135	不燃物等埋立作業委託、周辺環境整備委託料、水質検査委託費、受入業務委託				
14	使用料及び賃借料	2	監視井戸借地料				
15	工事請負費	1,517	ガス抜き管増設工事				
上記の合計		13,652	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,652	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	搬入物埋立処分業務委託	搬入されるガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	13	委託料	5,735
					計	5,735
2					計	0

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		具体的な施策	再生利用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	16,965	国支出金	県支出金	市債	その他	6,750
前年度	19,458				5,215	14,243
増減額	2,493	0	0	0	5,000	7,493

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	資源売却代	10,000							
20	リサイクルセンター再生品販売	215								

【目的・効果】
【施設の概要】 豊科RC H17年 S造平屋 937㎡ 穂高RC S54 S造平屋 252㎡ 明科SY H11 木造平屋 66㎡
【目的】 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
【効果】 ・指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行うことにより、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展が図れる。
 ・市民のライフスタイルの多様化に対応することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・3施設に受入指導員を配置し、管理運営を行う。
 ・受け入れた資源物の運搬業務を委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	1,152	環境学習会講師謝礼 受け入れ指導員・リサイクル工房指導員謝礼				
11	需用費	1,198	自転車修理消耗品 灯油代 施設修繕費 光熱水費				
12	役務費	210	電話料 フォークリフト特定検査 指導員傷害保険料				
13	委託料	14,405	受け入れ指導業務委託 受け入れ資源物運搬業務				
上記の合計		16,965	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,965	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	受け入れ指導業務	受け入れ品の分別指導のほか、休日等の混み合い時に整理を行う等で円滑な施設運営をする。	8	報償費	834
				13	委託料	5,462
					計	6,296
2						
					計	0

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	2	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104250	穂高じんかい処理場	画	具体的な施策	中間処理施設や最終処分場への支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	741					741
前年度	785					785
増減額	44	0	0	0	0	44

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 名称:小岩岳不燃物処理場 埋立開始:昭和63年1月 埋立地面積:2,350㎡ 埋立容量: 11,750m³
 【目的】 一般廃棄物の自区内処理の原則から、市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。
 【効果】 ごみ処理の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内から排出されるブロック・コンクリート・土砂等を埋立て処分する。
 ・周辺環境に配慮し、場内外の適切な施設管理を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	45	処分場管理用品(除草剤他)				
13	委託料	545	処分場内、周辺の地下水水質検査				
14	使用料及び賃借料	94	ごみ埋立整地用の重機借上料				
16	原材料費	57	ごみ埋立整地用土砂				
上記の合計		741	職員の人件費合計	0	事業費総合計	741	OK

【上記予算の中の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104260	雑排水処理事業		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,977				3	95,974
前年度	32,140				1,466	30,674
増減額	63,837	0	0	0	1,463	65,300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	雑排水配管敷設使用料	3							

【目的・効果】

【目的】

・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し適正に処分することで、生活排水による河川等の汚濁を防止する。

【効果】

・定期的な清掃を実施し、汚水汚泥の適正な処理を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
- ・湯浅産業の撤退に伴う、湯浅産業建物等の解体撤去工事・敷地土壌汚染調査業務・敷地境界復元業務等を委託する。
- ・調停条項に基づく解決金(20,000千円)を湯浅産業に支払う。

【一般財源増加倍理由】	湯浅産業解体撤去工事と、土壌汚染調査、境界復元、建物等解体監理業務等の委託。調停条項に基づく解決金(20,000千円)他の支払い、										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	19,759	雑排水汚泥保管・運搬業務、雑排水汚泥汲取り業務、土壌汚染調査、境界復元、建物等解体撤去監理業務								
14	使用料及び賃借料	4	借地料								
15	工事請負費	53,406	湯浅産業建物等解体撤去工事								
22	補償補填及び賠償金	22,808	湯浅産業敷地賃料相当使用損害金、原状回復に伴う復旧整備費、湯浅産業に対する解決金								
上記の合計		95,977	職員の人件費合計	0	事業費総合計	95,977	OK				

【上記予算の内の「重点事業」の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	湯浅産業撤退に伴う事業	湯浅産業建物等の解体撤去工事・敷地土壌汚染調査業務・敷地境界復元業務等を委託する。 解決金・賃料相当損害金・復旧整備費を支払う。	13	委託料	12,064
				15	工事請負費	53,406
				22	補償補填及び賠償金	22,808
					計	88,278
2					計	0

予算書ページ	192
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100			
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104270	穂高雑排水処理場		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,524				70	21,454
前年度	19,005				70	18,935
増減額	2,519	0	0	0	0	2,519

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	70							

【目的・効果】

【施設の概要】 穂高有明4878-1 S54年建築 RC造 2階建 1,441㎡

【目的】

・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥を受け入れ、処理を行う。(希釈後に下水道に放流している。)

【効果】

・市内(穂高地域)から収集される生活雑排水汚泥の適正な処理を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・処理場の管理・運営を委託する。
- ・定期的に処理槽の清掃を行う。
- ・施設の計画的な修繕を行う。
- ・遊休化した施設部分を他の用途(リサイクルセンター)に転用するため、建物の耐震診断と施設改修実施設計業務を委託する。

【一般財源増加理由】 施設改修実施設計業務の委託、橋爪区貸与備品の購入

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,406	管理用消耗品 灯油代 光熱水費 スクリーンポンプ他施設修繕費				
12	役務費	57	電話料				
13	委託料	11,026	ばっ気槽・貯留槽・沈殿槽の清掃業務委託、施設管理 作業委託、施設改修実施設計業務委託				
14	使用料及び賃借料	35	除雪機械借上げ				
18	備品購入費	4,000	会議テーブル他				
上記の合計		21,524	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,524	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	施設改修実施設計業務委託	遊休化した施設部分を他の用途(リサイクルセンター)に転用するため、処理棟の施設改修実施設計業務を委託する。	13	委託料	3,996
					計	3,996
2					計	0

予算書ページ	194
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	3	雑排水処理費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104280	柏原団地浄化槽施設管理		具体的な施策	河川・用水環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,850					1,850
前年度	2,305					2,305
増減額	455	0	0	0	0	455

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【施設の概要】 穂高柏原2806-40 S53年建設 RC造 2階建 126㎡

【目的】

・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。

【効果】

・施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・槽の清掃を行う。
- ・設備機器の修繕を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,327	消耗品 光熱水費 施設修繕費(調整槽ポンプ交換他)				
13	委託料	430	槽清掃業務 機械設備維持管理				
19	負担金補助 及び交付金	93	水質検査負担金				
上記の合計		1,850	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,850	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	194
--------	-----

重点項目番号	4-1	コード	10404100
		部・課・係等	市民生活部 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	2	清掃費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	4	廃棄物対策費		基本施策	快適な生活環境の整備
	事業	0104290	廃棄物対策費		具体的な施策	環境美化運動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,257				16,129	25,128
前年度	39,440				19,423	20,017
増減額	1,817	0	0	0	3,294	5,111

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	13	一般廃棄物許可申請等手数料		145									16,129
	16	地域振興基金利子		10,984									
	20	資源売却代		5,000									

【目的・効果】

【目的】

- ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。
- ・廃棄物処理施設等の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。

【効果】

- ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展と、ごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・5地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで、地域活動を支援する。
- ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理や、ごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。
- ・廃棄物処理施設の環境調査を実施し、生活環境の保全を図る。

【一般財源増加理由】 不燃物処分地の購入(穂高有明 2,211㎡)

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	605	環境部長会議出席謝礼						
9	旅費	129	職員旅費 弁護士相談						
11	需用費	60	環境調査用品 物品修繕費						
12	役務費	330	環境調査・検査料 測定機器定期検査料						
13	委託料	1,509	環境調査委託料 運転代行						
17	公有財産購入費	17,954	不燃物処分地の購入(穂高有明)						
19	負担金補助及び交付金	20,670	環境活動交付金						
上記の合計		41,257	職員の人件費合計	0	事業費総合計		41,257	OK	

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	環境活動交付金	各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理や、ごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。	19	負担金補助及び交付金	19,670
					計	19,670
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-1	コード	10405100			予算書ページ	64
		部・課・係等	市民生活部 豊科地域課 地域担当				
予算	款	2	総務費		総合計	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	1	総務管理費			主要施策	協働で築かれるまち
	目	1	一般管理費			基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科地域事業		画	具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
8,886	7,345	1,541	0	0	0	1,530
						7,356
						5,824
						1,535

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさとづくり基金利子	30							
	18	ふるさとづくり基金繰入金	1,500							1,530

【目的・効果】

【目的】

・地域の自治活動運営及び各団体の支援を行い、地域の活性化、市民と行政との協働推進を図るため。

【効果】

・地域の活性化及び市民との協働の推進が図られる。
・市民主体のまちづくりとなる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・豊科地域区長会を通じ、地域の意見・課題を聴取する中で情報の共有とともにその解決に向けた検討を図る。
・あづみ野祭り実行委員会への補助とともに実行委員として運営を支援する。
・アルプス花街道実行委員会に植栽事業の委託とともにその活動を支援する。

【一般財源増加理由】 豊科庁舎管理費を無くし、豊科地域事業として一本化を図ったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	345	区長会出席謝礼	25	積立金	31	ふるさとづくり事業基金利子
9	旅費	9	区長会研修職員同行旅費	27	公課費	7	公用車重量税
11	需用費	1,404	消耗品、公用車燃料費、物品修繕費、区長と市長の懇談 賄				
12	役務費	80	公用車車検				
13	委託料	1,760	アルプス花街道業務委託、区長会研修バス運転業務				
14	使用料・賃 借料	1,250	駐車場借地料				
19	負担金補 助・交付金	4,000	あづみ野祭り補助				
上記の合計		8,886	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,886	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2	コード	10405100		予算書ページ	354	
		部・課・係等	市民生活部 豊科地域課 地域担当				
予算	款	10	教育費		総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費			主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費			基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110385	豊科公民館管理費			具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	14,549	国支出金	県支出金	市債	その他	12,964
前年度	9,664				137	9,527
増減額	4,885	0	0	0	1,448	3,437

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	13	豊科公民館使用料	1,425								1,585
	20	豊科公民館雑入	160								

【目的・効果】
【目的】
 ・生涯学習の場として多くの市民が利用する公民館が、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を図るため。
【効果】
 ・学ぶ環境の整備により市民の学習活動を支援する中で様々な交流や連携が生まれ、併せてその成果を活かすことで活力あるまちづくり、誰もが住みたいまちづくりの建設に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・約2ヶ年に亘って行われた豊科公民館耐震補強・大規模改修工事が完成し、エレベーターや多目的トイレなどを新たに設け、利便性や機能性を向上させた。
 併せて改修工事により警備保障の一斉やエレベーターの新設などで保守管理業務委託が変更、広範になっていて、より安全かつ快適な施設管理と運営に努めていく。

【一般財源増加理由】 平成27年度は、工事による休館のため貸館・清掃業務委託及び施設設備に関わる各種保守点検業務委託も不要であったことによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	172	ホール貸館業務	19	負担金補助・交付金	4	防火管理者協議会
8	報償費	84	楽器使用準備謝礼				
11	需用費	4,822	灯油、光熱水費等				
12	役務費	485	電話料、ランドピアノ保守点検料等				
13	委託料	7,362	消防用設備点検、公民館清掃・貸館業務、警備保障等				
14	使用料・賃借料	254	コピー使用料等				
18	備品購入費	1,366	ホールスタッキングチェア、チェアポーター				
上記の合計		14,549	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,549	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2	コード	10405100		予算書ページ	354
		部・課・係等	市民生活部 豊科地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,853					5,853
前年度	6,781					6,781
増減額	928	0	0	0	0	928

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的かつ積極的に生涯学習活動に関われる機会を設け、様々な交流や連携の推進を図るため。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に参加をすることで地域でのつながりが深まり、地域間交流に寄与する。
 ・文化祭、芸能発表会等学びの成果の発表の場を提供することで生きがいとともに更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・文化祭・芸能発表会、体育大会等それぞれの催事開催の意義や目的を踏まえ、市民と行政が進める協働のまちづくりにも資するものとしていく。
 ・文化祭・芸能発表会、体育大会などについては、本番ばかりでなく準備・撤去にも多くの協力を得て運営する中で、安全管理にも留意しながら出展者や参加者が主体的に運営に関われる仕組みを引続き推進していく。
 ・公民館活動の意義や趣旨などを深める一助となるよう地区公民館の役員との定期的な交流の場や研修会等の開催や情報提供に努めていく。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	館長報酬				
8	報償費	1,610	地区公民館対抗球技大会協力者謝礼、文化祭・体育大会記念品・参加賞ほか				
11	需用費	426	公民館事業消耗品、運動会・文化祭プログラム印刷、体育大会競技用品ほか				
12	役務費	216	公民館総合補償保険掛金ほか				
13	委託料	270	文化祭設営・撤去業務委託、バス運転委託				
14	使用料・賃借料	531	運動会レンタルトイレ、球技大会・菊花展テントほか				
18	備品購入費	322	物置ほか				
上記の合計		5,853	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,853	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	66
--------	----

重点施策と推進政策	5-3	コード	10406100
		部・課・係等	市民生活部 穂高地域課 地域担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102110	穂高支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,660				164	23,496
前年度	30,991				21	30,970
増減額	7,331	0	0	0	143	7,474

特定財源の内訳	款	20	穂高支所雑入	金額	164	合計金額	164

【目的・効果】

- 【目的】・穂高庁舎維持管理に伴う管理費(光熱水費等)の経費節減。
(仮支所平成28年4月1日から7月下旬・新支所7月下旬から平成29年3月31日)
(仮支所 保健医療部介護保険課認定調査係 平成28年4月1日から1年間)
(新支所 安曇野市北部地域包括支援センター 平成28年8月1日から稼働)
- ・市民が快適・安全に利用しやすい環境を提供する。
- 【効果】・経常経費等の節減。
・市民サービスの向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高支所、仮支所、及び所管施設(豊里・宮城土地・福武書庫)及び、公用車の維持管理を行う。
- ・本庁部局との連絡調整
- ・借地等 庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)
公用車駐車場4,324㎡(地権者2名)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,758	臨時職員賃金	19	負担金	108	公衆トイレ加入者分担金(外トイレ)
8	報償費	334	区長会出席謝礼・区長会研修会				
9	旅費	31	区長会視察関係				
11	需用費	10,980	消耗品費・燃料費・灯油・施設物品修繕費・光熱水費				
12	役務費	1,610	電話料・公用車車検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	3,836	各種庁舎管理委託・福武書庫警備				
14	使用料及び賃借料	5,003	コピー機借上げ及び使用料・公用車等駐車場借地料				
上記の合計		23,660	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,660	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	新支所内所管外部署との調整	新支所 安曇野市北部地域包括支援センター 仮支所 保健医療部介護保険課認定調査係 (歳入・管理経費 歳出・光熱水費)	11	需用費	10,980
					計	10,980

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10406100			予算書ページ	66
		部・課・係等	市民生活部 穂高地域課 地域担当				
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進	
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち	
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進	
	事業	0102120	穂高支所等整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	335,499	国支出金	県支出金	市債	その他	27,999
前年度	291,402			248,800	28,848	13,754
増減額	44,097	0	0	58,700	28,848	14,245

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	旧合併特例事業債	307,500							

【目的・効果】
【目的】
 平成27年5月に本庁舎が竣工となり、穂高支所をコンパクトに改築することで維持管理経費の縮減を図る。また、来庁者の駐車場を敷地内に確保し、利用者の利便性の向上を図るとともに災害時の地域防災拠点としての機能を強化する。
【効果】
 ・市民が安全安心に利用できる施設となる。
 ・借り上げている3ヶ所の駐車場のうち2ヶ所を返却できる(削減経費...年間7,103千円)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 平成27年度 解体工事終了、建築工事の約30%終了予定。借地である職員駐車場・来庁者用駐車場の返還。
 平成28年度 建築・外構・駐車場整備工事は7月完了、新穂高支所8月供用開始予定。
【支所整備関係】
 ・委託料 6,790千円(事務事業委託・設計監理委託)
 ・工事請負費 324,090千円(支所建築工事・借地返却補償工事等)
 ・備品購入費 4,566千円
【借地駐車場関係】
 ・公用車駐車場(地権者2名)のうち、1地主分の返却交渉を行い、返却に伴う補償工事を実施する。

【一般財源増加理由】 H28年度は残工事70%の本体工事に着手するための増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	53	建築確認完了検査手数料	18	備品購入費	4,566	穂高支所備品購入等
13	委託料	1,768	事務事業委託料(基幹系・情報系機器等移設・あづみ野テレビ回線移設・重量物移転作業業務等)				
		470	竣工式典業務委託				
		2,608	建設工事施工監理業務				
		1,944	駐車場返却関連業務(境界復元等業務委託・補償工事等設計業務委託)				
15	工事請負費	321,390	穂高支所建築工事(本体工事一式・電気設備工事一式・機械設備工事一式)支所警備システム設置工事				
		2,700	借地駐車場返却補償工事(駐車場境界設置等工事・公用車駐車場返却補償等工事)				
上記の合計		335,499	職員の人件費合計	0	事業費総合計	335,499	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	穂高支所建築工事	本体工事一式 電気設備工事一式 機械設備工事一式	15	02工事請負費	321,390
					計	321,390
2	ハード	借地返却補償等工事	28年度以降も借用予定の公用車駐車場(地権者2名、A(2,231㎡大型倉庫あり)・B(2,093㎡駐車場のみ))について地権者1名分Bを29年度には返却するための補償工事を行う。	15	02工事請負費	2,700
					計	2,700

重点施策と 推進政策	2	コード	10406100		予算書ページ	356
		部・課・係等	市民生活部 穂高地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費		基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110395	穂高公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,867				936	16,931
前年度	16,752				850	15,902
増減額	1,115	0	0	0	86	1,029

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	600							
	20	公民館雑入	336							
										936

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・穂高会館の耐震補強改修工事が終了し、市民が安心して利用できる施設整備が図られ、更なる利用の促進を図る。

【効果】

- ・穂高会館の一層の利活用を図り教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託

【一般財源増加理由】

施設修繕費(消防設備)及び施設管理費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	6,892	管理用消耗品、燃料費、光熱水費、施設修繕費、物品修繕費	27	公課費	9	公用車重量税
12	役務費	844	電話料、防火対象物定期点検費、レンタルマット、各種検査手数料他				
13	委託料	8,815	会館管理・受付業務、日常清掃業務、各種機器保守点検業務、他				
14	使用料及び賃借料	1,041	コピー機借上げ料及び使用料、会館駐車場借地料他				
18	備品購入費	257	事業用備品購入(プロジェクター、ホワイトボード他)				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会				
23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金				
上記の合計		17,867	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,867	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2	コード	10406100		予算書ページ	358
		部・課・係等	市民生活部 穂高地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	5	社会教育費	主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	5	公民館費	基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110400	穂高公民館事業費	具体的な施策	生涯学習機会の充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,115				30	4,085
前年度	4,954				30	4,924
増減額	839	0	0	0	0	839

特定財源の内訳	款	20	公民館雑入	金額	30	合計金額
					30	

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各種公民館講座、球技大会等の開催により、子どもから高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的で開催し情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	613	球技大会運営協力者謝礼、文化祭出展、球技大会景品他				
11	需用費	447	研修会資料代、消耗品費、球技大会用品、文化祭パンフレット他				
12	役務費	194	公民館総合保障掛け金				
13	委託料	364	文化祭設営・撤去業務、公民館講座マイクロ運転業務他				
14	使用料及び賃借料	19	公民館講座用				

上記の合計 4,115 職員の人件費合計 0 事業費総合計 4,115 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10407100		予算書ページ	68
		部・課・係等	市民生活部 三郷地域課			
予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費	基本方針	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費	基本方針	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102130	三郷支所費	基本方針	具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
43,819	39,639	4,180	0	0	0	174
						174
						43,645
						39,402
						4,243

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	20	174					

【目的・効果】
【目的】
 ・三郷庁舎の維持管理、運用及び利用者の利便性の向上を図る。
【効果】
 ・市民及び職員が安心して快適に利用できる施設となる。
 ・三郷地域の行政の拠点施設としての機能を維持することができる。
 ・地域の活性化につながると共に、市民のふれあいの場をつくることできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・新しくなった三郷支所庁舎を維持・管理し、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える。
 ・三郷区長会を開催し、活動支援や市からの依頼を行う。また地域の要望や依頼を集約する。
 ・旧三郷支所内部の整理・廃棄を行い、支所解体への準備をする。
 ・地域の活性化と市民のふれあいの場として開催される、「ふるさと夏祭り」について補助を行う。

【一般財源増加理由】		支所移転に伴う付帯施設改修費および旧支所解体に伴う整理・廃棄費用							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	1,755	窓口業務臨時賃金		15	工事請負費	3,954	支所移転に伴う改修工事等	
8	報償費	230	区長会・地区行事		19	負担金補助及び交付金	1,500	ふるさと夏祭り補助金	
9	旅費	31	区長会研修旅費						
11	需用費	18,724	庁舎管理消耗品・燃料費・修繕費・光熱水費(冷暖房用電気代等)						
12	役務費	2,087	電話料・震度計移設						
13	委託料	11,144	庁舎設備等保守清掃・ごみ処理・除雪・支所移転に伴う経費						
14	使用料及び賃借料	4,394	印刷機等・除雪用車両・コピー費・庁舎敷地借地料						
上記の合計		43,819	職員の人件費合計	0	事業費総合計	43,819	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】									
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額	
1	ソフト	支所管理業務	支所維持管理に伴う主要な費用。光熱水費の節約と管理の委託により効率的で、市民に心地よい環境を整えることができる。			11	需用費	16,933	光熱水費
						13	委託料	4,535	保守委託・移設
							計	21,468	
2						計	0		

予算書ページ	358
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-5	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学び合うまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,875				564	9,311
前年度	10,220				97	10,123
増減額	345	0	0	0	467	812

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	三郷公民館使用料	480							
	20	三郷公民館雑入	84							
										564

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・生涯学習を支える環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・周辺に多くの公共施設が位置していることから、大人から子どもまで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として安全かつ使いやすい清潔な施設となるよう維持管理を行う。
- ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の整備を図る。
- ・貸館等事務(昼夜間)の業務委託
- ・公共施設予約システムを活用し、窓口事務の迅速化を図る。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・支所と公民館が一体となった複合施設として、地域住民にも期待されているため、利用者の意向・要望に沿えるようより一層のサービスに努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	529	消耗品費、修繕費				
12	役務費	261	電話料、防火対象物点検				
13	委託料	6,251	施設保守点検、公民館管理・清掃業務委託(シルバー人材センター)				
14	使用料及び賃借料	2,830	コピー機使用料、公民館敷地借地料				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協会				

上記の合計	9,875	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,875	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	公民館管理業務	公民館施設の貸館・管理・清掃をシルバー人材センターに業務委託することで、一年を通して円滑な運営並びに清潔な環境を保つことができる。	13	委託料	4,623	貸館・管理・清	
					計	4,623		
2								
					計	0		

予算書ページ	360
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-5	コード	10407100
		部・課・係等	市民生活部 三郷地域課 地域担当

予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学び合うまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,779				60	5,719
前年度	6,186				60	6,126
増減額	407	0	0	0	0	407

特定財源の内訳	款	20	三郷公民館雑入	金額	60	合計金額	60
							60

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。
- ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
- ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
- ・地区公民館役員会議を定期的で開催し、情報の提供及び共有を図る。
- ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	公民館長報酬				
8	報償費	1,764	地区公民館対抗スポーツ大会協力者謝礼、三郷祭記念品、運動会景品、三郷祭協賛謝礼				
11	需用費	431	事務用品、三郷祭プログラム印刷				
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金				
13	委託料	478	文化産業展・芸能発表会会場パネル運搬設営委託				
14	使用料及び賃借料	434	文化産業展机等、芸能発表会照明借上				

上記の合計	5,779	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,779	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷祭開催事業	伝統ある(昭和34年～)三郷祭を継続的に開催することで、生涯学習成果発表並びに世代を越えた交流と地域の活性化を図ることができる。	8	報償費	1,290	謝礼・記念品外
				11	需用費	146	プログラム印刷
				13	委託料	367	会場設営
				14	使用料及び賃借料	418	照明等借上
					計	2,221	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10408100		予算書ページ	70
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当			
予算	款	2	総務費	総合	基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	項	1	総務管理費	計	主要施策	業務の効率化
	目	1	一般管理費	画	基本施策	行政改革の推進
	事業	0102150	堀金支所費		具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
23,930	18,893	5,037	0	0	0	192
						192
						5,037

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	庁舎等自動販売機等設置(支所過年度分)	46							
20	堀金支所雑入	146								

【目的・効果】

【目的】

・堀金支所庁舎の維持管理業務を行う。改修後の庁舎は、支所・図書館・公民館・水道料金センターを備えた地域住民の交流学習等の拠点となる複合施設となるため、総合管理による設備管理、警備、清掃、敷地管理等を行う。

【効果】

・総合管理により、施設の長寿命化と維持管理コストの低減を図ることができる。これにより庁舎利用者の利便性および安全が確保でき、住民サービスの向上が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地域の総合窓口として役割がある支所と、地域公民館とが一体となり、地域固有の行事などをはぐみ、地域の問題解決に向け、市民と行政が協働して地域づくりを進める。

・平成27年5月まで支所地域課・危機管理課・議会事務局として事務所機能であったが、平成28年度からは支所地域課に図書館・公民館・水道料金センターを加えた複合施設となる。これにより土日夜間の開館時間及び来館人数の大幅増加により管理経費増が見込まれる。

〔一般財源増加理由〕 支所に図書館・公民館・水道料金センターを加えた複合施設となることで、土日夜間の開館時間及び来館人数の大幅増加により管理経費増が見込まれる

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,758	臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	900	堀金地域振興事業(ほりがね秋の振興祭り事業)
8	報償費	146	区長会出席謝礼、各種行事報償物品	27	公課費	17	公用車重量税
9	旅費	9	区長会研修同行				
11	需用費	10,910	事務用品、公用車燃料、来客用茶葉、庁舎修繕費、電気料、上下水道料、公用車車検費				
12	役務費	1,339	庁舎電話料、公用車車検手数料、自賠責保険料 庁内マット・モップレンタル料				
13	委託料	6,826	庁舎管理業務(電気設備・清掃業務・空調設備・夜間警備・エレベーター保守・自動ドア・消防設備・除草ほか)				
14	使用料及び賃借料	2,025	コピー・印刷機のリース料、保守料				
上記の合計		23,930	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,930	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	庁舎管理業務	複合施設となる支所庁舎の電気設備・電話・空調・警備・清掃業務などを総合管理することで、維持管理コストの低減を図る。	13	委託料	6,826
					計	6,826
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	3 - 2	コード	10408100	予算書ページ	360
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当		

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通して学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,131				540	6,591
前年度	7,573				481	7,092
増減額	442	0	0	0	59	501

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公民館使用料	420							
20	堀金公民館雑入	120								
20										

【目的・効果】

【目的】

・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。

【効果】

・学ぶ環境が整備されることにより市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支所・図書館・公民館が一体となった複合施設として、地域住民から期待されているため、利用者の意向・要望に沿えるよう、より一層のサービスに努める。

・施設・備品等の点検修理を行い環境整備を図る。

・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。

・利用者の意向・要望に沿えるよう案内及び情報提供を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	648	管理消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	196	電話料、ピアノ調律他				
13	委託料	5,940	警備業務、清掃業務、受付業務、印刷機保守、粗大ごみ処理料他				
14	使用料及び賃借料	265	印刷機・複合機借上料及び使用料				
15	工事請負費	78	機器撤去工事費				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費				
上記の合計		7,131	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,131	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公民館管理業務	公民館施設の貸館・管理・清掃をシルバー人材センターに業務委託することで、一年を通して円滑な運営並びに清潔な環境を保つことができる。	13	委託料	3,489
					計	3,489
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	3 - 2	コード	10408100	予算書ページ	362
		部・課・係等	市民生活部 堀金地域課 地域担当		

予算	款	1 0	教育費	総合	基本方針	4929
	項	5	社会教育費	計画	主要施策	生涯を通して学びあうまち
	目	5	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110420	堀金公民館事業		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,929				12	4,917
前年度	4,903				12	4,891
増減額	26	0	0	0	0	26

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	堀金公民館雑入	12							

【目的・効果】

【目的】

・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の活性化を図る。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化祭、芸能祭、スポーツ大会、及び運動会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的に行い情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【一般財源増加理由】 公民館事業謝礼の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	堀金公民館長報酬				
8	報償費	1,717	文化祭・スポーツ大会協力者謝礼、公民館講座講師謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品、運動会景品他				
11	需用費	456	公民館事業消耗品、スポーツ大会用品他				
12	役務費	216	公民館総合保障制度掛金、クリーニング代				
13	委託料	62	一周駅伝大会等バス運転業務、スポーツ大会花火打ち上げ				
上記の合計		4,929	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,929	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	堀金地域文化祭・芸能祭と堀金地域一周駅伝大会開催事業	伝統ある堀金文化祭・芸能祭を継続的に開催することで、生涯学習成果発表並びに世代を超えた交流を図る。また、通算52回目となる堀金一周駅伝大会を開催し、スポーツを通じて地域の繋がりを図る。	8	報償費	448	謝礼・記念品他
				11	需用費	100	消耗品
				13	委託料	40	バス運転業務
					計	588	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	5-3	コード	10409100			予算書ページ	70
		部・課・係等	市民生活部 明科地域課 地域担当				
予算	款	02	総務費		総合計	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		計画	主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費			基本施策	行政改革の推進
	事業	0102170	明科支所費			具体的な施策	業務の効率化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
52,527	17,760	34,767	0	0	0	120
						121
						34,768

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	庁舎等自動販売機設置	120							

【目的・効果】

【目的】

- ・経費節減と事務事業の効率化を図り健全財政に努める。
- ・市民と行政の協働を推進する。

【効果】

- ・庁舎等の適切な維持管理を図ることができる。
- ・市民と行政の協働の推進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・明科庁舎等行政財産を適正に維持管理し、市民が親しみやすい環境を整える。
- ・職員が働きやすい環境を整え、お客様をお待たせしない市民サービスを提供する。
- ・地域区長会の活動を支援する。
- ・支所配置公用車の管理(3台)。

【一般財源増加理由】 明科防災倉庫敷地を土地開発公社から買い取るため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,732	窓口業務	15	工事請負費	497	不要電柱撤去
8	報償費	202	地域区長会出席謝礼、各種行事お祝い	17	公有財産購入費	35,225	明科防災倉庫敷地(基金保有地買上)
9	旅費	46	地域区長会視察研修同行経費	27	公課費	66	公用車重量税
11	需用費	6,981	事務用消耗品外、公用車燃料代、来客等お茶、施設・公用車修理、光熱水費				
12	役務費	914	電話料、手数料(公用車車検他)				
13	委託料	6,614	庁舎保守点検等(空調、清掃、各設備)、大型バス運転業務				
14	使用料及び賃借料	250	庁舎内機器借上料、コピー機使用料、テレビ受信料				

上記の合計 52,527 職員の人件費合計 0 事業費総合計 52,527 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	4	コード	10409100		予算書ページ	186	
		部・課・係等	市民生活部 明科地域課 地域担当				
予算	款	04	衛生費		総合計	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	01	保健衛生費		計画	主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	07	飲料水供給費			基本施策	水環境の保全活用
	事業	0104190	飲料水供給費			具体的な施策	上水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,654				154	1,500
前年度	1,654				154	1,500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	13	使用料及び手数料	金額	154	合計金額	154

【目的・効果】

【目的】

・明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)において、住民の健康と生活環境を確保するため安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という。)により、飲料水を供給する。

【効果】

・安全で安心な飲料水の供給。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長)に委託する。
- ・浄水ろ過施設の洗浄点検を専門業者に委託し、安定した水質を確保する。
- ・各受益世帯の水道使用量を検針し、使用料金を徴収する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	389	電気料金				
12	役務費	39	電話料(テレメーター)				
13	委託料	1,226	飲料水及び供給施設管理委託料				
11							
12							
13							
14							

上記の合計	1,654	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,654	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	5-1、3-2	コード	10409100		予算書ページ	362
		部・課・係等	市民生活部 明科地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	05	社会教育費	主要施策	生涯を通じて学びあうまち	
	目	05	公民館費	基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110425	明科公民館管理費	具体的な施策	生涯学習施設の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,522	3,300	222	0	0	0	841
						2,681
						2,449
						10
						232

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	明科公民館使用料	600							
20	明科公民館雑入	241								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・新施設としての利点を生かし、気持ちの良いサービスを市民に提供し、情報発信の拠点となるように心掛ける。

【効果】

- ・情報発信の拠点となることにより、市内外各地から多くの利用者・参加者が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成28年4月からの改正条例の施行に伴い、施設利用方法等の周知を徹底し、不慮の事故等が発生しないよう管理する。
- ・施設・備品等の点検修理を行い、環境整備を図る。
- ・施設利用予約簿を備え、窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向・要望に沿えるよう、案内及び情報提供を行う。
- ・利用者の使用日誌への記帳を徹底させ、光熱水費の経費節減に努める。

【一般財源増加理由】 ・公民館条例改正に伴う委託料等の増と軽トラック車検に伴う費用の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	475	・管理用消耗品費:334千円 ・公民館物品修繕費:141千円				
12	役務費	267	・通信運搬費:156千円 ・モップ交換ほか手数料:84千円 ・軽トラック自賠責保険料:27千円				
13	委託料	2,267	・公民館管理シルバー委託料:2,217千円 ・印刷機保守点検業務委託料:50千円				
14	使用料及び賃借料	475	・コピー機ほか借上料:215千円 ・コピー機使用料:260千円				
18	備品納入費	31	・公民館業務用掃除機購入費:31千円				
27	公課費	7	・軽トラック重量税:7千円				

上記の合計	3,522	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,522	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	公民館管理業務	・明科公民館(休日及び夜間)の維持管理業務をシルバー人材センターに委託する 主に守衛、電話交換、施設・貸館管理、設備点検などを委託し、施設管理の効率化を行う	13	委託料	2,217	
					計	2,217	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	5-1、3-2	コード	10409100		予算書ページ	364
		部・課・係等	市民生活部 明科地域課 地域担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業		具体的な施策	生涯学習機会の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,889	3,847	42	0	0	0	40
						60
						20
						62

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	明科公民館雑入	40							

【目的・効果】
【目的】
 ・10周年記念行事を節目に、さらに継続して開催する事業を中心として、開催方法や事業内容などに多くの市民の意見を取り入れて実施する。
【効果】
 ・より多くの市民が興味を持って公民館事業に積極的に参加することにより、一層地域の繋がり(絆)や市民同士の交流による活発化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「明科いいまちつくろうかい!!(市民有志と地域課・公民館で組織する団体)」の活動の中で、明科地域の活性化を意識した内容での企画、運営を展開する。
 ・スポーツ大会等の企画、立案は、早期からスポーツ推進委員と連携・協力し、事業実施に向けた体制を作っていく。
 ・地区公民館役員を対象に、定期会議のほか「協働のまちづくり」に向けた研修会を区役員等と合同で開催し、さらなる地域づくりを図っていく。

【一般財源増加理由】 ・文化祭への参加者増による記念品代の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,478	・公民館長報酬:2,478千円				
8	報償費	958	・文化祭・スポーツ大会協力者労務謝礼:250千円 ・文化祭・スポーツ大会・運動会用記念品・景品代:708千円				
11	需用費	186	・事業用及び大会用消耗品費:186千円				
12	役務費	194	・公民館総合補償制度加入掛金:194千円				
13	委託料	73	・公民館講座等車両運行業務委託料:73千円				
上記の合計		3,889	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,889	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	あやめスポーツ大会・明科地域市民運動会と明科地域文化祭の開催	スポーツや運動を通じて地域の親睦、市民同士の交流、体力・健康づくりほかを図ることを目的に開催する また、日頃の生涯学習活動の成果を発表するため、文化祭を開催する	8	報償費	958
				11	需用費	100
				12	役務費	194
					計	1,252
2					計	0

福祉部

重点項目番号	2	コード	10501100	予算書ページ	118
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当		

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費		具体的な施策	地域福祉活動の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	449,151		13,905		2,071	433,175
前年度	434,363		13,837		1,446	419,080
増減額	14,788	0	68	0	625	14,095

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民生委員活動委託金	12,630	16	福祉基金利子	2,011	
15	民生委員協議会委託金	1,207	20	社会福祉雑入	60		
15	民生委員推薦会委託金	68					

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談などといった、市民の日常的問題、課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

- ・こういった事業を実施することで、いわゆる現代社会の弱者の立場にある人の安全や安心を確保し、これらの人たちが生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・本事業は上記目的を達成するため、以下各節の主な内容に記載するとおり多岐にわたっている。具体的な事業内容は各節の内容のとおり。

【一般財源増加理由】 職員増による人件費の増加による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	105	民生委員推薦会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	125,829	全国・県民児協負担金、社会福祉主事資格認定講座受講料、社会福祉協議会地域福祉推進事業補助、地区民児協補助及び交付金、市遺族会補助
8	報償費	19,347	福祉委員報償	25	積立金	2,012	福祉基金積立金利子
9	旅費	256	社会福祉主事資格認定講座、民児協視察研修				
11	需用費	696	事務用品、民生委員手帳、封筒印刷代(要支援者同意書用、福祉部分窓あき)				
12	役務費	3	白布等クリーニング代				
13	委託料	13,651	心配ごと相談、戦没者追悼式会場設営、婚活事業、大型バス運行				
14	使用料及び賃借料	945	災害時要援護者台帳システム使用料				
上記の合計		162,844	職員の人件費合計	286,307	事業費総合計	449,151	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市及び単位民生委員協議会運営	民生委員児童委員一斉改選に伴い、市及び単位民協の運営の充実を図り、スムーズな改選を目指す。	1	報酬	105
				8	報償費	19,263
				13	委託料	810
					その他	17,866
					計	38,044
2	ソフト	戦没者追悼式	戦没者追悼式を毎年継続して行うことにより、平和への希求を高める。	13	委託料	432
				19	負担金補助及び交付金	109
					計	541

重点項目番号	2		コード	10501100		予算書ページ	120	
			部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当				
予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成		
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち		
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進		
	事業	0103020	福祉医療費給付事業	画	具体的な施策	地域福祉体制の充実		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	572,819	国支出金	県支出金	市債	その他	361,601
前年度	611,121		223,136		5,280	382,705
増減額	38,302	0	17,410	0	212	21,104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	福祉医療費給付事業補助金	205,726							
20	福祉医療費貸付金元金収入	5,492								
	(地方消費税交付金・引き上げ分の地方消費)	189,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・乳幼児等、障害者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
 ・低所得者で医療費の負担が大きい方のために貸付制度がある。
【効果】
 ・子育て世帯、障害児者、1人親世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 **また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する**
 ・受給資格者に対し、保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
 ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプト毎500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(償還払い)
 ・医療機関での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し医療費を貸し付ける。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	35	事務用消耗品				
12	役務費	40,248	医療機関事務手数料				
13	委託料	4,875	国保連合会審査集計事務委託料				
20	扶助費	522,169	受給者に対する給付金				
21	貸付金	5,492	貸付制度利用者貸付金				
上記の合計		572,819	職員の人件費合計	0	事業費総合計	572,819	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	福祉医療費給付事業	乳幼児(～中学卒業まで)、障害者、母子、父子家庭の医療費自己負担分の給付により、安心した家庭生活が営める。	20	扶助費	522,169
					計	522,169
2	ソフト	福祉医療費貸付金	医療費の支払いが困難な貸付対象者に対し、無利息で貸付け、福祉医療費支給時に相殺。早期受診が躊躇なくでき、重症化を防ぐ。	21	貸付金	5,492
					計	5,492

重点項目番号	2	コード	10501100	予算書ページ	120
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当		

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合いえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103030	臨時福祉給付金給付事業		具体的な施策	地域福祉体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	372,213	372,213				0
前年度	113,389	113,389				0
増減額	258,824	258,824	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	臨時福祉給付金給付事業事務費補助金	24,213								
14	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業補助金	270,000								

【目的・効果】

【目的】

・消費税率の引上げに際し、低所得者に対し臨時的な給付措置を行う。

【効果】

・低所得者への影響の緩和を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 **また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する**

・対象世帯からの申請に対し、審査決定し、給付金を支払う。【全額国庫負担】

【対象者数】 基本分 16,000人 加算分対象者数 1,000人 年金生活者等支援対象者数 9,000人

【支給額】 基本分 1人当たり 3,000円

加算分 1人当たり 30,000円(障害者年金、遺族年金受給者)

年金生活者等支援分 1人当たり 30,000円

(平成27年度の臨時福祉給付金給付対象者のうち平成28年度中に65歳以上になる者)

【支給方法】 年度当初に年金生活者等支援分を給付後、9月以降に28年度分の臨時福祉給付金及び障害者・遺族年金受給者加算分を給付

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	職員手当	2,300	職員5名分 時間外手当				
07	賃金	6,356	申請受付・処理事務臨時職員賃金(7か月の短期雇用)				
11	需用費	632	事務用品、リーフレット等印刷費				
12	役務費	9,925	申請書等郵送料、口座振込手数料				
13	委託料	5,000	電子システム構築業務委託料				
20	扶助費	348,000	給付金				

上記の合計	372,213	職員の人件費合計	0	事業費総合計	372,213	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	臨時福祉給付金の給付	消費税率の引上げに際し、低所得者に対し臨時的な給付を行うことで、消費税引き上げの影響を緩和し、生活の支援を図る。	20	扶助費	348,000	
					計	348,000	
2					計	0	

重点項目番号 2		コード	10501100			予算書ページ	168	
		部・課・係等	福祉部 長寿社会課 福祉政策担当					
予算	款	3	民生費		総合計画	基本方針	穏やかに暮らせる街の形成	
	項	4	災害救助費			主要施策	認め合い支えあえるまち	
	目	1	災害救助費			基本施策	地域福祉の推進	
	事業	0103570	災害救助費			具体的な施策	地域福祉体制の充実	
単位:千円								
当初予算額		特定財源				一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他			
本年度	500					500		
前年度	500					500		
増減額	0	0	0	0	0	0		
特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額	
							0	
<p>【目的・効果】</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己の居住の用に供する家屋における火災の罹災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 罹災者の福祉の向上に寄与できる。 								
<p>【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> 火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円 被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達したとき 50千円 被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達したとき 30千円 								
【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
20	扶助費	500	火災の罹災者に対する見舞金及び弔慰金					
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK	
【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額	
1	ソフト	火災見舞金支給事業	見舞金を速やかに支給することにより、生活苦への不安が緩和され、罹災者の生活再建への意欲向上が期待できる。		20	扶助費	500	
						計	500	
2						計	0	

重点施策と 推進政策	1	コード	10501200		予算書ページ	130	
		部・課・係等	福祉部長寿社会課長寿福祉係				
予算	款	3	民生費		総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本	基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103130	老人福祉総務費		具体的	具体的な施策	生きがいづくりと社会参加の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	241,080		2,029		3,974	235,077
前年度	251,388		2,345		3,974	245,069
増減額	10,308	0	316	0	0	9,992

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	老人クラブ活動助成事業補助金	2,029				
20	市町村特別対策広報等補助金	3,974					

【目的・効果】

【目的】

高齢者福祉事業を実施する上での総務的な人件費等の費用の他、高齢者福祉充実のために連携が必要な各団体等への支援。

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・職員の人件費
- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会への運営補助金交付。
- ・社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助金交付。
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合への負担金支出。
- ・老人大学の委託方式による開催。
- ・福祉バスの運行委託。
- ・70歳以上の在宅高齢者に対し、市内7か所の保養施設の無料入浴券を4枚交付。
- ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	134	各地区敬老会御祝。福祉有償運送協議会出席謝礼。				
9	旅費	13	研修会参加用旅費。				
11	需用費	670	事務用品、参考図書費、ガイドブック印刷費。保養施設無料入浴券印刷。				
12	役務費	16	賞状筆耕料。				
13	委託料	9,221	老人大学開催委託費。福祉バス運行委託費。				
19	負担金補助及び交付金	44,722	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、福祉センター運営補助。松塩安筑一部事務組合負担金。				
20	扶助費	45,326	保養施設入浴券交付事業。介護慰労金支給。高齢者敬老祝い品。				
上記の合計		100,102	職員の人件費合計	140,978	事業費総合計	241,080	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	高齢者福祉推進団体支援	老人クラブ連合会、シルバー人材センター等高齢者の生きがいづくり活動、高齢者福祉の推進に寄与する団体への補助金交付。	19	負担金補助及び交付金	34,259	
					計	34,259	
2	ソフト	家族介護者介護慰労金支給事業	要介護3以上の高齢者を、年間180日以上在宅介護を行った家族に介護慰労金50,000円を支給。介護者の労苦を報いることにより高齢者福祉の増進を図る。	20	扶助費	33,500	
					計	33,500	

重点施策と 推進政策	1	コード	10501200		予算書ページ	132
		部・課・係等	福祉部長寿社会課長寿福祉係			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103140	在宅福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,905		1,619		11,062	33,224
前年度	45,615		1,619		10,750	33,246
増減額	290	0	0	0	312	22

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	1,575	20	配食サービス利用料	8,458	20	軽度生活援助利用料	254	
15	緊急宿泊事業補助金	44	20	生活管理指導利用料	240					
20	緊急通報システム利用料	1,687	20	生活管理短期宿泊利用料	423					
										12,681

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を支援することを目的とした事業。

【効果】

在宅高齢者の健康増進につながるにより、施設に頼らない在宅生活での継続が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス等高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。

・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業に対する補助金交付。

・所得、介護認定等一定の要件を満たし、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助。

・要介護3以上の認定を受けている高齢者に対して、500円分のタクシー利用券を年間で最大30枚交付。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	720	健康体操指導員派遣事業の講師謝礼。				
11	需用費	304	事務消耗用品、返信用封筒印刷代。				
13	委託料	29,226	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス事業他各種在宅福祉サービス事業委託料。				
19	負担金補助及び交付金	9,300	高齢者生きがいと健康づくり事業、健康長寿のまちづくり推進事業、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金				
20	扶助費	6,355	緊急宿泊支援事業、通院等外出支援事業、訪問理美容事業、生活管理短期宿泊事業扶助費。				

上記の合計	45,905	職員の人件費合計		事業費総合計	45,905	OK
-------	--------	----------	--	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	在宅福祉サービス事業	高齢者の在宅での生活を支援するための事業を実施。業者に委託し、緊急通報サービス、配食サービス事業等を実施。一定の条件を満たす高齢者にタクシー券を交付し通院時の外出支援	13	委託料	29,226	
				20	扶助費	6,355	
					計	35,581	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	1	コード	10501200		予算書ページ	134
		部・課・係等	福祉部長寿社会課長寿福祉係			
予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業	画	具体的な施策	生きがいづくりと社会参加の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
87,426	87,448	22	0	0	0	12,801
						74,625
						74,648
						23

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
12	全	老人入所措置費個人負担	12,800							12,801
		老人入所措置費個人負担	1							
		全満繰繰減分								

【目的・効果】
【目的】 心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所措置し、養護をするとともに、自立した日常生活が営めるよう援助することを目的とする。
【効果】 施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための訓練、支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・養護が必要な高齢者を、市が措置費を支払い養護老人ホームに入所措置を行う。また利用者及び扶養義務者からは、所得に応じて負担金を徴収する。
 ・入所に際しての判定会議を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	51	老人ホーム入所判定委員会出席謝礼。				
20	扶助費	87,375	養護老人ホーム措置費用。				

上記の合計	87,426	職員の人件費合計		事業費総合計	87,426	OK
-------	--------	----------	--	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	養護老人ホーム入所措置	在宅生活が困難であり、養護が必要な高齢者を、市が措置費を支払い養護老人ホームに入所措置を行う。施設入所によって安定した生活が送れる。	20	扶助費	87,375		
					計	87,375		
2								
					計	0		

重点施策と推進政策	1	コード	10501200		予算書ページ	134
		部・課・係等	福祉部長寿社会課長寿福祉係			
予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		具体的な施策	福祉施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
113,198	134,632	21,434	0	0	0	1,500
						36,802
						76,396
						38,302
						96,330
						19,934

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	豊科ふれあいホール使用料	250	20	高齢者福祉施設自販機電気料	157	20	総合福祉センター管理費等徴収金	18,323		
13	総合福祉センター使用料	1	20	高齢者福祉施設公衆電話料	1					

【目的・効果】

【目的】

高齢者の健康・福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、各種施設を管理、運営する。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができ、健康・福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 各種高齢者福祉施設の管理運営
- ・介護保険施設であるデイサービスセンター5施設(豊科、穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度により管理運営。
 - ・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営。
 - ・日帰り入浴施設である穂高老人保健センターは、指定管理者制度により管理運営。
 - ・高齢者集会施設(ふれあいホール)は、受付等の業務を一部委託しての管理運営。
 - ・三郷デイサービスセンターの空調改修工事。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	20	ふれあいホール駐車場除草謝礼。	19	負担金補助及び交付金	1,827	穂高老人保健センター温泉使用負担金他。
11	需用費	29,573	各施設光熱水費、小破修繕、施設管理用消耗品他。				
12	役務費	146	ふれあいホールピアノ調律、各施設玄関マット交換手数料、明科福祉センター汚泥汲み取り料他。				
13	委託料	62,707	各施設設備等管理委託料、施設指定管理委託料、明科福祉センター修繕工事設計委託及び工事監理委託料他。				
14	使用料及び賃借料	11,428	穂高老人保健センター、三郷福祉センター借地料、穂高老人保健センター排水処理施設使用料、温泉使用料他。				
15	工事請負費	7,455	三郷デイサービスセンター空調改修工事他				
18	備品購入費	42	ふれあいホール用ワイヤレスマイク。				

上記の合計	113,198	職員の人件費合計		事業費総合計	113,198	OK
-------	---------	----------	--	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	穂高福祉センター・三郷福祉センター管理運営事業	福祉センターの指定管理者制度による管理運営。 専門的且つ効率的な管理運営が行える。	13	委託料	30,104	
				14	使用料及び賃借料	3,273	
					計	33,377	
				15	工事請負費	7,312	
2	ハード	三郷デイサービスセンター設備改修工事	故障した空調設備の改修工事外。				
					計	7,312	

重点施策と 推進政策	2	コード	10502100		予算書ページ	120
		部・課・係等	福祉部福祉課障がい福祉担当			
予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
57,531	57,831	300	3,723	3,410		1,500
			3,124	3,111		1,410
			599	299	0	90
						48,898
						50,186
						1,288

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	3,723	20	障害者活動支援センター指定管理者納付金	600				8,633
	15	地域福祉総合助成金	1,549	20	障害者就労支援センター指定管理者納付金	900				
	15	地域生活支援事業補助金	1,861							

【目的・効果】

【目的】

- ・障害者活動支援センター：食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- ・B型事業所：就労や生産活動の機会を提供する。一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- ・地域活動支援センター：社会交流の促進等の便宜を供与することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- ・障がい児者のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家の6施設について指定管理の委託を行う。地域活動支援センターである、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家については指定管理委託料を支払う。
- ・穂高わたぼうしでは、コンセントの修繕工事を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	796	施設修繕費				
13	委託料	56,735	穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家の指定管理委託料				

上記の合計	57,531	職員の人件費合計	0	事業費総合計	57,531	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家の指定管理委託	6施設を安曇野市社会福祉協議会に指定管理施設として委託する。各施設の特質性を活かした事業を行ってもらうことにより、障がい者・障がい児の地域生活支援の促進を図る。	13	委託料	56,735	
					計	56,735	
2					計	0	

予算書ページ	122
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	10502100
		部・課・係等	福祉部福祉課障がい福祉担当

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	国支出金	県支出金	市債	その他	
1,316,628	1,232,020	654,518	327,258		450	334,402
増減額	84,608	41,987	20,992	0	0	21,629

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	障がい者入所措置個人負担金	450	14	障害児施設措置費(給付費)負担金	21,881	15	自立支援医療負担金	12,731	
	14	自立支援給付費負担金	607,175	15	自立支援給付費負担金	303,587				
	14	自立支援医療負担金	25,462	15	障害児施設措置費(給付費)負担金	10,940		(地方消費税交付金・引き上げ分の地方消費税)	190,000	982,226

【目的・効果】

【目的】

障がい者・障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害者総合支援法等に基づき、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。

【効果】

障がい者・障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【給付内容】

障害者福祉サービス等給付費(介護給付費、訓練等給付費、特定障害者特別給付費、障害者相談支援給付費、やむを得ない事由による措置費)・補装具費・高額障害福祉サービス費・障害児通所給付費(児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、相談支援給付費、特例障害児通所給付費、高額障害児通所給付費)・自立支援医療給付費(更生・育成・療養介護)

【費用負担】

基準額に対し、国:1/2、県:1/4、市:1/4

〔一般財源増加理由〕 利用者の個々のニーズに合わせる相談支援の充実や、利用者の増加、単価の増額により、費用の増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,319	相談支援専門員	20	扶助費	1,309,418	障害福祉サービス、自立支援医療、障害児通所給付
8	報償費	563	・育成医療の審査に係る医師への謝礼 ・障害福祉運営委員会の出席謝礼				
11	需用費	148	・利用者向けパンフレット ・書籍(追録)				
12	役務費	2,200	給付費審査に係る国保連の手数料				
13	委託料	239	システム改修費				
14	使用料及び賃借料	648	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
19	負担金補助金及び交付金	93	職員研修負担金				
上記の合計		1,316,628	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,316,628	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	自立支援給付	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい者、障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	1,265,655
					計	1,265,655
2	ソフト	障害児通所支援	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	43,763
					計	43,763

重点施策と 推進政策	2	コード	10502100		予算書ページ	122
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業		具体的な施策	相談支援体制の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,640					8,640
前年度	6,346					6,346
増減額	2,294	0	0	0	0	2,294

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
0										

【目的・効果】

【目的】

- ・障がい有する(疑われる)子どもの早期発見・早期支援(療育的支援を含む)
- ・乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援体制の構築
- ・支援に必要な情報が共有できるネットワークの構築

【効果】

- ・障がいの早期発見や相談体制の強化により、安心して生活できる環境を整備していく。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・本人、保護者、関係機関等からの個別相談及び心理等検査
- ・保護者を対象としたペアレントトレーニング(子育てサポートプログラム)の開催
- ・「遊びの教室」の事業実施(前年度健康推進課実施)による療育機会の早期提供
- ・ネットワーク構築に向けた他部署との調整

【一般財源増加理由】 健康推進課から「遊びの教室」事業が移行したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,203	子ども相談員賃金、遊びの教室担当保育士賃金	27	公課費	14	自動車重量税
8	報償費	1,188	遊びの教室作業療法士、心理相談員報償費、研修会講師謝礼				
9	旅費	147	研修旅費、研修会講師旅費				
11	需用費	692	消耗品費:心理検査用紙他、遊びの教室実費弁償 車両燃料代及び車両修繕費				
12	役務費	304	電話料 車両に係る手数料及び自賠責保険料				
18	備品購入費	50	遊びの教室等備品				
19	負担金補助及び交付金	42	研修参加負担金				
上記の合計		8,640	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,640	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	遊びの教室	乳幼児健診等の結果、運動発達・精神発達において経過観察が必要とされた児及びその家族を対象として小集団での遊び体験や親子・スタッフとのかかわりを通して発達を促す	7	賃金	1,870
				8	報償費	1,088
				11	需用費	200
					計	3,158
2	ソフト	相談支援事業	子ども相談員を配置し、相談支援を実施することにより保護者、関係機関の対象児に対する支援方法を習得し安心して子育てができる支援体制を構築する。	7	賃金	4,306
				18	備品購入費	50
					計	4,356

重点施策と 推進政策	2	コード	10502100		予算書ページ	124
		部・課・係等	福祉部福祉課障がい福祉担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	89,995	27,698	13,849			48,448
前年度	86,355	26,337	13,169			46,849
増減額	3,640	1,361	680	0	0	1,599

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	27,698				
	15	地域生活支援事業補助金	13,849				
							41,547

【目的・効果】
【目的】
 障害者総合支援法に基づき、障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。
【効果】
 障がい者・障がい児の基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業内容】
 ・理解促進啓発事業・自発的活動支援事業・相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・成年後見制度法人後見支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域活動支援センター機能強化事業・訪問入浴事業・日中一時支援事業・レクリエーション活動等支援・文化芸術活動振興・自動車運転免許取得、改造助成・障害支援区分認定等事業
【費用負担】
 基準額に対して国:1/2、県:1/4、市:1/4

【一般財源増加理由】 利用者の増、利用量の増加による増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,869	障害支援区分認定調査員	20	扶助費	26,691	・日常生活用具・成年後見制度利用 ・地域活動支援センター利用給付
8	報償費	826	・理解促進・啓発事業講師謝礼 ・手話奉仕員養成講座講師謝礼				
9	旅費	45	・手話通訳士特殊健康診断 ・施設入所者認定調査				
11	需用費	31	・理解促進・啓発事業、認定調査 ・手話奉仕員養成講座				
12	役務費	2,588	・手話通訳士特殊健康診断料・医師意見書 ・意思疎通支援事業				
13	委託料	50,741	・障害者相談支援事業・移動支援事業・日中一時支援事業 ・訪問入浴事業				
19	負担金補助金及び交付金	7,204	・レクリエーション活動等支援事業・文化芸術活動振興・自動車運転免許取得、改造助成、自発的活動支援事業・成年後見支援センター事業等				
上記の合計		89,995	職員の人件費合計	0	事業費総合計	89,995	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	理解促進・啓発事業	障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」を除去するため障がい者等の理解を深めるための研修・啓発を通じて地域住民への働きかけを強化することにより、共生社会の実現を図る。	8	報償費	94
				11	需用費	6
					計	100
2					計	0

重点施策と 推進政策	2	コード	10502100		予算書ページ	126
		部・課・係等	福祉部 福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業		具体的な施策	相談支援体制の強化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
11,628	10,447	1,181	374	187		
			357	178		
			17	9	0	0
						11,067
						9,912
						1,155

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	374							
15	地域生活支援事業補助金	187								

【目的・効果】
【目的】
 ・在宅の精神障がい者の社会復帰の促進と精神障がい者を抱える家族の精神的負担の軽減を図る。
 ・ひきこもり者支援についての方向性を探り、個別事案に関しては社会復帰の支援を実施する。(新規事業)
【効果】
 ・精神障がい者(ひきこもり者を含む)の社会復帰及び家族の負担軽減と支援方法の獲得を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・回復途上にある精神障がい者に対し地域や仲間との交流及び創作活動の場の提供により自立した社会生活の促進を図るための地域活動支援センター「ひめこぶしの家」の設置及び指定管理委託
 ・精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族同士の意見交換等による家族の精神的負担の軽減、精神障がい者が回復を促す暮らしやすい環境づくりのための家族教室の実施
 ・ひきこもり支援に関する知識及び対応方法を学ぶための研修会の開催と地域の実情の把握と個別支援

【一般財源増加理由】 新規事業としてひきこもり支援を実施するため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	936	ひきこもり支援臨時職員雇いあげ				
8	報償費	115	精神障がい者家族教室及びひきこもり支援講演会講師謝礼				
9	旅費	84	研修旅費、研修会講師旅費				
11	需用費	110	精神障がい者家族教室消耗品、指定管理施設修繕費				
13	委託料	10,373	指定管理委託料				
19	負担金補助及び交付金	10	研修会負担金				
上記の合計		11,628	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,628	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ひきこもり支援事業	ひきこもりに対する知識の普及等のための講演会の開催と今後行政としてひきこもり支援をどのように展開するか調査を実施する。また、個別支援のための相談体制を構築する。	7	賃金	936
				8	報償費	50
				9	旅費	20
					計	1,006
2	ソフト	ひめこぶしの家指定管理委託料	回復途上にある精神障がい者を対象に地域活動支援センターひめこぶしの家の指定管理委託を行い、創作活動、相談支援を実施し社会復帰に寄与する。	11	需用費	100
				13	委託料	10,353
					計	10,453

重点施策と 推進政策	2	コード	10502100		予算書ページ	126
		部・課・係等	福祉部福祉課障がい福祉担当			
予算	款	3	民生費	総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費	計画	主要施策	認め合い支え合えるまち
	目	1	社会福祉総務費	画	基本施策	障害者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		具体的な施策	障害福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
135,137	138,780	3,643	42,037	3,710		89,390
			41,073	3,970		93,737
			964	260	0	4,347

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	14	特別障害者手当負担金		42,037					45,747
	15	地域福祉総合助成金		3,263					
	15	特別児童扶養手当事務委託費		447					

【目的・効果】

【目的】

・障がい者等の誰もが生きがいをもって生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施すること。

【効果】

- ・団体に補助する事により、障がい者が個人活動だけではなく、目的を共にした団体でその活動を通じて社会参加できる環境創りができる。
- ・自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービス(タイムケア事業、外出支援事業、透析通院支援等)ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・れんげの家、やまびこ学園への運営補助の為に委託。
- ・障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会等)への補助金の交付。
- ・障がい者の外出を支援する、外出支援事業、ふれあいバスの旅事業への補助。
- ・障がい者の生活に扶助する、特別障害者手当・障害児福祉手当、タイムケア事業、重度心身障害者・児福祉金、透析通院支援等の実施。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,857	一般事務非常勤職員賃金	18	備品購入費	178	活字文字読上げ装置及び読上げコード作成ソフト
08	報償費	263	登録手話通訳者・要約筆記者現任研修会講師謝礼 特別障害者手当審査謝礼	19	負担金補助及び交付金	10,871	身体障害者療護施設さらの里建設負担金、障害者住宅等整備補助金、ふれあいバスの旅事業補助
09	旅費	44	県外研修会旅費	20	扶助費	105,452	特別障害者・障害児福祉手当、重度心身障害児・者福祉金、特定疾患見舞金
11	需用費	631	消耗品費・特別児童扶養手当事務消耗品 施設修繕費・身体障害者会館修理費				
12	役務費	142	市が行う講演会などへの手話通訳等派遣費				
13	委託料	13,581	れんげの家運営委託料、やまびこ学園運営委託料、 豊科身体障害者会館指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	118	窓口使用タブレットリース料				
上記の合計		135,137	職員の人件費合計	0	事業費総合計	135,137	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	障害者差別解消法対応業務	平成28年4月からの障害者差別解消法施行に伴い、窓口において視覚障害者・聴覚障害者に対応するための機材等を整備し、円滑な窓口業務対応に繋げる。	11	需用費	60
				14	使用料及び賃借料	118
				18	備品購入費	178
					計	356
2					計	0

重点施策と 推進政策	4	コード	10502200			予算書ページ	128
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当				
予算	款	3	民生費		総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費			主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費			基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			具体的な施策	相談業務などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,679	6,414				2,265
前年度	9,489	7,034				2,455
増減額	810	620	0	0	0	190
特定財源の内訳	款	14	生活困窮者自立相談支援事業負担金	金額	5,858	合計金額
		14	生活困窮者住居確保給付金負担金	金額	371	
		14	子ども学習支援事業補助金	金額	185	
					6,414	

【目的・効果】

【目的】

生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。

【効果】

個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自立相談支援機関(委託)による、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、将来において最低限度の生活を維持できることを目指す。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	52	中間教室非常勤職員(学校講師)休日出勤分 1,417円×3時間×6日×2人=51,012円				
13	委託料	8,131	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託				
20	扶助費	496	住居確保給付金				

上記の合計	8,679	職員の人件費合計	事業費総合計	8,679	OK
-------	-------	----------	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生活困窮者自立相談支援事業	まいさば安曇野に運営委託。 生活保護受給になる前に自立をしてもらうために、自立支援プランを作成しサービス提供を行う。早期の支援により自立を手助けすることができる。	13	委託料	7,811	
					計	7,811	
2	ソフト	子ども学習支援事業	将来生活困窮になる恐れのある不登校の児童を対象に学習支援のノウハウを持った大学生による学習支援を行う。不登校・貧困の連鎖を少しでも食い止めることができる。	13	委託料	320	
					計	320	

重点施策と 推進政策	4	コード	10502200		予算書ページ	166
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	909,651	国支出金	県支出金	市債	その他	276,405
前年度	917,026	612,796	8,750		11,700	281,541
増減額	7,375	625,375	8,940		1,170	281,541
		7,375	12,579	190	0	10,530

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	14	生活保護費国庫負担金	611,115	15	生活保護費県負担金	8,750					633,246
	14	被保護者就労支援事業負担金	1,365	20	生活保護支援貸付金元金収入	1,200					
	14	生活保護適正実施推進事業補助金	316	20	返還金及び徴収金	10,500					

【目的・効果】
【目的】
 ・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。
【効果】
 ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
 ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。
 ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,216	非常勤職員賃金 3人分	18	備品購入費	384	レセプト管理システム用PC、プリンタ等購入
8	報償費	558	嘱託医手当 2人分	20	扶助費	825,420	生活保護扶助費、就労自立給付金、ホームレス対策費
9	旅費	115	職員研修等旅費	21	貸付金	1,200	生活保護支援貸付金
11	需用費	1,576	参考図書、緊急避難所修繕、公用車燃料・修繕	27	公課費	33	公用車の自動車重量税
12	役務費	1,074	郵便料、電話料、審査手数料、車検外手数料				
13	委託料	2,246	レセプト点検委託、システム改修委託				
14	使用料及び賃借料	1,668	訪問支援システムレンタル料 889,056円 レセプト管理システム経常費用 777,600円				
上記の合計		839,490	職員の人件費合計 70,161	事業費総合計		909,651	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	生活保護扶助費	要保護者に対し生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	20	扶助費	824,320		
					計	824,320		
2								
					計	0		

予算書ページ	168
--------	-----

重点施策と推進政策	4	コード	10502200
		部・課・係等	福祉部 福祉課 生活支援担当

予算	款	3	民生費	総 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	生活保護費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費		具体的な施策	生活保護制度の適用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
82,943	94,879	11,936	47,514	2,781	0	716
						1,235
						9,637

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	生活保護費国庫負担金	47,514							
20	障害者就労支援センター電気料	500								
20	社会就労センター自販機電気料	216								

【目的・効果】

【目的】

・社会就労センター管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うこと。

【効果】

・民間のノウハウを取り込むことで、管理経費の削減やサービスの向上を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・社会就労センターの管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うため指定管理者へ管理運営に関する業務を委託する。
- ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
- ・各企業から1年を通じて安定的な仕事を確保する。
- ・利用者の確保と一般就労への支援を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	400	施設修繕費				
13	委託料	78,828	指定管理委託料				
15	工事請負費	2,415	明科社会就労センター作業室エアコン設置工事				
19	負担金補助及び交付金	1,300	社会就労センター福利厚生等事業への補助金				

上記の合計	82,943	職員の人件費合計		事業費総合計	82,943	OK
-------	--------	----------	--	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	社会就労センター指定管理委託	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ移行。事業の効率化・安定化が期待できる	13	委託料	78,828
					計	78,828
2						
					計	0

重点施策と推進政策	2-1	コード	10503100		予算書ページ	130
		部・課・係等	福祉部子ども支援課児童係			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業		具体的な施策	相談事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
29,098	29,212	114	14,967	5,546		2
			14,967	5,546		2
			0	0	0	0
						114

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	母子生活支援施設入所者負担金	2	14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	665				
14	母子生活支援施設入所図書負担金	11,050	15	母子生活支援施設入所県費負担金	5,525					
14	母子家庭自立支援給付金事業補助金	3,252	15	母子家庭等日常生活支援事業補助金	21					

【目的・効果】

【目的】

・DV被害者及びひとり親家庭への相談及び支援を行うことにより、安心で安全な生活ができる環境づくりを行う。

【効果】

・相談を行うことにより、重篤な事件を未然に防ぐ。

・安心で安全な生活環境を提供することにより、母子家庭等のひとり親家庭の早期自立ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・配偶者からの暴力に関するDV相談及び保護、自立に向けての支援

・ひとり親家庭の自立に関する相談及び支援

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,913	女性相談・母子自立支援員賃金				
09	旅費	95	内閣府主催研修会参加旅費、県外DV避難移送支援旅費、女性相談員研修参加旅費				
11	需用費	386	事務用品、緊急避難施設 清掃用具・灯油・光熱水費・修繕費、DV防止リーフレット・啓発カード印刷				
12	役務費	117	携帯電話料				
15	工事請負費	58	緊急避難施設ドアホン設置工事				
19	負担金補助及び交付金	10	母子自立支援員及び婦人相談員連絡協議会負担金				
20	扶助費	26,519	母子自立支援施設入所措置費、母子家庭高等技能訓練促進費、DV避難時緊急対策費用				
上記の合計		29,098	職員の人件費合計	0	事業費総合計	29,098	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	DV被害者等緊急避難施設整備	「緊急避難施設」を整備することにより、被害者の安全を確保する。	11	需用費	234
				15	工事請負費	58
					計	292
2					計	0

予算書ページ	140
--------	-----

重点施策と推進政策	2-1	コード	10503100
		部・課・係等	福祉部子ども支援課児童係

予算	款	3	民生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,030,503	2,005,944	24,559	1,178,216	240,147		1,105
	2,005,944	24,559	1,203,360	245,274		993
			25,144	5,127	0	112
						54,718

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	児童扶養手当国庫負担金精算分	1	15	児童手当県費負担金	235,267	20	児童扶養手当返還金	1,080		
14	児童手当国庫負担金	1,071,908	15	子ども子育て支援交付金	4,874					
14	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	15	児童福祉施設入所負担金判定委託金	6		(消費税交付金・引き上げ分の地方消費税)	280,000		

【目的・効果】

【目的】

- ・児童虐待防止、虐待の早期発見と要保護児童対策の強化をはかる。
- ・児童手当、児童扶養手当、子育て応援手当を支給することにより子育て世代への経済的支援を行う。

【効果】

- ・虐待防止及び虐待を早期に発見することにより、要保護児童の安全確保ができる。
- ・児童手当等の支給により経済的支援が充実され、よりよい子育て環境が維持と子育て世代の移住定住が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童相談所等の関係機関と連携した家庭児童相談事業の実施。
- ・児童手当法及び児童扶養手当法に基づく手当の支給。
- ・子育て応援手当実施要綱に基づく手当の支給。

〔一般財源増加理由〕 H27年度は「明許繰越」として別事業であった「子育て応援手当」に関する経費(40,422千円)を計上したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	9,369	家庭児童相談員、児童係事務非常勤職員賃金	20	扶助費	1,886,892	児童手当、児童扶養手当、子育て応援手当、子育て支援ショートステイ
08	報償費	126	子ども・子育て会議 出席謝礼	27	公課費	28	公用車重量税
09	旅費	70	要保護児童県外移送支援旅費 児童虐待防止研修参加旅費				
11	需用費	3,040	事務用品、参考図書、子育て支援ガイドブック印刷 公用車 タイヤ・燃料・修繕費				
12	役務費	529	公用車車検、点検手数料、自賠責保険料 子育て応援手当振込手数料				
13	委託料	16,719	ファミリーサポート事業委託料、子育て応援手当システム保守委託料、家庭児童相談システム構築委託料				
19	負担金補助及び交付金	83	児童虐待防止研修会参加負担金 家庭児童相談員連絡協議会負担金				
上記の合計		1,916,856	職員の人件費合計	113,647	事業費総合計	2,030,503	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	家庭児童相談システム構築	虐待通告や相談業務をシステム化することにより、ケース管理が一元化され、進行管理等の際児童相談所や関係機関との連携強化が図れる。	13	委託料	9,785	
					計	9,785	
2	ソフト	子育て応援手当支給事業	保育所等を利用せず、家庭内保育を実施している第2子以降の児童1人に対し、月額3,000円の手当を支給することにより、子育て世代の経済的負担を軽減させ、子育て世代の移住定住が期待できる。	13	委託料	584	
				20	扶助費	39,600	
					計	40,184	

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503100		予算書ページ	142	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課児童係				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		計画	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	児童福祉総務費			基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費			具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,210					6,210
前年度	11,330					11,330
増減額	5,120	0	0	0	0	5,120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・小規模公園の整備を行うことにより、児童の安全な遊び場の確保を図る。
- ・小規模公園の整備方針を策定し、公園管理の一元化を図る。

【効果】

- ・危険遊具の計画的な更新により、児童の遊び場としての安全なが確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成24年度からの6カ年計画により、安全点検の結果危険な遊具の更新工事を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	210	更新工事設計管理委託料				
15	工事請負費	6,000	小規模公園遊具更新工事				

上記の合計	6,210	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,210	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	144
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103280	公立保育園総務費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,382,958	1,317,877	65,081	5,519	32,770		551,592
			5,680	23,892		569,113
			161	8,878	0	17,521
						793,077
						719,192
						73,885

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	保育料督促手数料	37		その他	11,938					
14	子ども子育て支援交付金他	5,519								

【目的・効果】

【目的】

- ・安全安心の育児ができる環境を整えるため、保育所の適正管理運営を行う。
- ・保育士研修の実施と適正配置を行う。

【効果】

- ・未満児保育、時間外保育、障害児保育等の特殊保育を行い、またそれに適した施設等保育環境を整備することで、多様化する保育ニーズに対応することができる。
- ・研修により保育士の資質を向上させ、さらに適正数の保育士配置を行うことで安全で安心な保育を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・18保育園の保育運営事務を行う。
- ・18保育園の保育施設管理を行う。
- ・未満児保育、延長保育、障害児保育、一時預かり保育、病児病後児保育などの特別保育事業を実施する。
- ・保育所勤務の非常勤職員管理事務を行う。
- ・よりよい保育サービスを提供するため、保育士資質向上事業を行う。
- ・認可外保育施設児童処遇向上事業を行う。
- ・病児病後児保育事業の運営委託。

【一般財源増加理由】 保育士の処遇改善(短時間勤務職員の雇用)に係る賃金の増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,320	校医報酬	14	使用料及び賃借料	10,556	コピー機外借上料、印刷機外借上料、園児送迎タクシー外、保育園用地
07	賃金	679,429	臨時職員賃金(非常勤保育士外)、臨時賃金(代替保育士外)	18	備品購入費	7,020	パソコン 50台
08	報償費	8,596	子育て講演会、保育士資質向上研修会、歯科衛生士検診謝礼、保育協力員、保育に関する審議会、保育所入所支援委員会、給食委託業務審査委員会謝礼	19	負担金補助及び交付金	21,543	職員研修外、保育対策等促進事業、病児病後児保育事業認可外保育所等処遇向上事業、保育料第4子無料化事業
09	旅費	845	職員旅費、非常勤職員自家用車公務使用料、保育士資質向上研修会、保育に関する審議会				
11	需用費	1,893	参考図書代、保育士被服代、保育園ガイド外				
12	役務費	1,495	電話代、ピア/調律、賠償、賠償保険料以下				
13	委託料	22,245	市外保育業務委託				
上記の合計		755,942	職員の人件費合計	627,016	事業費総合計	1,382,958	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	長時間保育事業	労働形態の多様化に伴い、基本的な保育時間を超えて保育を行い、保護者の形態に合わせた子育て支援を行う。子ども・子育て支援法により、地域子ども・子育て支援事業に位置付けられている。	7	賃金	86,367
					計	86,367
2	ソフト	一時預かり保育事業	就学前児童で保育所に入所していない児童について、保護者が一時的に家庭で保育できない場合に、保育園で一時預かりを行う。子ども・子育て支援法により地域子ども・子育て支援事業に位置付けられている。	7	賃金	20,385
					計	20,385

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	146	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総 計 画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費			主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103290	公立保育園整備費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,031,606	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	515,670			899,300	70,000	62,306
増減額	515,936	0	0	361,300	103,000	51,370
				538,000	33,000	10,936

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	18	福祉基金繰入金	70,000								968,800
	21	保育所建設事業	596,000								
	21	施設整備事業債	302,800								

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るため老朽・狭隘化した園舎を改築し、未満児室・延長保育室を設置充実して保育環境整備を行う。

【効果】

・施設更新により、保育環境と耐震性能、防犯性能の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

アルプス保育園建設事業

・園舎本体工事は平成28年4月末、園舎竣工予定。第 期工事(旧園舎解体・外構・駐車場工事等)着手

明科南保育園建設事業:旧明科公民館等解体工事、敷地造成工事等、実施設計を実施。

三郷北部保育園建設事業:造成工事、実施設計業務完了後、園舎建設工事に着手。

南穂高保育園大規模改修事業:本体改修工事を実施する。

たつみ保育園建設事業:用地の購入、敷地造成設計業務を実施する。

【一般財源増加理由】 H27年度に支払う予定の工事費がH28年度支払になったためと整備事業に伴う用地購入費が増加したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,797	保育園建設関係事務補助	17	公有財産購入費	44,537	用地購入費
11	需用費	4,041	保育園建設関係事務用品	22	備品購入費	10,810	アルプス保育園用備品
12	役務費	190	中間検査手数料、土壌診断手数料 開発行為許可手数料等	22	補償補填及び賠償金	2,049	電柱移転補償
13	委託料	16,117	用地・敷地造成、周辺道路測量設計委託料 開発申請作成業務、不動産鑑定等				
13	委託料	49,425	工事管理業務、実施設計業務等				
14	使用料及び賃借料	888	仮設駐車場、土砂仮置場借地料				
15	工事請負費	901,752	園舎建設工事費、農地復旧工事費、建物解体工事費、敷地造成・周辺道路工事費等				
上記の合計		1,031,606	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,031,606	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	三郷北部保育園建設事業	造成工事の残工事及び実施設計を完了し、園舎建築工事を進める。 児童のための安全で快適な保育園整備となる。	12	手数料	70
				13	委託料	19,052
				15	工事請負費	296,030
					計	315,152
2	ハード	明科南保育園建設事業	候補地である旧明科公民館等の解体工事、またその後敷地造成工事に着手、園舎の実施設計を行い安全で快適な保育園整備を進める。	13	委託料	22,551
				15	工事請負費	153,732
				17	公有財産購入費	9,000
					計	185,283

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	146	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費			主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103300	私立保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	187,542	83,968	26,832		32,418	44,324
前年度	168,271	79,139	8,623		26,562	53,947
増減額	19,271	4,829	18,209	0	5,856	9,623

特定財源の内訳	款	金額		款	金額	款	金額		合計金額
		細節名称					細節名称		
12	保育料		32,418						143,218
			83,968						
			26,832						

【目的・効果】
【目的】
 ・子ども子育て支援法に基づき、民間の特定教育・保育施設（幼稚園、認定こども園、保育所）への子どものための教育・保育給付費（運営費）を負担し、未就学児に対する教育・保育給付を行う。
【効果】
 ・幼児期の教育・保育給付の場が確保され、子ども達の発達に応じた教育・保育の給付が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・民間の特定教育・保育施設（幼稚園、認定こども園、保育所）への子どものための教育・保育給付費（運営費）の交付事業
 ・民間保育所及び認定こども園への特別保育事業に対する補助金交付事業（障害児保育・1歳児保育・長時間保育）
 ・小規模保育改修費等支援事業（地域型保育事業に係る小規模保育事業の開設のための改修費用の助成）

【一般財源増加理由】 H27年度に支払う予定の工事費がH28年度支払になったためと整備事業に伴う用地購入費が増加したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	187,542	細萱保育園児童保育負担金、私立保育所特別保育事業補助金、認定こども園施設整備費補助金				

上記の合計	187,542	職員の人件費合計	0	事業費総合計	187,542	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子どものための教育・保育給付費負担金	子ども・子育て支援法に基づく、子どものための教育・保育給付費の負担	19	負担金補助及び交付金	126,130
					計	126,130
2	ソフト	小規模保育改修費等支援事業	3歳未満児の保育施設を確保するため、子ども子育て支援新制度による地域型保育事業の小規模保育事業の施設整備を支援し、ニーズに対する受け皿を確保する。	19	負担金補助及び交付金	44,000
					計	44,000

予算書ページ	146
--------	-----

重点施策と推進政策	2-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103310	公立保育園施設管理費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,324					30,324
前年度	30,070					30,070
増減額	254	0	0	0	0	254

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・18保育園の保育施設管理(施設修繕、遊具修繕、エアコン等器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等)を保育担当が把握することで、統一した管理が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・18保育園の保育施設管理(施設修繕、遊具修繕、エアコン等器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等)を行っているが、施設の老朽化等で修繕費に多くの金額がかかること、また、園児の安全や増加する未満児用の施設への対応に伴う工事等が必要となっている。

【一般財源増加理由】 児童が快適な生活を送るための施設改善に必要な工事が増加したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	4,547	施設修繕費3,887千円、物品修繕費660千円				
12	役務費	2,627	機器調整手数料等				
13	委託料	11,150	18保育園施設の管理委託料(消防設備点検他9,070千円、事務事業委託料(除雪業務等)2,080千円)				
15	工事請負費	12,000	保育園施設改修工事費				

上記の合計	30,324	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,324	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード				計	0
2	ハード				計	0

予算書ページ	148
--------	-----

重点施策と推進政策	2-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103320	公立保育園給食施設費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	331,017				22,809	308,208
前年度	340,304				22,809	317,495
増減額	9,287	0	0	0	0	9,287

特定財源の内訳	款	20	保育園職員給食代	金額	22,809	合計金額	
							22,809

【目的・効果】

【目的】

- ・児童に安心安全な給食を提供する。
- ・給食施設の衛生・安全点検を行う。

【効果】

- ・保育園給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
- ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・保育園給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
 Aグループ 西穂高保育園・北穂高保育園・穂高保育園
 Bグループ 有明の森保育園・有明あおぞら保育園・堀金保育園
 Cグループ 三郷東部保育園・三郷西部保育園・三郷南部保育園・三郷北部保育園
 Dグループ 豊科保育園・豊科南部保育園・たつみ保育園・アルプス保育園
 Eグループ 南穂高保育園・上川手保育園・明科南保育園・明科北保育園
- ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
- ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
- ・老朽化した備品の整備

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	186,751	食器、調理用品購入 器具修理 給食材料購入 施設・物品修繕、賄材料費等				
12	役務費	2,025	衛生検査等				
13	委託料	137,688	保育園給食室消毒業務委託、給食調理業務委託				
18	部品購入費	4,553	給食調理器具の購入				

上記の合計	331,017	職員の人件費合計		事業費総合計	331,017	OK
-------	---------	----------	--	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	給食調理業務委託	・保育園給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。	13	委託料	136,184
					計	136,184
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	148
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103330	豊科保育園費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,009					7,009
前年度	7,047					7,047
増減額	38	0	0	0	0	38

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼							
11	需用費	5,995	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等							
12	役務費	158	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料							
13	委託料	320	産廃収集運搬処理、昇降機メンテナンス							
14	使用料及び賃借料	52	コピー使用料							
18	備品購入費	454	網引ロープ、デジタルピアノ、お出かけ避難車、テレビ							
上記の合計		7,009	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,009	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	150	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103340	豊科南部保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,005					6,005
前年度	5,799					5,799
増減額	206	0	0	0	0	206

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】		光熱水費、必要備品の増加									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼								
11	需用費	5,402	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等								
12	役務費	159	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料								
13	委託料	78	産廃収集運搬処理、昇降機メンテナンス								
14	使用料及び賃借料	114	コピー使用料								
18	備品購入費	222	ラウンドピクニックテーブル2台、物置								

上記の合計	6,005	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,005	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	150	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103350	南穂高保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,533	6,829	296	0	0	0	0
6,533	6,829	296				

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	6,024	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	165	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	24	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	59	コピー使用料				
18	備品購入費	231	園児用机1台、椅子4脚、シューズボックス20人用2台、折りたたみチェア台車、シュレッダー				
上記の合計		6,533	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,533	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	152
--------	-----

重点施策と推進政策	2-1	コード	10503200
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103360	たつみ保育園費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,686					4,686
前年度	4,041					4,041
増減額	645	0	0	0	0	645

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】 老朽化及び不足分の備品(園児机、椅子)購入のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	3,805	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	126	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	94	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	36	コピー使用料				
18	備品購入費	595	園児用机7台、椅子28脚				

上記の合計	4,686	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,686	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	152	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103370	アルプス保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,178					5,178
前年度	4,434					4,434
増減額	744	0	0	0	0	744

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】 新園舎開園となり需用費(電気料)の増加が見込めるため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	4,757	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	111	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	249	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	31	コピー使用料				
18							

上記の合計	5,178	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,178	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	152	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103380	上川手保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,339					4,339
前年度	4,125					4,125
増減額	214	0	0	0	0	214

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

老朽化及び入園児増による備品購入費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	3,682	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	158	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	24	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	32	コピー使用料				
18	備品購入費	413	園児用机5台、椅子25脚、ロッカー、カラープリンター、2歳児用テーブル				

上記の合計	4,339	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,339	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	154	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103390	有明の森保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,009					6,009
前年度	6,178					6,178
増減額	169	0	0	0	0	169

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,644	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	251	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	65	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	19	コピー使用料				

上記の合計	6,009	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,009	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	154	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103400	有明あおぞら保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,173					6,173
前年度	6,334					6,334
増減額	161	0	0	0	0	161

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,672	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	308	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	49	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	114	コピー使用料				

上記の合計	6,173	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,173	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	156	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103410	西穂高保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,683					8,683
前年度	8,786					8,786
増減額	103	0	0	0	0	103

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	8,113	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	184	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	22	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	40	コピー使用料				
18	備品購入費	294	絵本整理棚3台、紅白ジャンボール1組				

上記の合計	8,683	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,683	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	156	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103420	北穂高保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,940					3,940
前年度	3,805					3,805
増減額	135	0	0	0	0	135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】 光熱水費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	3,702	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	132	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	17	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	14	コピー使用料				
18	備品購入費	45	キーボード				

上記の合計 3,940 職員の人件費合計 0 事業費総合計 3,940 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	158	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103430	徳高保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,181					8,181
前年度	8,308					8,308
増減額	127	0	0	0	0	127

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	7,321	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	195	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	25	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	24	コピー使用料				
18	備品購入費	586	園児用椅子60脚				

上記の合計	8,181	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,181	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
				計		0
2						
				計		0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	158	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103440	三郷西部保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,690					3,690
前年度	4,245					4,245
増減額	555	0	0	0	0	555

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	36	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	3,320	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	113	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	39	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	47	コピー使用料				
18	備品購入費	135	テレビ、屋内消火栓ホース4本				

上記の合計	3,690	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,690	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	160	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103450	三郷南部保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,578					5,578
前年度	5,513					5,513
増減額	65	0	0	0	0	65

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】 光熱水費等の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,202	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	143	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	78	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	43	コピー使用料				
18	備品購入費	82	折りたたみピクニックテーブル3台				

上記の合計	5,578	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,578	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計		0
2							
					計		0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	160	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103460	三郷東部保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,202					7,202
前年度	7,057					7,057
増減額	145	0	0	0	0	145

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】 光熱水費等の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	6,314	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	158	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	39	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	24	コピー使用料				
18	備品購入費	637	園児用机(2歳児用:3台、0・1歳児用:4台)、椅子(2歳児用:12脚、0・1歳児用12脚)、看護用折りたたみベッド				

上記の合計	7,202	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,202	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	162
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費		基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103470	三郷北部保育園費		具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,373					5,373
前年度	5,210					5,210
増減額	163	0	0	0	0	163

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】 光熱水費等の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	5,092	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	154	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	78	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	19	コピー使用料				

上記の合計	5,373	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,373	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	162	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計画	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費			主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103480	堀金保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,471					9,471
前年度	9,599					9,599
増減額	128	0	0	0	0	128

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	8,453	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	464	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	94	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	165	コピー使用料				
18	備品購入費	265	洗濯機、ペーパー(1人用1台、2人用1台)掃除機、カラープリンター、防災カーテン				

上記の合計	9,471	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,471	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	164	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算 目	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103490	明科南保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,309					5,309
前年度	5,175					5,175
増減額	134	0	0	0	0	134

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【一般財源増加理由】 光熱水費等の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	4,899	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	194	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	86	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	100	コピー使用料				

上記の合計	5,309	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,309	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	164	
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当				
予算	款	3	民生費		総合計	基本方針	2章 穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		画	主要施策	3節 安心を支えるまち
	目	3	保育所費			基本施策	1 子育て支援の充実
	事業	0103500	明科北保育園費			具体的な施策	保育施策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,273					5,273
前年度	5,424					5,424
増減額	151	0	0	0	0	151

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当保育園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な保育を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育園用品(画用紙・マジック等)の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費(灯油、電気、ガス、上下水道)の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【一般財源増加理由】 光熱水費等の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	子育て講演会等講師謝礼				
11	需用費	4,763	保育用品、衛生用品、医療用品、施設管理用消耗品、光熱水費、施設・物品修繕等				
12	役務費	281	電話料、機器調整、卒園証書筆耕料				
13	委託料	55	産廃収集運搬処理				
14	使用料及び賃借料	72	コピー使用料				
18	備品購入費	72	運動会用大玉1組				

上記の合計	5,273	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,273	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-4	コード	10503200			予算書ページ	328
		部・課・係等	福祉部 子ども支援課保育担当 穂高幼稚園				
予算	款	10	教育費	合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成	
	項	4	幼稚園費	基本方針	郷土を担う人を育むまち		
	目	1	幼稚園費	基本方針	学校教育の充実		
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費	具体的な施策	次世代を担う人づくりの推進		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,331				21,668	56,663
前年度	66,701					66,701
増減額	11,630	0	0	0	21,668	10,038

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	幼稚園給食費	5,652								

【目的・効果】

【目的】

・次世代を担う人づくりの推進を図る為、幼稚園の運営費を支出する。

【効果】

・幼稚園へ通園する園児に適切な幼児期の教育を受けさせる為、幼稚園が必要とする教材等の消耗品や給食材料、配布物の印刷費老朽化における電子ピアノの更新等、必要な支出を行うことにより園児が明るく健やかに成長できる様、幼児教育事業を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

穂高幼稚園は安曇野市唯一の幼稚園であり、幼児が環境とかかわって展開する具体的な活動を通して発達を助長していく学校である。定員は140名で、安曇野市全域から現在120名の園児が通園している。3歳児2クラス、4歳児2クラス、5歳児2クラス、計6クラスの編成となっている。
幼稚園において、プールの水漏れ給水管切り直し工事や北部給食センターからの切り離しによる生ごみ収集料の増。又、民営化による幼稚園給食業務委託・給食賄い材料費の新規事業の支出を行う。更には、子ども支援課保育担当において、幼稚園保育料の収納関連帳票等の増の支出を行う。
穂高幼稚園大規模改造工事実施中(H26.7月～H28.5月末まで)

〔一般財源増加理由〕 施設修繕費(700千円)、印刷製本費(125千円)、賄材料費(5,652千円)、生ごみ収集料(179千円)、幼稚園給食調理業務委託(6,888千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	253	内科・歯科・耳鼻科・眼科の各検診医師と薬剤師報酬等	14	使用料及び賃借料	125	コピー機使用料・印刷機借上料
4	賃金	29,311	臨時職員賃金(非常勤教諭外)、臨時賃金(代替教諭外)	18	備品購入費	285	電子ピアノ・画用紙整理棚・カラーマット
8	報償費	286	保護者向け講演会講師・園児向け講師・職員向け講師・子育て支援費・歯科指導歯科衛生士・卒園記念品等	19	負担金補助及び交付金	128	県公立幼稚園研究協議会・防火管理者協議会等・災害共済給付掛け金
9	旅費	346	国公立幼稚園研究協議会・巡回業務(家庭訪問・子ども病院等)PTA事業(親子バス遠足・そりあそび)等				
11	需用費	11,599	保育教材・燃料費・施設修繕費・光熱水費・印刷製本費・賄材料費等				
12	役務費	362	電話料・飲料水検査・プール水質検査・園児検尿・職員保菌検査・室内化学物質検査等				
13	委託料	8,057	消防設備点検・非常用自家発電設備点検・大型バス運転料・生ごみ収集料・幼稚園給食業務委託等				
上記の合計		50,752	職員の人件費合計	27,579	事業費総合計	78,331	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	幼稚園給食調理業務委託	幼稚園給食業務を総合的に行う。安心安全な給食調理を園児への提供とアレルギー対応食等を委託し、給食調理の効率化を行う。	13	委託料	6,888
					計	6,888
2	ソフト	給食材料費	幼稚園給食業務を総合的に行う。この給食費により給食を園児に提供することができる。	11	需用費	5,652
					計	5,652

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10503200		予算書ページ	328
		部・課・係等	福祉部子ども支援課保育担当			
予算	款	10	教育費	総合計	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	4	幼稚園費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	1	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110293	幼稚園総務費		具体的な施策	次世代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,243	1,372				4,871
前年度	8,600	1,706				6,894
増減額	2,357	334	0	0	0	2,023

特定財源の内訳	款	14	幼稚園就園奨励費	金額	1,372	合計金額	1,372

【目的・効果】

【目的】

・次世代を担う人づくりの推進を図る為、私立幼稚園への就園奨励費及び運営費の支出をおこなう。

【効果】

私立幼稚園の設置者が、通園しているお子さんをお持ちの保護者に対し入園料及び保育料を減免する場合に、市が国庫補助を受けながら補助金を交付し、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、市内における私立幼稚園の運営費の補助を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・幼稚園就園奨励費

国における補助基準を基に、補助金の交付を行う。

(「子ども・子育て支援新制度」による「施設給付型給付」を選択した認定こども園(4類)、幼稚園、保育園については、施設型給付費等を別に給付。)

・私立幼稚園運営費補助金

市内における私立幼稚園1園へ運営補助金の交付を行う。

幼稚園に関する事務については、平成27年度の組織改編に伴い、児童保育課所管とする予定。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	6,243	幼稚園就園奨励費及び私立幼稚園運営補助金				

上記の合計	6,243	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,243	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	幼稚園就園奨励費	国における補助基準を基に、補助金の交付を行い、保護者の負担軽減を図る。	19	負担金補助及び交付金	5,643
					計	5,643
					計	0

保健医療部

重点施策と 推進政策	2-1	コード	010701100		予算書ページ	170
		部・課・係等	保健医療部健康推進課健康推進係			
予算	款	04	衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費		具体的な施策	地域医療体制・救急医療体制・産期医療の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	320,334	国支出金	県支出金	市債	その他	310,334
前年度	296,397				10,000	296,397
増減額	23,937	0	0	0	10,000	13,937

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。松本医療圏救急医療体制を維持する。松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。また、不妊・不育症治療費用の一部助成を行う。災害時医療救護所装備品の整備を進める。

【効果】

地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。少子化対策の一環 災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
 在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
 病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。
 安曇総合病院建設費の一部を負担金として支払う。
 松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。【事業予算間の移動に伴い、皆増】
 不妊・不育症治療を行っている夫婦に対して医療費の助成を行う。【助成額の増額・対応件数の精査に伴う増額】
 災害時医療救護活動にかかわる事業の実施(医療救護所装備品等の購入など)

【一般財源増加理由】 松本地域出産子育て安心ネットワーク事業負担金の事業予算間移動に伴う増、および、不妊・不育症治療費助成額の増額と対応件数増として

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	147	新型インフルエンザ、医療救護活動マニュアル委員会委員の出席謝礼				
11	需用費	298	医療救護所医薬品・装備品、新興感染症備蓄品など				
12	役務費	251	保健福祉事業等総合賠償保険				
13	委託料	6,916	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託				
14	使用料及び賃借料	100	旧小倉診療所の借地代金				
18	備品購入費	1,399	災害時医療救護所装備品を購入				
19	負担金補助及び交付金	65,638	病院群輪番制負担金、安曇総合病院建設費一部負担金等、および、不妊・不育症治療助成				
上記の合計		74,749	職員の人件費合計	245,585	事業費総合計	320,334	OK

【上記予算の内の重点事業の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	在宅(休日)当番医制事業委託	休日等において、二次救急病院の負担軽減も視野に入れながら、地域のかかりつけ医が急病者の対応に当たり、地域の「安心」を提供する事業であることから、今後も継続が必要だと考えている。	13	委託料	6,743
					計	6,743
2	ソフト	不妊・不育症治療費助成	平成19年度より事業が開始し、申請状況の推移は、平成22年度が39人、平成23年度が34人、平成24年度が80人、平成25年度が105人、平成26年度が133人。不妊・不育症治療に取り組むご夫婦は増加傾向。	19	補助金	14,700
					計	14,700
3	ソフト	病院群輪番制病院運営事業(負担金)	松本市が松本医療圏における救急医療対応実施機関のとりまとめを行い、市は負担金を支払っている。市内の二次救急病院も少ないことから、松本広域圏における救急医療対応実施機関の確保は今後も必要不可欠である。	19	負担金	20,716
					計	20,716

重点施策と 推進政策	2-1	コード	010701100		予算書ページ	180
		部・課・係等	保健医療部健康推進課健康推進係			
予算	款	04	衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
6,481	4,406	2,075	2,737	1,368	0	1,000
			1,700	850		1,000
			1,037	518	0	0
						1,376
						856
						520

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	養育医療国庫補助金	2,737							
15	養育医療県補助金	1,368								
20	未熟児養育医療費徴収金	1,000								

【目的・効果】
【目的】
 未熟児の養育に係る医療費を市が負担する
【効果】
 未熟児の養育のために保護者の経済的負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認められた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。(25年度より県から移譲された事業)
 具体的手法...対象となった乳児の保護者は市の窓口にて医師の意見書や世帯所得状況などを提出する。市は世帯の所得状況や診療報酬支払基金から提出された内容を確認し、所得に応じて保護者に自己負担を徴収するとともに、基金等に支払する。自己負担額を除いて国1/2、県市1/4の事業。

【一般財源増加理由】 未熟児養育対象者数の増により試算した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	6	養育医療審査支払事務手数料				
20	扶助費	6,475	保険診療報酬による医療給付費				

上記の合計	6,481	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,481	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1
---------------	-----

コード	010701100
部・課・係等	保健医療部健康推進課健康推進係

予算書ページ	180
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	08	診療所費		基本施策	医療環境の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		具体的な施策	地域医療体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,449		1,368		10,406	10,675
前年度	22,282		1,454		10,405	10,423
増減額	167	0	86	0	1	252

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	夜間急病センター診療手数料	10,255							
13	夜間急病センター-その他手数料	150								
15	小児初期救急医療体制整備補助金	1,368								

【目的・効果】

目的

地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担う。

【効果】

二次救急医療の負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
安曇野市医師会館内にセンターを設置。医師会医師により夜間の診療を行う。

【一般財源増加理由】 医薬材料費等を見積精査し当初予算より計上した。

節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	12,474	診療医報酬						
07	賃金	4,875	看護師ほか						
08	報償費	63	運営委員会						
11	需用費	1,704	医薬品ほか運営雑品						
12	役務費	436	クリーニング代ほか						
13	委託料	1,615	医療事務ほか						
14	使用料及び賃借料	1,282	医師会館借り上げ						
上記の合計		22,449	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,449	OK		

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1-2	コード	10701200		予算書ページ	170
		部・課・係等	保健医療部健康推進課保健予防係			
予算	款	4	衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
63,009	46,413	16,596	0	0	0	100
						100
						16,596

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他衛生費雑入	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・健康づくりに関する各種計画の策定及び事業評価を行う。
 ・実務にあたる専門職員の人材確保と資質向上を図る。
 ・健康管理システム運用により市民の健康データを一元的に管理し、効果的な保健指導を実施する。
【効果】
 ・各種保健事業を実施するための環境が整備されることで、市民の健康を守り、健康長寿を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・関係機関との調整会議(食育推進会議、健康づくり推進協議会、歯科口腔保健部会、市内関係医療機関)を実施する。
 ・啓発のため講演会を開催(食育、健康づくり、精神保健)する。
 ・食育推進のため食改伝達講習会を委託する。
 ・健康管理システムをリースし、保守業務を委託する。

〔一般財源増加理由〕 臨時職員賃金増(保健師単価増及び保健師1名増)及び健康管理システム運用経費が情報統計課から移ったこと等による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	77	附属機関委員報酬	18	備品購入費	263	来庁者用自動血圧計
7	賃金	49,340	健康推進課全体の臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	317	職員研修会負担金
8	報償費	346	講演会講師謝礼、市内医師打ち合わせ会議謝礼、有識者会議委員出席謝礼				
9	旅費	203	職員研修会旅費				
11	需用費	2,605	参考図書、保健事業報告書作成、事務用品				
13	委託料	6,248	健康管理システム保守・改修業務委託料、食改伝達講習会委託料				
14	使用料及び賃借料	3,610	健康管理システムリース料				
上記の合計		63,009	職員の人件費合計	0	事業費総合計	63,009	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康管理システム運用業務	市民の健康データを蓄積し一元的に管理することで、効果的な保健指導を実施することができる。	13	委託料	4,740
				14	使用料及び賃借料	3,610
					計	8,350
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	2-1	コード	10701200		予算書ページ	178
		部・課・係等	保健医療部健康推進課保健予防係			
予算	款	4	衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	83,008					83,008
前年度	81,559					81,559
増減額	1,449	0	0	0	0	1,449

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・妊娠中、医療機関での継続した健康管理を行う。(妊婦健診・歯科健診)
- ・医療機関での乳児健診を行い、発達発育のチェックを行う。

【効果】

- ・妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。
- ・乳児疾病異常を早期発見し、早期治療に結びつける。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する。
(妊婦一般健康診査受診券...妊婦届時に計23枚発行する妊婦健診用のクーポン券。妊婦健診時に受診券を使用し、医療機関は補助以外を本人に請求する。国保連合会では医療機関から提出された受診券をもとに各自治体へ請求する。この事業は長野県内で行われているため、里帰り分娩等で県外で受診した場合は、対象者は一旦支払をしてもらい、補助対象となる金額を償還払いしている。)
- ・妊娠中に歯科健診が受診できるように、母子手帳交付時に歯科健診受診券を発行する。

【一般財源増加理由】

出生数が若干増加することが見込まれること、受診率を実績により見直したことによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	245	健康診査の受診券印刷費等				
13	委託料	80,564	妊婦・乳児一般健康診査の事務委託、医師等による健診委託料(歯科も含む)				
19	負担金補助及び交付金	2,199	里帰り出産等、県外での受診に対する助成				

上記の合計	83,008	職員の人件費合計	0	事業費総合計	83,008	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	妊婦・乳児一般健康診査委託料	上記【目的・効果】のとおり。	13	委託料	80,564
					計	80,564
2						
					計	0

重点施策と推進政策	1-2	コード	10701300	予算書ページ	172
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当		

予算	款	4	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり推進員費		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,554					2,554
前年度	2,274					2,274
増減額	280	0	0	0	0	280

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・健康に関する学習や実践をととして家族・地域へ健康活動の輪を広げていく。
【効果】
 ・地域レベルで、健康づくりのための知識の普及・啓発に関わる者の育成が進む。
 ・検診の受診率が向上する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・全体研修会、地域会、地区学習会により推進員の学習を深め自らの健康、家族の健康、地域の健康にて広めていく。
 ・市歌体操を作成活動するなかで、健康づくり推進員活動で市歌体操を体験、実行し自らの健康づくりに役立ててもらい、さらに地域で開催する地区学習会などでも市歌体操を取り入れた学習を可能な限り取り入れ普及の担い手の一翼となっていた。

【一般財源増加理由】		健康づくり推進員活動の周知・自覚、体操の普及のためのポロシャツ代金									
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	2,047	講師、推進員出席謝礼								
11	需用費	435	健康づくり推進員たより 地区材料費 推進員Tシャツ								
13	委託料	72	研修会参加バス運行運転手委託								
上記の合計		2,554	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,554	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】											
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果				節	節名称	金額		
1	ソフト	健康づくり講演会	生活習慣病に関する予防活動を学び実践するために、運動・栄養に関する講師を呼び講演会を開催する。				8	講師謝礼	40		
							計		40		
2	ソフト	健康づくり推進員による市歌体操普及	健康づくり推進員が学習会・全体会で市歌体操を学び地域に普及することや、それをととして健康づくり推進員を住民に理解していただくことを狙いとする。				11	消耗品費	400		
							計		400		

重点施策と 推進政策	1-2	コード	10701300	予算書ページ	172
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当		

予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生費総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費		具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
24,090	34,674	10,584	0	0	0	873
						23,217
						259
						34,415
						614
						11,198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公共施設目的外使用料	8	20	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	707				
13	保健センター使用料	26								
20	保健センター自販機電気料	132								

【目的・効果】

【目的】

・地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の効率的な維持管理を行う。

【効果】

・各種検診及び予防活動時に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・施設利用者の安全を確保するため、施設・設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。

・施設及び設備の計画的な更新を検討する。

・配置された公用車(23台)を適正に管理する。

・本庁舎開設による福祉部門職員の移転に伴い、27年6月から全保健センター職員が集結した。また、外部3団体も入居している。センター職員集約に伴い、人的・財政的にも効率的に事業等を行えることを目指している。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	14,341	事務用品、燃料費、光熱水費、公用車用品、修繕費					
12	役務費	3,287	電話料、公用車車検手数料、自賠責保険料					
13	委託料	4,218	施設清掃、消防用設備点検、警備、自家用電気工作物保安管理、自動ドア保守点検、除雪等業務委託料					
14	使用料及び賃借料	1,957	コピー機・印刷機借上料及び使用料					
18	備品購入費	55	健診用座卓					
19	負担金補助金及び交付金	4	防火管理者協議会負担金					
27	公課費	228	公用車重量税					
上記の合計		24,090	職員の人件費合計	0	事業費総合計	24,090	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ハード	施設修繕	支援センター内吊り戸(4か所)と外構雨水桝(3か所)の修繕		11	施設修繕費	583
						計	583
2							
						計	0

予算書ページ	174
--------	-----

重点施策と 推進政策	1-2	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	4	衛生費	合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	穏やかに暮らせるまち
	目	1	保健衛生費総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費		具体的な施策	各種健診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,054				145	4,909
前年度	7,037				305	6,732
増減額	1,983	0	0	0	160	1,823

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保健センター使用料	26							
20	保健センターコピー機借上料徴収金	119								

【目的・効果】

【目的】

・地域住民の健康づくり事業を行う場所としての施設の効率的な維持管理を行う。

【効果】

・各種検診及び予防活動時に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・施設利用者の安全を確保するため、施設設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ・施設及び設備の計画的な更新を検討する。

27年度から、この事業は、豊科、三郷、堀金の各保健センター管理費と明科総合福祉センター管理費をまとめている。豊科ふれあいホール及びサントピアの構内全体の管理と、堀金・明科の総合福祉センター管理(一部、保健センター部分を含む)については長寿社会課へ移管となったため、主な管理経費も長寿社会課へ移った。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	1,303	施設管理用品、修繕費、燃料費、光熱水費(三郷)				
12	役務費	762	電話料、クリーニング代ほか、医療機器運搬料				
13	委託料	2,567	施設清掃、消防用設備点検、警備、自動ドア保守点検、エレベーター保守管理(豊科)等業務委託料 廃棄物処分料				
14	使用料及び賃借料	360	コピー機借上料及び使用料				
18	備品購入費	62	健診用テーブル				

上記の合計	5,054	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,054	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	保健センター管理業務	各保健センターの維持管理を行う。主に清掃・警備・自動ドア等の保守点検を行う。	13	委託料	2,567
					計	2,567
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1-2	コード	10701300			予算書ページ	174
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当				
予算	款	4	保健衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	保健衛生総務費		主要施策	穏やかに暮らせるまち	
	目	1	保健事業		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	0104070	保健事業		具体的な施策	各種検診などの充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	77,504	国支出金	県支出金	市債	その他	70,349
前年度	71,739				6,950	64,289
増減額	5,765		0	0	50	6,060

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	がん検診推進事業補助金	255				
20	成人検診徴収金	6,900					

【目的・効果】
【目的】
 ・壮年死亡の減少や健康寿命の延伸に向け、がん検診やその他検診を実施する。
【効果】
 ・検診等の受診により自らの健康を維持していくことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・がん検診(胃・大腸・乳房超音波・マンモグラフィ・子宮頸部・肺がんCT)
 ・その他検診(結核・骨・歯科検診)
 ・手法 がん検診受診率向上をめざし検診体制の検討や見直し、受診勧奨通知の送付等を行う。

一般財源増減理由 事務委託料、医務委託料において1件当たりの単価の値上げによる。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	771	成人検診時の看護師・歯科衛生士等賃金				
8	報償費	810	歯科検診歯科医師謝礼等				
11	需用費	1,909	検診用封筒、勸奨八万キ作成費、医薬材料費、検診用消耗品				
12	役務費	166	検診クーポン券等郵送料				
13	委託料	73,728	検診通知作成費、検診委託料				
19	負担金補助及び交付金	120	女性がん検診助成				
上記の合計		77,504	職員の人件費合計	0	事業費総合計	77,504	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	がん検診受診勧奨通知	各種がん検診の受診率向上のため、受診申込者通知、未受診者通知を適宜発送し受診勧奨につなげていく。	11	印刷製本費	290		
					計	290		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	1-2	コード	10701300		予算書ページ	176
		部・課・係等	保健医療部健康推進課健康支援担当			
予算	款	4	衛生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	健やかにくらするまち
	目	1	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業		具体的な施策	各種検診などの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,784		1,400		307	8,077
前年度	11,219		3,795		307	7,117
増減額	1,435	0	2,395	0	0	960

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	保健事業補助金	1,400				
20	健康診査徴収金	307					

【目的・効果】
【目的】
 ・健康診査を実施し、健診結果に基づく保健指導等を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。
【効果】
 ・一人一人の健診結果に基づく保健指導により、生活習慣病の発症リスクを確認し、個人に合った生活改善の方法を知ることができる。また、生活改善により、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・健康増進法に基づく事業を行う。
 健康相談
 健康教育
 保健指導
 肝炎ウイルス検診等
 ・国保特定健診、特定保健指導
 ・若年者健診

〔一般財源増加理由〕 肝炎ウイルス検診対象者減少による補助金額の減少

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	臨時賃金	207	健康体操補助者外82千円 若年健診歯科健診122千円				
8	報償費	290	講師謝礼50千円 若年者健診歯科健診240千円				
11	需用費	983	フードモデル外健康相談・医薬材料・参考図書・健康体操教室・特定保健指導等769千円、若年健診お知らせ通知外印刷製本214千円				
12	役務費	577	肝炎ウイルス検診通知577千円				
13	委託料	7,727	検診通知作成外事務委託料1,065千円、若年者健診・特定健診・肝炎検診等医務委託料6,662千円				
上記の合計		9,784	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,784	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	若年者健診	20～39歳の若年者を対象として、生活習慣病予防のための健康診査を実施し、健診結果に基づいた保健指導を行うことで、生活習慣を見直すきっかけをつくり、生活習慣病の発症予防につなげる。	8	医師等労務謝礼	240	
				13	医務委託料	3,092	
				13	事務委託料	43	
					計	3,375	
2	ソフト	節目肝炎ウイルス検診	節目年齢者に受診勧奨を行い、肝炎ウイルス検診を行い、肝炎ウイルスの保有状況を把握し、健康障害の回避、症状の軽減、進行の遅延を図る。	12	通信運搬費	577	
				13	医務委託料	3,496	
				13	事務委託料	1,021	
					計	5,094	

予算書ページ	176
--------	-----

重点施策と推進政策	1-2	コード	10701300
		部・課・係等	保健医療部 健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	01	保健衛生費		主要施策	健やかに暮らせるまち
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種		具体的な施策	予防活動の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	253,643					253,643
前年度	233,964					233,964
増減額	19,679	0	0	0	0	19,679

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的・効果】
 予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知をおこなう。
 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。
 A類(個人負担なし):二種混合(DT)、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、インフルエンザ菌b型(Hib)、小児用肺炎球菌、4種混合、水痘、子宮頸がん
 B類(個人負担あり):高齢者インフルエンザ(1,000円)、高齢者肺炎球菌(2,000円)

【一般財源増加理由】		高齢者インフルエンザワクチンが変更となり、委託料が一人当たり650円増額。また、65歳以上の高齢者人口も増えているため増加。									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	129	予診票封入作業臨時職員								
9	旅費	18	研修会参加								
11	需要費	1,791	予診票印刷、封筒作成、パンフレット購入								
13	委託料	251,221	個別予防接種委託料								
20	扶助費	484	自己負担等扶助(生活保護、県外医療機関での接種等)								
上記の合計		253,643	職員の人件費合計	0	事業費総合計	253,643	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容及効果	節	節名称	金額
1	ソフト	高齢者インフルエンザ予防接種	27年度にワクチン内容が3価から4価となった。これにより効果は上がるがワクチン単価も上がり、委託料も1件4,085円から4,735円となった。(自己負担1,000円)	13	委託料	79,162
					計	79,162
2					計	0

重点施策と 推進政策	2 1	コード	10701300		予算書ページ	176
		部・課・係等	保健医療部健康推進課健康支援担当			
予算	款	4	衛生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,283					21,283
前年度	21,839	180	180			21,479
増減額	556	180	180	0	0	196

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	細節名称		細節名称		細節名称		

【目的・効果】

【目的】

・すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。

【効果】

- ・保護者が子供の月齢に応じた発達、生活リズムや栄養、歯科口腔保健等が理解できる。
- ・健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等をつなげる。
- ・育児に対する不安を軽減し、産後うつや虐待等の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・近年、若年妊婦やシングルマザーなどの社会的基盤の弱い世帯も増加しているため、母子手帳交付時は専門職による面接や相談を行い、出産後の背景などを確認する。
- ・乳幼児健診や相談、教室などの実施。
- ・乳幼児健診や教室時に生活リズムや発達、栄養や歯科口腔等の個別指導の実施
- ・フォローが必要な子どもに対しては個別相談・訪問を行うほか、専門医によるクリニック、遊びの教室などにつなげる。
- ・保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連絡をしながら対応する。
- ・保育園・小中学校でのフッ化物洗口の実施

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,160	母子健診・相談事業時の看護師等の臨時賃金				
8	報償費	10,084	母子健診・相談事業時の医師、歯科医師等の謝礼				
11	需用費	4,435	検診、フッ化物洗口、教室用の医薬品・事務用品、パンフレット作成費				
13	委託料	504	フッ化物洗口薬剤師調剤委託				
18	備品購入費	100	幼児健診用体重計				

上記の合計	21,283	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,283	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	育児支援相談	母親の孤立化や育児不安による虐待防止を目的に個別支援を行う。	8	報償費	200	
					計	200	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	2 1	コード	1070130		予算書ページ	178
		部・課・係等	保健医療部健康推進課健康支援担当			
予算	款	4	衛生費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	保健衛生費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	母子保健衛生費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0104120	妊産婦・新生児訪問指導事業		具体的な施策	出産・育児に対する支援の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,287	756	756			1,775
前年度	3,235	753	753			1,729
増減額	52	3	3	0	0	46

特定財源の内訳	款	14	子ども子育て支援交付金	金額	756	合計金額
		15	子ども子育て支援交付金	金額	756	

【目的・効果】
【目的】
 ・安心して妊娠・出産・育児を行うため、様々な悩みや不安が解消できる。
【効果】
 ・出産育児に対する不安を軽減し、安心安全な出産ができる。
 ・児の発達発育を支援するとともに、育児に対する不安を軽減し虐待の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・妊婦訪問の実施。特に若年、高齢出産やハイリスクの妊婦等を対象とし、保健師・助産師が訪問を行う。
 ・新生児訪問の実施。出生届が出されてからできるだけ早期に全員の訪問指導を目指し、児と母親等の状況を把握するとともに、母子の環境(初産、社会的背景、母の状況など)に応じて、適切な助言や技術的支援、関係機関との連携を行う。

【一般財源増加理由】 帳票(OCR用紙)印刷が現課対応となったため増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	2,604	助産師訪問指導				
11	需用費	683	指導用のパンフレット作成費、発達チェック用品購入費等				

上記の合計 3,287 職員の人件費合計 0 事業費総合計 3,287 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	妊産婦・新生児訪問指導	妊産婦・新生児に訪問することで、育児不安を軽減し、健やかな発達の支援ができる。	8	訪問指導	2,604		
					計	2,604		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100	予算書ページ	136
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当		

予算	款	3	民生費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	0103180	介護保険対策費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,209,992	5,425	3,159			1,201,408
前年度	1,210,824	30,000	395			1,180,429
増減額	832	24,575	2,764	0	0	20,979

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	低所得者保険料軽減国庫負担金	5,425							
15	低所得者保険料軽減県負担金	2,712								
15	介護保険事業費補助金	447								

【目的・効果】

【目的】

介護保険特別会計への市負担分及び事務費を繰出し、介護保険の円滑な運営を図る。
 介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険の円滑な運営を図る。
 介護保険特別会計への低所得者の保険料軽減を目的とした繰出しを行う。

【効果】

介護保険事業が円滑に運営される。
 施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する。
 ・介護保険の制度改正に伴い低所得者の保険料軽減の為の繰出金が本年度より当初予算に加わった。

【一般財源増加理由】 ・介護保険給付費の伸びによる繰出し金の増加及び、低所得者保険料軽減のための繰出し金の増加による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	11,176	窓口対応職員・徴収事務職員・保健師(代替職員)				
13	委託料	234	認定調査係り、事務所警備委託料				
19	負担金補助及び交付金	4,597	社会福祉法人等利用者負担額助成、生活支援事業整備				
28	繰出金	1,193,985	介護保険特別会計繰出金(事務費分、給付費分、保険料軽減強化分)				
上記の合計		1,209,992	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,209,992	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702300		予算書ページ	136
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	0103190	在宅介護福祉事業		具体的な施策	在宅福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
31,719	30,480	1,239	0	0	0	0
						31,719
						30,480
						1,239

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援を目的とする。

【効果】

当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、肉体的、精神的な負担軽減を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・介護保険特別会計で実施する地域支援事業に対する一般会計からの繰出金の支出。

・家族介護者を支援するため家庭介護用品購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。

【一般財源増加理由】 地域支援事業の拡大による地域支援事業費増額に伴う繰出金の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	346	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費				
20	扶助費	11,036	家庭介護用品購入助成費				
28	繰出金	20,337	地域支援事業分についての介護保険特別会計への繰出金				

上記の合計	31,719	職員の人件費合計	0	事業費総合計	31,719	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100			予算書ページ	130
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	民生費		総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		計	主要施策	安心を支えるまち
	目	1	社会福祉総務費		画	基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103120	国保会計繰出金			具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	736,436	86,931	288,507			360,998
前年度	557,239	33,820	250,787			272,632
増減額	179,197	53,111	37,720	0	0	88,366

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保険基盤安定負担金	86,931				
15	保険基盤安定負担金	288,507					

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰出す。
【効果】
 ・国民健康保険事業で必要とする費用を繰出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

〔一般財源増加理由〕 国民健康保険事業の制度改正と事業実施における経費が増加しているため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	736,436	国保特別会計への繰出金736,436千円(内訳:保険基盤安定事業500,585千円、出産育児一時金26,600千円、財政安定化事業138,052千円、精神給付金22,000円、事務費49,199千円)				
上記の合計		736,436	職員の人件費合計		事業費総合計	736,436	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	民生費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	0103200	後期高齢者医療事業		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,179,592		175,924		5,865	997,803
前年度	1,127,699		161,643		10,318	955,738
増減額	51,893	0	14,281	0	4,453	42,065

単位:千円

特定財源の内訳	款	15	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	金額	175,924	合計金額
		20	市町村特別対策広報等事業補助金	金額	5,865	

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック受診者に対し受診費用の一部の助成を行う。
 ・後期高齢者医療保険を運営している長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく市負担金の支払い、及び、後期高齢者医療特別会計への繰出しを行う。
【効果】
 ・事業実施により、身体機能の保持と疾病の早期発見・早期治療を促し、後期高齢者医療費の削減が見込まれる。
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も安定的に維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・後期高齢者医療人間ドック助成の実施(助成方式、償還払い方式)
 ・療養給付費負担金:長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支出をする。
 ・繰出金 保険基盤安定繰出金 事務費繰出金 を 繰出計画に基づき後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。

〔一般財源増加理由〕 コンビニ収納システム関係事務費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	13	人間ドック等受診券用紙(13千円)				
13	委託料	10,065	人間ドック受診・助成委託(10,065千円)				
19	補助金	891,089	人間ドック受診・償還払い補助(1,400千円)、療養給付費(889,689千円)				
28	繰出金	278,425	健診費用負担分国保会計繰出金(6,756千円)、後期保険基盤安定繰出金(234,567千円)、広域連合事務費繰出金(31,178千円)、事務費繰出金(5,924千円)				
上記の合計		1,179,592	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,179,592	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後期高齢者医療人間ドック助成事業	・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック、脳ドックの受診費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図るとともに、早期発見・早期治療により重症化予防ができ、後期高齢者医療費の削減が見込まれる。	13	委託料	10,065
				19	補助金	1,400
					計	11,465
2	ソフト	コンビニ収納システム関係事務費	・後期高齢者医療保険料のコンビニ収納システムを構築するための事務費を計上。(後期特別会計:徴収費で対応するため、繰出金として計上) 平成29年4月から実用予定。	28	繰出金	2,488
					計	2,488

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100			予算書ページ	138
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当				
予算	款	3	民生費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	社会福祉費		主要施策	安心を支えるまち	
	目	3	国民年金事務費		基本施策	社会保障制度の充実	
	事業	0103210	国民年金事務費		具体的な施策	国民年金事業の充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
66,866	73,206	6,340	13,740			
			0	0	0	4,080

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国民年金事務費委託金	13,740							

【目的・効果】

【目的】

・国民年金事業を実施するにあたり必要な経費を計上し、国民年金制度の運営と啓発を図る。

【効果】

・市が国民年金資格の取得喪失等の届出受付業務を行うことで、国民年金被保険者の利便性が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・各支所の窓口で国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	397	啓発用パンフレット購入(397千円)				
13	委託料	1,173	国民年金システム改修費用(1,173千円)				

上記の合計	1,570	職員の人件費合計	65,296	事業費総合計	66,866	OK
-------	-------	----------	--------	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国民年金業務システム改修料	・法改正に伴う、申請用紙の変更や電子媒体化によるシステム改修を行い、事務の効率化を図る。	13	委託料	1,173
					計	1,173
2					計	0

農林部

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	202
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	基本方針	主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費	基本方針	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106030	農業総務費	具体的な施策		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	207,824		105			207,719
前年度	214,126		280			213,846
増減額	6,302	0	175	0	0	6,127

特定財源の内訳	款	15	地域農業マスタープラン作成 事業補助金	金額	105	合計金額	105

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興事業関係の事務的経費
【効果】
 ・農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業振興事業の総務事務費(人件費、報償費、需用費、公用車管理経費など)
 ・農業農村振興基本計画策定業務

【一般財源増加理由】 次期の農業農村基本計画策定業務

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	12,898	営農企画員、販売支援コーディネーター	27	公課費	24	公用車重量税
8	報償費	2,597	農家組合長謝礼、農業農村振興計画推進委員会等出席謝礼、人・農地プラン検討会等出席謝礼				
9	旅費	96	職員出張旅費				
11	需用費	2,708	農業振興関係参考図書・事務用品購入、会議胞い費、印刷製本費、公用車等消耗品・燃料・修繕費、				
12	役務費	282	公用車車検費用				
13	委託料	4,930	農業農村振興基本計画策定業務				
14	使用料及び賃借料	11	駐車場使用料				
上記の合計		23,546	職員の人件費合計	184,278	事業費総合計	207,824	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業農村振興基本計画策定事業	・現行の基本計画(H23-H28)が最終年度となるため、条例により次期基本計画を策定し、基本方針に基づく施策を計画的に推進する。業務委託により、効率的な計画策定を図る。	8	報償費	385
				11	需用費	1,233
				13	委託料	4,930
					計	6,548
2					計	0

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	202
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,490				6	5,484
前年度	790				6	784
増減額	4,700	0	0	0	0	4,700

特定財源の内訳	款	13	農振関係証明手数料	金額	6	合計金額	6

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興地域の整備に関する法律(農振法)と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく適正な計画変更の推進
【効果】
 ・優良農地の保全

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農振法に基づく市農振整備計画の変更手続き(年2回)
 ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会および同地域協議会の運営
 ・農振法に基づく5年に1度の基礎調査業務(総合見直し業務)

【一般財源増加理由】		農振法に基づく5年に1度の基礎調査業務						
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	350	協議会の委員報酬					
8	報償費	560	地域協議会の委員出席謝礼					
11	需用費	52	事務用品購入					
13	委託料	4,528	総合見直し業務					
上記の合計		5,490	職員の人件費合計		事業費総合計	5,490	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	総合見直し業務	・農振法に基づく5年に1度の基礎調査業務を委託することにより、効率的で適正な計画変更を図る	13	委託料	4,528	
					計	4,528	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	208
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	基本方針	主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費	基本方針	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業	画	具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,370				1,740	8,630
前年度	9,479				2,129	7,350
増減額	891	0	0	0	389	1,280

特定財源の内訳	款	20	三郷やすらぎ空間施設利 用料	金額	1,740	合計金額	1,740
	金額						

【目的・効果】

【目的】

- ・農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
- ・農家民宿事業の実施により、都市と農村の交流促進を図る。

【効果】

- ・効果的で適正な施設管理
- ・安曇野の地域イメージの向上

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ハーヴェスタ・クリエーションズ)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- ・小倉多目的研修センターの指定管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)

- ・農家民宿事業を推進するための講演会及び開設補助を行う。

【一般財源増加理由】 やすらぎ空間施設改修工事、農家民宿経費の消費拡大対策事業からの移行

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	90	講師謝礼				
9	旅費	20	講師の実費弁償				
11	需用費	400	施設小破修繕費				
13	委託料	4,638	指定管理料、設計監理委託料				
14	使用料及び賃借料	3,199	借地料				
15	工事請負費	1,805	古民家小規模改修工事				
19	負担金及び交付金	218	農家民宿開業補助金				
上記の合計		10,370	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,370	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	210
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算 目 目 事業	款	6	農林水産業費		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	92,165	14,786			10,625	66,754
前年度	74,531	11,360			16,089	47,082
増減額	17,634	3,426	0	0	5,464	19,672

特定財源の内訳	款	14	都市再生整備計画事業	金額	14,786	款	20	安曇野の里施設利用料	金額	5,290	合計金額
		16	安曇野の里基金利子	金額	45						
		18	安曇野の里基金繰入金	金額	5,290						
									25,411		

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。

【効果】

・施設の適正な維持管理。
・市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

豊科安曇野の里自然活用村(指定管理者:(一社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)
ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

【一般財源増加理由】 施設の老朽化により、工事請負費が増額したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	600	施設小破修繕				
13	委託料	17,837	工事設計監理業務、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,625	借地料				
15	工事請負費	64,767	湧水探索路改修、ビレッジ安曇野ポイラー改修、プラザ安曇野店舗改修、ガラス工房空調設備改修				
25	積立金	5,336	基金・利子積立				
上記の合計		92,165	職員の人件費合計	0	事業費総合計	92,165	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】				節	節名称	金額
1	ハード	安曇野の里湧水探索路改修工事	平成8年に整備された湧水探索路は、劣化が激しく危険な状態であるため、改修工事を実施する。	13	委託料	929
				15	工事請負費	36,038
					計	36,967
2					計	0

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	210
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	基本方針	主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費	基本方針	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業	基本方針	具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	175,503				141,875	33,628
前年度	37,743				36,312	1,431
増減額	137,760	0	0	0	105,563	32,197

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
16	三郷農林漁業体験実習館 基金利子			87	農林漁業体験実習館利用 料			17,162	141,875
				24,626					
				100,000					
18	公共施設整備基金繰入金								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者(株)ファインビュー室山)

【一般財源増加理由】	大浴場改修工事を実施するため						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	600	施設小破修繕				
12	役務費	380	不動産鑑定手数料				
13	委託料	7,938	工事設計監理業務、支障木伐採業務				
15	工事請負費	148,158	大浴場改修工事、ボイラー改修工事、西館脱衣室空調改修工事				
18	備品購入費	1,176	厨房温蔵庫購入				
25	積立金	17,251	整備基金・利子積立				
上記の合計		175,503	職員の人件費合計	0	事業費総合計	175,503	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	大浴場改修工事	建設から17年経過し、各所に劣化が生じているため、全面改修を実施する。利用者の安心・快適な利用と都市と農村の交流促進を図る。	13	委託料	4,853	
				15	工事請負費	109,080	
					計	113,933	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	3	コード	10801100		予算書ページ	212
		部・課・係等	農林部農政課農業政策係			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	計画	主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業	画	具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
110,529	117,606	7,077	0	0	0	104,232
						107,024
						10,582
						4,285

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	堀金観光開発基金繰入金	47,229								104,232
20	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								

【目的・効果】

【目的】

・ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。

【効果】

- ・施設の適正な維持管理。
- ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】

ほりで一ゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者(株)ほりで一ゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、パターゴルフ場・マレットゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,000	施設小破修繕				
12	役務費	705	不動産鑑定手数料				
13	委託料	6,536	工事設計監理業務、マレットゴルフ場指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,591	借地料				
15	工事請負費	41,693	非常用バッテリー等交換、啼鳥山荘改修、コテージ四季の郷改修、本館内装等工事				
25	積立金	57,004	整備基金・利子積立				

上記の合計	110,529	職員の人件費合計	0	事業費総合計	110,529	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
2						
					計	0

予算書ページ	204
--------	-----

重点項目番号	3	コード	10801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106060	農業生産振興費		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,377		717			8,660
前年度	13,679		1,942			11,737
増減額	4,302	0	1,225	0	0	3,077

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	環境保全型農業直接支払交付金	717							

【目的・効果】

【目的】

・農家所得の向上と、環境にやさしい農業技術向上に向けた検証事業を実践する為、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。

【効果】

・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を実践する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取組む。28年度の取組み事業として「畦畔管理コスト低減検証」「農業技術アドバイザー事業」「畜産悪臭対策検証」など21事業が挙げられる。

・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、有機農業及び緑肥使用等による化学肥料・化学合成農薬使用を低減する営農活動に対し、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	20	事務用品				
19	交付金	9,357	市再生協議交付金 環境保全型農業直接支援対策交付金				
上記の合計		9,377	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,377	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業再生協議会交付金	市農業再生協議会において、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取組む。また、これらの情報を農家に提供する。	19	交付金	8,400
					計	8,400
2	ソフト	環境保全型農業直接支援対策交付金	・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、緑肥使用による化学肥料の低減など、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。	19	交付金	957
					計	957

重点施策と 推進政策	3	コード	10801200
		部・課・係等	農林部農政課生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合 計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	37,600	国支出金	県支出金	市債	その他	15,000
前年度	35,400		19,800			15,600
増減額	2,200	0	2,800	0	0	600

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	15	経営所得安定対策等推進事業費補助金	22,000						22,600
	15	水田農業経営確立推進指導事業補助金	600						

【目的・効果】

【目的】

- ・経営所得安定対策等推進事業を円滑に推進する。
- ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。

【効果】

- ・米の生産数量目標の達成及び経営所得安定対策等推進事業の円滑化。
- ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野米のブランドを維持している。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策等推進事業の事務費等として、県交付金は全額市再生協議会へ交付。
- ・苗箱施薬剤購入費の一部(600円/kg)補助。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	600	水田農業経営確立推進指導事業				
19	負担金補助及び交付金	15,000	水稻苗箱施薬剤購入補助				
19	負担金補助及び交付金	22,000	経営所得安定対策等推進事業費				
上記の合計		37,600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	37,600	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水稻苗箱施薬補助事業	・稲作の病害虫防除対策及び農業経営の安定を図るため、苗箱施薬剤購入費の一部助成を行うことにより、全国トップクラスの一等米比率を安定して維持している。	19	負担金補助及び交付金	15,000
					計	15,000
2	ソフト	経営所得安定対策等推進事業交付金	・市農業再生協議会へ交付金を交付することにより、経営所得安定対策等推進事業事務等の円滑化及び農家への交付金交付の適正な推進を図る。	19	負担金補助及び交付金	22,000
					計	22,000

重点施策と 推進政策	3	コード	10801200		予算書ページ	204
		部・課・係等	農林部農政課生産振興担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合 計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	3	農業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	110,056	国支出金	県支出金	市債	その他	110,056
前年度	30,087					30,087
増減額	79,969	0	0	0	0	79,969

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・転作作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる作物の生産振興を図る。
 ・りんご関係では、労働力の低減と収穫量の増加を狙った新しい化栽培の普及を苗木育成(台木購入補助)により図る。
 ・果樹共済では、昨年に引き続き、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
 ・そ菜価格安定共助制度(各JA策定)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。
 ・市の主要農産物である果樹の新植と、土地利用型作物で米に代わる作物として振興を図る玉ねぎについて助成を行い面積拡大を図る。
【効果】
 ・新しい化栽培りんごの生産普及により、労働力低減、生産量増加が図れ、農家所得の向上に繋がる。
 ・H25凍霜害など異常気象による農作物被害が多発している昨今、持続可能な農業経営ができるよう「万が一の事態」に備える。
 ・そ菜の価格安定化により農家が安心して良質な農産物を作れる環境を維持する。
 ・りんご等果樹栽培の面積拡大を図り、量と質を確保し、果樹の安曇野ブランドとしての確立と定着を図る。
 ・米に代わる土地利用型作物の一つとして、機械化一貫体系で栽培可能な玉ねぎを振興し、労力の軽減と農家所得の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・経営所得安定対策の実績を基に、市重点6品目に対して補助金(15,000円/10a)を交付。併せて20a以上作付け者に対して生産面積拡大を促すため3,000円/10aから9,000円/10aの傾斜加算をする。
 ・新植による果樹の栽培面積の拡大に際し、果樹棚及び苗代の1/3を補助及び、未収益期間の支援として年50,000円/10aで4年分を補助する。
 ・機械化一貫体系による玉ねぎ栽培の拡大を図るため、機械化用苗代の1/3、作業機械の購入費の1/3を補助する。
 ・三郷トマト栽培施設処分に係る大規模改修工事費負担金
 ・本年度から、市農業作物等振興事業の担い手支援38,000千円を「0106160担い手支援事業」から本事業に組換え。

(一般財源増加理由) 果樹振興支援事業の創設、玉ねぎ機械化体系支援事業の創設、三郷トマト栽培施設の改修工事費負担金による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	73	「玉ねぎ機械化一貫体系」先進地視察及び全国「わさび品評会」参加等	19	負担金補助及び交付金	6,440	玉ねぎ機械化体系支援事業(機械定植苗購入補助3,465千円、省力化機械等購入補助2,975千円)
11	需用費	30	事務用品				
19	負担金補助及び交付金	3,208	そ菜価格安定共助会負担金(JAあづみ・JA松本ハイランド)				
19	負担金補助及び交付金	30,000	三郷トマト栽培施設処分負担金				
19	負担金補助及び交付金	8,591	果樹共済補助外(新しい化りんご苗木購入補助、果樹共済農家掛金補助)				
19	負担金補助及び交付金	57,100	市農業振興作物等推進事業(担い手支援、重点作物)				
19	負担金補助及び交付金	4,614	果樹振興支援事業(果樹棚新設経費支援、果樹新植苗木購入支援、未収益期間支援)				
上記の合計		110,056	職員の人件費合計 0	事業費総合計	110,056	OK	

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市農業振興作物等推進助成補助金	・農業振興事業及び需要に即応した米作りを推進するため、米の生産数量目標の範囲内で米を作付けする者に対し、担い手支援・生産振興作物推進等の補助金を交付する	19	負担金補助及び交付金	57,100
				計		57,100
2	ソフト	振興作物推進事業補助金	・【果樹栽培支援事業】果樹の新植による栽培面積の拡大を図る農家へ、苗代、棚等への補助を行う。 ・【玉ねぎ機械化体系支援事業】玉ねぎの機械化により栽培面積を拡大を図る農家へ、機械化用苗の購入、機械の購入に対し補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	4,614
				19	負担金補助及び交付金	6,440
				計		11,054

重点施策と 推進政策	3	コード	10801200			予算書ページ	216
		部・課・係等	農林部農政課生産振興担当				
予算	款	6	農林水産業費		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち	
	目	7	畜産業費		基本施策	農業農村の振興	
	事業	0106210	畜産振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	6,312				90	6,222	
前年度	6,950				110	6,840	
増減額	638	0	0	0	20	618	

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	家畜防疫事業収入	90							90

【目的・効果】

【目的】

・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成27年10月から施行になった悪臭防止法の規制にあわせ有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。

【効果】

・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成27年10月から施行された悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	368	地域住民等との悪臭問題に係る協議会の開催。(年7回程度)				
9	旅費	314	堆肥センター施設視察・安曇野産牛肉共例会・臭気対策研修参加等				
11	需要費	899	臨時的に対応する為の防疫、消臭資材購入。臭気測定関連消耗品(アンモニア・硫化水素検知管等)購入。				
12	役務費	33	ニオイセンサーの点検費用。				
19	負担金	1,821	中信農業共済家畜診療所運営負担金。研修会等参加負担金。				
19	補助金	2,877	畜産経営安定化事業、予防注射接種事業、畜環リース事業				
上記の合計		6,312	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,312	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	・畜産経営安定化事業	環境対策の一環として、畜産農家が購入する以下の資材に対して補助する。(1/2補助、上限あり) ・消毒液、ハエ等の害虫駆除剤(上限2万円) ・悪臭低減資材(上限8万円)	19	補助金	2,000	
					計	2,000	
2	ソフト	・予防注射接種事業 ・畜産環境リース事業利子補助	・家畜伝染病予防法に規定された疾病の定期検査に対する補助等。(1/3補助) ・畜環リース事業により建設した堆肥舎等に係る利子に対する補助。	19	補助金	350	
				19	補助金	527	
					計	877	

重点施策と 推進政策	3	コード	10801200			予算書ページ	216
		部・課・係等	農林部農政課生産振興担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費			主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	7	畜産業費			基本施策	農業農村の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,800					15,800
前年度	26,730					26,730
増減額	10,930	0	0	0	0	10,930

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。

【効果】

・近年は各種の試みにより、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良くなっており、顧客数も増加している。(農産物のブランド化の一助にもなり得る)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。

・H27年度から、経営の安定化を目指し、指定管理委託料を増額(+3,650千円)した。反面、修繕費については、指定管理者と市の負担(市の負担を1件当たり500千円以上から2,000千円以上の修繕へ)を見直し、H26年度以前に当初予算に計上していた修繕費(3,000千円)の計上を削除している。

H27～H29年度の指定管理期間中において2,000千円以上の修繕がある場合は、計画的に当初予算に計上し、対応する予定。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	14,000	三郷堆肥センター指定管理委託料				
14	使用料および賃借料	1,800	三郷堆肥センター借地料				
上記の合計		15,800	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,800	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷堆肥センター指定管理委託料	・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	13	委託料	14,000
					計	14,000
2					計	0

予算書ページ	230
--------	-----

重点項目番号	3	コード	10801200
		部・課・係等	農林部 農政課 生産振興担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	4	水産業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	水産業振興費		基本施策	農業農村の振興
	事業	0106360	水産業振興事業		具体的な施策	産業としての農業の確立

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185					185
前年度	185					185
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

漁業権の対象魚種の増殖。

【効果】

釣りの観光資源確保と漁業法により長野県内水面漁業管理組合が定めた増殖指示量(稚魚400kg:5g/1匹)の確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

犀川漁業協同組合が取組む水産資源拡大事業に対し補助金を交付する。

【一般財源増加倍理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	補助金	185	水産資源確保				
上記の合計		185	職員の人件費合計	0	事業費総合計	185	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0

重点施策と 推進政策	3-6	コード	10801300		予算書ページ	212
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費	計画	主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106160	担い手支援事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	61,201		31,190			30,011
前年度	91,859		21,830			70,029
増減額	30,658	0	9,360	0	0	40,018

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	農業経営基盤強化資金 子助成事業補助金	1,190				
	15	農地利用集積事業補助金	20,000				
	15	経営体育成事業補助金	10,000				
31,190							

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
・農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。
・市農業再生協議会が実施する事業に対し、交付金を交付する
・農地中間管理事業の活用により担い手へ集積・集約化された農地の面積に応じ、農地の貸し手等に国からの交付金を交付する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	16	担い手育成等研修旅費				
11	需用費	40	事業推進資料				
19	負担金補助及び交付金	61,145	機械等施設整備補助金、市農業再生協議会交付金、農地集積協力金				

上記の合計	61,201	職員の人件費合計	0	事業費総合計	61,201	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農地中間管理事業による農地集積	農地中間管理機構を通じた農地の貸借を条件とする「機構集積協力金」を交付することにより、担い手への農地の集積・集約化を進める。	19	負担金補助及び交付金	20,000
					計	20,000
2						
					計	0

重点施策と推進政策	3-6	コード	10801300	予算書ページ	214
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当		

予算	款	6	農林水産業費	総 計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106170	後継者対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,750		30,000		900	14,850
前年度	42,430		30,600		900	10,930
増減額	3,320	0	600	0	0	3,920

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	青年就農給付金(経営開始型)	30,000								30,900

【目的・効果】

【目的】

・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国の青年就農給付金制度により支援する。
 (1,500,000円×20名=30,000,000円)
- ・上記給付金の対象とならない親元就農者に対し、市独自の支援金を交付する。
 (200,000円×48名=9,600,000円)
- ・荒廃農地を解消し地域貢献に資する就農者に対し、市独自の支援金を交付する。
 (200,000円×15名=3,000,000円)

【一般財源増加理由】 市独自の各種支援金対象者の増加による。なお、この支援金対象者の増加の中には、平成26年度の明許繰越分の者が含まれている要因もある。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	80	新規就農者住宅関係修繕費				
19	負担金補助及び交付金	45,670	青年就農給付金(国)、親元就農支援金(市)、荒廃農地解消就農者支援金(市)				
上記の合計		45,750	職員の人件費合計	0	事業費総合計	45,750	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	親元就農支援金交付事業(市単)	4年目となる当事業の交付対象者を拡充し、更なる営農意欲の向上と営農定着を進める。(具体的には後継ぎの配偶者の要件緩和)	19	負担金補助及び交付金	9,600
					計	9,600
2					計	0

予算書ページ	214
--------	-----

重点施策と推進政策	3	コード	10801300
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	291					291
前年度	301					301
増減額	10	0	0	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・耕作放棄地等の荒廃農地の解消・再生と併行し、新たな用途への活用を研究する。

【効果】

- ・健全な農地と景観を守るとともに、有害鳥獣による農作物等の被害防止にもつながる。
- ・新規就農者や規模拡大志向農業者により、農地の有効活用が図られる。
- ・農業以外の分野における産業振興につながる。(例:滞在型体験農場による観光振興)

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・庁内の関係部署の連携により、荒廃農地活用の先進事例の調査を行うとともに、山林原野化した荒廃農地の非農地化の見極め調査を継続実施し発生解消に努める。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	235	山林原野化農地調査謝礼				
9	旅費	46	先進事例調査旅費				
11	需用費	10	現地調査消耗品				

上記の合計	291	職員の人件費合計	0	事業費総合計	291	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	山林原野化農地調査業務	・山林原野化した荒廃農地の見極め調査を行うことにより、農地および非農地の区分が決定されるとともに、荒廃農地発生面積減少へ繋がる。	8	報償費	235		
					計	235		
2								
					計	0		

重点施策と 推進政策	3	コード	10801300			予算書ページ	216
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当				
予算	款	6	農林水産業費		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち	
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興	
	事業	0106190	中山間地域等支援事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	17,876	国支出金	県支出金	市債	その他	7,503
前年度	18,840		11,715			7,125
増減額	964	0	1,342	0	0	378

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	中山間地域等直接支払交付金	10,308				
15	中山間地域等直接支払推進交付金	65					

【目的・効果】

- 【目的】
・農業生産条件の不利な中山間地域の農地・農村を守る。
- 【効果】
・集落協定の締結により、営農意欲と農業生産活動を継続できる。
・農業・農村の持つ多面的な機能を確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)により支援する。
・上記制度の対象とならない同様の集落は、市独自の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)により支援する。

〔一般財源増加理由〕 第4期対策(国:H27~31年度)移行に伴う協定集落数減(交付金減)、および市独自の制度による対象集落増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	60	事務消耗品、現地確認等公用車燃料費				
14	使用料及び賃借料	80	コピー使用料				
19	負担金補助及び交付金	17,736	・中山間地域等直接支払交付金 ・安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金				
上記の合計		17,876	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,876	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中山間地域等直接支払交付金	・中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続することができる。	19	負担金補助及び交付金	15,092
					計	15,092
2	ソフト	安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金	・中山間地域において国の交付金制度の対象とならない農地で同様の機能を抱える集落への農業生産活動を継続させることにより、農用地保全に繋がる。	19	負担金補助及び交付金	2,644
					計	2,644

重点施策と 推進政策	3	コード	10801300		予算書ページ	216
		部・課・係等	農林部農政課集落支援担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,014					5,014
前年度	20,460		6,570			13,890
増減額	15,446	0	6,570	0	0	8,876

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣による農作物等の被害を防止する。

【効果】

・営農意欲の減退を防ぎ、農業生産活動を継続できる。
 ・耕作放棄地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能にさせる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

・個々の農家等が設置する防護柵や侵入防止装置等に対し、市独自の補助金を交付する。
 ・西山山麓のサルによる被害防止対策として、モンキードッグ事業の実施を支援する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,284	野鼠駆除薬剤、モンキードッグ関連消耗品				
13	委託料	864	モンキードッグ養成、獣害防護柵設置関連業務				
16	原材料費	200	獣害防護柵設置資材				
19	負担金補助及び交付金	2,666	野生鳥獣被害防止対策事業補助金、モンキードッグ維持管理補助金、獣害防護柵維持管理事業補助金				
上記の合計		5,014	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,014	OK

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	野生鳥獣被害防止対策事業	・個人で設置する侵入防止柵、侵入防止装置の資材(購入)費への補助を行うことにより、鳥獣害の被害軽減が図られるとともに、営農意欲の減退を防ぎ農業生産活動を継続する。	19	負担金補助及び交付金	1,900
					計	1,900
2	ソフト	モンキードッグ事業	・近年、西山山麓を中心に被害拡大している猿害対策としてモンキードッグを活用した追払い対策を複合して組合せることにより、未然の防止対策を図る。	11	需用費	204
				13	事務事業委託料	432
				19	負担金補助及び交付金	396
					計	1,032

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-1	コード	010801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング担当

予算	款	6	農林水産業費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大事業費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,968					19,968
前年度	218,030		200,000			18,030
増減額	△ 198,062	0	△ 200,000	0	0	1,938

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地元産の農産物を都市部の消費者に向けた販売促進と情報発信の機会を築き、農業振興の活性化を図る。
 ・農林業まつりを開催することにより、安曇野の農産物PR・消費拡大を図る。
【効果】
 ・消費拡大イベント、販売促進を進めることにより、農産物ブランドの構築と農家所得の向上へつなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農場者の祭典とした「農林業まつり」を、商工会主管の“新そばと食の感謝祭”と同時開催することで「農と食」をPRし、安曇野産の農産物ブランド、地域イメージを築き消費拡大へつなげる。
 ・消費拡大事業を推進するにあたり、既設アンテナショップでのイベント販売の開催促進。その他、観光イベント及び友好都市関連における農産物PR販売。

【一般財源増加理由】「海外輸出事業」への増額。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	161	農産物の消費拡大に伴うイベント謝礼、イベント販売促進に係るPR用品の費用				
9	旅費	1,091	農産物販売PRイベント等に関わる職員旅費				
11	需用費	299	農産物販売PRイベント等に関わる消耗品代				
12	役務費	2,139	農産物販売イベント等の資材運搬費				
13	委託料	3,968	米消費拡大、産直センターに伴う委託料				
14	使用料及び賃貸料	520	農産物展示商談会出店に伴う費用				
19	負担金補助及び交付金	11,790	各種団体への交付金等				

上記の合計	19,968	職員の人件費合計	0	事業費総合計	19,968	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	10801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	4	消費拡大対策費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	70,798				6,389	64,409
前年度	111,502				58,376	53,126
増減額	△ 40,704	0	0	0	△ 51,987	11,283

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	堀金産地形成促進施設基金利子	11	20	三郷畜産活性化施設利用料	210	20	穂高農業活性化施設利用料	2,290	
18	堀金産地形成促進施設基金繰入金	468	20	三郷産地形成促進施設利用料	890					
20	堀金産地形成施設利用料	2,340	20	豊科南部地区産地形成施設使用料	180					

【目的・効果】

【目的】

- ・市内の直売加工施設に係る維持管理・改修費等及び指定管理による経費。
- ・あかしな夢いちば改修工事費及び備品購入費。

【効果】

- ・市内の直売加工施設の維持管理の向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・あかしな夢いちば改修・備品購入。
- ・市内各直売加工施設の維持管理・改修。

【一般財源増加理由】あかしな夢いちば改修工事費

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,000	直売加工施設の小破修繕				
12	手数料	14	あかしな夢いちば改修工事完了検査手数料				
13	委託料	14,148	シロアリ防除・設計監理費用及び指定管理料				
14	使用料と賃借料	5,752	土地の賃貸借料				
15	工事請負費	37,583	直売加工施設の修繕工事等				
18	備品購入費	8,949	直売加工施設の備品購入				
25	積立金	2,352	基金・利子積立				

上記の合計	70,798	職員の人件費合計	0	事業費総合計	70,798	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	あかしな夢いちば改修工事	中山間地域の農業を活性化するため、地域特産物の加工及び地域の食文化の伝承事業を行うことにより、交流、情報交換等の活動の推進を図るため、必要な改修工事を行う。	13	委託料	1,962
				15	工事請負費	33,088
					計	35,050
2					計	0

予算書ページ	208
--------	-----

重点項目番号	3	コード	10801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	5	農業交流促進費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106115	市民農園事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,758				414	2,344
前年度	0				0	0
増減額	2,758	0	0	0	414	2,344

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市民農園利用料		414						

【目的・効果】
【目的】
 市民農園の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
【効果】
 効果的で適正な施設管理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市民農園(市内10カ所)の管理、市民農園新規開設の支援

【一般財源増加理由】 事業コード新設による増。(主に16節、原材料費152千円増による)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	29	市民農園管理用品、施設小破修繕費				
13	委託料	105	市民農園管理委託				
14	使用料及び賃借料	730	借地料				
16	原材料費	152	防草シート				
19	負担金補助及び交付金	1,742	市民農園開設補助・土地改良区負担金				
上記の合計		2,758	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,758	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	JAあづみが開設を予定している市民農園の開設を支援し、多くの市民が農に親しめる環境を整える。	19	負担金補助及び交付金	1,739
					計	1,739
2					計	0

予算書ページ	214
--------	-----

重点項目番号	3	コード	10801400
		部・課・係等	農林部農政課マーケティング担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	6	農村集落支援費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業		具体的な施策	農業生産活動と農村での生活の維持

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,139		0		0	3,139
前年度	0		0		0	0
増減額	3,139	0	0	0	0	3,139

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・農業を夢のある職業と捉える「職農教育」を推進し、将来の農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・農業高校等との連携事業により、就農に資する実習を経験することにより、将来の就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・農業塾等就農者育成組織活動助成事業。
(250,000円×6団体=1,500,000円)
- ・長野県南安曇農業高校との連携事業。
(=1,537,000円)

【一般財源増加理由】 事業コード新設による増。(南農高校との連携事業は、平成27年度9月補正0106100消費拡大対策事業から付替え、主に12節役務費620千円)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	49	職農教育協力農家謝礼	19	負担金補助及び交付金	1,500	農業塾等就農者育成組織活動助成事業
9	旅費	12	都内販売実習同行				
11	需用費	231	都内販売実習消耗品				
12	役務費	620	農業フォーラム講師手配				
13	委託料	194	職農教育車両運搬業務				
14	使用料及び賃借料	28	職農教育駐車場				
16	原材料費	505	職農教育商品開発試作、技術開発資材				

上記の合計	3,139	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,139	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	農業フォーラム	12	役務費	620
			先進農業技術の導入と職農教育の推進を図るため、先進的取組みを行う講師を招き講演会を中心とした催しを開催することで、生徒による研究成果の発表の機会を得るほか、地域の農家と交流する機会を得る。		計	620
2					計	0

予算書ページ	224
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	10802100
		部・課・係等	農林部耕地林務課耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	耕地総務費	画	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106280	耕地総務費	画	具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173,715	8,991			1,170	163,554
前年度	206,946	8,979			1,170	196,797
増減額	33,231	12	0	0	0	33,243

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,848							
	15	地滑り防止施設管理委託金	143							10,161

【目的・効果】

【目的】

耕地事業全般にわたる経常的経費及び負担金・償還事務を行う。

【効果】

経常的な経費・負担金等をまとめて管理できるため、収入・支出の管理が容易となっている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地事業の庶務的経費(職員給料、公用車維持管理費等)
- ・ほ場整備事業や土地改良事業等に係る借入金の償還事務(平成35年度償還終了)
- ・県営土地改良施設等の維持管理負担金
- ・三郷農村環境改善センター 指定管理料、借地料、施設器具修繕費等

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	133	研修会旅費				
11	需用費	1,498	公用車(7台)燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費、消耗品購入等				
12	役務費	321	公用車の車検・12カ月点検手数料、自賠責保険料、三郷資材センターのクレーン点検料				
13	委託料	7,559	農道台帳保守業務委託、水路網図修正業務委託、三郷農村環境改善センター指定管理料等				
14	使用料及び賃借料	2,726	三郷農村環境改善センター借地料				
19	負担金補助金及び交付金	99,734	土地改良事業借入金償還金、土地改良事業維持管理負担金、県単農業農村整備事業負担金等				
27	公課費	86	公用車重量税(4台)				
上記の合計		112,057	職員の人件費合計	61,658	事業費総合計	173,715	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷農村環境改善センター管理業務	三郷農村環境改善センター(三郷温)は、「JAあづみ」に指定管理業務委託され、円滑な貸館業務が行われている。苦情等の問い合わせも無く円滑に管理されている。敷地の一部は借地となっている。	13	指定管理委託料	4,910	
				14	使用料及び借地料	2,726	面積4,974㎡
					計	7,636	
				19	負担金補助金及び交付金	77,340	
2	ソフト	土地改良事業借入金償還負担金事務	過去に施工された土地改良事業(ほ場整備事業等)に係る借入金償還事務を行っている。償還は平成35年度に終了する。		計	77,340	

予算書ページ	224
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次代へつなく
	目	1	耕地総務費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適 正化事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,538					5,538
前年度	16,396				1,840	14,556
増減額	10,858	0	0	0	1,840	9,018

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

経年劣化等により用水施設の機能が低下し、維持管理に多大な費用と人件費用を費やしており、早急な改修が必要とされている。事業に対し拠出金を積立する他、土地改良区主体の事業に対し補助する。

【効果】

事業実施により、用水機能が修復、改善され、維持管理費用及び人件費が大幅に削減される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

拠出金(事業主体:市)

- ・北穂高水利組合 島新田地区拠出金 120千円
- ・北穂高水利組合 北穂高地区拠出金 372千円
- ・犀川用水組合 塔の原地区拠出金 564千円 (小計)1,056千円

建設負担金(事業主体:土地改良区)

- ・梓川土地改良区 梓川左岸幹線水路 432千円
- ・梓川土地改良区 赤松分土工 50千円
- ・穂高土地改良区 第1号幹線水路 4,000千円 (小計)4,482千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	5,538	北穂高水利組合等への拠出金 梓川土地改良区等への建設負担金				

上記の合計	5,538	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,538	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	穂高土地改良区建設負担金	幹線水路の改修工事により、維持管理費及び人件費が大幅に削減される。	19	負担金補助及び交付金	4,000	
					計	4,000	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	3	コード	10802100			予算書ページ	224
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		計画	主要施策	次代へつなく
	目	1	耕地総務費			基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,819					95,819
前年度	349,413			229,500		119,913
増減額	253,594	0	0	229,500	0	24,094

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理を行う。

【効果】

施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野・松本行政事務組合の負担金
- ・国営広域排水事業に伴う借入金の償還
- ・県営事業施設の維持管理

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
15	工事請負費	1,534	沈砂池木柵安全施設の補修、修繕工事				
19	負担金補助及び交付金	94,285	国営広域排水事業の借入償還金 安曇野・松本行政事務組合負担金				

上記の合計	95,819	職員の人件費合計	0	事業費総合計	95,819	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国営広域排水事業借入金償還事務	国営広域排水事業実施に伴う借入償還業務を行う。償還は平成32年度に終了する。	19	負担金補助及び交付金	78,549
					計	78,549
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	3	コード	10802100			予算書ページ	226
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当				
予算	款	6	農林水産業費		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成	
	項	3	耕地費		主要施策	次代へつなく	
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興	
	事業	0106310	市単土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,212				174	41,038
前年度	52,033				110	51,923
増減額	10,821	0	0	0	64	10,885

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

地域から改修、修繕要望のある土地改良施設を整備し、農業経営の安定と農村環境の保全を図る。

【効果】

農業経営の安定化と農業用水の安定的な供給が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内一円の農業用排水路・農道の小規模補修・改修
- ・用排水路・農道の維持管理に伴う各種資材の支給
- ・排水路の清掃管理委託
- ・土地改良補助金による費用負担

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	103	用排水路管理作業	17	公有財産購入費	600	水路事業補助分
11	需用費	272	参考図書、コピー機トナーインク	19	負担金補助及び交付金	9,000	水路事業補助分
12	役務費	100	登記手数料他				
13	委託料	4,972	水門、排水路管理、測量設計委託料他				
14	使用料及び賃借料	844	積算システムリース料、重機リース料				
15	工事請負費	23,000	用排水路改修工事他				
16	原材料費	2,321	水路補修材、路面補修用砕石				
上記の合計		41,212	職員の人件費合計	0	事業費総合計	41,212	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市単土地改良事業	地域から改善要望のある土地改良施設の小規模な補修工事を実施することで、農業経営の安定と農村環境の保全に寄与する。	15	工事請負費	23,000
				16	原材料費	2,321
				19	負担金補助及び交付金	9,000
					計	34,321
2					計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策と推進政策	3	コード	10802100
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当

予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費		主要施策	次代へつなく
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,555			34,100		7,455
前年度	25,987			20,700		5,287
増減額	15,568	0	0	13,400	0	2,168

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	公共事業等債(県営農道整備事業)	22,000								

【目的・効果】

【目的】

県営事業により農業生産基盤整備事業を推進する。

【効果】

県営土地改良事業の実施により、農業生産基盤の強化と、農村環境の保全維持が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・県営かんがい排水事業 勘左衛門新田地区 頭首工改修工事 建設負担金 16,938千円
- ・県営農道保全対策事業 安曇野地区 歩道整備工事 建設負担金 24,500千円

【一般財源増加理由】 両地区の工事が平成28年度から着手するため、事業費が増加する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	41,555	県営土地改良事業負担金				

上記の合計	41,555	職員の人件費合計	0	事業費総合計	41,555	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	県営かんがい排水事業 勘左衛門・新田地区 頭首工工事建設負担金	県営事業により、勘左衛門、新田の両土地改良区の取水機能の更新を行い、安定した農業水利の確保、維持管理の軽減が図れる。	19	負担金補助及び交付金	16,938
					計	16,938
2	ハード	県営農道保全事業安曇野地区 歩道設置工事建設負担金	広域営農団地農道は、日当たり1万台を超える交通量があるため、歩道設置が急務であり、県営事業により整備を進め道路安全対策を図る。	19	負担金補助及び交付金	24,500
					計	24,500

重点施策と 推進政策	3	コード	10802100		予算書ページ	226
		部・課・係等	農林部 耕地林務課 耕地担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費	計画	主要施策	次代へつなく
	目	2	農村整備事業		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	140,748		48,450			92,298
前年度	113,025		43,350			69,675
増減額	27,723	0	5,100	0	0	22,623

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	団体営土地改良事業補助金	48,450				48,450

【目的・効果】

【目的】

農業用排水路の計画的な補修更新をし、施設の長寿命化を図る。

【効果】

計画的な水路整備により、農業用水の安定的な供給が可能となり維持管理面において多大な労力や時間軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・水利施設整備事業 狐島地区 排水路改修工事
- ・農業基盤整備促進事業 安曇野市地区外 排水路改修工事

【一般財源増加理由】 基盤整備促進事業がH28年度工事に着手するため、事業費が増加する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	120	事務用品外				
13	委託料	7,000	水利施設整備事業、基盤整備促進事業に係る測量設計費				
15	工事請負費	88,400	水利施設整備事業、基盤整備促進事業工事請負費				
19	負担金補助及び交付金	43,825	長土連事業割、小水力発電事業負担金				
22	補償費補填及び賠償金	1,403	電柱移転料				

上記の合計 140,748 職員の人件費合計 0 事業費総合計 140,748 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	小水力発電推進事業	中信平左岸土地改良区等が事業主体で進める小水力発電事業の支援を行う事で、後年度における改良区経費の維持管理軽減を図る。	19	負担金補助及び交付金	10,125	有明地区
				19	負担金補助及び交付金	25,875	中信平左岸地区
					計	36,000	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	4	コード	10802100		予算書ページ	228
		部・課・係等	農林部耕地林務課耕地担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費	合計	主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備事業	画	基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	216,435	国支出金	県支出金	市債	その他	54,685
前年度	181,823	135,350	0	0	0	46,473
増減額	34,612	26,400	0	0	0	8,212

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	多面的機能支払推進交付金	161,750				

【目的・効果】

【目的】

農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため活動組織を支援する。

【効果】

平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業・農村の多面的機能の発揮のための地域活動や営農の継続等に対して支援を行い、多面的機能が今後とも適切に発揮されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【歳入】

平成27年度から、国費・県費分が歳入されている。

【歳出】

平成27年度48組織(取組面積2,630ha)から、平成28年度55組織(A 3,000ha)に拡充されるため、負担金等が増加した。

【財源内訳】

国50%、長野県25%、安曇野市25%(地元負担金なし)

〔一般財源増加理由〕 取り組み面積増加(2,630ha 3,000ha)に伴う一般財源の増加

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	40	研修会等旅費				
11	需用費	526	トナー代、現地研修会に係る燃料費				
12	役務費	10	現地研修会に係る仮設便所設置費				
13	委託料	540	長寿命化工事に係る見積書査定業務委託				
14	使用料及び賃借料	124	現地研修会に係る工具(コンプレッサー等)等リース代				
16	原材料費	195	現地研修会に係る目地詰め材等資材購入費				
19	負担金補助金及び交付金	215,000	活動組織支援補助(55組織)				
上記の合計		216,435	職員の人件費合計	0	事業費総合計	216,435	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	活動組織支援補助	近年における農村部の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴い集落機能の低下により、適切な農地や農業用水等の維持保全が困難となった。多面的機能支払事業の取り組みにより、地域資源の適切な安全管理が図られている。	19	負担金補助金及び交付金	215,000
					計	215,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	3 6	コード	10802100		予算書ページ	228
		部・課・係等	農林部耕地林務課 耕地担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	耕地費	計画	主要施策	次世代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農村整備費		基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業	画	具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	112,921		2,475	43,300	48,125	19,021
前年度	112,363		2,887	43,300	48,125	18,051
増減額	558	0	412	0	0	970

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	団体営土地改良事業補助金	2,475								
21	公共事業等債(県営ほ場整備事業)	43,300								

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業を実施し、営農の効率化を図る。

【効果】

小区画のほ場を大区画にするとともに、点在していた農地を集団化することにより作業効率が向上し、担い手農家へ集積する条件が整備される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・県営事業：区画整理工 21.1ha(4工事工区)を実施予定。
- ・団体営事業：農地を担い手農家に集積する資料として、担い手状況図の作成他。

【一般財源増加理由】 基盤整備実施地区と未整備地区をつなぐ取付道路等の整備費が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	192	ほ場整備地区内の土地利用調整委員報酬	19	負担金補助及び交付金	97,143	県営事業負担金 上水道工事に係る建設負担金
9	旅費	51	職員旅費(地権者交渉等)	22	補償補填及び賠償金	3,738	下水道管付替えに伴う減耗補償 県ほ取付道路立木補償費
11	需用費	632	団体営事業 事務用品(コピー用紙・トナー他)				
13	委託料	4,714	担い手状況図作成他				
14	使用料及び賃借料	361	公用車リース代				
15	工事請負費	5,100	県ほ付帯工事費				
17	公有財産購入費	990	ほ場との取付道路の用地購入費				
上記の合計		112,921	職員の人件費合計	0	事業費総合計	112,921	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	県営事業分建設負担金	県ほ事業の建設負担金(事業費の17.5%)を地元と市が1/2づつ負担している。県と市並びに実行委員会の三者が連携して事業を推進している。	19	負担金補助及び交付金	96,250
					計	96,250
2	ハード	県ほ付帯単独事業	県ほ事業実施地区との取付道路等を整備することで、大型機械通行が可能になり、農作業の効率化が図られる。	13	委託料	2,500
				15	工事請負費	5,100
				17	公有財産購入費	990
				22	補償補填及び賠償金	3,738
		計	12,328			

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	204	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費			主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	2	農業総務費			基本施策	農業・農村の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			具体的な施策	農のある暮らしの充実と環境保全の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,788		246			12,542
前年度	11,925		246			11,679
増減額	863	0	0	0	0	863

特定財源の内訳	款	15	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	金額	246	合計金額	246
	金額						

【目的・効果】

【目的】

・野生鳥獣がもたらす農林水産業への被害の軽減及び人身被害の防止を図る。

【効果】

・野生動物の出没低減により、住民が安心して生活することができる。
 ・安定した農林水産業を営むことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・鳥獣被害対策実施隊を組織し被害の防止を図る。
- ・市鳥獣被害防止計画に基づき、猟友会への委託による捕獲を実施する。
- ・林縁部に緩衝帯を整備し、周辺部からの視界を良くすることにより、野生獣が出没しにくい状況にする。
- ・公道等での野生小動物の死体回収を業者に委託する。
- ・新規銃猟者確保のため、免許取得等の経費の一部を補助する。

【一般財源増加理由】

鳥獣被害実施隊への報酬の増 クマ捕獲檻巡視業務の増 クマ錯誤捕獲の増 クマ放獣対応の増 新規ハンター確保補助の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	278	鳥獣被害対策実施隊員278千円				
11	需要費	285	消耗品費185千円、檻修繕費100千円				
13	委託料	9,736	有害鳥獣捕獲外8,500千円、緩衝帯整備600千円、野生小動物死体回収636千円				
14	使用料及び賃借料	32	捕獲檻設置用地32千円				
18	備品購入費	422	野生動物捕獲檻422千円				
19	負担金補助及び交付金	2,035	駆除従事者傷害保険252千円、有害鳥獣捕獲者支援外1,783千円				
上記の合計		12,788	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,788	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣捕獲	猟友会に委託して定期的な有害鳥獣捕獲、クマ個体数調整、緊急対応を行うほか、錯誤捕獲については信州大学にも併せて対応を委託することにより、計画的に駆除を進めることができる。	13	委託料	8,500
					計	8,500
2	ハード	緩衝帯整備事業	里と山の境への緩衝帯整備により、獣害からの被害防止効果を高めることができる。	13	委託料	600
					計	600

重点施策と推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	218	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費			主要施策	次代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費			基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業			具体的な施策	森林の多目的活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	108,969	国支出金	県支出金	市債	その他	101,998
前年度	102,011		1,000		6,865	94,146
増減額	6,958	0	2,500	0	3,394	7,852

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	森林づくり推進支援金	1,000	16	浅川山林組合に関する基金利子	18	20	緑の募金緑化交付金	1,500		
16	分収造林事業基金利子	10	18	一ノ沢山林組合に関する基金繰入	900					

【目的・効果】

【目的】

・森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

・二酸化炭素の排出抑制、水源涵養や山地災害防止等の多面的機能を維持増進させ、森林浴に代表される森林の保健休養的利用やみどりの少年団活動、学有林活動による体験的森林施業など、多くの市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設け、森林の重要性を普及します。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・策定した里山再生計画に基づき、計画を実践するため推進協議会を設置して、計画に沿った活動を行う。
- ・森林体験施設等の指定管理施設(南小倉林業研修センター、天平の森)の運営業務を行う。
- ・森林づくり推進支援金を活用し、ペレットストーブ導入者に、100,000円(上限)の助成を行う。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター 指定管理者(公募)【指定管理者】(株)穂高カントリー 【期間】平成26年度～平成30年度(5年間)

【一般財源増加理由】 里山再生計画推進協議会による、各事業に取り組むため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	756	里山再生計画推進業務臨時賃金	16	原材料費	1,565	緑の募金緑化推進苗木代、光城山遊歩道補修資材
8	報償費	1,239	森林保全巡視員謝礼、林業振興協議会委員出席謝礼、里山再生計画推進委員等謝礼	18	備品購入費	891	薪割り機
9	旅費	83	職員旅費(県外視察研修)	19	負担金補助及び交付金	8,485	各山林組合運営負担金、みどりの少年団助成補助、ペレットストーブ導入補助、松本地域林業振興会
11	需用費	3,966	事務用品、燃料費、天平の森施設修繕、物品修繕	25	積立金	574	分収造林事業、一ノ沢山林組合、浅川山林組合の基金利子
12	役務費	709	ペレットストーブ点検整備、森林活動保険料、森林保険				
13	委託料	16,988	里山再生計画推進補助・運営業務委託、長峰山森林体験交流センター指定管理料				
15	工事請負費	3,500	長峰山森林体験交流センター改修工事				
上記の合計		38,756	職員の人件費合計	70,213	事業費総合計	108,969	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	長峰山森林体験交流センター改修工事	建築後20年が経過した天平の森について、施設老朽化に伴い、雨漏り等改修工事を実施することにより、今後も支障なく継続して利用ができる。	15	工事請負費	3,500
					計	3,500
2	ソフト	里山再生計画推進	里山再生計画に基づき、計画の実践のため、具体的な5つのプロジェクトを推進し、里山に多くの市民の関心を向け、里山の再生を図る。	7	賃金	756
				8	報償費	363
				13	委託料	2,241
				18	備品購入費	891
					計	4,251

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	220	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費			主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費			基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			具体的な施策	森林の公益機能の維持・増進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	299,060	国支出金	県支出金	市債	その他	10
前年度	298,819		120,324			178,726
増減額	241	0	6,433	0	0	184,918
						6,192

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林健全化推進事業補助金	103,862	15	更新伐事業雑入		10			
15	森林造成事業費補助金	13,362								
15	森林づくり推進支援金	3,100								

【目的・効果】

【目的】

・松くい虫による被害の拡大を防止し、健全な森林機能の保全を図る。

【効果】

・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。
・災害に強い森林として減災効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・森林における被害木の伐倒駆除や予防対策の薬剤散布を継続して実施する。
・庭園松等の所有者や管理者が実施する防除対策について、使用薬剤購入費や伐倒処理に対する経費への補助を行う。
・被害の激害地における更新伐事業により、広葉樹林への樹種転換を図る。
・被害木を森林資源としての有効活用を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	732	研修会講師謝礼270千円、各対策協議会委員出席謝礼462千円	16	原材料	1,394	樹幹注入剤1,188千円、予防薬剤205千円
9	旅費	398	職員旅費92千円、委員費用弁償306千円	19	負担金補助及び交付金	31,050	樹幹注入補助5,000千円、薬剤散布補助1,000千円、伐倒処理補助25,050千円
11	需用費	434	消耗品費351千円、木材乾燥燃料費外83千円				
12	役務費	891	被害材活用手数料外				
13	委託料	243,135	松枯損木伐倒駆除169,000千円、予防薬剤散布4,943千円、更新伐60,000千円、安全確認調査外3,700千円、測量設計業務外3,926千円				
14	使用料及び賃借料	799	小型破碎機借上料				
15	工事請負費	20,227	貯木場等整備工事427千円、搬入路整備19,800千円				

上記の合計	299,060	職員の人件費合計	0	事業費総合計	299,060	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	松枯損木伐倒処理外	松くい虫被害対策地区実施計画に基づき防除対策を実施し被害の蔓延防止を図る。 ・補助事業や市単事業による伐倒駆除 ・特別防除等の薬剤散布	13	委託料	173,943
					計	173,943
2	ハード	更新伐事業	松くい虫被害の激害地において更新伐を実施し、被害材も含め森林資源の有効活用を図りながら広葉樹林等への樹種転換を図る。	13	委託料	60,000
					計	60,000

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	222	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費			主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費			基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
12,516	12,176	340	0	1,442	0	601
				1,442		1,105
				0		504
						10,473
						9,629
						844

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	15	1,442					
20	1						
20	600						
							2,043

【目的・効果】

【目的】

安曇野市森林整備計画に基づき造林(下刈り、除間伐、裾枝払い等)事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人々がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画に基づき、市有林の造林事業を行う。
 ・下刈り、除間伐、裾枝払い等を行い、搬出間伐等を計画的に実施する。
 森林(もり)の里親促進事業の推進をする。
 ・まゆみ池(堀金)周辺の整備・・・GE富士電機メータ株
 ・学有林活動・・・堀金中学校、穂高西中学校
 市有林の施業指針を作成し、市有林の管理をする。

【一般財源増加理由】 市有林の現況調査を実施し施業指針を作成するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	9,823	造林事業 7地区 搬出間伐・除間伐・下刈等				
13	委託料	2,592	市有林施業指針作成業務委託				
18	備品購入費	101	市有林管理GPS購入				

上記の合計	12,516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,516	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市有林造成事業	森林整備計画及び森林経営計画により市有林の森林整備を実施し、健全な森林に育てる。	12	役務費	9,823
					計	9,823
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	222
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費	基本方針	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費	基本方針	基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業	基本方針	具体的な施策	森林施業の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
30,164	32,527	2,363	0	6,375	0	3,000
						6,480
						1,117

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	12	森林総合研究所負担金	3,000				
15	森林整備地域活動支援事業交付金	3,375					
15	森林造成事業費補助金	3,000					

【目的・効果】
【目的】
 ・水源林分収造林事業は、森林所有者と造林・保育を行う「独立法人 森林総合研究所」の2者で分収林契約を結び、裾枝払・除伐・保育等の森林の計画的な整備・維持管理を行った後、材の成育後の分収(販売)を図る事を目的に施業している。
【効果】
 ・水源林事業により、森林内の降雨や降雪等で、樹木の樹冠や森林土壌等を滞留し、河川への流出量や流出時間がコントロールされ、一部は地下地層へ浸透し地下水を形成する事ができる。また渇水時にも安定した地下水量が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・森林整備事業により林地残材となったアカマツを破砕処理する。
 ・水源林造成事業の実施と事業地の成林現況調査を2契約地で実施する。
 ・林業事業体が森林整備事業の計画作成や造林事業に対して補助金を交付する。

【一般財源増加理由】 森林総合研究所負担金収入の減による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	53	消耗品				
12	役務費	10,611	水源林造成事業地調査 2地区、アカマツ枝条処理				
19	負担金補助及び交付金	19,500	地域活動支援交付金、森林造成事業高上補助				

上記の合計	30,164	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,164	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	森林造成事業高上補助	長野県が定める「信州の森林づくり事業」を推進するため、個人林等の森林施業に対し、事業実績に応じて、市が高上補助を行う。事業の実施により森林整備が活性化される。	19	負担金補助及び交付金	15,000
					計	15,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	222	
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当				
予算	款	6	農林水産業費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費			主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費			基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業			具体的な施策	森林の多目的活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源	
		国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	21,476					21,476	
前年度	30,882					30,882	
増減額	9,406	0	0	0	0	9,406	
特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
							0

【目的・効果】
【目的】
 ・降雨や強風等により、法面崩落や路肩欠損、倒木、落石による通行に支障をきたす事案が増加していることから、林道施設の維持管理を行い安定した通行を確保する。
【効果】
 ・林道及び作業道の排水施設維持整備、土砂排除、倒木除去等を適切に行うことにより、利用者が安全で安心して通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・既存林道51路線について、草刈り、排水施設維持、土砂排除、倒木除去等の維持管理を行う。
 ・長峰山への来訪者が安全に通行できるよう、林道長峰線の部分拡幅等工事を行う。
 ・林道烏川線について、路面排水施設が有効に機能するよう、側溝の土砂排除維持工事を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	261	消耗品				
13	委託料	3,900	林道草刈り、土砂排除、倒木除去外				
15	工事請負費	16,775	林道維持補修工事、長峰線部分拡幅工事				
16	原材料費	540	工所用原材料				

上記の合計 21,476 職員の人件費合計 0 事業費総合計 21,476 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	林道維持土砂排除工事	通常の維持管理だけでは対応できない、長期間に堆積した側溝の土砂排除を行う。実施により路面排水機能の向上を図ることができる。平成28年度は林道烏川線で実施。	15	工事請負費	3,715	
					計	3,715	
2					計	0	

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	222
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	6	農林水産業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	2	林業費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業		具体的な施策	森林の多目的活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	52,559		19,028			33,531
前年度	994					994
増減額	51,565	0	19,028	0	0	32,537

特定財源の内訳	款	15	公共補助林道事業補助金	金額	19,028	合計金額	
							19,028

【目的・効果】
【目的】
 ・交通量の多い観光道路としても利用される幹線林道において、大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため、短年度に集中して危険箇所の重点的な整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 ・危険箇所を早急に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が、林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・大規模な被害を及ぼす可能性のある林道沿いの支障木について伐採を委託する。
 ・林道烏川線、林道一ノ沢線、林道長峰線の実施設計を行う。
 ・既存林道の橋梁を長寿命化させるため委託により現況調査を行う。
 ・林道烏川線と林道一ノ沢線の改良工事に着手する。

【一般財源増加理由】 支障木伐採委託 改良工事実施設計書作成(烏川線、一ノ沢線、長峰線) 工事着手(烏川線、一ノ沢線)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	12,245	支障木伐採、改良工事実施設計、工事監督補助				
15	工事請負費	40,314	林道烏川線改良、林道一ノ沢線改良				
上記の合計		52,559	職員の人件費合計	0	事業費総合計	52,559	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	林道支障木伐採委託	倒木が発生してからではなく、予め倒木の危険性が高い立木や通行の支障となる枝等を、計画的に伐採整備する。実施により通行の安全性が高まる。	13	委託料	3,000
					計	3,000
2	ハード	林道改良事業(補助事業)	補助事業を活用し、幹線林道2路線・5箇所の改良工事を実施する。	15	工事請負費	37,314
					計	37,314

商工觀光部

重点施策と 推進政策	3-1	コード	10901100		予算書ページ	198	
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係				
予算	款	5	労働費		総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費			主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費			基本施策	労働環境の整備
	事業	0105010	労働総務費			具体的な施策	勤労者の福利厚生の実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	67,287	国支出金	県支出金	市債	その他	7,287
前年度	67,287				60,000	7,287
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	20	60,000					

【目的・効果】
【目的】
 安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。
【効果】
 勤労者の生活を安定させ、働きやすい環境整備や福利厚生の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市勤労者互助会及び松本職業安定協会へ負担金を交付し、当該団体の福利厚生事業や雇用促進活動を支援する。
 ・安曇野市勤労者互助会への加入促進及びアンケート調査を踏まえた給付メニューの再構築を図る。
 ・勤労者の生活の安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせんや、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。
 ・勤労者互助会の加入パンフレットを、役員等に配布し会員の拡大を図る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	使用料及び賃借料	137	AED(3台)の借上料				
19	負担金補助及び交付金	7,150	負担金:安曇野市勤労者互助会4,250千円・松本職業安定協会100千円 補助金:勤労者住宅建設利子補給2,500千円、安曇野地区労働者福祉協議会300千円				
21	貸付金	60,000	勤労者資金預託金				
上記の合計		67,287	職員の人件費合計	0	事業費総合計	67,287	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	勤労者への融資事業の促進	勤労者福祉事業に関する他市へのアンケート調査を踏まえ、勤労者への融資制度の見直しを行い、利用者の増加や預託金の有効利用を図る。	21	貸付金	60,000
					計	60,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-1	コード	10901100		予算書ページ	198
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係			
予算	款	5	労働費		基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本施策	労働環境の整備
	事業	0105020	労働対策振興事業		具体的な施策	就労支援の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,103					3,103
前年度	3,475					3,475
増減額	372	0	0	0	0	372

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 地域内の求職者の就職機会の向上を図るために、ふるさとハローワーク(地域職業相談室)を、松本公共職業安定所と共同で運営する。
【効果】
 求職者の利便性と就業機会の拡大が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ふるさとハローワーク(地域職業相談室)の運営により、求職者の雇用支援を行う。
 ・公共職業安定所と共催して、安曇野市合同就職面接会を開催する。
 ・生活労働相談会を開催する。
 ・わかもの就職サポート相談会を開催する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
7	賃金	1,753	ふるさとハローワーク受付事務						
11	需用費	18	ふるさとハローワーク事務用消耗品						
12	役務費	315	ふるさとハローワーク電話料299千円・玄関マット等手数料16千円						
13	委託料	90	労働相談員委託業務						
14	使用料及び賃借料	267	就職面接会場借上げ料190千円・ふるさとハローワークコピー機使用料77千円						
19	負担金補助及び交付金	660	ふるさとハローワーク県安曇野庁舎共益費						
上記の合計		3,103	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,103	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ソフト	ふるさとハローワーク(地域職業相談室)運営	ふるさとハローワーク(地域職業相談室)利用者の利便性の向上と就職率の向上に努める。		7	賃金	1,753
					11	需用費	18
					12	役務費	315
					19	負担金補助及び交付金	660
						計	2,746
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	3-1	コード	10901100		予算書ページ	198	
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係				
予 算	款	5	労働費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	労働費		基本方針	主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	労働諸費		基本方針	基本施策	労働環境の整備
	事業	0105030	勤労者福祉センター管理		基本方針	具体的な施策	就労支援の促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	796					796
前年度	2,009					2,009
増減額	1,213	0	0	0	0	1,213

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

勤労者の福祉増進を図る。

【効果】

勤労者の福祉増進の場を提供することで、自己啓発や地域活動につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市穂高勤労者福祉センターの運営を指定管理者に委託すると共に、利用者の実態を踏まえて、施設の有効利用やあり方について検討する。
- ・施設老朽化による必要な修繕及び補修を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	50	施設修繕費				
13	委託料	746	指定管理委託料				

上記の合計 796 職員の人件費合計 0 事業費総合計 796 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	施設の有効活用	利用者の実態を踏まえて、施設の有効利用やあり方について検討する。	11	需用費	50
				13	委託料	746
					計	796
2						
					計	0

重点施策と推進政策	3-4	コード	10901100	予算書ページ	232
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係		

予算	款	7	商工費	総合	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費	計画	主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	商工総務費	計画	基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費	計画	具体的な施策	商業への支援、経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	225,110					225,110
前年度	220,345					220,345
増減額	4,765	0	0	0	0	4,765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

商工業の総合的な振興を図り、活力あるまちづくりを目指す。

【効果】

市内の経済活動全般に活力を生み出し、活力あるまちづくりに寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・商工業振興審議会を開催し、商工業の振興に関する審議を行う。

・安曇野市商工会に対して補助金を交付する。

【経営改善普及事業】

小規模事業者等の振興と安定に寄与するため、経営の改善発達を支援する事業に対して補助する。

【地域総合振興事業】

商工業の総合的な発展を図るために実施する事業に対して補助する。

【一般財源増加倍理由】 人件費の増及び新そばと食の感謝祭事業について、実行委員会への負担金として増額したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	84	商工業振興審議会				
9	旅費	200	職員旅費				
11	需用費	107	経済関係書籍・事務用品				
13	委託料	54	安曇野地区産業事情視察等バス運行業務				
14	使用料及び賃借料	12	駐車場使用料				
19	負担金補助及び交付金	64,611	まつもと広域ものづくりフェア負担金800千円・新そばと食の感謝祭負担金8,000千円・商工会経営改善普及事業補助金20,787千円・地域総合振興事業補助金35,020千円				

上記の合計	65,068	職員の人件費合計	160,042	事業費総合計	225,110	OK
-------	--------	----------	---------	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	新そばと食の感謝祭	安曇野市のそばを始めとする食の魅力を発信し、魅力あるイベントにするために、事業内容や告知体制の充実を図る。	19	負担金補助及び交付金	8,000
					計	8,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	4-1	コード	10901100		予算書ページ	232
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係			
予算	款	7	商工費	総合計 画	基本方針	安全・安心・快適な街の形成
	項	1	商工費		主要施策	公共交通の整備
	目	1	商工総務費		基本施策	公共交通の利用促進
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対策事業		具体的な施策	公共交通の利用促進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,317				7,081	13,236
前年度	20,148				6,681	13,467
増減額	169	0	0	0	400	231

特定財源の内訳	款	13	市営駐車場使用料	金額	3,081	合計金額
		20	JR乗車券類等発売業務	金額	4,000	

【目的・効果】
【目的】
 市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅の管理運営と市営駐車場の管理運営を行う。
【効果】
 駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化及び利用者の利便性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・JR営業線無人駅での乗車券類を発売をする。
 ・市内10駅に点在する駐輪場の管理をする。
 ・安曇野IC東駐車場の管理をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,318	安曇野IC東駐車場、JR駅管理消耗品228千円・JR施設修繕費100千円・安曇野IC東駐車場、JR駅光熱水費940千円				
12	役務費	342	安曇野IC東駐車場自動精算機警備通信費90千円・簡易委託駅6駅分電話料252千円				
13	委託料	17,921	JR駅駐輪場管理業務1,645千円・JR簡易委託駅乗車券類発売業務13,540千円・安曇野IC東駐車場自動精算機保守警備業務1,827千円				
14	使用料及び賃借料	736	JR駅駐輪場用地借上料				
上記の合計		20,317	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,317	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	JR簡易委託駅乗車券類発売業務	JR利用者の利便性の向上を図る。	13	委託料	13,540
					計	13,540
2	ソフト	安曇野IC東駐車場管理業務	高速乗合バス利用者の利便性の向上を図る。	11	需用費	283
				12	役務費	90
				13	委託料	2,105
					計	2,478

重点施策と 推進政策	3-4	コード	10901100		予算書ページ	234	
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係				
予算	款	7	商工費		総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費			主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費			基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業			具体的な施策	商業への支援・商業空間の形成

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	67,651	国支出金	県支出金	市債	その他	52,064
前年度	83,081	24,200	1,750		403	56,728
増減額	15,430	9,016	1,750	0	0	4,664

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	産業会館使用料	97	20	産業会館光熱水費	126	15,587
	13	まちづくり会館使用料	180				
	14	都市再生整備計画事業	15,184				

【目的・効果】

【目的】

にぎわいあるまちづくりを目指すため、個性を生かした商店街や店舗づくりを支援し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図る。

【効果】

商店街のにぎわいを創出し、個店への誘客を増やす。
地元消費の拡大と地域経済の活性化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・空き店舗等活用事業実施者へ助成する。
- ・都市再生整備事業を活用した、穂高駅通り商店街の基盤整備(街路灯のリニューアル)を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,314	まちづくり会館光熱水費540千円・燃料費174千円 明科産業会館光熱水費415千円				
12	役務費	131	まちづくり会館電話料44千円・まちづくり会館設備点検手数料87千円				
13	委託料	6,318	まちづくり会館施設管理2,605千円・明科産業会館管理委託313千円・街路灯整備監理委託3,400千円				
14	使用料及び賃借料	276	まちづくり会館駐車場借地料				
15	工事請負費	34,560	穂高駅通り街路灯整備工事				
19	負担金補助及び交付金	25,052	創業実現セミナー開催事業1,200千円・商店街等支援助成事業(空き店舗等活用、若者女性創業支援外)23,444千円・松本山雅試合場出店助成400千円				
上記の合計		67,651	職員の人件費合計	0	事業費総合計	67,651	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	穂高駅通りの街路灯リ ニューアル工事	穂高駅通りの街路灯リ ニューアル工事を引き 続き行い、老朽化対策と 来訪者等に対する安 曇野らしいイメージア ップに取り組む。	13	委託料	3,400
				15	工事請負費	34,560
					計	37,960
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-4	コード	10901100		予算書ページ	234	
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係				
予算	款	7	商工費		総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費			主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費			基本施策	商業の振興
	事業	0107040	緊急経済対策事業			具体的な施策	経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,753				30,000	46,753
前年度	76,723					76,723
増減額	30	0	0	0	30,000	29,970

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	30,000							
									30,000	

【目的・効果】
【目的】
 市内建築関連産業の活性化と併せて市民の住環境の向上、若年層等の移住・定住化を図るため、地域経済活性化住宅助成事業を継続実施する。
【効果】
 住宅関連産業への受注を促し、地域経済の活性化と共に、人口減対策につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 住宅改修工事、耐震化付帯工事及び新築住宅の取得に際し、工事実施者(施主)に補助金を交付する。

メニュー	メニュー	メニュー	メニュー
補助内容	住宅の改修工事	耐震化付帯工事	新築住宅の取得
対象工事金額	工事金額 が20万円以上	耐震補強工事費以外の工事費が50万円以上あること	500万円以上
補助金額 <small>(計算で千円未満の端数が できた場合は切り捨て)</small>	対象工事金額×10%	対象工事金額×20%	50万円
補助上限金額	20万円	30万円	50万円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,753	企業支援等対策事業非常勤賃金				
19	負担金補助及び交付金	75,000	地域経済活性化住宅助成事業補助金				

上記の合計	76,753	職員の人件費合計	0	事業費総合計	76,753	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域経済活性化住宅助成事業	経済波及効果の高い事業であることから、地域経済の活性化と人口減対策として、継続して取り組む。	7	賃金	1,753
				19	負担金補助及び交付金	75,000
					計	76,753
2						
					計	0

予算書ページ	234
--------	-----

重点施策と推進政策	3-5	コード	10901200
		部・課・係等	商工労政課工業振興係

予算	款	7	商工費	総合計	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちづくり
	項	1	商工費		主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	2 工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業		具体的な施策	生産基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150,687					150,687
前年度	144,536					144,536
増減額	6,151	0	0	0	0	6,151

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・企業誘致と既存企業の生産基盤整備等の支援により、地域経済の発展や雇用促進を図る。

【効果】

・市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援をすることで、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・域内における効率的な経済活動等を図るため、企業等の情報を瞬時に共有できる産業振興ポータルサイトを構築する。
 ・企業誘致や市内の既存企業支援のために既存の9つの補助メニューに加え、東京23区や他の地域からの本社機能移転促進事業として、税条例の一部改正及び本社機能移転企業雇用創出事業を新設し、積極的な取り組みを行う。

【一般財源増加理由】 産業振興ポータルサイトの構築及び本社機能移転企業雇用創出事業の助成金新設、生産設備取得事業助成金の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,363	産業支援コーディネーター	28	繰出金	873	産業団地造成事業特別会計
8	報償費	305	新製品・新技術開発事業審査会出席謝礼30千円 工業振興連携推進協議会出席謝礼275千円				
9	旅費	151	職員旅費51千円 産業支援コーディネーター費用弁償61千円 工業振興連携推進協議会等実費弁償39千円				
11	需用費	123	事務用品40千円 コーディネーター車燃料費83千円				
13	委託料	4,699	産業振興ポータルサイト構築3,699千円 保守料1,000千円				
14	使用料及び賃借料	210	コーディネーター車リース料				
19	負担金補助及び交付金	140,963	安曇野工業会負担金694千円 日本経済研究センター負担金324千円 企業等支援助成金139,945千円				
上記の合計		150,687	職員の人件費合計	0	事業費総合計	150,687	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	産業振興ポータルサイト構築事業	「企業等の情報を瞬時に共有できるプラットフォーム的なシステムの構築」により、企業間の受発注、求人などの情報が迅速に可能となり、販路開拓や人材確保が期待できる。	13	委託料	4,699
					計	4,699
2	ソフト	本社機能移転企業雇用創出事業	安曇野市内に本社機能を移転する企業への優遇措置として、税条例の一部改正及び新たに従業員を雇用する支援策として、「本社機能移転企業雇用創出事業」を企業支援補助金の新たなメニューとして構築し、本社移転に取り組む。	19	負担金補助及び交付金	1,000
					計	1,000

重点施策と 推進政策	3-4	コード	10901100		予算書ページ	236	
		部・課・係等	商工観光部・商工労政課・商業労政係				
予算	款	7	商工費		総合計 画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費			主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	2	商工振興費			基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			具体的な施策	経営の安定化

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	938,451	国支出金	県支出金	市債	その他	33,451
前年度	947,482				905,000	42,482
増減額	9,031	0	0	0	0	9,031

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	20	市制度資金元金	900,000								905,000
	20	制度資金保証料補給金返還金	5,000								

【目的・効果】
【目的】
 市内企業等の経営安定化を図るため、市内金融機関に資金を預託し、それを担保に中小企業の運転、設備資金の貸し付けを行う。
【効果】
 一般貸付よりも低利で貸し付け、県信用保証協会の保証料の補給と1年度に限り利子の最大1%分を補助することにより、経営の安定化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 制度資金の保証料に対して補給金を負担する。
 制度資金利用者に対して、融資実行日から1年間、年1%を上限として利子補給する。
 制度資金貸し付けのための担保として、金融機関に預託金を預託する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	38,451	制度資金保証料補給金 27,732千円 制度資金利子補給 10,719千円						
21	貸付金	900,000	融資事業預託金						

上記の合計	938,451	職員の人件費合計	0	事業費総合計	938,451	OK
--------------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ソフト	市制度資金貸付事業	中小企業の安定経営や設備投資のため、必要な融資や利子補給等を行い、活発な企業活動につなげる。		19	負担金補助及び交付金	38,451
					21	貸付金	900,000
						計	938,451
2						計	0

重点施策と 推進政策	3	コード	10901300	予算書ページ	236	
		部・課・係等	商工観光部商工労政課産業連携推進係			
予算	款	7	商工費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費	計画	主要施策	安曇野モデル構築に取り組みまち
	目	2	商工振興費	画	基本施策	地域資源を活用した産業モデルへの取り組み
	事業	0107070	産業連携推進事業		具体的な施策	多種多様な連携構築の支援

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,523				18	12,505
前年度	9,907					9,907
増減額	2,616	0	0	0	18	2,598

特定財源の内訳	款	12	地域産品販路拡大支援事業 業出展事業者負担金	金額	18	合計金額	18
	細節名称						
	金額						
	金額						

【目的・効果】

(目的)

地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存のカテゴリーの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。

(効果)

異業種との連携・協働による商品開発や販路拡大、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・産業支援コーディネーターと外部プロデューサーを配置し、情報の共有を図り連携型産業のマッチングとブランド化を進める。
- ・市内の異業種間が連携した取り組みを推進するため「農商工等連携型産業推進協議会」により、課題解決に向け情報共有を図る。
- ・地域資源活用型連携推進事業推進のため、事業公募を実施し、審査会による補助事業採択を行なうなどの支援により、具現化に向けた推進を図る。
- ・既存商品群も含め、首都圏への販路拡大を行ない、企業収益の向上と新取引先の開拓を支援する。
- ・モデル的な農商工連携事業に対し、具現化に向けた推進支援を行う。
- ・首都圏モニター及び流通業者による安曇野市の地域資源のポテンシャルを探るため、首都圏ニーズ調査を実施し、商品開発及びブラッシュアップにつなげ、売れる商品企画の基礎資料とする。

〔一般財源増加理由〕 地方創生先行型事業の継続及び新規事業の首都圏等市場ニーズ調査、新商品開発支援モデル事業による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,432	産業支援コーディネーター(流通・食品系)	19	負担金補助及び交付金	5,640	展示会小間料440千円・地域資源活用連携推進事業補助3,000千円・地域資源活用モデル事業補助2,000千円
08	報償費	480	外部プロデューサー謝礼250千円・補助金認定審査会出席謝礼90千円・視察等土産代12千円・4市イベント等謝礼128千円				
09	旅費	1,517	販路展示会等の職員旅費491千円・産業支援コーディネーター旅費498千円・審査委員、イベント外実費弁償528千円				
11	需用費	50	コーディネーター車燃料代				
12	役務費	100	展示会用品宅配代				
13	委託料	800	首都圏等市場ニーズ調査				
14	使用料及び賃借料	504	コーディネーター車リース代194千円・公用車駐車場使用料10千円・展示会備品レンタル300千円				
上記の合計		12,523	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,523	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	首都圏等市場ニーズ調査事業	地域資源を最大限に活かすため、首都圏モニター及び流通業者から市場調査を実施し、商品開発の基礎資料を集め、事業者との情報共有を図ると共に、新たな商品開発や販路拡大につなげる。	13	委託料	800
					計	800
2	ソフト	地域資源活用型新商品開発推進支援モデル事業	第2・3次事業者が求める地域素材が無く、これから新たな農商工連携事業のモデルとなる事業を開始するにあたり、その導入支援を行う。	19	負担金補助及び交付金	2,000
					計	2,000

予算書ページ	238
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,331				20	13,311
前年度	14,483				13	14,470
増減額	1,152	0	0	0	7	1,159

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	天蚕振興基金利子		20						

【目的・効果】

- 【目的】 ・安曇野の持つブランドイメージを活用し、商品・サービスのブランド化の構築を図る。
 【効果】 ・お土産等の商品開発により観光地としての魅力が高まり、来訪者の満足度が向上する。
 ・地域ブランド化により商品等の価値が高まり、新たな市場が開拓される。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野の食の魅力を高める取り組みとして、安曇野やさいスイーツフェアの開催や、安曇野林檎ナポリタンのPR、安曇野ご当地カレー等の検討を進める。
 ・安曇野市へのロケ誘致を推進するため、映画・ドラマ等の撮影関係者が市内に宿泊する場合、宿泊費の一部を助成する。
 ・天蚕に関する資料展示や機織作業が見学できる安曇野市天蚕センターの指定管理を行う。また、天蚕関係者で組織されている安曇野市天蚕振興会と連携し、繭、糸、製品の安定生産を図り、産業として確立できるように必要な支援を行う。
 ・安曇野の朝を効果的に伝えるための宣材として、市内観光資源の写真・映像の撮影を行う。
 ・安曇野ブランド創出に取り組んでいる市民団体の支援を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	120	ご当地料理検討協力謝礼等				
9	旅費	156	会議、視察等の旅費				
11	需用費	180	参考図書、事務消耗品等				
13	委託料	8,914	天蚕センター指定管理料、写真等撮影業務委託、ロケ誘致推進委託等				
14	使用料及び賃借料	245	天蚕センター等借地料				
19	負担金補助及び交付金	3,695	プロジェクト団体・天蚕振興会等補助				
25	積立金	21	天蚕振興基金				
上記の合計		13,331	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,331	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	天蚕振興事業	経済産業省の「絹のみちプロジェクト」や「信州シルクロード連携協議会」に参加し、他のシルク産地と連携した広域観光ルートの開発や新商品開発により、当市への観光誘客や地域活性化を図る。	13	委託料	3,540
				14	使用料及び賃借料	245
				19	負担金補助及び交付金	1,210
				25	積立金	21
					計	5,016
2	ソフト	「朝が好きになる街」ブランドづくり事業	「朝が好きになる街」をコンセプトに観光パンフレット、ホームページ等に使用する観光スポット及び風景の写真・映像を新たに撮影し、安曇野市の魅力を高めるための広報宣伝に活用する。	13	委託料	4,000
					計	4,000

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902100
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当

予算書ページ	240
--------	-----

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業		具体的な施策	受け入れ態勢の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	59,405					59,405
前年度	48,903					48,903
増減額	10,502	0	0	0	0	10,502

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】 ・山岳と平地の観光情報の発信、観光案内の充実を図るとともに、地域資源を活かした着地型旅行商品を来訪者に提供する。
 ・快適な二次交通を提供し、受入体制の整備を図る。
 ・市内事業者の研修会の開催や観光案内の充実を図り、インバウンド元年の取り組みとして外国人旅行者を受け入れるための環境を整備する。
- 【効果】 ・観光誘客により他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 観光情報センターでの案内業務や旅行商品の造成・販売業務を充実させ受入体制の整備を図る。
- 観光施設における来訪者アンケート調査を実施し、一層のおもてなしの向上に役立てる。
- 観光協会へ補助金を交付し、「山と平地の連泊プラン」「貸切バス助成事業」等、観光消費を喚起する事業を推進する。
- 国の「山の日」制定を記念して、関係者が連携して開催する「北アルプスパノラマ銀座 山岳フェス2016(仮)」の事業に補助を行い、安曇野の山岳の魅力を発信する。
- 安曇野をゆっくりと回遊していただくために二次交通(周遊バス)の運行支援を行う。
- 新たに作成した外国語パンフレットの活用や、別途計画しているWi-Fi環境整備、外国語対応の観光アプリの導入、外国人のおもてなし研修会の開催など、外国人旅行者の誘客を図るための施策を積極的に展開する。
- 修学旅行や林間学校での農家民宿の受入を拡大し、多くの子供たちに安曇野を体感していただく機会を提供する。

〔一般財源増加理由〕 観光消費喚起のためのバス助成事業や宿泊助成事業の実施、ホームページの充実などの事業を実施するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,750	臨時職員賃金				
12	役務費	22	クリーニング代				
13	委託料	34,317	観光案内情報発信業務、観光素材造成業務等				
14	使用料及び賃借料	216	イベント会場使用料				
19	負担金補助及び交付金	23,100	観光推進組織補助金、二次交通補助、宿泊助成補助等				
上記の合計		59,405	職員の人件費合計	0	事業費総合計	59,405	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	観光消費喚起事業	規制強化に伴うツアー減少を解消するための「貸切バスツアーへの助成」や、「山と平地で2連泊した場合の宿泊助成」を実施し、安曇野市への観光誘客を図る。	19	負担補助及び交付金	7,400
					計	7,400
2	ソフト	山岳観光推進事業	「山の日」制定を記念し「北アルプスパノラマ銀座山岳フェス2016」を開催し、登山の理解を深めていただくとともに安曇野市の山岳観光の一層の推進を図る。	19	負担補助及び交付金	4,500
					計	4,500

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902100	予算書ページ	240
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 ブランド推進担当		

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		具体的な施策	観光情報の発信

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,489					32,489
前年度	31,812					31,812
増減額	677	0	0	0	0	677

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】観光地として「安曇野」が選ばれるよう関係市町村・事業者と連携した取り組みを進めるほか、インターネットやフェイスブック等の多様なツールを活用し、安曇野の魅力を国内外に積極的に発信する。
 【効果】来訪者の拡大に伴う地域活性化（観光関連事業者、農業関連事業者、その他産業への経済波及の拡大）

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市を紹介する総合パンフレット等の広報物の作成や、旅行雑誌・新聞等への観光情報の掲載、また、高速バス（新宿～白馬線）へのラッピング広告の掲出等により安曇野の広告宣伝を行う。
 ・安曇野市の山岳と平地観光をテーマにしたTV番組を制作し放映する。また、取材映像を活用した多言語DVDを制作し海外向け営業に活用する。
 ・観光協会と連携し、マスメディア、旅行エージェンツ向けの広告宣伝と営業活動を展開する。
 ・周辺市町村との連携による観光PRイベント開催等の誘客プロモーションを実施する。

〔一般財源増加倍理由〕 デスティネーションキャンペーン実行委員会等の負担金が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	600	情報発信記念品				
9	旅費	1,054	観光振興イベント等旅費				
11	需要費	3,419	総合パンフレット等印刷製本費				
12	役務費	5,312	新聞雑誌等広告掲載費、高速バスラッピング等				
13	委託料	14,203	広告宣伝観光誘客業務、TV番組制作費等				
14	使用料及び賃借料	525	新宿駅観光看板掲出等				
19	負担金補助及び交付金	7,376	広域観光団体等負担金				
上記の合計		32,489	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,489	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	観光誘客テレビ番組放送等事業	安曇野市の山岳と平地観光の魅力を効果的に情報発信するためのテレビ番組を放映する。また、取材映像を活用し、観光プロモーションに活用する多言語対応のDVDを制作する。	13	委託料	5,940
					計	5,940
2	ソフト	広域連携観光誘客事業	県や周辺市町村、観光施設等と連携し、観光誘客の推進や、松本空港の利用促進等の事業に取り組む。	19	負担金補助及び交付金	7,376
					計	7,376

予算書ページ	238
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902200
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・観光交流促進係

予算	款	7	商工費	総合 計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	交流促進事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
46,963	34,600	12,363	0	0	0	23,000
						23,963
						18,500
						7,863

特定 財源 の内 訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	15,000							
20	スポーツ振興くじ助成金	8,000								

【目的・効果】

- 【目的】・交流人口の拡大、観光経済波及効果の向上を図るため、賑わい創出事業(各種イベント)を実施する。
- 【効果】・安曇野市の魅力を高めるイベントの情報発信及びイベントの実施により、交流人口の拡大と市民参加による地域づくりが図られる。
- ・滞在交流型観光地への展開の推進により、地域経済の活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・交流人口の拡大を図るため、賑わい創出事業として、「観光草競馬大会」「信州安曇野わさび祭り」「安曇野花火」「信州安曇野あやめまつり」「早春賦まつり」「信州安曇野ハーフマラソン」を実施する。
- ・ご遷宮祭の会場に市内4地区のオフネを出展し、安曇野市の豊かな伝統文化の発信により、賑わいを創出する。
- ・西山山麓の観光拠点である安曇野しゃくなげの湯の周辺において地域と連携を図り、イベントの実施により、交流人口の拡大を図る。

しゃくなげの湯竣工イベント及び、オフネの展示制作委託等支出の増加、並びに、信州安曇野ハーフマラソンにおける県元気づくり支援金と、協賛金収入の減少による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	120	駅からハイキング等おもてなし				
9	旅費	305	マラソンPR他				
12	役務費	40	傷害保険				
13	委託料	6,439	オフネの展示等				
14	使用料及び賃借料	135	投光器外借上げ				
16	原材料費	294	駐車場用グラント整備材料				
19	負担金補助及び交付金	39,630	信州安曇野わさび祭り、安曇野花火、あやめまつり、第2回信州安曇野ハーフマラソン大会等				
上記の合計		46,963	職員の人件費合計	0	事業費総合計	46,963	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ご遷宮祭におけるオフネの展示事業	穂高神社のご遷宮祭の会場に、市内4地区のオフネの展示を行い、安曇野市の豊かな伝統文化の発信により、交流人口の拡大を図る。	12	役務費	40
				13	委託料	5,439
				14	借上げ料	135
					計	5,614
2	ソフト	第2回信州安曇野ハーフマラソン	第2回信州安曇野ハーフマラソンから、新規種目「ファミリーラン」を追加し、おもてなし等の充実により更に魅力を高め「安曇野ファン」を増やし交流人口拡大により地域経済の活性化を図る。	16	原材料費	294
				19	補助金	26,000
					計	26,294

予算書ページ	240
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107120	観光拠点整備事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	380,695	92,655			60,000	228,040
前年度	79,554	11,200				68,354
増減額	301,141	81,455	0	0	60,000	159,686

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	92,655							
18	公共施設整備基金繰入金	60,000								

【目的・効果】

【目的】 安曇野市の特性である、自然環境資源等を生かした観光拠点の整備を行なう。

【効果】 観光拠点の整備及び拠点間を繋げるにより、来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長と満足度の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・都市再生整備計画事業により、平地での観光拠点整備事業を計画的に行なう。(平成26年度から平成30年度までの5年間)
- ・安曇野しゃくなげの湯周辺整備の基本計画設計に着手し、しゃくなげ荘等の解体及び管理棟・足湯等の実施設計を進める。
- ・三郷スカイライン展望台周辺整備事業としてトイレ新築工事に5月頃より着手し、7月中旬頃の完成を目指す。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	46,069	しゃくなげの湯周辺整備基本計画設計、しゃくなげ荘ほか解体実施設計等				
15	工事請負費	334,626	安曇野しゃくなげの湯周辺整備、三郷スカイライントイレ新築工事				
上記の合計		380,695	職員の人件費合計	0	事業費総合計	380,695	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	しゃくなげの湯周辺整備事業	安曇野しゃくなげの湯周辺整備及びしゃくなげ荘・温泉健康館の解体工事等、観光拠点としての基盤整備により、滞在時間の延長を図る。	13	委託料	45,570
				15	工事請負費	322,670
					計	368,240
2	ハード	三郷スカイライン展望台周辺整備	三郷スカイライン展望台周りにトイレを新築し、観光拠点整備により満足度の向上を図り滞在時間の延長を図る。	13	委託料	499
				15	工事請負費	11,956
					計	12,455

予算書ページ	242
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107130	しゃくなげの湯整備事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,044,562	440,691	603,871	0	0	776,700	70,000
					336,800	70,000
					439,900	0
						197,862
						33,891
						163,971

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	福祉基金繰入金	70,000							
21	しゃくなげの湯整備事業	776,700								

【目的・効果】

【目的】・天然温泉を活用した安曇野しゃくなげの湯の建設により、市民の福祉と健康づくりの場及び交流の場となるよう施設の整備を行う。
 【効果】・安曇野しゃくなげの湯及び周辺との複合的な整備により、西山山麓の観光拠点の中心施設として滞在時間の延長を図り、安曇野での満足度を高めると共に経済波及効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野しゃくなげの湯のスムーズな開業に向け、建設工事を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	245	建築確認完了審査手数料				
13	委託料	21,492	工事監理業務				
15	工事請負費	1,000,902	安曇野しゃくなげの湯整備				
18	備品購入費	21,923	安曇野しゃくなげの湯備品購入				
上記の合計		1,044,562	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,044,562	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	安曇野しゃくなげの湯整備事業	安曇野しゃくなげの湯の建設により、自然の恵みである温泉を楽しむ市民の健康と福祉の向上を図り、魅力ある観光の拠点となる温浴施設を建設する。	13	委託料	21,168
				15	工事請負費	1,000,902
					計	1,022,070
2						

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算書ページ	242
--------	-----

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,319				1,090	19,229
前年度	22,930				1,390	21,540
増減額	2,611	0	0	0	300	2,311

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ふれあい体験館外施設使用料	1,090							

【目的・効果】

【目的】・貴重な資源である天然温泉を多くの人々が利用できるよう、既存温泉施設の維持管理を行い安曇野の魅力を高める。

【効果】・老朽化が進む施設を適切に維持管理し、利用者が天然温泉を享受できるよう受け入れ態勢を整え、利用者の満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・湯多里山の神、温泉健康館、足湯の維持管理を行ない、来訪者の満足度の向上を図る。

・湯多里山の神は、年次計画により、ボイラー等設備機器の施設改修を行なう。

・安曇野しゃくなげの湯の開業に向けて、指定管理者及びピフ穂高等周辺関係者により、安曇野しゃくなげの湯を中心とした活用策について協議する。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	30	鉱山保安会議				
11	需用費	4,893	湯多里山の神・温泉健康館修繕、足湯水道料・電気料				
12	役務費	8	豊科鉱山水質検査等				
13	委託料	2,629	湯多里山の神改修設計及び監理等				
14	使用料及び賃借料	1,444	温泉健康館駐車場借地料				
15	工事請負費	7,971	湯多里山の神改修工事				
19	負担金補助及び交付金	3,344	温泉健康館温泉利用負担金等				
上記の合計		20,319	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,319	OK

〔上記予算の内の「重点事業」の概要〕

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	湯多里山の神改修事業	湯多里山の神のボイラー等設備機器改修により、安定的なサービスを提供する。	13	委託料	1,059
				15	工事請負費	7,971
					計	9,030
2	ソフト	安曇野しゃくなげの湯活用方法についての協議	指定管理者、観光協会、ピフ穂高、周辺施設と、安曇野しゃくなげの湯を中心に万全な態勢づくりにより、健康・癒し・交流等、魅力ある観光拠点となるよう協議する。			
					計	0

予算書ページ	242
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,476					2,476
前年度	4,640					4,640
増減額	2,164	0	0	0	0	2,164

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の往時の姿を楽しめるよう、維持管理を行ない、来訪者の増加を図る。
 【効果】・歴史的遺産を、貴重な観光資源として活用し、来訪者の滞在時間の延長を図り満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・潮沢廃線敷の公衆便所等維持管理により、受入環境を整え、来訪者の満足度の向上を図る。
 ・三五山トンネル、漆久保トンネルの安全・安心を高めるため、継続監視業務を行なう。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼				
11	需用費	396	潮公衆便所他電気料、水道料、下水道料				
12	役務費	182	トイレ汲取り手数料				
13	委託料	1,444	三五山・漆久保トンネル打音調査及び継続監視等				
14	使用料及び賃借料	100	仮設トイレ借上料				
16	原材料費	54	廃線敷整備用砂利				
上記の合計		2,476	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,476	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	漆久保・三五山トンネル 継続監視業務	漆久保・三五山トンネル継続監視業務を行い、来訪者の安全安心を確保する。	13	委託料	767
					計	767
2						
					計	0

予算書ページ	244
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	98,616	610			1,899	96,107
前年度	111,806				42,209	69,597
増減額	13,190	610	0	0	40,310	26,510

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	かじかの里キャンプ場使用料	90							
14	自然環境整備交付金(国立公園整備事業)	610								
20	観光施設駐車場負担金	1,809								

【目的・効果】

- 【目的】 ・市民と来訪者が観光施設を快適に利用できるよう、施設整備を行なう。
- 【効果】 ・かじかの里トイレの整備により安曇野市のイメージアップを図ることができる。
- ・北アルプスの登山道整備により、登山者が安全で快適に登山を楽しむことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
- ・かじかの里公園等の公園施設(8施設)及び公衆便所(23箇所)の維持管理を行なう。
- ・公衆トイレの快適性向上を図るため、三股駐車場公衆トイレの改修工事設計業務を行なう。
- ・登山者に安全で快適な登山を提供するため、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金を支出し登山道を整備する。(28年度整備路線は、燕岳歩道、常念岳歩道等の協議会登録ルートを重点的に整備する。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	1,941	登山道草刈謝礼	16	原材料費	240	明科駅前植栽用花苗等
9	旅費	95	事業先進地視察	19	負担金補助及び交付金	8,074	北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金等
11	需用費	5,341	施設小破修繕、光熱水費	28	繰出金	28,544	観光宿泊施設特別会計繰出金
12	役務費	1,809	トイレ汲取り手数料等				
13	委託料	16,433	公衆便所等清掃委託、トイレ改修設計				
14	使用料及び賃借料	5,377	白鳥湖仮設トイレ借上料、観光施設用地借地料等				
15	工事請負費	30,762	観光案内板整備工事・整備撤去工事等				
上記の合計		98,616	職員の人件費合計 0	事業費総合計		98,616	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	三股駐車場山岳トイレ改修工事設計業務 合戦小屋山岳トイレ新築工事設計業務	登山者受入環境整備として、三股駐車場トイレ水洗化改修及び合戦小屋トイレ水洗化新築工事の設計業務を行い、環境整備を図る。	13	委託料	1,955
					計	1,955
2	ハード	観光案内板整備事業	観光案内板の整備により、安曇野市のイメージアップを図るとともに、来訪者をスムーズに観光施設等へ案内誘導する。	15	工事請負費	3,000
					計	3,000

予算書ページ	246
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	7	商工費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	商工費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	3	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,362					3,362
前年度	3,362					3,362
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・貴重な資源である水に触れ自然体験ができるよう、施設の管理運営を行なう。

【効果】・当施設の利用により、豊富な水と自然に親しみ、自然とふれあう機会を提供し、観光拠点として市内での回遊性と来訪者の滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・指定管理者により自然体験交流センター「せせらぎ」の良好な管理運営を行うとともに、施設の新たな有効活用方法について検討する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	100	小破修繕				
13	委託料	3,262	指定管理料				
上記の合計		3,362	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,362	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定管理業務	施設の魅力を高め交流人口の拡大を図る。	13	委託料	3,262
					計	3,262
2					計	0

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策と推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部・観光交流促進課・拠点維持整備係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	河川費		基本施策	観光の振興
	事業	0108170	水辺の楽校費		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,649					1,649
前年度	1,649					1,649
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・遊歩道の散策や貴重な資源である水に触れ自然体験ができるよう、施設の維持管理を行なう。

【効果】・恵まれた水と緑豊かな自然に包まれた環境を活かし、来訪者に自然とふれあう場を提供し、観光拠点として来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・御宝田水のふるさと公園の維持管理を行い、来訪者が自然に親しむ機会の提供を行う。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	223	施設管理用品				
12	役務費	24	手数料、保険料				
13	委託料	1,234	公園整備				
14	使用料及び賃借料	168	重機借上げ料				
上記の合計		1,649	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,649	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	御宝田遊水池揚水管理業務	御宝田遊水池揚水管理業務を行い施設の適正な管理により自然とふれあう場を提供し、滞在時間の延長を図る。	13	委託料	1,234
					計	1,234
2					計	0

都市建設部

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策と推進政策	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費	基本施策	道路の整備
	事業	0108010	土木総務費	具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	262,219		10		38,857	223,352
前年度	262,349		3,365		38,769	220,215
増減額	△ 130	0	△ 3,355	0	88	3,137

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用	27,700	13	公共物占用料滞納繰越分	1	20	有料道路割引回数券販売代	8,202	
13	道路占用滞納繰越分	1	15	県有料道路通行料金負担軽減事業助成金	10	20	その他雑入(都市建設部)	1		
13	公共物占用料	2,900	20	地図交付代	52					

【目的・効果】

【目的】

・利便性・安全性が確保された道路整備を進めるとともに、体系的な道路網の構築を図る。

【効果】

・国道や県道をはじめ幹線道路の整備を行うことで、人・モノ・情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・国道19号明科駅前歩道整備事業の促進を図るため、地元調整及び長野国道事務所との協議を進める。
- ・県下有料道路の利用者負担軽減を図るため、割引回数券の販売を行う。
- ・市内建設業者の技術者育成を図るため、資格取得費用補助を行う。

【一般財源増加理由】 建設業技術者等資格取得費補助交付事業を実施するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	347	松系連絡道路建設促進会議221千円・国道147BP先線建設促進協議会126千円	19	負担金補助及び交付金	3,195	建設業技術者資格取得費補助3,195千円
9	旅費	967	各種同盟会、総会等旅費534千円・各種中央要望等旅費433千円	27	公課費	31	公用車の自動車重量税31千円
11	需用費	2,804	事務用品等634千円・公用車燃料費及び修繕費2,051千円・印刷製本費119千円				
12	役務費	365	公用車車検258千円・自賠責保険料107千円				
13	委託料	124	国道19号、松系道路、国道147BP先線先進地視察バス運行106千円・須砂渡トンネル要望バス運行18千円				
14	使用料及び賃借料	9,843	有料道路割引回数券購入代9,843千円				
18	備品購入費	65	レジスター購入65千円				
上記の合計		17,741	職員の人件費合計	244,478	事業費総合計	262,219	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国道19号明科駅前歩道整備事業	直轄事業である国道19号明科駅前歩道整備の事業促進を図るため、国と地元の調整を行う。安曇野市の東の玄関口としてのまちづくりに効果が期待される。	9	旅費	245
				13	委託料	36
					計	281
2	ソフト	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で、技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	19	負担金補助及び交付金	3,195
					計	3,195

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費	基本施策	道路の整備
	事業	0108040	道路橋梁総務費	具体的な施策	生活道路の整備
	単位：千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	553					553
前年度	579					579
増減額	△ 26	0	0	0	0	△ 26

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。
【効果】
 ・国県道の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	553	道路関係同盟会等の負担金553千円(長野県道路整備期成同盟会他9団体)						
上記の合計		553	職員の人件費合計	0	事業費総合計	553	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ソフト	道路関係各種同盟会負担金	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。		19	負担金補助及び交付金	553
						計	553
2						計	0

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費	主要施策	災害に強いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費	基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108090	県営新設改良事業	具体的な施策	治水対策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,000					22,000
前年度	27,000					27,000
増減額	△ 5,000	0	0	0	0	△ 5,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・危険箇所の防災工事を実施し、災害に強いまちづくりを進める。
- ・本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対し市が一部負担することで、危険箇所の改善及び道路網の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・急傾斜地崩壊対策・兼用側溝整備・県単道路改良事業に対し、事業費の一部を負担する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	22,000	急傾斜地崩壊対策事業10,000千円・兼用側溝事業7,500千円・建単道路改良事業4,500千円				
上記の合計							
	22,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,000	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	急傾斜地崩壊対策事業	安曇野市豊科の桜坂、小瀬幅地区に砂防施設を設置する。施設設置により土砂災害から市民の人命と財産が守られる。	19	負担金補助及び交付金	10,000
				計		10,000
2	ハード	兼用側溝整備事業 県単道路整備事業	市内の県道や県道側溝の整備を行う。主要幹線道路及び、生活道路である県道を整備することで安全・安心な生活環境が確保される。	19	負担金補助及び交付金	7,500
				19	負担金補助及び交付金	4,500
				計		12,000

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策と推進政策	4-4	コード	11001100
		部・課・係等	都市建設部 監理課 庶務係

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費	主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費	基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108130	河川総務費	具体的な施策	治水対策の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	648				506	142
前年度	722				506	216
増減額	△ 74	0	0	0	0	△ 74

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料	506							

【目的・効果】
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。
【効果】
 ・市内河川の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	648	河川関係同盟会等の負担金648千円(長野県河川協会他6団体)				
上記の合計							
		648	職員の人件費合計	0			
				事業費総合計	648		OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	河川関係各種同盟会負担金	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	648	
					計	648	
2					計	0	

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費	基本施策	道路の整備
	事業	0108020	地籍管理費	具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,735				432	41,303
前年度	37,222				432	36,790
増減額	4,513	0	0	0	0	4,513

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公図写等発行手数料	432							

【目的・効果】

【目的】

・国土調査法第21条第2項の規定に基づき調査成果(台帳、地籍複図)を一般の閲覧に供する。

【効果】

・土地台帳、地籍複図(公図)については平成27年度から、地籍管理システムを運用し、一般への閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られている。また、本事業により補正更新する地図情報は、本市GISシステムの基礎として利用される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・亡失基準点(図根点)の設置復元を行う。
- ・地籍管理システムの、土地台帳及び公図の異動更新を行う。
- ・道路、河川敷の境界立会を行う。
- ・境界立会等で確認された相違箇所地図訂正等を行う。

【一般財源増加理由】 地籍管理システムへの、未登録基準点データの追加登録を業務委託により実施するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,888	嘱託登記事務職員賃金6,888千円				
11	需用費	383	参考図書外104千円・測量用杭外279千円				
13	委託料	34,464	地籍管理システム異動更新業務17,163千円・基準点復元業務11,301千円・地図訂正業務6,000千円				
上記の合計							
		41,735	職員の人件費合計	0			
				事業費総合計	41,735		OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地台帳、公図加除事業	法務局から送付される異動通知書の土地データ更新を、業務委託により行う。同システムにより、土地台帳・公図の閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られる。	13	委託料	17,163
					計	17,163
2					計	0

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策と推進政策	4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費	基本施策	道路の整備
	事業	0108050	道路橋梁管理費	具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,546					23,546
前年度	22,829					22,829
増減額	717	0	0	0	0	717

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・道路法28条の規定に基づき、道路台帳を調製保管すると共に、閲覧に供する。

【効果】

・道路台帳管理システムのデータ更新をすることで、適正な維持管理業務の遂行につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・道路台帳管理システムの、図面データ及び調書等の補正更新を行う。
- ・地域の管理団体に協力をいただき、道路愛護活動(除草清掃等)を行う。

【一般財源増加理由】 道路占用料納付書発行業務の迅速化に向け、占用料納付書システム構築を業務委託により実施するため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	138	占用料納付関係伝票印刷138千円				
12	役務費	290	市道除草清掃等手数料290千円				
13	委託料	23,084	道路台帳補正更新業務委託22,000千円・占用料納付書システム構築業務委託1,084千円				
14	使用料及び賃借料	34	道路用地借地料34千円				
上記の合計		23,546	職員の人件費合計	0	事業費総合計	23,546	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	道路台帳加除事業	道路台帳の調整と保守のため、過年度工事箇所等のデータ更新を業務委託する。台帳データは道路行政の基礎的資料となるほか、台帳図はHP上で閲覧可能となりサービス向上が期待できる。	13	委託料	22,000
					計	22,000
2					計	0

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策と推進政策	4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費	主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費	基本施策	道路の整備
	事業	0108060	道の駅維持管理	具体的な施策	幹線道路の整備
	単位：千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,700					5,700
前年度	4,643				18	4,625
増減額	1,057	0	0	0	△18	1,075

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・休憩施設及びトイレ等を備えた「道の駅」を維持管理することで、道路利用者の利便性向上を図る。
【効果】
 ・「道の駅」は休憩施設と地域振興施設が一体となった道路施設であり、道路利用者に快適な休憩空間を提供するほか、農産物等の販売による地域振興や観光の振興など、多面的な効果が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」の公衆トイレ及び情報交流室、駐車場の管理を指定管理により委託する。
 ・指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

【一般財源増加理由】 指定管理予定者の積算による管理経費を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	5,700	指定管理による道の駅管理業務5,700千円				
上記の合計							
		5,700	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,700	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	指定管理による道の駅管理	13	委託料	5,700
					計	5,700
2					計	0

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策と推進政策	4-4	コード	11001300
		部・課・係等	都市建設部 監理課 管理登記担当

予算	款	8	土木費	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費	主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費	基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108140	河川管理費	具体的な施策	治水対策の充実
	単位:千円				

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	515					515
前年度	465					465
増減額	50	0	0	0	0	50

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
【目的】
 ・河川用地の除草等を実施し、出水等の災害に備えると共に、安全快適な河川環境を利用者に提供する。
【効果】
 ・安全快適な河川環境の確保が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域の管理団体に協力をいただき、河川愛護活動(除草清掃等)を行う。

【一般財源増加理由】 河川愛護活動に参加する地域住民の高齢化に伴い、一部作業を機械化したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	515	河川除草清掃等手数料515千円				
上記の合計							
		515	職員の人件費合計	0	事業費総合計	515	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	河川管理事務	河川敷地の除草清掃を各団体の協力により行い、良好な河川環境の維持に努めるほか、地域の河川愛護意識の向上が図られる。	12	役務費	515	
					計	515	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002100		予算書ページ	254
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当			
予算	款	8	土木費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備
	事業	0108100	市道新設改良事業		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	454,768			57,000	210,000	187,768
前年度	609,352			191,900	410,000	7,452
増減額	154,584	0	0	134,900	200,000	180,316

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	市道新設改良事業	57,000								267,000

【目的・効果】

【目的】

・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。

【効果】

・生活道路の整備により、安全で安心な生活環境を構築される。
 ・地域間を結ぶ重要路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・生活道路の整備(継続:26路線 新規事業化予定:20路線)を進める。
 ・幹線道路の整備(合併特例債事業3路線)を進める。

【一般財源増加理由】 特定財源の公共施設整備基金減のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	288	不在地主用地交渉、研修旅費及び日当288千円	19	負担金補助及び交付金	516	研修会負担金516千円
11	需用費	1,032	測量用品外図面用紙等900千円・印刷製本費72千円・物品修繕費60千円	22	補償補填及び賠償金	81,500	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償、営業補償等81,500千円
12	役務費	1,732	携帯電話料等239千円・測量機器検査手数料、不動産鑑定手数料等1,493千円				
13	委託料	87,300	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査等87,300千円				
14	使用料及び賃借料	1,200	積算システム使用料1,200千円				
15	工事請負費	219,000	道路改良工事費219,000千円				
17	公有財産購入費	62,200	道路拡幅部の用地買収費62,200千円				
上記の合計		454,768	職員の人件費合計 0	事業費総合計	454,768	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路新設改良事業 豊科4021号線	全体延長はL=190m 幅員はW=4.0mで、平成28年度の施工延長はL=80m。 公民館へのアクセス道路であり、小学校への通学路である本路線を整備する事で、道路利用者の利便性と安全性が確保される。	15	工事請負費	40,000
				17	公有財産購入費	500
				22	補償金	6,500
2	ハード	道路新設改良事業 穂高0283号線	全体延長はL=390m幅員はW=5.0mで、平成28年度の施工はL=85m。 茨原集会所へのアクセス道路である本路線を整備する事で、道路利用者の利便性と安全性が確保される。			
					計	47,000

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002100		予算書ページ	254
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当			
予算	款	8	土木費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	2	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路の整備
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		具体的な施策	幹線道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
442,000	573,000	131,000	243,100	315,150	154,600	223,800
			0	69,200	0	10,250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	特定交通安全事業	2,800								
21	道路整備事業	151,800								

【目的・効果】

【目的】

・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。

【効果】

・幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、地域間の連携強化が図られる。
 ・橋梁長寿命化修繕計画による橋梁の修繕、舗装維持管理計画による舗装の修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路、歩道等の整備、橋梁、舗装修繕を進める。
 改良事業 豊科1級26号線(吉野)・三郷1級5号線(上長尾)・穂高1級6号線(穂高)・明科5080号線(潮沢)
 歩道設置事業 穂高1級15号線(立足)・豊科北部209号線(寺所)・豊科1級16号線(寺所)・豊科1345号線(新田)
 豊科2055号線(新田・細萱)・穂高1級1号線他(穂高)・三郷1級19号線(一日市場)
 橋梁修繕事業 穂高2級25号線他(木沢橋・会田川橋・釜蓋橋・中首根橋・捨ヶ堰橋・室町橋)
 舗装修繕事業 穂高1級10号線(富田)・豊科1級23号線他3路線(南穂高・豊科)
 効果促進事業 グリーンベルト(市内一円)・橋梁長寿命点検(市内一円)
 計16事業

【一般財源増加理由】 グリーンベルト工事は道路整備事業債の対象にならず、一般財源を充てたため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	66,000	道路改良工事費に伴う測量設計、用地測量、補償調査等66,000千円				
15	工事請負費	321,300	道路改良工事費、歩道設置工事費、グリーンベルト工事費321,300千円				
17	公有財産購入費	21,750	道路拡幅部の用地買収費21,750千円				
22	補償補填及び賠償金	32,950	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償等32,950千円				

上記の合計	442,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	442,000	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	歩道設置事業 穂高1級15号線	全体延長はL=1,800m 幅員はW=4.0(7.2)mで、平成28年度の施工延長はL=50m、穂高北小学校の通学路であり、歩道を整備する事で、歩行者の安全性が確保される。	13	委託料	2,000
				15	工事請負費	83,300
				17	公有財産購入費	1,550
				22	補償金	3,150
2	ハード	舗装修繕事業 豊科1級23号線他3	全体延長はL=4,100m 幅員は W=6.2~9.5mで、平成28年度の施工延長は豊科1級23号線他L=607m、豊科1380号線L=101m、幹線道路の舗装修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。			
					計	90,000

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002100			予算書ページ	258
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当				
予算	款	8	土木費		基本方針	安全・安心快適なまちの形成	
	項	3	河川費		主要施策	災害に強いまち	
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進	
	事業	0108150	河川改修事業		具体的な施策	河川改修事業	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,000					13,000
前年度	13,000					13,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豪雨や台風などによる準用河川や普通河川の氾濫を防ぐため河川改修を進める。

【効果】

・浸水や溢水、護岸決壊などを防止することにより、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・勝手沢の河川改修を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	3,000	改修工事に伴う測量設計3,000千円				
15	工事請負費	10,000	改修工事費10,000千円				

上記の合計 13,000 職員の人件費合計 0 事業費総合計 13,000 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川改修事業	全体延長は、L=300m幅員は、W=0.35m。河川改修工事を行い、河川の溢水を防止することで、流域住民の安全・安心が確保される。	15	工事請負費	10,000
					計	10,000
2						

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002100			予算書ページ	374
		部・課・係等	都市建設部 建設課 建設担当				
予算	款	11	災害復旧費		基本方針	安全・安心・快適なまちの形成	
	項	1	土木施設災害復旧費		主要施策	利便性の高いまち	
	目	1	道路災害復旧費		基本施策	道路の整備	
	事業	0111010	道路災害復旧事業		具体的な施策	生活道路の整備	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,000	16,008		7,900		4,092
前年度	10,000	4,669				5,331
増減額	18,000	11,339	0	7,900	0	1,239

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共土木施設災害復旧事業負担金	16,008							
	21	補助災害復旧事業債	7,900							
										23,908

【目的・効果】
【目的】
 ・市が管理している公共土木施設(道路、河川)が、異常気象で被災した場合に施設機能の早期の復旧を進める。
【効果】
 ・公共土木施設(道路、河川)を早期に機能回復する事により、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成27年度発生、明科底白地区市道明科5098号線道路災害の復旧工事を進める。

【一般財源増加理由】 H27年度発生、明科底白地区道路災害復旧工事を行う為

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	2,000	災害復旧工事に伴う測量設計等2,000千円				
15	工事請負費	26,000	災害復旧工事外26,000千円				
17							
上記の合計		28,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	28,000	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路災害復旧事業	全体延長は、L=65m幅員は、W=3.0m。 平成27年度発生した道路災害の復旧工事を行う事で、沿線住民の安全・安心が確保される。	15	工事請負費	24,000
					計	24,000
2						

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	1	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108030	建設機械管理費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,607					11,607
前年度	51,235	26,660				24,575
増減額	△ 39,628	△ 26,660	0	0	0	△ 12,968

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市所有の道路維持作業車11台の維持・整備を行う。
【効果】
 ・維持作業車を常時良好な状態に保つことにより、安全な作業、緊急時の円滑な対応が行えることにより、市道の安全性の確保や利便性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路維持作業車の車検整備、法定点検整備を実施する。
 ・高額な修繕費用が見込まれる損傷の激しい維持作業車(2tダンプトラック 1台)を更新する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主要内容			節	節名称	金額	主要内容		
11	需用費	2,109	維持作業車消耗品750千円、作業車燃料559千円、車検整備料800千円								
12	役務費	881	車検・法定点検手数料618千円、自賠責保険料243千円								
18	備品購入費	8,290	道路維持作業車 ダンプトラック[架装有]8,290千円								
27	公課費	327	自動車重量税327千円								
上記の合計		11,607	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,607	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】									
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額	
1	ハード	○	道路維持作業車整備	使用期間も長く、損傷や老朽化のため、維持作業車(2tダンプトラック)1台の更新を行う。安全な道路維持作業、緊急時の迅速な対応などへの効果が期待される。			18	備品購入費	8,290
							計	8,290	
2							計	0	

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合 計 画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	土木管理費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	土木管理費		基本施策	道路の整備
	事業	0108070	道路橋梁維持費		具体的な施策	生活道路の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	253,115				211,000	42,115
前年度	314,662				305,500	9,162
増減額	△ 61,547	0	0	0	△ 94,500	32,953

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	道路復旧費原因者負担金	21,000							
18	公共施設整備基金繰入金	190,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路法に基づき、道路の適正な管理により、道路利用者が安全で安心して利用できる環境を提供する。
【効果】
 ・安心・安全な道路環境を提供することで、事故防止につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・区からの改善要望及び課題に対応した道路施設の維持補修や改修工事を進める。
- ・道路パトロールの実施や市民からの連絡を受けた道路施設の危険個所の補修を進める。
- ・上下水道管布設後の仮復旧箇所における舗装本復旧工事を進める。
- ・路肩の除草等の道路清掃、道路側溝清掃を進める。

【一般財源増加理由】 受託舗装路面復旧工事箇所の減に伴う道路復旧費原因者負担金歳入の減による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,659	臨時職員賃金3,659千円				
11	需用費	3,926	道路維持作業消耗品・燃料325千円、道路施設修繕1,755千円、道路施設電気料1,846千円				
12	役務費	80	常温合材空袋ほか処理手数料80千円				
13	委託料	10,250	道路清掃作業委託4,000千円、調査測量業務4,250千円、設計業務2,000千円				
14	使用料及び賃借料	200	維持作業機械借上料200千円				
15	工事請負費	231,000	道路維持・修繕工事192,000千円、受託舗装路面本復旧工事39,000千円				
16	原材料費	4,000	道路補修用原材料4,000千円				
上記の合計		253,115	職員の人件費合計	0	事業費総合計	253,115	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路橋梁維持修繕	道路の適正な管理のため、維持修繕工事(舗装修繕、道路維持、道路側溝、現道舗装ほか)及び受託占用路面復旧工事を行う。安全・安心な道路環境の提供が図られる。	13	委託料	10,250
				15	工事請負費	231,000
				16	原材料費	4,000
					計	245,250
2					計	0

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	利便性の高いまち
	目	1	道路橋梁維持費		基本施策	道路の整備
	事業	0108080	除雪対策費		具体的な施策	除雪対策

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	118,921					118,921
前年度	151,178					151,178
増減額	△ 32,257	0	0	0	0	△ 32,257

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・除雪計画に基づき、積雪時の交通や歩行者の安全を確保するため、市道の除融雪作業を行うとともに、地域住民と協力して効率的な作業を図る。
 ・業務に必要な除雪車両の点検及び整備を行い、必要台数の確保に努めるとともに、除融雪業務の円滑化を図る。
【効果】
 ・市内の産業・経済活動と、市民生活の安定を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・除雪・排雪および融雪業務の委託。
- ・除雪車両の維持及び整備。
- ・除雪車両の不足を借り上げにより確保する。
- ・除雪対象路線以外の生活道路等の除雪は、地域の方々の協力により行う。歩行型除雪機を各区へ貸与する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	19,720	凍結防止剤14,000千円、除雪車両特殊消耗品・燃料・機械修繕5,037千円、除雪基地の光熱水費他683千円							
12	役務費	2,477	降雪量調査30千円、除雪車の車検・点検・保険料1,830千円、除雪ボランティア保険617千円							
13	委託料	78,601	消防設備点検13千円、除雪・融雪業務委託料78,588千円							
14	使用料及び賃借料	8,400	除雪用タイヤドーザ借上料8,400千円							
18	備品購入費	9,614	歩行型小型除雪機1,406千円、除雪用ドーザ8,208千円							
27	公課費	109	除雪車両(凍結防止剤散布車)重量税109千円							
上記の合計		118,921	職員の人件費合計	0	事業費総合計	118,921	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	除雪融雪業務	市道1,690kmの内、873kmを除雪路線、102kmを融雪路線に指定して、民間業者に除雪・融雪業務委託を行うことにより、冬期間の安全・安心な道路環境が確保される。	11	需用費	14,000	
				13	委託料	78,588	
				計		92,588	
2	ハード	除雪車両の整備	業務に必要な、除融雪車両の点検整備を行うとともに、3t級除雪ドーザ(アングリングプラウ付)を購入し、除融雪車両の適正化を進めることで、除融雪業務の円滑化が図られる。	11	需用費	5,037	
				14	使用料及び賃借料	8,400	
				18	備品購入費	8,208	
				27	公課費	109	
				計		21,754	

予算書ページ	256
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安心・安全・快適なまちの形成
	項	2	道路橋梁費		主要施策	事件・事故を防ぐまち
	目	3	交通安全施設費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0108120	交通安全施設整備費		具体的な施策	防犯・交通安全施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,000					30,000
前年度	27,620					27,620
増減額	2,380	0	0	0	0	2,380

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 交通安全施設を適切に維持管理することで、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。
- 国の指導により実施した道路ストック総点検(道路構造物)結果から、健全度の低い大型道路標識の修繕を行うことで、事故防止を未然に防ぐ。

【効果】

- 交通安全施設の維持及び整備を進めることで、安全に安心して利用できる道路環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 区からの改善要望及び課題に対応した交通安全施設の維持補修を進める。
- 交通安全施設(ガードレール、道路反射鏡、警戒標識、路面標示等)の改修及び新設工事を実施する。
- 道路ストック(道路構造物)総点検結果による要修繕大型道路標識15基の内、平成28年度は3基の修繕工事を実施する。

【一般財源増加理由】 道路ストック総点検後の大型道路標識の修繕事業の実施による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,000	道路反射鏡等交通安全施設の維持・修繕2,000千円				
15	工事請負費	28,000	区要望等交通安全施設維持修繕及び新設22,000千円、大型道路標識老朽化対策6,000千円				

上記の合計	30,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	30,000	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	大型標識老朽化対策	15	工事請負費	6,000
			点検により健全度が低く、修繕を必要とするため、大型道路標識3基の撤去及び設置工事を行う。落下物などによる事故防止への効果が確保される。			
					計	6,000
					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11002200
		部・課・係等	都市建設部 建設課 維持担当

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	3	河川費		主要施策	災害に強いまち
	目	1	河川費		基本施策	治山・治水事業の促進
	事業	0108160	河川維持費		具体的な施策	危険個所解消

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,535					9,535
前年度	18,914					18,914
増減額	△ 9,379	0	0	0	0	△ 9,379

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・準用河川及び普通河川を適切に維持管理し、河川の機能を保持することで、出水時の災害に備え、安全・安心な河川環境を市民に提供する。
- ・水防倉庫及び水防資材の管理、河川構造物の維持補修を行う。

【効果】

- ・市民が安全に安心して利用できる河川環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・河川敷地の除草、支障木の伐採を行う。
- ・沈砂池の維持管理(土砂除去等)を行う。
- ・河川構造物の小規模修繕工事を実施する。
- ・水防施設(水防倉庫)の維持補修および水防資材の管理を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	296	土のう袋等の応急資材購入120千円、水防倉庫の光熱水費176千円				
12	役務費	239	明科排水ポンプ保守点検手数料239千円				
13	委託料	500	河川環境整備(除草ほか)500千円				
15	工事請負費	8,000	堆積土砂撤去、支障木伐採処分、河川施設修繕ほか8,000千円				
16	原材料費	500	碎石、洗滌砂等水防資材費500千円				

上記の合計	9,535	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,535	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川維持工事	河川の機能を保持するため、小規模工事(除草・支障木伐採、堆積土砂撤去、河床整理、河川構造物維持補修)を行う。安全・安心な河川環境の提供が図られる。	15	工事請負費	8,000
					計	8,000
2					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11003100
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 計画係

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	211,034	12,630	4,745		18,216	175,443
前年度	220,621	3,890	4,225		33,062	179,444
増減額	△ 9,587	8,740	520	0	△ 14,846	△ 4,001

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	18,176	15	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	4,745				
14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	4,630	20	都市計画図等交付代	40					
14	立地適正化計画推進事業	8,000								

【目的・効果】

【目的】

・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。

【効果】

・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成27年度実施の基礎調査を基に、平成28・29年度の債務負担行為により、安曇野市立地適正化計画を策定する。
 ・昭和56年5月31日以前に建設された木造戸建住宅所有者の申出によって市が耐震診断士を無料で派遣し、住宅の地震に対する安全性を診断した耐震診断の結果、安全性が低い住宅において一定の効果のある耐震補強工事をされる方に対し補助を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	651	都市計画審議会委員357千円 土地利用審議会委員294千円				
8	報償費	659	制度評価委員会委員240千円、緑の基本計画策定検討委員会委員315千円、他104千円				
9	旅費	905	職員旅費602千円、土地利用審議会委員・都市計画審議会委員費用弁償193千円、他110千円				
11	需用費	1,329	大型コピー機維持修繕324千円、緑の基本計画計画書印刷1,005千円				
13	委託料	25,181	安曇野市立地適正化計画策定業務委託16,000千円、緑の基本計画策定業務委託4,061千円、他5,120千円				
14	使用料及び賃借料	65	制度評価委員会都内会場借上料65千円				
19	負担金補助及び交付金	9,940	職員研修会負担金480千円、都市計画協会他負担金460千円、耐震補強工事補助金9,000千円				

上記の合計	38,730	職員の人件費合計	172,304	事業費総合計	211,034	OK
-------	--------	----------	---------	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	安曇野市立地適正化計画策定業務委託	安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策に位置付けており、利便性の高いまちの実現を目指す。また、都市再生整備計画事業の採択要件となり、今後予定する各事業の事業費の確保が図られる。	13	委託料	16,000
						計	16,000
2	ソフト		耐震改修促進事業	耐震診断を行うことで住宅の安全性を確認し、必要に応じて行う耐震補強工事に対し、補助を行うことで住宅の耐震化推進が図られる。	13	委託料	5,120
					19	負担金	9,000
						計	14,120

重点施策と推進政策	4-4	コード	11003200
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係

予算	款	8	土木費	総合計	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	2	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業		具体的な施策	市街地の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	154,020	82,500		60,700		10,820
前年度	252,040	110,000		81,000		61,040
増減額	△ 98,020	△ 27,500	0	△ 20,300	0	△ 50,220

特定財源の内訳	款	14	社会資本整備総合交付金	金額	82,500	合計金額
	款	21	街路事業	金額	60,700	

【目的・効果】

【目的】

・都市計画道路は、都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する目的で整備を行う。

【効果】

・両側歩道を整備することにより豊科南小学校や県立豊科高校の通学路としての安全性が高まる。
 ・豊科地域の中心市街地の外郭道路が整備され、市街地および沿線街区からの交通の円滑化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成28年度は用地取得を主体的に進める。また、取得済となった箇所へ安全対策として転落防止柵等を設置する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	20	参考図書購入20千円				
13	委託料	5,000	補償算定業務委託5,000千円				
15	工事請負費	2,000	安全対策工事2,000千円				
17	公有財産購入費	28,850	公有財産購入費28,850千円				
22	補償補填及び賠償金	118,150	物件補償費118,150千円				
上記の合計		154,020	職員の人件費合計	0	事業費総合計	154,020	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市計画道路 吉野線改良事業	機能的な都市を形成するため、都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と中心市街地での円滑な交通が確保される。	13	委託料	5,000
				15	工事請負費	2,000
				17	公有財産購入費	28,850
				22	補償金	118,150
					計	154,000

重点施策と 推進政策	4-4
---------------	-----

コード	11003200
部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係

予算書ページ	262
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計 画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	2	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108211	都市再生整備計画事業		具体的な施策	市街地の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	196,351	33,600		0		162,751
前年度	124,092	44,360				79,732
増減額	72,259	△ 10,760	0	0	0	83,019

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	社会資本整備総合交付金	33,600							

【目的・効果】

【目的】

・既存商店街の環境整備や自然環境を活用したまちづくりを推進するため、道路整備、街路灯整備、公園整備、観光施設整備等を行う。

【効果】

・市街地道路の整備をはじめ地域の特性を生かしたまちづくりや商店街の活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野水辺の里地区
穂高駅前改良工事と周辺整備工事を進める。
- ・明科駅前まちづくり事業
明科駅前まちづくり基本構想策定業務はH28年度で完了し、まちづくり基本構想を策定する。

【一般財源増加理由】 H27、28年度に債務負担行為を設定したため工事費が増額となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	5,451	明科駅前まちづくり基本計画策定5,451千円				
15	工事請負費	190,900	穂高駅前改良工事154,700千円 県道穂高(停)線歩道整備工事36,200千円				
上記の合計		196,351	職員の人件費合計	0	事業費総合計	196,351	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市再生整備計画事業 安曇野水辺の里地区	地域特性を生かしたまちづくりのため、穂高駅前周辺整備を行う。既存商店街の活性化と拠点整備が図られる。	15	工事請負費	190,900
					計	190,900
2	ソフト	明科駅前まちづくり事業	明科駅前のまちづくりのため、明科駅前まちづくり基本構想を策定する。これにより基本設計の実施及び関係機関との調整が図られる。	13	委託料	5,451
					計	5,451

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11003200
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係

予算書ページ	266
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計 画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	2	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108240	都市下水路維持管理費		具体的な施策	市街地の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,185					3,185
前年度	3,194					3,194
増減額	△ 9	0	0	0	0	△ 9

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・ 都市下水路及び都市施設である潮雨水ポンプ場の維持管理を行う。

【効果】

- ・ 維持管理を行うことにより、市街地において適切な排水機能が確保される。
- ・ 豪雨時における潮雨水ポンプ場の適切な運用につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・ 豊科地域の都市下水路について草刈り、泥上げ等の維持管理を事情に精通する「新田農事組合」へ委託する。
- ・ 穂高地域町尻都市下水路が流入する大井戸川との合流点付近について、排水機能向上のための設計を行う。
- ・ 潮雨水ポンプ場は点検等のメンテナンスを業務委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	338	潮雨水ポンプ場修繕費111千円 潮雨水ポンプ場光熱水費227千円				
13	委託料	1,983	管理委託300千円、潮雨水ポンプ場管理委託983千円 設計監理委託料700千円				
15	工事請負費	864	漏水対策工事540千円 町尻都市下水路維持工事324千円				

上記の合計	3,185	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,185	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	都市下水路維持管理事業	都市下水路の排水機能を確保するため、維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	13	委託料	700
				15	工事請負費	864
					計	1,564
2	ソフト	○ 潮雨水ポンプ場維持管理	豪雨時の内水対策のため、排水ポンプの維持管理を行う。ポンプ機能が確保される。	11	需用費	338
				13	委託料	1,283
					計	1,621

重点施策と推進政策	4-4	コード	11003200
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 都市整備係

予算書ページ	266
--------	-----

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	2	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		具体的な施策	市街地の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,600					9,600
前年度	9,375					9,375
増減額	225	0	0	0	0	225

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・拠点市街区域での住環境整備を目的として、土水路の改修や改修済み排水路の維持補修及び勾配修正等を行う。

【効果】

- ・住環境整備が図られる。
- ・土水路の改修により維持管理費の経費削減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地元からの要望を受けH28年度で3箇所の市街地排水路の改修を行う。
整備計画箇所
成相地区 BF-300 L= 65m
新田地区 BF-500 L= 80m
下鳥羽地区 BF-400 L=105m

【一般財源増加理由】 整備計画箇所の状況による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	1,000	測量設計業務委託1,000千円				
15	工事請負費	8,600	排水路整備 3箇所8,600千円				
上記の合計		9,600	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,600	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	市街地排水路改修事業	住環境整備のため、排水路の改修を行う。環境整備と農業用水路の維持管理費の削減が図られる。	13	委託料	1,000	
				15	工事請負費	8,600	
					計	9,600	
2							
					計	0	

予算書ページ	262
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11003300
		部・課・係等	都市建設部 都市計画課 公園緑地係

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	3	公園事業費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		具体的な施策	公園の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	163,235	25,000		22,500	7,817	107,918
前年度	180,711	28,800		18,000	7,676	126,235
増減額	△ 17,476	△ 3,800	0	4,500	141	△ 18,317

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科南部総合公園テニスコート使用料	5,829	13	都市公園使用料	41	21	都市公園事業市債	22,500	
13	碌山公園使用料	1,600	14	社会資本整備総合公付金	25,000					
13	室山アグリパーク施設使用料	317	20	常念ふれあい公園太陽光発電電費	30					

【目的・効果】

【目的】

・公園施設長寿命化計画に沿って計画的な修繕及び更新を行う。また、日頃のパトロール等により不具合箇所を把握し、市民の安全安心を図る。

【効果】

・公園が地域住民の憩い・交流・レクリエーション等の場所となり、住環境の快適性を向上させることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・日常の維持管理を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
- ・公園施設長寿命化対策支援事業、市単独事業により老朽化した公園施設(遊具等)の更新を図る。
- ・あやめ公園の園路等バリアフリー化工事とあやめ公園便所・豊科中央公園園路等のバリアフリー化工事のための設計を行う。

【一般財源増加理由】 公園のバリアフリー化等整備を行うため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	30	三郷文化公園のリンゴの木の手入れ30千円	18	備品購入費	653	豊科南部総合公園テニスコートのネット432千円、その他221千円
11	需用費	25,228	公園維持に関わる消耗品1,694千円、施設修繕費12,000千円、光熱水費10,904千円、その他630千円	19	負担金補助及び交付金	1,157	全国都市緑化フェア基本構想策定費負担金1,100千円、その他57千円
12	役務費	304	南部総合公園、碌山公園研成のホール電話料121千円、その他183千円	23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金30千円
13	委託料	53,313	管理委託料43,279千円、事務事業委託料4,537千円、設計監理委託料5,497千円				
14	使用料及び賃借料	7,594	公園敷地賃借料7,484千円、借上料110千円				
15	工事請負費	74,412	長寿命化対策支援事業工事費50,900千円、バリアフリー化工事5,000千円、その他18,512千円				
15	原材料費	514	砂場用砂194千円、マレットゴルフ場用赤土19千円、その他301千円				

上記の合計	163,235	職員の人件費合計	0	事業費総合計	163,235	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	公園のバリアフリー化等整備	13	委託料	5,000
			公園の園路・トイレのバリアフリー化と幼児用遊具の整備を行い、子供と子育て世代の親の安全・安心・快適な公園利用が図られる。	15	工事請負費	5,000
					計	10,000
2					計	0

予算書ページ	260
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	11004100
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 建築景観係

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	景観の保全・育成
	事業	0108190	景観整備事業		具体的な施策	環境と景観に配慮したまちづくり

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,267				100	18,167
前年度	15,861				100	15,761
増減額	2,406	0	0	0	0	2,406

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	屋外広告物許可手数料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・景観条例、屋外広告物条例の適正な運用を図る。
 ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。
【効果】
 ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることが期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。
 ・「緑のまちづくり事業」として、記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行う。
 ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

【一般財源増加理由】 主に、「緑のまちづくり事業」実施に伴う負担金補助及び交付金、記念樹等1,291千円増、生垣設置等補助金1,250千円増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	273	景観審議会委員報酬273千円				
7	賃金	1,766	臨時職員賃金1,766千円				
8	報償費	224	景観住民協定連絡会 総会・役員会出席謝礼外224千円				
9	旅費	118	景観まちづくり研修等参加旅費48千円 景観審議会委員旅費70千円				
11	需用費	80	事務用品・参考図書80千円				
13	委託料	422	環境フェア 景観・緑化展示パネル等作成422千円				
19	負担金補助及び交付金	15,384	研修負担金100千円 記念樹配布6,584千円 住民協定補助金3,200千円 生垣補助金5,500千円				
上記の合計		18,267	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,267	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	緑のまちづくり事業	住宅地の緑化率向上のため、住宅新築、誕生、小学校入学、結婚の記念として記念樹の配布を行う。また、生垣設置等をする場合に補助金の交付を行う。緑化に対する意識の向上効果が期待される。	19	負担金・補助金	12,084
					計	12,084
2					計	0

重点施策と推進政策	4-4	コード	11004200
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 開発調整係

予算	款	8	土木費	総合計画	基本方針	環境を守り、安全・安心なまちづくり
	項	4	都市計画費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業		具体的な施策	計画的なまちづくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,485				30,000	5,485
前年度	426					426
増減額	35,059	0	0	0	30,000	5,059

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄付	30,000							

【目的・効果】

【目的】

・まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を促進する。

【効果】

・安曇野の自然環境や景観を維持しながら、計画的に活力あるまちづくりを推進する制度が確立される。
 ・暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市の基盤づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・資料等により市民や開発事業者に対し、分かりやすく丁寧な説明をする。
- ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。
- ・条例等の運用にあたっての問題点・課題を抽出し、関係部局と協議し改善を図る。
- ・新たに住宅を建築又は新築住宅を購入する者へ支援し、安曇野市土地利用基本計画における拠点市街区域、準拠点市街区域、及び田園居住区域へ定住促進を図り、拠点集中型のまちづくりを進める。

〔一般財源増加理由〕 主に、「総合戦略」実施に伴う負担金補助及び交付金、拠点地域等住宅購入費補助金35,000千円増による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	40	職員研修旅費40千円				
11	需用費	200	事務用品・参考図書200千円				
14	使用料及び賃借料	54	窓口案内用パソコン54千円				
19	負担金補助及び交付金	35,191	職員研修負担金191千円 拠点地域等住宅購入費助成35,000千円				
上記の合計							
		35,485	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35,485	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	拠点地域等住宅購入費助成	19	補助金	35,000
			事業対象地域において、新たに住宅を建築又は新築住宅の購入する者に対して補助金(20万円/戸)を交付する。本事業により補助対象地域の開発が促進され、拠点集中型のまちづくりが図られる。			
					計	35,000
2					計	0

予算書ページ	266
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-4	コード	
		部・課・係等	都市建設部 建築住宅課 住宅係

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	安全・安心・快適なまちの形成
	項	5	住宅費		主要施策	風土に根ざした魅力あるまち
	目	1	住宅管理費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費		具体的な施策	公営住宅の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	56,174	14,223			41,951	0
前年度	26,981				26,981	0
増減額	29,193	14,223	0	0	14,970	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	38,339	13	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	1	20	太陽発電売電等	216	
13	公営住宅駐車場使用料	3,243	13	公営住宅滞納督促手数料	1	20	公営住宅等一時使用料	1		
13	公営住宅使用料滞納繰越分	1	14	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	14,223	20	市営住宅工事費負担金	149		

【目的・効果】

【目的】

・安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14箇所、特定公共賃貸住宅2箇所の統括管理を行う。

【効果】

・住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸することで、セーフティネットの役割を持ち、市民生活安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入居の募集、入居決定、入居・退去の立ち合いを実施する。
- ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
- ・住宅使用料の算定、納付通知の発送、住宅使用料の徴収・収納管理を実施する。
- ・安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修工事を実施する。
- ・市営住宅環境整備として、明科団地の移転・集約事業を進める。
- ・アルプス団地については、県・市双方が協力して「協働建替事業」を実施することにより、居住環境の改善に取り組む。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	126	市営住宅管理人謝礼15団地16人分126千円	22	補償補填及び賠償金	420	明科団地移転事業移転補償金420千円
11	需用費	14,216	納入通知書等印刷他665千円・施設修繕費13,452千円・電気料99千円				
12	役務費	605	遊具点検44千円、火災保険料561千円				
13	委託料	2,453	共有地草刈り他1,513千円・長寿命化計画見直し400千円・明科団地他改修設計管理540千円				
15	工事請負費	38,302	三田・一日市場団地外壁等塗装28,448千円・明科団地他移転改修工事他9,854千円				
16	原材料費	26	市営住宅敷地用砕石26千円				
19	負担金補助及び交付金	26	公営住宅整備事業担当者会議負担金26千円				

上記の合計	56,174	職員の人件費合計	0	事業費総合計	56,174	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ハード	○	明科団地の移転・集約事業	明科団地内の点在入居と空家が増えている現状から環境を整備するため、入居者を集約・移転し、不用となった棟から取壊しを行うことで、団地内の環境の向上が図られる。	11	需要費	600	改修工事設備修繕
					13	委託料	540	改修工事設計管理委託
					15	工事請負費	4,234	移転部屋改修工事
					22	補償金	420	移転補償金
						計	5,794	
2	ハード	○	安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく改修工事	市営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたって確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく、修繕及び耐久性向上等を図る改善を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化が図られる。	15	工事請負費	18,922	三田団地屋根外壁塗装工事
					15	工事請負費	9,526	一日市場団地屋根・外壁塗装工事
						計	28,448	

上下水道部

予算書ページ	196
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11101100
		部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当

予算	款	4	衛生費	総合 計 画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	3	上水道費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	上水道施設費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0104300	公営企業支出金		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	59,362					59,362
前年度	171,362			112,000		59,362
増減額	△ 112,000	0	0	△ 112,000	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 地方公営企業である、水道事業の安定化を図るため、合併前の旧豊科町において政策的に実施された水道施設の整備費用に対して一般会計から支出金として繰出しを行う。

【当該年度の事業概要(手法)】
 一般会計から水道事業会計へ繰出しを行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	59,362	光ニュータウン関連水道事業負担金 下水道工事関連水道事業負担金				

上記の合計	59,362	職員の人件費合計	0	事業費総合計	59,362	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	266
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11103100
		部・課・係等	上下水道部 経営管理課 庶務担当

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	環境に優しいまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	環境への責任を果たすまち
	目	5	下水道事業費		基本施策	水環境の保全活用
	事業	0108270	下水道事業		具体的な施策	下水道の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,273,306					2,273,306
前年度	2,305,040					2,305,040
増減額	△ 31,734	0	0	0	0	△ 31,734

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生等の行政目的を達成するために、必要な限度において認められている経費を下水道事業会計に繰り出すもの。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
総務省の基準に基づき、一般会計が負担することとされている経費を下水道事業会計に繰り出すもの。

下水道事業分 2,113,500,000円
農業集落排水分 157,796,000円

基準外で繰り出すもの。

生活保護受給者に対する下水道使用料基本料金分 2,010,000円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	2,273,306					

上記の合計	2,273,306	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,273,306	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

会計課

予算書ページ	76
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11201100
		部・課・係等	会計課 出納係・審査係

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	4	会計管理費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102240	会計管理費		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,815				1,155	7,660
前年度	8,176				1,155	7,021
増減額	639	0	0	0	0	639

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	1,154							
20	会計雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。
【効果】
 ・健全な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・現金及び物品等の出納事務
 ・伝票等の審査事務
 ・決算書の調製
 ・基金等の管理、運用

【一般財源増加理由】 臨時職員賃金(1人)の予算計上、印刷製本費(全庁用封筒)の増加、使用料(メールシーラーリース料)の増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,718	臨時職員1人分(窓口対応等)				
9	旅費	54	研修旅費(名古屋×2)				
11	需用費	3,889	会計課消耗品、ファイリング用品(全庁用)、会計各種印刷物、全庁用封筒				
12	役務費	2,542	振込等手数料、穂高支所派出手数料				
14	使用料及び賃借料	539	データ伝送システム、メールシーラー				
19	負担金補助及び交付金	63	研修会負担金				
22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金				
上記の合計		8,815	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,815	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	指定物品作成業務	封筒ほか指定物品の全庁分一括作成 特殊なものを除き、市封筒等を一括管理し 作成することで、無駄をなくしコストダウンにつなげる。	11	需用費	2,135	
					計	2,135	
2	ソフト	穂高支所派出手数料	穂高支所に、指定金融機関の八十二銀行より1名の派出を置く。 穂高支所に来庁する市民の利便性維持と、 公金の取扱いを確実にを行う。	12	手数料等	2,160	
					計	2,160	

教育部(教育委員会)

予算書ページ	278
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301100
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育総務係

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	
	事業	0110010	教育委員会費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,857					5,857
前年度	5,727					5,727
増減額	130	0	0	0	0	130

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める教育委員会の活動に必要な経費を支出する。
【効果】
 ・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育職員の身分取扱いに関する事務、並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・教育委員4人の報酬の支出
 ・学校教職員初任者研修の実施
 ・全国都市教育長協議会定期総会、関東甲信越静市町村教育委員会研修会総会等への参加
 ・定例・臨時教育委員会、総合教育会議の開催
 ・長野県市町村教育委員会連絡協議会等への負担金支出

【一般財源増加理由】 旅費の増(212千円) 教育長・教育委員出席会議旅費										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	3,628	教育委員(4人)報酬							
8	報償費	37	教育委員会視察土産、教育委員会組織点検評価							
9	旅費	459	教育委員旅費、職員旅費							
10	交際費	50	教育長交際費							
11	需用費	265	事務用品、参考図書、会議賄、教育要覧等印刷代							
13	委託料	926	マイクロバス運転委託料、教育委員会等会議録作成委託料							
19	負担金補助及び交付金	492	長野県市町村教育委員会連絡協議会外各種団体負担金、会議出席負担金							
上記の合計		5,857	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,857	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	278
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	216,019				10	216,009
前年度	199,555				6	199,549
増減額	16,464	0	0	0	4	16,460

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	奨学基金利子		10						

【目的・効果】

教育委員会事務局として必要な活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。

学校教育の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・教育指導室に教育指導員を配置し、学校と連携指導を進める。
- ・学校での安全対策を図るため、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムを有効に活用し、交通安全推進協議会内に部会を設けるほか、通学路情報をGISに掲載し、関係各課と連携を図り通学路の安全確保を進める。なお、防犯ブザーは民間キャンペーンを活用し配布する。
- ・教職員の健康診断事業及びカウンセリング事業の推進ほか、法改正による教職員ストレスチェックの実施により、心身の健康管理事業を進める。
- ・教育委員会へセンターサーバを設置し、各学校の情報共有、セキュリティの確保、高速化を進める。
- ・市バスの運行や民間所有バスの借上げを行なうことで学校行事等における保護者負担の軽減を図る。
- ・市校長会他関係団体に対して負担金及び補助金の支出を行う。
- ・県大会以上への大会出場時における参加補助及び私立高等学校への運営補助金を交付する。

【一般財源増加理由】 教育委員会センターサーバ2期稼働に伴う保守管理費、リース料の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	210	通学区域審議会	14	使用料及び賃借料	24,038	公用車103千円、学校行事バス5,118千円、図書館システム3,871千円、センターサーバ13,808千円、連絡網メール1,109千円
07	賃金	13,116	指導主事2,366千円、教育・学習指導員7,096千円、一般事務3,335千円、通勤手当319	15	工事請負費	756	通学路標識設置
08	報償費	4,523	講演会講師謝礼330千円、心身障害時就学相談調査員謝礼2,151千円、就学相談員他602千円、小中学校管理医1,440千円	18	備品購入費	4,032	事務局用(パソコン他)178千円、軽トラック(3台)3,854千円
09	旅費	265	普通旅費(職員研修会関連)200千円、実費弁償(研修会講師関連65千円)	19	負担金・補助金及び交付金	16,808	小中学校校長会他負担金6,008千円、PTA補助300千円、各種大会補助4,500千円、私立高校補助6,000千円
11	需用費	3,734	消耗品1,230千円、燃料費981千円、施設修繕費324千円、印刷製本415千円、物品修繕784千円	25	積立金	11	奨学金基金積立
12	役務費	1,586	電話216千円、車検649千円、抗体検査182千円、害虫駆除260千円、保険料(自動車、傷害)279千円	27	公課費	66	公用車重量税
13	委託料	11,786	緊急無線名称変更152千円、学校行事バス4,063千円、センターサーバ保守2,912千円、職員健康診断他3,959千円、マップデータ作成432千円				

上記の合計	80,931	職員の人件費合計	135,088	事業費総合計	216,019	OK
-------	--------	----------	---------	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育用センターサーバ整備事業	各学校の校務用・教育用サーバと教育委員会サーバをネットワーク接続し、情報の共有化、セキュリティの確保、高速化を図り、事務の効率化を進める。	13	委託料	2,912
				14	借上料	13,808
					計	16,720
2	ソフト				計	0

重点施策と推進政策	2	コード	11301300・011301200			
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育総務係・教育指導室			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

予算書ページ	282
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	152,449					152,449
前年度	128,247					128,247
増減額	24,202	0	0	0	0	24,202

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・各学校に支援員外を配置することにより、不登校や心身障害児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導の充実をさせる。またスクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。
【効果】
 ・教諭の補助的な支援により、指導内容が広がるとともに、少人数による行きとどいた支援が可能となる。
 ・児童生徒の個々に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特別支援学級支援員、障害児支援介助員、中間教室適応指導員、学習支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上、配置(任務及び人数と時間数)を決定。人選については校長会に依頼。
 ・スクールカウンセラーについては、県からの派遣で対応できない学校に市から派遣をし、全ての学校に配置できるようにしている。
 ・小中学校の実情や要望により障害児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。
 ・放課後学習室は全小学校で放課後に実施。校長会と連携し、指導者を派遣している。

【一般財源増加理由】 現場対応の支援員の数が増えたことによる(65人→69人)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	146,170	障がい児支援員、特別支援学級補助員、少人数・学習支援員、中間教室指導員、医療支援員(看護師)、不登校支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー				
8	報償費	5,337	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員謝礼				
9	旅費	901	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員、不登校支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー等旅費				
11	需用費	38	放課後学習室用品				
14	使用料及び賃借料	3	病院等駐車代				
上記の合計		152,449	職員の人件費合計	0	事業費総合計	152,449	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	282
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-4	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	スクールサポート事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,203					8,203
前年度	7,266					7,266
増減額	937	0	0	0	0	937

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・学校・地域・家庭が一体となって子ども達の「生きる力」を育む。
【効果】
 ・教職員の子どもと向かい合う時間の拡充。
 ・異世代間交流、地域の人々との交流により地域をより身近に感じられる。
 ・ボランティア活動をされる高齢者の方々の生活の充実。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校支援プログラムによるボランティア派遣の実施。
 [学習支援活動] [子ども安全支援活動] [総合的な学習・読書支援活動] [環境整備支援活動]
 [課外活動・部活動支援活動] [外国籍児童生徒支援活動] [障がい児支援活動] [不登校支援指導]
 ・実行委員会による学校支援の企画事業評価の実施。
 ・地域教育協議会による学校運営の理解(参画)、学校支援、学校自己評価に対する評価の実施。
 ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催。
 ・立志塾の開催支援。
 ・子どもと保護者を対象とした安全対策講習会の実施。

【一般財源増加理由】 中学生の放課後等学習支援の強化を目的に支援ボランティアの謝礼を増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	7,663	コーディネーター・ボランティア養成講座講師、子ども安全対策講習会、学習支援活動、立志塾、部活動外部指導者謝礼外				
09	旅費	195	子ども安全対策講習会講師等旅費				
11	需用費	30	事業用消耗品				
12	役務費	315	地域教育協議会ボランティア保険料				
上記の合計		8,203	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,203	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学生放課後等学習支援	学習理解や学力向上を望む中学生を対象として、放課後や長期休業を利用した補習授業を含む「学習支援活動」をサポートする。(5教科・年間24回・7校分:年間840時間)	8	報償費	454
					計	454
2					計	0

予算書ページ	284
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301200
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	教育支援センター運営事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,018					11,018
前年度	6,728					6,728
増減額	4,290	0	0	0	0	4,290

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・不登校児童生徒が通い、学習指導やソーシャルスキルトレーニング、教育相談等を受けながら学校復帰を目指す。
【効果】
 ・不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。 ・学習意欲を持たせ、学習の場を保障できる。
 ・通室仲間との人間関係づくりが登校意欲につながる。 ・学校との連携により、学校登校者が増える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要等】
 ・けやきの家(中学生対象) 所在地:豊科4289番地1 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)1名配置
 ・ねむの木(小学生対象) 所在地:豊科4289番地1 臨時講師(適応指導員)1名、臨時指導員(メンタルフレンド)1名配置
 ・けやきの家(中学生対象)、ねむの木(小学生対象)の運営を行うための経費を支出する。
 ・平成28年4月1日より移転し対応を開始する。実施場所が従来の2か所から豊科公民館での実施となり、小中学生への連携した指導が可能となる。

【一般財源増加理由】 センターに予算を集約したことによる人件費の増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	8,684	支援センター適応指導員、教育相談員、臨時指導員賃金				
8	報償費	1,647	実習講師謝礼、教育相談員謝礼				
9	旅費	8	適応指導員、教育相談員旅費				
11	需用費	474	適応指導教室使用教材等消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費				
12	役務費	205	施設電話料、電話移転工事				
上記の合計		11,018	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,018	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	284
--------	-----

重点施策と 推進政策	4	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	スクールバス運行事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	73,541					73,541
前年度	69,323					69,323
増減額	4,218	0	0	0	0	4,218

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成28年度は市バス3台と業者バス10台及びスクールタクシー1台を運行する予定。
バスの使用台数及び路線については例年どおりだが、新入学予定者でスクールバスの路線外から遠距離通学を行なう児童がいるため、自宅付近からスクールバス乗り場の間においてスクールタクシーを運行する。

【一般財源増加理由】 新入学予定者でスクールバス路線外の遠距離通学を行なう児童に対してスクールタクシーを運行するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,485	消耗品(タイヤ等)380千円、軽油代(市バス3台分)595千円、修繕費(3台分)510千円				
12	役務費	509	車検費用・3ヶ月点検費用他459千円、自賠責保険(3台分)50千円				
13	委託料	71,438	スクールバス運行				
27	公課費	109	自動車重量税				

上記の合計	73,541	職員の人件費合計	0	事業費総合計	73,541	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	継続	スクールバス運行业務	遠距離通学の児童生徒が安全で安心して通学できるようにスクールバスを運行する。	13	委託料	71,438
						計	71,438
2							
						計	0

予算書ページ	284
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅維持管理事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,105				9,737	44,368
前年度	19,233				10,422	8,811
増減額	34,872	0	0	0	△ 685	35,557

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	教員住宅使用料	9,722							
20	その他雑入	15								

【目的・効果】
【目的】
 ・教職員住宅99戸の施設管理(保守・点検・修繕)を行う。
 ・教員住宅建設費2施設の償還を行う。(橋爪教職員住宅、押野教員住宅(集合))
【効果】
 ・教職員の勤務(住居)環境の整備・充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 (教職員住宅の状況)(H27.12現在)
 豊科地域:23戸(細萱・田沢・踏入・吉野地区)、穂高地域:38戸(上原・橋爪・柏原・柏矢町・旭町)、
 三郷地域:15戸(二木・下長尾)、堀金地域:9戸(上堀)、明科地域:14戸(宮本・上押野) 計99戸
 ・老朽化等により賃貸に不適な住宅の解体及び用地の所管換を行い、管理戸数の適正化を図る。
 ・保守・点検・修繕により住居環境を整える。
 ・教員住宅建設費の償還
 橋爪教員住宅(平成28年度終了)、押野教員住宅(集合)(平成30年度終了)
 うち、押野教職員住宅(集合)を繰上償還し、平成28年度で建設費の償還は全て終了する。

【一般財源増加理由】 新たに、住宅建設費の繰上償還費用、老朽住宅の解体費用、及び住宅清掃料を計上したことによる。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,195	施設管理用消耗品、施設修繕、光熱水費				
12	役務費	1,302	住宅清掃、受水槽点検清掃、災害共済				
13	委託料	4,263	消防設備点検、測量				
15	工事請負費	21,298	住宅営繕工事、住宅解体工事				
16	原材料費	23	補修用材料				
18	備品購入費	279	給湯器				
23	償還金	24,745	建設償還金				

上記の合計	54,105	職員の人件費合計	0	事業費総合計	54,105	OK
--------------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	老朽住宅解体	老朽化した教職員住宅6棟(堀金9号、旭町、宮本)の解体工事を行う。公有財産の有効活用と入居率の向上が期待できる。	13	委託料	2,994
				15	工事請負費	16,524
					計	19,518
2	ハード	住宅建設費償還	平成30年度完済予定の押野教職員住宅(集合)の償還金を平成28年度に繰上償還する。これにより、全ての建設費償還金が終了する。	23	償還金	24,745
					計	24,745

予算書ページ	292
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	小学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,333					17,333
前年度	18,125					18,125
増減額	△ 792	0	0	0	0	△ 792

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 学校における児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。
【効果】
 ・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各小学校の学校医の先生による児童に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診及び就学時の検診の実施。
 ・児童の尿・心臓・血液の実施。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	8,114	小学校校医報酬							
07	賃金	310	就学時健康診断事務等臨時職員賃金							
08	報償費	2,029	就学時健康診断医師等謝礼、学校歯科医検診時補助員、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼							
11	需用費	317	知能検査用紙、ダニ・Co2検査用消耗品、保健記録カード印刷代							
12	役務費	6,563	尿・心臓・血液検査代、オージオメーター点検代							
上記の合計		17,333	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,333	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	292
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	144,778				10	144,768
前年度	125,741				10	125,731
増減額	19,037	0	0	0	0	19,037

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	小学校公衆電話料	10							

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、小学校の総括した予算を計上することで児童が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
- ・児童が安心して学校生活を行えるように施設の警備及び設備やシステムの点検、保守を行なう。
- ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
- ・コピー機や印刷機の更新・維持を行ない事務の効率化を図る。
- ・老朽化した備品(ピアノ、事務機器、温風暖房機等)を更新する。

【一般財源増加理由】 堀金小、明南小、明北小の校務用・教育用パソコン更新に伴うリース料の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	59,498	学校事務・図書館司書41,943千円、庁務員17,555千円	18	備品購入費	10,390	ピアノ(2台)4,968千円、コピー機・印刷機1,218千円、FFストーブ4,204千円
08	報償費	567	卒業記念品	19	負担金・補助金及び交付金	4,966	防火管理者40千円、学校災害共済4,896千円、図書館司書研修30千円
09	旅費	522	費用弁償(市費非常勤講師等)500千円、実費弁償(体育実技指導)22千円				
11	需用費	5,907	消耗品(消火器、コピー用紙、FFストーブ部品)2,438千円、印刷製本86千円、物品修繕(パソコン、ピアノ、楽器、設備時計)3,383千円				
12	役務費	2,721	水質検査536千円、樹木伐採750千円、化学物質検査105千円、校内清掃関係1,200千円、設備時計点検130千円				
13	委託料	14,164	図書館システム外2,265千円、エレベーター1,543千円、FFストーブ842千円、学校警備4,743千円、自家用工作物1,538千円、消防設備2,211千円、地下タンク他698千円、粗大ごみ他324千円				
14	使用料及び賃借料	46,043	パソコンリース38,519千円、コピー機等369千円、学校図書館システム378千円、ソフトウェア1,734千円、学校用地5,043千円				

上記の合計	144,778	職員の人件費合計	0	事業費総合計	144,778	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校教育用及び校務用パソコン整備事業	児童がPC教室で使用するパソコン及び校務用パソコンが導入からの耐用年数を経過したため、更新と周辺機器の整備を行い、ICT機器を利用した授業の推進及び教員の事務処理に係る負担軽減を図る。	14	借上料	38,519
					計	38,519
2					計	0

予算書ページ	294
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110080	豊科南小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,284					13,284
前年度	13,097					13,097
増減額	187	0	0	0	0	187

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立豊科南小学校 所在地:安曇野市豊科2723 開校:昭和44年4月
 学校教育目標:1 自分を生きる子ども・2 豊かに生きる子ども・3 とともに生きる子ども
 児童数:682名 学級数:25(子ども病院に院内学級設置) 教職員数:45名(H27.5.1現在)
 通学区域:上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区 スクールバスの運行:2経路

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(書架、角椅子)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(本の整理を行なう必要があり、書架を購入する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	181	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	10,086	校用消耗品2,559千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,263千円、小破修繕200千円、光熱水費5,487千円、印刷製本268千円、教材備品等修繕244千円				
12	役務費	1,663	通信費(電話代等)497千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)1,166千円				
13	委託料	44	粗大ごみ処理等				
14	使用料及び賃借料	391	盆栽11千円、コピー機等368千円、学校田等12千円				
18	備品購入費	919	施設備品(角椅子、書架等)				

上記の合計	13,284	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,284	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	80	講師謝礼
					計	80	
2					計	0	

予算書ページ	296
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110085	豊科北小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,234					13,234
前年度	14,730					14,730
増減額	△ 1,496	0	0	0	0	△ 1,496

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立豊科北小学校 所在地:安曇野市豊科南穂高2692 開校:昭和46年4月
 学校教育目標:求める、きたえる、思いやる
 児童数:542名 学級数:21 教職員数:36名(H27.5.1現在)
 通学区域:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、徳治郎区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(加湿器、コンプレッサー等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	105	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	11,004	校用消耗品2,278千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,149千円、小破修繕200千円、光熱水費6,883千円、印刷製本205千円、教材備品等修繕224千円				
12	役務費	1,428	通信費(電話代等)310千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)1,118千円				
13	委託料	72	粗大ゴミ処理等				
14	使用料及び賃借料	435	盆栽11千円、コピー機等290千円、学校田等134千円				
18	備品購入費	190	施設備品(加湿器、コンプレッサー等)				

上記の合計	13,234	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,234	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	80	講師謝礼
					計	80	
2					計	0	

予算書ページ	296
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110090	豊科東小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,620					9,620
前年度	10,507					10,507
増減額	△ 887	0	0	0	0	△ 887

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立豊科東小学校 所在地:安曇野市豊科田沢5626 開校:昭和57年4月
 学校教育目標:知・徳・体のバランスのとれた健全な発達
 児童数:204名 学級数:8 教職員数:20名(H27.5.1現在)
 通学区域:アルプス区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、徳治郎区の一部、熊倉区の一部

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(ジェットヒーター)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	220	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	7,844	校用消耗品1,366千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,007千円、小破修繕200千円、光熱水費4,940千円、印刷製本116千円、教材備品等修繕150千円				
12	役務費	965	通信費(電話代等)287千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)678千円				
13	委託料	22	粗大ゴミ処理等22千円				
14	使用料及び賃借料	249	盆栽11千円、コピー機等238千円				
18	備品購入費	320	施設備品(ジェットヒーター)				

上記の合計	9,620	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,620	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	70	講師謝礼
					計	70	
2					計	0	

予算書ページ	298
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110095	穂高南小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,443					18,443
前年度	16,860					16,860
増減額	1,583	0	0	0	0	1,583

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立穂高南小学校 所在地:安曇野市穂高7217-1 開校:昭和43年4月
 学校教育目標:美しさあふれ ことばひびきあい 活力みなぎる学校
 児童数:579名 学級数:22 教職員数:42名 (H27.5.1現在)
 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(児童机椅子、カーテン等)の購入。
 平成28年度は開校50周年になるため、記念式典等を実施する。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(老朽化が著しいカーテン等を更新する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	189	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	14,451	校用消耗品2,383千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,489千円、小破修繕200千円、光熱水費9,697千円、印刷製本386千円、教材備品等修繕231千円				
12	役務費	841	通信費(電話代等)409千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、耕耘料、楽器調整等)432千円				
13	委託料	121	粗大ゴミ処理等				
14	使用料及び賃借料	211	盆栽11千円、コピー機等160千円、学校田等40千円				
18	備品購入費	2,130	施設備品(児童机椅子、カーテン等)				
19	負担金補助金及び交付金	500	開校50周年事業に対する補助				

上記の合計	18,443	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,443	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	学力向上のための講演等	08	報償費	50	講師謝礼
			各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。		計	50	
2	ソフト	○	開校50周年事業に対する補助	19	負担金補助金及び交付金	500	
			交付要綱に基づき補助金を交付。 記念式典などの事業に対する補助を交付することで学校支出金の軽減を図る。		計	500	

予算書ページ	298
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110100	穂高北小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,505					18,505
前年度	18,707					18,707
増減額	△ 202	0	0	0	0	△ 202

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立穂高北小学校 所在地:安曇野市穂高有明943 開校:昭和45年4月
 学校教育目標:輝く生命 ひろがる笑顔
 児童数:753名 学級数:28 教職員数:55名(H27.5.1現在)
 通級指導教室の県による設置:まなびの教室及びことばの教室 スクールバスの運行:3経路(有明・北穂高・狐島)
 通学区域:狐島区、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(コレクター、カーテン等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	281	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	15,712	校用消耗品2,732千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,469千円、小破修繕200千円、光熱水費10,470千円、印刷製本517千円、教材備品等修繕259千円				
12	役務費	1,320	通信費(電話代等)420千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ドレン清掃、楽器調整等)900千円				
13	委託料	67	粗大ごみ処理等				
14	使用料及び賃借料	341	盆栽11千円、コピー機等330千円				
18	備品購入費	784	施設備品(コレクター、カーテン等)				

上記の合計	18,505	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,505	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	130	講師謝礼
					計	130	
2					計	0	

予算書ページ	300
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110105	穂高西小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,432					13,432
前年度	12,831					12,831
増減額	601	0	0	0	0	601

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立穂高西小学校 所在地:安曇野市穂高柏原2728 開校:昭和62年4月
 学校教育目標:広い心で、思いやりのある子・自ら気づき、進んでやる子・よく考え、粘り強い子
 児童数:464名 学級数:17 教職員数:37名(H27.5.1現在)
 通学区域:牧区、塚原区、久保田区、柏原区、柏矢町区 スクールバスの運行:1経路(牧)

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(児童机椅子、草刈り機)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(校庭の芝生を管理するために草刈り機を購入する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	235	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,588	校用消耗品2,031千円、芝生管理用品69千円、補修用消耗品45千円、燃料費867千円、小破修繕200千円、光熱水費5,841千円、印刷製本306千円、教材備品等修繕209千円				
12	役務費	1,005	通信費(電話代等)326千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)679千円				
13	委託料	325	粗大ごみ処理等99千円、芝生管理226千円				
14	使用料及び賃借料	277	盆栽11千円、コピー機等161千円、学校田等105千円				
18	備品購入費	2,000	施設備品(児童机椅子、草刈り機等)				
19	負担金補助金及び交付金	2	烏川土地改良区負担金				

上記の合計	13,432	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,432	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	110	講師謝礼
					計	110	
2					計	0	

予算書ページ	300
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110110	三郷小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,466					25,466
前年度	25,866					25,866
増減額	△ 400	0	0	0	0	△ 400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立三郷小学校 所在地:所在地:安曇野市三郷明盛4742 開校:昭和45年4月
 学校教育目標:自ら学ぶ子ども(やる気)、心豊かな子ども(思いやり)、明るくたくましい子ども(健康)
 児童数:992名 学級数:36 教職員数:63名(H27.5.1現在) 通学区域:三郷全域 スクールバスの運行:1経路(小倉)

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(ジェットヒーター、児童机椅子等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	272	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	19,067	校用消耗品3,407千円、補修用消耗品45千円、燃料費2,018千円、小破修繕200千円、光熱水費12,283千円、印刷製本487千円、教材備品等修繕315千円、木製机椅子修理292千円				
12	役務費	1,601	通信費(電話代等)485千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)1,116千円				
13	委託料	1,428	粗大ゴミ処理等78千円、芝生管理1,350千円				
14	使用料及び賃借料	658	盆栽11千円、コピー機等404千円、学校田等243千円				
18	備品購入費	2,436	施設備品(ジェットヒーター、児童机椅子等)				
19	負担金補助金及び交付金	4	梓川土地改良区負担金				

上記の合計	25,466	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,466	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	学力向上のための講演等	08	報償費	50	講師謝礼
			各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。		計	50	
2					計	0	

予算書ページ	302
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110115	堀金小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,960					14,960
前年度	14,368					14,368
増減額	592	0	0	0	0	592

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立堀金小学校 所在地:安曇野市堀金烏川3000 開校:明治19年4月
 学校教育目標:みつける・きたえる・思いやる
 児童数:598名 学級数:22 教職員数:38名(H27.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(グラント放送設備、加湿器等)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(グラントの放送機器を整備する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	120	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	12,413	校用消耗品2,360千円、補修用消耗品45千円、燃料費1,401千円、小破修繕200千円、光熱水費7,888千円、印刷製本189千円、教材備品等修繕230千円、送設備修繕80千円				
12	役務費	982	通信費(電話代等)297千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)685千円				
13	委託料	283	粗大ごみ処理等				
14	使用料及び賃借料	206	盆栽11千円、コピー機等155千円、学校田等40千円				
18	備品購入費	956	施設備品(グラント放送設備、加湿器等)				

上記の合計	14,960	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,960	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	50	講師謝礼
					計	50	
2					計	0	

予算書ページ	304
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110120	明南小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,961				80	9,881
前年度	10,478					10,478
増減額	△ 517	0	0	0	80	△ 597

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公共施設目的外使用料	80							

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立明南小学校 所在:安曇野市明科中川手2694 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:夢をゆたかに 未来をになう子ども ○かしこく ○やさしく ○たくましく
 児童数:288名 学級数:13 教職員数:28名(H27.5.1現在)
 通学区域:明科区、町区、宮中区、大足区、光区(明科)、上押野区、下押野区 スクールバスの運行:2経路(押野・大足)

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(手洗い場マット、会議用テーブル等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	105	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	8,450	校用消耗品1,577千円、補修用消耗品45千円、燃料費842千円、小破修繕200千円、光熱水費5,439千円、印刷製本247千円、教材備品等修繕170千円				
12	役務費	792	通信費(電話代等)310千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、楽器調整等)482千円				
13	委託料	44	粗大ゴミ処理等				
14	使用料及び賃借料	214	盆栽11千円、コピー機等182千円、学校田等21千円				
18	備品購入費	356	施設備品(手洗い場マット、会議用テーブル等)				

上記の合計	9,961	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,961	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	50	講師謝礼
					計	50	
2					計	0	

予算書ページ	304
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110125	明北小学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,156					7,156
前年度	7,212					7,212
増減額	△ 56	0	0	0	0	△ 56

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立明北小学校 所在地:安曇野市明科東川手823 開校:昭和36年4月
 学校教育目標:自ら願いを持ち 他との関わりを大切にしながら 進んで実践していく子ども(豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども)
 児童数:118名 学級数:8 教職員数:20名(H27.5.1現在)
 通学区域:潮区、潮沢区、上生野区、荻原区、塩川原区、木戸区、南陸郷区 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(会議用テーブル、加湿器等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	173	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	5,599	校用消耗品1,170千円、補修用消耗品45千円、燃料費599千円、小破修繕200千円、光熱水費3,282千円、印刷製本142千円、教材備品等修繕141千円				
12	役務費	910	通信費(電話代等)244千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、楽器調整等)666千円				
13	委託料	63	粗大ごみ処理等				
14	使用料及び賃借料	179	盆栽11千円、コピー機等155千円、学校田等13千円				
18	備品購入費	232	施設備品(会議用テーブル、加湿器等)				

上記の合計	7,156	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,156	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	80	講師謝礼
					計	80	
2					計	0	

予算書ページ	306
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,484	804	456			70,224
前年度	77,284	1,187	446			75,651
増減額	△ 5,800	△ 383	10	0	0	△ 5,427

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	52	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	456				
14	特別支援教育就学奨励費補助金	752								

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校傾向の実態把握のためのハイパーQUの実施。
- ・新体力テストを実施し体力や運動習慣、生活習慣等を把握することで、学校における体育・保健に関する指導等の改善を図る。
- ・外国語指導助手委託事業の実施。(外国語指導助手・講師を配置し、児童の外国語活動・国際理解教育を推進する。)
- ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,838	英語指導教員				
09	旅費	134	費用弁償(英語指導教員)				
11	需用費	573	教材用資料431千円、英語指導教材142千円				
12	役務費	4,933	学力検査4,723千円、体力テスト210千円				
13	委託料	19,200	外国語指導助手				
18	備品購入費	1,506	楽器(10台分)				
20	扶助費	40,300	就学援助費36,000千円、特別支援教育就学奨励費4,300千円				

上記の合計	71,484	職員の人件費合計	0	事業費総合計	71,484	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校外国語指導助手 配置事業	外国語指導助手(ALT)を配置し、児童の国際的 視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養 うことを目的とする。	13	委託料	19,200
					計	19,200
2					計	0

予算書ページ	306
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110135	豊科南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,840	80				3,760
前年度	3,905					3,905
増減額	△ 65	80	0	0	0	△ 145

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無いため、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,853	教科用消耗品1,812千円、職員図書41千円				
18	備品購入費	1,987	教科備品1,021千円、児童図書966千円				

上記の合計	3,840	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,840	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	306
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110140	豊科北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,397	80				3,317
前年度	3,373					3,373
増減額	24	80	0	0	0	△ 56

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,627	教科用消耗品1,589千円、職員図書38千円				
18	備品購入費	1,770	教科備品923千円、児童図書847千円				

上記の合計	3,397	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,397	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	306
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110145	豊科東小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,027	80				1,947
前年度	2,066					2,066
増減額	△ 39	80	0	0	0	△ 119

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	888	教科用消耗品856千円、職員図書32千円				
18	備品購入費	1,139	教科備品597千円、児童図書542千円				

上記の合計	2,027	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,027	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110150	穂高南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,551	80				3,471
前年度	3,512					3,512
増減額	39	80	0	0	0	△ 41

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,711	教科用消耗品1,672千円、職員図書39千円				
18	備品購入費	1,840	教科備品959千円、児童図書881千円				

上記の合計	3,551	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,551	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110155	穂高北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,089	80				4,009
前年度	4,213					4,213
増減額	△ 124	80	0	0	0	△ 204

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,994	教科用消耗品1,952千円、職員図書42千円				
18	備品購入費	2,095	教科備品1,084千円、児童図書1,011千円				

上記の合計	4,089	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,089	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110160	穂高西小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,082	80				3,002
前年度	3,124					3,124
増減額	△ 42	80	0	0	0	△ 122

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,430	教科用消耗品1,393千円、職員図書37千円				
18	備品購入費	1,652	教科備品838千円、児童図書814千円				

上記の合計	3,082	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,082	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110165	三郷小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,140	80				5,060
前年度	5,177					5,177
増減額	△ 37	80	0	0	0	△ 117

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,543	教科用消耗品2,495千円、職員図書48千円				
18	備品購入費	2,597	教科備品1,326千円、児童図書1,271千円				

上記の合計	5,140	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,140	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110170	堀金小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,601	80				3,521
前年度	3,643					3,643
増減額	△ 42	80	0	0	0	△ 122

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,693	教科用消耗品1,654千円、職員図書39千円				
18	備品購入費	1,908	教科備品952千円、児童図書956千円				

上記の合計	3,601	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,601	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110175	明南小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,426	80				2,346
前年度	2,511					2,511
増減額	△ 85	80	0	0	0	△ 165

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,062	教科用消耗品1,028千円、職員図書34千円				
18	備品購入費	1,364	教科備品674千円、児童図書690千円				

上記の合計	2,426	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,426	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110180	明北小学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,813	80				1,733
前年度	1,874					1,874
増減額	△ 61	80	0	0	0	△ 141

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	80							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、児童図書を購入する。
 消耗品と備品については、児童の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 児童図書については、各校の充足率を参考に示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	736	教科用消耗品705千円、職員図書31千円				
18	備品購入費	1,077	教科備品533千円、児童図書544千円				

上記の合計	1,813	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,813	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-1	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 教育指導室

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	518					518
前年度	524					524
増減額	△ 6	0	0	0	0	△ 6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・通常学級に在籍し、言語障害・情緒障害・弱視・難聴などの障がいをもつ児童のうち、比較的軽度の障がいがある児童に対して、各教科等の指導は通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導の場として通級による指導を行う。

【効果】

・言語障害(ことばの教室)、学習障害(まなびの教室)の2教室を運営し、専門的な指導による個に応じた指導支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設概要等】

- ・設置校:穂高北小学校(県による設置)
- ・ことばの教室1(県費教員1名 補助指導員1名)
- ・まなびの教室1(県費教員1名、補助指導員2名)

- ・各教室の指導に当たる補助指導員への賃金の支給
- ・各教室で教育活動を進めるために必要な消耗品の整備。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	賃金	310	ことばの教室、まなびの教室補助指導員賃金(3名)				
11	需用費	208	ことばの教室、まなびの教室教科教材				

上記の合計	518	職員の人件費合計	0	事業費総合計	518	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,413					36,413
前年度	38,891					38,891
増減額	△ 2,478	0	0	0	0	△ 2,478

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・小学校10校の学校施設・設備の維持修繕を行う。
 【効果】
 ・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕・改修により、施設の長寿命化が図れる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・小学校10校の施設、設備損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事の実施
 ・遊具及び体育器具の安全点検の実施

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	8,218	施設管理用消耗品、施設修繕、作業機器等修繕				
12	役務費	605	遊具点検				
13	委託料	4,244	草刈り他、台帳整備、排水管清掃、設計監理				
14	使用料及び賃借料	238	作業用重機等借上げ				
15	工事請負費	23,000	遊具改修工事、施設改修工事費等				
16	原材料費	108	補修用材料				

上記の合計	36,413	職員の人件費合計	0	事業費総合計	36,413	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	310
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	02	小学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	198,108	27,387		53,900	100,000	16,821
前年度	213,725	31,475		62,900	100,000	19,350
増減額	△ 15,617	△ 4,088	0	△ 9,000	0	△ 2,529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	27,387							
18	公共施設整備基金繰入金	100,000								
21	防災機能強化事業(非構造部材)	53,900								

【目的・効果】

【目的】

- ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。
- ・小学校10校の施設について、老朽化対策としての改修工事を計画的に実施する。

【効果】

- ・学校の学習環境整備を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができる。また、施設の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・防災機能強化事業
屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事及び実施設計の実施
工事:豊科南小学校体育館、穂高南小学校講堂
設計:三郷小学校第一体育館、明南小学校体育館
- ・長寿命化改良事業
老朽化した穂高南小学校校舎の長寿命化対策工事及び老朽対策工事を実施するための実施設計を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	20	消耗品費				
13	委託料	24,877	実施設計業務委託及び工事監理業務委託				
15	工事請負費	173,211	非構造部材耐震化工事				

上記の合計	198,108	職員の人件費合計	0	事業費総合計	198,108	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	防災機能強化(小学校体育館等非構造部材耐震化)	13	委託料	10,336
			天井や照明器具等の非構造部材の耐震化工事を行うことにより、非構造部材の落下による致命的な事故を防止する。	15	工事請負費	173,211
					計	183,547
					計	0

予算書ページ	312
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110200	中学校保健指導事業費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,934					9,934
前年度	9,821					9,821
増減額	113	0	0	0	0	113

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 学校における児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防するために、学校保健安全法第13条及び同法施行規則に基づき、児童・生徒に対し毎学年定期的に、内科、耳鼻科、歯科、眼科について健康診断を実施する。
【効果】
 ・学校医による健康診断を行うことにより、児童・生徒等の健康の保持推進と疾病を予防することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各中学校の学校医の先生による生徒に対する内科・耳鼻科・歯科・眼科の定期健診の実施。
 ・生徒の尿・心臓・血液の実施。

【一般財源増加理由】 生徒数増加見込による検査手数料の増額

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	5,036	中学校校医報酬				
08	報償費	333	学校歯科医検診時補助者、養護教諭補助看護師等派遣事業謝礼外				
11	需用費	168	ダニ・Co2検査用消耗品、学校登山用薬品、保健記録カード印刷代				
12	役務費	4,397	生徒尿・心臓・血液検査代、オージオメーター定期検査代				
上記の合計		9,934	職員の人件費合計	0	事業費総合計	9,934	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	312
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	112,403				100	112,303
前年度	96,253				100	96,153
増減額	16,150	0	0	0	0	16,150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	中学校公衆電話料	100							

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、中学校の総括した予算を計上することで児童が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・事務職員・図書館司書・学校庁務員の配置。
- ・中学校事業として行う『登山(常念・燕)』事業への医師等の付添経費の支出。
- ・児童が安心して学校生活を行えるように施設の警備及び設備やシステムの点検、保守を行なう。
- ・校務及びパソコン教室におけるパソコンの更新・維持を行い、効率的なICT活用の促進を図る。
- ・コピー機や印刷機の更新・維持を行ない事務の効率化を図る。
- ・老朽化した備品(事務機器、温風暖房機等)を更新する。

【一般財源増加理由】 電子黒板、実物投影機等情報機器の導入整備経費及び掘金中、明科中の校務用・教育用パソコン更新に伴うリース料の増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	41,831	学校事務・図書館司書29,523千円、庁務員12,308千円	17	公有財産購入費	2,500	学校敷地内私有地買収
08	報償費	1,771	登山付添1,155千円、卒業記念品616千円	18	備品購入費	5,664	パソコン235千円、コピー機・印刷機等2,066千円、FFストーブ3,363千円
09	旅費	600	費用弁償(市費非常勤講師等)	19	負担金・補助金及び交付金	2,838	防火管理者28千円、学校災害共済2,789千円、図書館司書研修21千円
11	需用費	4,936	消耗品(消火器、コピー用紙、FFストーブ部品)1,465千円、印刷製本94千円、物品修繕(パソコン、ピアノ、楽器、設備時計)3,377千円				
12	役務費	2,270	水質検査355千円、樹木伐採900千円、化学物質検査71千円、校内清掃関係792千円、設備時計点検98千円、保険料(登山)54千円				
13	委託料	10,704	図書館システム外1,479千円、エレベーター953千円、FFストーブ798千円、学校警備3,397千円、自家用工作物998千円、消防設備2,313千円、地下タコ他474千円、粗大ごみ他292千円				
14	使用料及び賃借料	39,289	パソコンリース35,163千円、コピー機等479千円、学校図書館システム314千円、ソフトウェア1,351千円、登山宿泊210千円、学校用地1,772千円				

上記の合計	112,403	職員の人件費合計	0	事業費総合計	112,403	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校教育用及び校務用パソコン整備事業	生徒がPC教室で使用するパソコン及び校務用パソコンが導入からの耐用年数を経過したため、更新と周辺機器の整備を行い、ICT機器を利用した授業の推進及び教員の事務処理に係る負担軽減を図る。	14	借上料	35,163
					計	35,163
2					計	0

予算書ページ	314
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110210	豊科南中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,685					11,685
前年度	12,085					12,085
増減額	△ 400	0	0	0	0	△ 400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》 安曇野市立豊科南中学校 所在地:安曇野市豊科1487 開校:昭和60年4月
 学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ
 生徒数:327名 学級数:13 教職員数:33名(H27.5.1現在)
 通学区域: 上鳥羽区、下鳥羽区、本村区、吉野区、真々部区、たつみ原区、飯田区、下飯田区、中曽根区、熊倉区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(調理室用椅子)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	130	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,454	校用消耗品1,884千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,118千円、小破修繕240千円、光熱水費5,585千円、印刷製本245千円、教材備品等修繕312千円				
12	役務費	1,333	通信費(電話代等)390千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)943千円				
13	委託料	69	粗大ゴミ処理等				
14	使用料及び賃借料	448	盆栽11千円、コピー機等398千円、学校田等39千円				
18	備品購入費	251	施設備品(調理室用椅子)				

上記の合計	11,685	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,685	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	80	講師謝礼
					計	80	
2					計	0	

予算書ページ	316
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110215	豊科北中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,445					14,445
前年度	15,166					15,166
増減額	△ 721	0	0	0	0	△ 721

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立豊科北中学校 所在地:安曇野市豊科5558 開校:昭和60年4月
 学校教育目標:教わるものから 自ら学ぶものへ、ひとつを続けて ほんものへ、心をひらいて 深い交わりへ
 生徒数:448名 学級数:16 教職員数:38名(H27.5.1現在)
 通学区域:成相区、新田区、寺所区、踏入区、細萱区、重柳区、アルプス区、徳治郎区、田沢区、小瀬幅区、大口沢区、光区(豊科)、桜坂区、熊倉区の一部

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(照明灯、スポットライト等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	255	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	11,962	校用消耗品2,201千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,491千円、小破修繕200千円、光熱水費7,381千円、印刷製本269千円、教材備品等修繕350千円				
12	役務費	1,265	通信費(電話代等)460千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)805千円				
13	委託料	74	粗大ごみ処理等				
14	使用料及び賃借料	332	盆栽11千円、コピー機等321千円				
18	備品購入費	557	施設備品(照明灯、スポットライト等)				

上記の合計	14,445	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,445	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	160	講師謝礼
					計	160	
2					計	0	

予算書ページ	316
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110220	穂高東中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,941					18,941
前年度	18,892					18,892
増減額	49	0	0	0	0	49

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立穂高東中学校 所在地:安曇野市穂高5119-2 開校:平成13年4月
 学校教育目標:規則正しく生き生きとした生徒、何事にも粘り強い生徒、自分も人も大切に作る生徒
 生徒数:482名 学級数:19 教職員数:42名(H27.5.1現在)
 通学区域:矢原区、白金区、等々力区、等々力町区、穂高町区、穂高区(上原地区を除く)、狐島区、久保田区、柏原区、柏矢町区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(生徒用机椅子、会議用机等)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(生徒用の机と椅子を更新する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	260	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	15,503	校用消耗品2,240千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,927千円、小破修繕240千円、光熱水費10,271千円、印刷製本392千円、教材備品等修繕363千円				
12	役務費	1,146	通信費(電話代等)550千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ドレン清掃、楽器調整等)596千円				
13	委託料	50	粗大ゴミ処理等				
14	使用料及び賃借料	531	盆栽11千円、コピー機等520千円				
18	備品購入費	1,101	施設備品(生徒用机椅子、会議用机等)				
19	負担金補助金及び交付金	350	田舎のモーツァルト音楽祭補助				

上記の合計	18,941	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,941	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	160	講師謝礼
					計	160	
2					計	0	

予算書ページ	318
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110225	穂高西中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,682					15,682
前年度	16,061					16,061
増減額	△ 379	0	0	0	0	△ 379

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立穂高西中学校 所在地:安曇野市穂高有明9525 開校:平成13年4月
 学校教育目標:誠 誠なる人、明 明らかなる人、健 健やかなる人
 生徒数:497名 学級数:18 教職員数:46名(H27.5.1現在)
 通学区域:穂高区(上原地区)、青木花見区、島新田区、橋爪区、耳塚区、富田区、豊里区、小岩岳区、嵩下区、新屋区、古厩区、立足区、牧区、塚原区

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(草刈り機)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	150	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	13,634	校用消耗品2,291千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,689千円、小破修繕200千円、光熱水費8,744千円、印刷製本273千円、教材備品等修繕367千円				
12	役務費	1,199	通信費(電話代等)540千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)659千円				
13	委託料	141	松くい虫防除65千円、粗大ごみ処理等76千円				
14	使用料及び賃借料	441	盆栽11千円、コピー機等430千円				
18	備品購入費	117	施設備品(草刈り機)				

上記の合計	15,682	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,682	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	50	講師謝礼
					計	50	
2					計	0	

予算書ページ	318
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110230	三郷中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,449					20,449
前年度	18,721					18,721
増減額	1,728	0	0	0	0	1,728

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立三郷中学校 所在地:安曇野市三郷明盛1885-1 開校:昭和27年4月
 学校教育目標:豊かな心を持ち、辛抱強く自分を鍛え、自ら学ぶ生徒になろう
 生徒数:565名 学級数:22 教職員数:53名(H27.5.1現在)
 通学区域:三郷全域

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(生徒用机椅子等)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(生徒用の机と椅子を更新する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	240	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	15,673	校用消耗品2,601千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,915千円、小破修繕200千円、光熱水費9,995千円、印刷製本305千円、教材備品等修繕409千円、木製机椅子修理178千円				
12	役務費	1,339	通信費(電話代等)530千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)809千円				
13	委託料	208	松くい虫防除145千円、粗大ごみ処理等63千円				
14	使用料及び賃借料	215	盆栽11千円、コピー機等204千円				
18	備品購入費	2,774	施設備品(生徒用机椅子等)				

上記の合計	20,449	職員の人件費合計	0	事業費総合計	20,449	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	80	講師謝礼
					計	80	
2					計	0	

予算書ページ	320
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110235	堀金中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,533					12,533
前年度	11,519					11,519
増減額	1,014	0	0	0	0	1,014

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立堀金中学校 所在地:安曇野市堀金烏川2126-1 開校:昭和22年4月
 学校教育目標:高めあう学び、かわしあう挨拶、響きあう歌声、磨きあう清掃
 生徒数:325名 学級数:14 教職員数:36名(H27.5.1現在) 通学区域:堀金全域

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(庭木の手入れ、清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(生徒用机椅子、書架等)の購入。

【一般財源増加理由】 備品購入費が増えたことによる(生徒用の机と椅子を更新する)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	160	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	9,028	校用消耗品1,860千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,053千円、小破修繕200千円、光熱水費5,301千円、印刷製本229千円、教材備品等修繕315千円				
12	役務費	1,208	通信費(電話代等)380千円、手数料(庭木手入れ、クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)828千円				
13	委託料	558	松くい虫防除265千円、粗大ごみ処理等293千円				
14	使用料及び賃借料	171	盆栽11千円、コピー機等160千円				
18	備品購入費	1,408	施設備品(生徒用机椅子、書架等)				

上記の合計	12,533	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,533	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	60	講師謝礼
					計	60	
2					計	0	

予算書ページ	320
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110240	明科中学校管理費		具体的な施策	時代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,313				80	11,233
前年度	12,380					12,380
増減額	△ 1,067	0	0	0	80	△ 1,147

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公共施設目的外使用料	80							

【目的・効果】

学校運営に必要な経費のうち、個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

《施設概要等》安曇野市立明科中学校 所在地:安曇野市中川手2666 開校:昭和33年4月
 学校教育目標:感動する心、支え合う心、やり抜く心
 生徒数:225名 学級数:10 教職員数:28名(H27.5.1現在) 通学区域:明科全域 スクールバスの運行:2経路(犀川・潮沢)

学校教育や教員のスキルアップに必要な経費(校内研修、研究会、発表会の講師謝礼等)の支出。
 学校運営に必要な管理経費(燃料・光熱水費・施設修繕費等)の支出。
 施設や備品維持に必要な経費(清掃、楽器の修理等)の支出。
 学校に必要な備品(書架、カーテン、フライト等)の購入。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	150	講演会等講師謝礼等				
11	需用費	8,106	校用消耗品1,509千円、補修用消耗品50千円、燃料費1,689千円、小破修繕200千円、光熱水費4,195千円、印刷製本184千円、教材備品等修繕259千円				
12	役務費	844	通信費(電話代等)366千円、手数料(クリーニング、ガラス清掃、楽器調整等)478千円				
13	委託料	241	庭木の手入れ136千円、ランチルーム熱風炉点検35千円、粗大ごみ処理等70千円				
14	使用料及び賃借料	270	盆栽11千円、コピー機等259千円				
18	備品購入費	1,702	施設備品(書架、カーテン、フライト等)				

上記の合計	11,313	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,313	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 学力向上のための講演等	各学校に職員研修に関する講師謝礼費用を計上。 特色ある学校づくりに役立つ職員研修を学校が企画して実施することで教職員の資質向上や児童の学力向上が見込まれる。	08	報償費	50	講師謝礼
					計	50	
2					計	0	

予算書ページ	322
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,489	965	344		4,100	90,080
前年度	113,018	1,364	344		4,100	107,210
増減額	△ 17,529	△ 399	0	0	0	△ 17,130

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	要保護児童生徒援助費補助金	143	15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	344				
14	特別支援教育就学奨励費補助金	822	18	人材育成基金繰入金	2,000					
14			20	海外ホームステイ参加者負担金	2,100					

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・学力検査CRT及び学級経営やいじめ・不登校の実態把握のためのハイパーQUの実施。
 ・体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・保健に関する指導等の改善を図るための新体力テストの実施。
 ・外国語指導助手委託事業の実施。(外国語指導助手・講師を配置し、中学校における英語教育の向上と国際理解を推進する。)
 ・英会話の学力向上のための課外授業の実施。
 ・海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図るための海外ホームステイ交流派遣事業の実施。
 ・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。
 (教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	114	海外ホームステイ訪問先記念品				
09	旅費	64	海外ホームステイ引率者旅費				
11	需用費	538	教材用資料410千円、海外ホームステイ体験作文集128千円				
12	役務費	3,517	学力検査3,268千円、体力テスト249千円				
13	委託料	43,252	外国語指導助手33,600千円、課外授業(英会話)1,344千円、海外ホームステイ8,308千円				
18	備品購入費	1,304	楽器(3台分)				
20	扶助費	46,700	就学援助費42,000千円、特別支援教育就学奨励費4,700千円				

上記の合計	95,489	職員の人件費合計	0	事業費総合計	95,489	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校外国語指導助手配置事業	外国語指導助手(ALT)を配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うことを目的とする。	13	委託料	33,600
					計	33,600
2	ソフト	中学生海外ホームステイ交流派遣事業	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、国際感覚を養うと共に、英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成を目的とする。	8	報償費	114
				9	旅費	64
				11	需用費	128
				13	委託料	8,308
			計	8,614		

予算書ページ	322
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110250	豊科南中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,141	140				4,001
前年度	4,087					4,087
増減額	54	140	0	0	0	△ 86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	140							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,904	教科用消耗品1,832千円、職員図書72千円				
18	備品購入費	2,237	教科備品1,343千円、生徒図書894千円				

上記の合計	4,141	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,141	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110255	豊科北中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,828	130				4,698
前年度	4,787					4,787
増減額	41	130	0	0	0	△ 89

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	130							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,338	教科用消耗品2,262千円、職員図書76千円				
18	備品購入費	2,490	教科備品1,535千円、生徒図書955千円				

上記の合計	4,828	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,828	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110260	穂高東中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,998	100				4,898
前年度	5,133					5,133
増減額	△ 135	100	0	0	0	△ 235

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	100							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,393	教科用消耗品2,309千円、職員図書84千円				
18	備品購入費	2,605	教科備品1,567千円、生徒図書1,038千円				

上記の合計	4,998	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,998	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110265	穂高西中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,888	100				4,788
前年度	5,002					5,002
増減額	△ 114	100	0	0	0	△ 214

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	100							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,464	教科用消耗品2,380千円、職員図書84千円				
18	備品購入費	2,424	教科備品1,596千円、生徒図書828千円				

上記の合計	4,888	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,888	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110270	三郷中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,816	100				5,716
前年度	5,693					5,693
増減額	123	100	0	0	0	23

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	100							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】 生徒数増加に伴う示達額の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,883	教科用消耗品2,796千円、職員図書87千円				
18	備品購入費	2,933	教科備品1,789千円、生徒図書1,144千円				

上記の合計	5,816	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,816	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110275	堀金中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,081	100				3,981
前年度	4,041					4,041
増減額	40	100	0	0	0	△ 60

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	100							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無い場合、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,867	教科用消耗品1,795千円、職員図書72千円				
18	備品購入費	2,214	教科備品1,335千円、生徒図書879千円				

上記の合計	4,081	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,081	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110280	明科中学校教育振興費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,266	130				3,136
前年度	3,334					3,334
増減額	△ 68	130	0	0	0	△ 198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	理科教育設備整備費補助金	130							

【目的・効果】

教育振興にかかわる経費のうち、個別の経費を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校に必要な教科用消耗品、教科用備品、職員図書、生徒図書を購入する。
 消耗品と備品については、生徒の人数やクラス数により示達額を算出している。
 職員図書については、教職員数に著しい増減が無いため、例年同額の費用を計上。
 生徒図書については、各校の充足率及び教科書改訂分を考慮して示達額を算出している。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,394	教科用消耗品1,328千円、職員図書66千円				
18	備品購入費	1,872	教科備品1,109千円、生徒図書763千円				

上記の合計	3,266	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,266	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	326
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,847					21,847
前年度	14,464					14,464
増減額	7,383	0	0	0	0	7,383

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・中学校7校の学校施設・設備の維持修繕を行う。
【効果】
 ・安心・安全な学校生活及び学習活動ができる環境となる。
 ・施設の維持修繕、改修により施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・中学校7校の施設、設備等損傷部の修繕及び環境改善のための改修工事の実施

【一般財源増加理由】主に、工事請負費及びこれに伴う設計監理業務委託料の増加による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	8,822	施設用消耗品、施設修繕、作業機器等修繕				
12	役務費	38	トイレ詰り対応				
13	委託料	2,404	草刈り他、排水管清掃、設計監理				
14	使用料及び賃借料	159	作業用重機等借上げ				
15	工事請負費	9,988	施設維持改修工事費等				
16	原材料費	203	補修用材料費				
18	備品購入費	233	消防用備品購入費				
上記の合計		21,847	職員の人件費合計	0	事業費総合計	21,847	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	326
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301300
		部・課・係等	教育部 学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	03	中学校費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業		具体的な施策	学校施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	328,516	64,131		118,800	100,000	45,585
前年度	283,782	50,058		72,300	120,000	41,424
増減額	44,734	14,073	0	46,500	△ 20,000	4,161

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	64,131	21	中学校整備事業	22,200				
18	公共施設整備基金繰入金	100,000								
21	防災機能強化(非構造部材)	96,600								

【目的・効果】
【目的】
 ・文部科学省の指導に基づき、災害時避難施設となる学校体育館等大規模空間施設の天井、照明器具等の落下防止対策を実施する。
 ・中学校7校の施設について、老朽化対策としての改修工事を計画的に実施する。
【効果】
 ・学校の学習環境整備を図ることにより、安心・安全な学校生活を送ることができる。また、施設の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・防災機能強化事業
 屋内運動場等の天井・照明器具等非構造部材の耐震化工事及び実施設計の実施
 工事:穂高東中学校体育館、三郷中学校講堂
 設計:穂高西中学校体育館、堀金中学校体育館
 ・大規模改造(トイレ)
 老朽化したトイレ環境改善のための工事 豊科北中学校Ⅱ期

【一般財源増加理由】 主に、設計等委託料及び工事請負費の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	40	参考図書等の購入				
13	委託料	21,417	実施設計業務委託及び工事監理業務委託				
15	工事請負費	307,059	非構造部材耐震化工事、大規模改造(トイレ)工事				

上記の合計	328,516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	328,516	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	防災機能強化(中学校体育館等非構造部材耐震化)	天井や照明器具等の非構造部材の耐震化工事を行うことにより、非構造部材の落下による致命的な事故を防止する。	13	委託料	18,252
					15	工事請負費	222,329
						計	240,581
2	ハード	○	大規模改造(中学校トイレ)	老朽対策のなかでも喫緊の課題であるトイレ環境を改善するための工事を実施することにより、施設の長寿命化及び教育環境の向上を図ることができる。	13	委託料	3,165
					15	工事請負費	84,730
						計	87,895

予算書ページ	286
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	152,071				1	152,070
前年度	154,892					154,892
増減額	△ 2,821	0	0	0	1	△ 2,822

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	支払督促費用		1						

【目的・効果】
【目的】
 ・市内4箇所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。
【効果】
 ・人件費が主な事業費であり、職員への衛生管理・安全作業を徹底し、安心安全な給食を提供している。
 ・学校給食費口座振替納付を推進し、保護者への利便性と未納者への滞納対策強化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校給食センター運営委員会運営事業(委員報酬・決算監査謝礼)
 ・学校給食提供事業臨時賃金88人(内非常勤等78人)【北部センター24人・堀金センター13人・中部センター20人・南部センター21人
 ・代替調理員10人】
 ・放射性物質検査(県放射性物質検査検体(食材)料)
 ・学校給食費口座振替納付事業関連経費
 ・学校給食会計監査資料作成委託事業
 ・滞納整理事業【最終催告通知・裁判請求に伴う支払督促】
 ・学校給食栄養士の資質向上

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	168	学校給食センター運営委員会委員報酬			27	公課費	86	収入印紙代(支払督促申立手数料、郵送料分)	
07	賃金	108,260	学校給食費会計監査謝礼・給食費支払督促弁護士料							
08	報償費	407	学校給食費会計監査謝礼・給食費支払督促弁護士料							
11	需用費	658	学校給食費口座振替納付事業関連様式印刷代							
12	役務費	1,578	学校給食費口座振替納付事業関連通知郵送料・最終催告通知郵送料・システム回線使用料・口座送金手数料							
13	委託料	543	学校給食費会計監査資料作成委託料							
19	負担金補助及び交付金	46	長野県学校栄養職員部会他負担金							
上記の合計		111,746	職員の人件費合計	40,325	事業費総合計	152,071	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	学校給食費口座振替納付推進事業	【事業内容】 ・学校給食費を口座振替納付に統一 【事業効果】 ・保護者の利便性向上 ・未納者への滞納対策強化	8	報償費	400	給食費支払督促弁護士料
				11	需用費	628	口座振替付関連様式印刷代等
				12	役務費	1,578	口座振替付関連通知郵送料等
				27	公課費	86	収入印紙代(支払督促申立料他)
					計	2,722	
2	ソフト	学校給食費会計監査資料作成委託事業	【事業内容】 ・監査資料の作成、監査役員への監査助言 【事業効果】 ・監査役員の負担軽減 ・監査資料の透明性、充実	13	委託料	543	給食費会計監査資料作成
					計	543	

予算書ページ	286
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部学校給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,869				14	43,855
前年度	45,813				0	45,813
増減額	△ 1,944	0	0	0	14	△ 1,958

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	食用廃油売渡し収入	14							

【目的・効果】
【目的】
 ・北部学校給食センターにおいて、管内の学校へ学校給食を提供できるように施設及び環境を維持管理する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:穂高南小学校、穂高北小学校、穂高西小学校
 穂高東中学校、穂高西中学校、穂高幼稚園(H28.4所管替え)
 ②用地:安曇野市穂高9747番地 (5,991.02㎡)
 ③施設概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積 2,091.65㎡
 ④建築年:平成24年1月31日(竣工)
 ⑤調理規模:最大3,500食 (H27.4月現在:2,970食、5校1園 114クラス分)
 ⑥公用車等:配送車3台、軽乗用車1台
 ⑦付帯設備:太陽光システム10kw
 ◎食育の推進

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	26,836	調理用消耗品、電気料、上下水道料、施設修繕、物品修繕				
12	役務費	1,667	電話料、給食従事者保菌検査、食品微生物検査				
13	委託料	15,035	機械設備保守点検、厨房機器保守点検業務委託、給食配送業務委託				
14	使用料及び賃借料	244	コピー機借上げ・使用料				
18	備品購入費	0	予定なし				
27	公課費	87	給食配送車等重量税				
上記の合計		43,869	職員の人件費合計	0	事業費総合計	43,869	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	288
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,463				2	22,461
前年度	23,037				0	23,037
増減額	△ 574	0	0	0	2	△ 576

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	食用廃油売渡し収入		2						

【目的・効果】
【目的】
 ・堀金学校給食センターが、管内の学校へ安全に給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・堀金小・中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消の推進等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:堀金小学校、堀金中学校
 ②用地:安曇野市堀金烏川3000番地
 ③施設概要:鉄骨造一階建て 延床面積752㎡
 ④建築年:平成17年3月23日(竣工)
 ⑤調理規模:最大1,100食 (H26.4月現在:1,000食、2校34クラス分)
 ⑥公用車等:コンテナ車1台(配送業務は直営で実施)、軽貨物車1台
 ⑦付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による環境維持・ボイラー等の点検整備委託

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	16,165	調理器具・洗浄機関係消耗品、燃料費、光熱水費施設及び器具等の修繕				
			11-07 食器・食缶洗浄機のコンベアベルト交換 970千円				
12	役務費	1,248	保菌検査手数料等				
13	委託料	4,588	施設設備、調理備品等の管理委託				
14	使用料美賃借料	415	コピー機、印刷機等の借り上げ料及び使用料				
27	公課費	47	配送車・公用車重量税				
上記の合計		22,463	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,463	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	288
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	1	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部学校給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	52,487				409	52,078
前年度	54,125				400	53,725
増減額	△ 1,638	0	0	0	9	△ 1,647

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	ソーラー発電売電収入	400							
20	食用廃油売渡し収入	9								

【目的・効果】
【目的】
 ・中部学校給食センターにおいて、管内の学校へ学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安心・安全・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:豊科北小学校、豊科東小学校、明北小学校、明南小学校、豊科北中学校、豊科南中学校、明科中学校
 ②用地:安曇野市豊科穂高2661-1番地(3,278㎡)
 ③施設概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積1,951㎡
 ④建築年:平成19年8月1日(竣工)
 ⑤調理規模:最大3,000食 (H27.4月現在:2,350食、7校 85クラス分【特別支援学級・職員室含】)
 ⑥公用車等:配送車3台、軽乗用車1台
 ⑦付帯設備:太陽光システム90kw
 ◎学校給食提供に伴う施設及び環境整備(・厨房室床塗装修理等・消毒保管機移設工事・消毒保管機購入)
 ◎食育の推進

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	34,931	調理用消耗品、電気料、上下水道料、ガス代、施設修繕、物品修繕								
12	役務費	2,389	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房フード清掃								
13	委託料	13,509	機械設備保守点検、厨房機器保守点検業務委託								
14	使用料及び賃借料	199	コピー機使用料								
15	工事請負費	173	消毒保管機移設工事								
18	備品購入費	1,205	消毒保管機購入								
27	公課費	81	給食配送車重量税								
上記の合計		52,487	職員の人件費合計	0	事業費総合計	52,487	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】											
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果				節	節名称	金額		
1	ハード	○ 消毒保管機購入	【事業内容】 ・現在の消毒保管機を高能力の機種に入れ替える。 【事業効果】 ・サラダ室の調理用品等の消毒能力の向上に伴い、衛生管理の徹底が図られる。				18	備品購入費	1,205	消毒保管機購入	
								計	1,205		
2								計	0		

予算書ページ	290
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11301500
		部・課・係等	教育委員会教育部学校教育課学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	01	教育総務費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部学校給食センター費		具体的な施策	次代を担う人づくりの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,964				409	47,555
前年度	52,935				400	52,535
増減額	△ 4,971	0	0	0	9	△ 4,980

特定財源の内訳	款	20	ソーラー発電売電収入	金額	400	合計金額
		20	食用廃油売渡し収入	金額	9	

【目的・効果】
【目的】
 ・南部学校給食センターが、管内の学校給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・管内の小中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:豊科南小学校、三郷小学校、三郷中学校
 ②用地:安曇野市三郷明盛84-2番地(2,508㎡)
 ③施設概要:鉄骨造一部2階建て 延床面積1,793.05㎡
 ④建築年:平成19年7月25日(竣工)
 ⑤調理規模:最大3,000食 (H28.4月現在:2,500食、3校 79クラス分)
 ⑥公用車等:配送車2台、軽乗用車1台
 ⑦付帯設備:太陽光システム90kw
 ◎学校給食提供に伴う施設及び環境整備(・給食用食器の購入)
 ◎食育の推進

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	34,377	給食用食器の購入(仕切り皿)、電気料、上下水道料						
			11-01 年次計画の角仕切り皿の購入 2,700枚 3,637千円						
12	役務費	1,733	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房ダクト清掃						
13	委託料	11,607	機械設備保守点検、厨房機器保守点検、トイレ清掃業務委託						
14	使用料及び賃借料	197	コピー機使用料						
27	公課費	50	給食配送車重量税						
上記の合計		47,964	職員の人件費合計	0	事業費総合計	47,964	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○ 食器の購入	【事業内容】 ・年次計画による食器の入れ替え ・今年度は、特注絵柄の角仕切り皿2,700枚の入れ替え	11	需用費	3,637	
					計	3,637	
2					計	0	

予算書ページ	66
--------	----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	1	総務管理費		主要施策	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	行政改革の推進
	事業	0102100	豊科支所跡地整備事業		具体的な施策	本庁舎等の建設

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	203,056				96,000	107,056
前年度	12,531					12,531
増減額	190,525	0	0	0	96,000	94,525

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	公共施設整備基金繰入金	96,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・本庁舎稼働を受けて、簡素で効率的な行政運営の実現を図るため豊科支所庁舎等を解体し、跡地を豊科公民館利用者等の利便を図るうえでの駐車場として整備する。
【効果】
 ・支所跡地の駐車場整備を図ることで豊科公民館利用者の利便を図る。
 ・駐車場としての利用のほか、地域商店街におけるイベント利用や防災広場としての利用も期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・豊科支所解体工事監理業務委託
 ・支所解体工事、跡地駐車場整備工事

【一般財源増加理由】	事業実施年度のため						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	4,803	豊科支所解体工事 監理業務				
15	工事請負費	198,253	豊科支所解体工事・駐車場整備				
上記の合計		203,056	職員の人件費合計	0	事業費総合計	203,056	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	豊科支所解体工事、跡地駐車場整備	13	委託料	4,803	
				15	工事請負費	198,253	
					計	203,056	
2					計	0	

予算書ページ	142
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-1	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	3	民生費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	児童福祉費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	児童館費		基本施策	子育て支援の充実
	事業	0103260	児童館運営費		具体的な施策	児童福祉サービスの充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173,966	10,303	10,303		33,541	119,819
前年度	172,825	17,967	2,635		32,340	119,883
増減額	1,141	△ 7,664	7,668	0	1,201	△ 64

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	児童クラブ負担金	33,539	14	子ども子育て支援交付金	10,303				
12	児童クラブ負担金滞納繰越分	1	15	子ども子育て支援交付金	10,303					
13	児童クラブ負担金督促手数料	1								

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業を行うことによる子育て支援の充実と、放課後の児童の安全な居場所の確保を図る。

【効果】

- ・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の母親の交流が図れる。
- ・児童クラブ事業を充実することにより、安心して働ける環境づくりができる。
- ・全館指定管理を行うことにより、提供するサービスの均一化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内9児童館、10児童クラブを指定管理制度による指定管理委託により運営する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,698	児童クラブ事務非常勤職員賃金				
08	報償費	303	児童館職員研修会講師謝礼、建設検討委員会謝礼				
11	需要費	621	児童クラブ納付書用封筒、児童館施設修繕費				
12	役務費	90	穂高西部児童館庭ヒマラヤスギ選定				
13	委託料	170,192	児童館指定管理委託料、三郷児童館保安業務委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地借地料				
15	工事請負費	584	堀金児童館網戸設置工事				

上記の合計	173,966	職員の人件費合計	0	事業費総合計	173,966	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	堀金児童館網戸設置工事	15	工事請負費	584
			堀金児童館の窓に網戸を設置することにより、害虫等から児童を守ることができる。			
					計	584
					計	0

予算書ページ	330
--------	-----

重点施策と推進政策	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費		具体的な施策	生涯学習推進体制の構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	359,234	0	0	0	0	359,234
前年度	358,241	0	0	0	1,441	356,800
増減額	993	0	0	0	△ 1,441	2,434

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・総合計画の基本方針「人と文化を育むまちの形成」を図るため、安曇野市教育大綱(安曇野市の教育)並びに安曇野市生涯学習推進計画に基づく施策を進める体制などを統括する。

【効果】

・市民や各種団体との連携・協働による生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図られる。
 ・生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・社会教育に係る統括的総務事務を行う。
- ・社会教育に関する諸計画について、社会教育委員の会議が審議する。
- ・生涯学習推進計画の年度ごとの重点施策や実施方針の検討と進捗状況の確認を生涯学習推進市民会議において行う。
- ・第2次生涯学習推進計画(平成30年度～平成39年度)の策定を行う。
- ・平成29年1月8日に「平成29年安曇野市成人式」を挙げる。

【一般財源増加理由】 第2次生涯学習推進計画を策定するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	350	社会教育委員 報酬	19	負担金補助及び交付金	122	社会教育委員連絡協議会負担金、社会教育委員大会参加負担金、連合婦人会補助金
07	賃金	14,704	社会教育指導員 賃金				
08	報償費	5,231	成人式記念品、生涯学習推進計画市民会議及び成人式実行委員会出席謝礼				
09	旅費	88	社会教育委員大会費用弁償、同職員旅費				
11	需用費	601	事務消耗品、成人式関係他印刷代				
13	委託料	3,826	成人式会場設営、生涯学習推進計画計画策定支援業務、バス運転				
14	使用料及び賃借料	320	成人式時テント及び無線借上、有料駐車場代				

上記の合計	25,242	職員の人件費合計	333,992	事業費総合計	359,234	OK
-------	--------	----------	---------	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	第2次生涯学習推進計画策定	8	報償費	53	会議出席謝礼
			平成30年度から平成39年度を計画期間とした「第2次生涯学習推進計画」の策定に着手し、生涯学習推進の施策を定めます。	13	委託料	2,160	策定支援業務
					計	2,213	
2					計	0	

予算書ページ	332
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費		具体的な施策	生涯学習推進体制の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,631	0	0	0	2	4,629
前年度	6,423	0	0	0	166	6,257
増減額	△ 1,792	0	0	0	△ 164	△ 1,628

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他刊行物頒布代		2						

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市生涯学習推進計画に掲げる「だれでも いつでも 気軽に学べる まちづくり」、「学びの成果が活かされるまちづくり」の2つの目標の実現に向けて施策を展開する。

【効果】

・市民の学習要望に応じる学習機会の充実が図られる。
・学習成果を活かした支え合い認め合う協働のまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市民大学講座、学校開放講座及び美的カレッジを開催し、市民の学習機会を充実する。
- ・安曇野検定(平成29年1月29日)並びに安曇野検定準備講座を実施し、市民の学習要望の応じる。
- ・日本語教室を運営し、外国人住民への支援と日本語指導ボランティア講習会の開催によりボランティアを育成する。
- ・芸術文化協会への補助金交付により運営を支援する。
- ・囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
- ・安曇野市太鼓連盟外への補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	903	各種講座講師謝礼、安曇野検定受検者記念品、安曇野検定問題作成検討会出席謝礼				
09	旅費	36	講座講師実費弁償				
11	需用費	310	各種講座教材他消耗品、ポスター・チラシ印刷、安曇野検定問題・解答用紙				
12	役務費	864	市民大学講座特別編(時勢)講師講演料				
13	委託料	1,141	安曇野検定問題作成・採点業務、日本語教室の運営				
19	負担金補助及び交付金	1,377	芸術文化協会運営、囲碁将棋大会運営、安曇野市太鼓連盟、スズムシを育てる会への補助金				

上記の合計	4,631	職員の人件費合計		事業費総合計	4,631	OK
-------	-------	----------	--	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野検定	検定の実施方法を変更し、一般の部に過去5回の問題から出題する基本編と準備講座の内容から出題する講座編を設定し、市民の学習意欲に応じる。	8	報償費	399	合格記念品他
				11	需用費	205	問題他印刷
				13	委託料	810	問題作成他
					計	1,414	
2					計	0	

予算書ページ	350
--------	-----

重点施策と 推進政策	4-3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	05	社会教育費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	01	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業		具体的な施策	人権教育・啓発の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,079	0	135	0	0	2,944
前年度	3,089	0	137	0	0	2,952
増減額	△ 10	0	△ 2	0	0	△ 8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	人権教育推進補助金	135							

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るい住みよい安曇野市の実現」のため、人権教育・啓発を推進する。

【効果】

・地域に即した人権教育ができる。
・学習講座や交流活動への支援を充実することで人権への市民意識の醸成を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地域人権教育推進協議会を中心とした地区公民館単位での人権教育を推進する。
- ・人権教育推進委員、人権教育指導員の設置により人権教育の推進、振興に努める。
- ・人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。
- ・大会及び研修会に参加し、人権問題への理解を深める。
- ・人権集会所の維持管理を行う。
- ・企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。
- ・人権尊重作文集を作成し、啓発に努める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	2,162	人権教育推進協議会出席謝礼、人権教育講演会・講座講師謝礼、人権作文・標語入選者記念品				
09	旅費	74	第68回全国人権研究大会費用弁償				
11	需用費	679	資料代、人権集会所管理用品及び光熱水費				
12	役務費	19	人権ポスター送料、人権集会所維持				
13	委託料	143	人権集会所消防設備点検・清掃				
19	負担金補助及び交付金	2	安曇野市企業人権推進協議会負担金				

上記の合計	3,079	職員の人件費合計		事業費総合計	3,079	OK
-------	-------	----------	--	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	人権尊重作文集	人権尊重作文を市内全小中学校から募り、作文集を作成し、人権啓発を推進する。	8	報償費	66	入選者記念品
				11	需用費	260	文集印刷代
					計	326	
2							
					計	0	

予算書ページ	352
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-1	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費		具体的な施策	青少年育成環境の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,404				56	16,348
前年度	17,627				88	17,539
増減額	△ 1,223	0	0	0	△ 32	△ 1,191

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	青少年健全育成基金利子	23							
16	人材育成基金利子	18								
20	参加者負担金	15								

【目的・効果】

【目的】

・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。

【効果】

・様々な体験学習を通して、集団での活動や世代間交流を進める機会を設けることができる。
 ・地域の人々とふれあう中で、様々なことを学ぶ機会が作れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地区子ども会育成会と連携し、地域で行われる行事についての手法・技術の講習会を行うことにより、人間性豊かな子どもを育て、地域を担う核となる子どもやリーダーの育成を図る。
 ・市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する機会として子ども文化祭を開催する。
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に子ども映画教室を開催し、子ども文化祭で発表する。
 ・地区子ども会育成会、市育成会連合会の活動を支援し、補助金を交付する。
 ・市全体の青少年健全育成の取り組みを行うため、青少年センター事業を実施する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	青少年健全育成審議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	465	体験活動機材借上料
07	賃金	2,451	子ども会育成会連合会・青少年センター事務非常勤職員賃金	19	負担金補助及び交付金	8,979	子ども会育成会補助金
08	報償費	2,442	体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会常任委員出席謝礼、青少年センター運営委員出席謝礼	25	積立金	43	青少年健全育成基金、人材育成基金利子
09	旅費	12	ジュニア・リーダー研修会				
11	需要費	781	体験活動消耗品、青少年センター消耗品、子ども会育成会だより印刷代				
12	役務費	240	体験活動保険料、青少年センター巡回活動保険料				
13	委託料	886	洞合公園管理委託、子ども体験講座委託				

上記の合計	16,404	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,404	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	手づくりまごころ工房 地域の講師を招いて小学生を対象とした遊び・体験学習講座を開催することにより、異年齢間及び地域住民との交流が図られる。	08	報償費	105
				11	需用費	52
				計		157
2						
				計		0

予算書ページ	352
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-1	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	郷土を担う人を育むまち
	目	4	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		具体的な施策	放課後児童の安全・安心な居場所の確保

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,916		2,731			8,185
前年度	10,502		3,082			7,420
増減額	414	0	△ 351	0	0	765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	放課後子どもプラン補助金	2,731							

【目的・効果】

【目的】

・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。

【効果】

・学校や地域の中で、放課後や休日の子どもの安全・安心で健やかな遊び場や居場所が確保できる。
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てる環境が整備できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市内の小学生全員を対象にして放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験の機会を提供するため、放課後子ども教室を開催する。
 ・乳幼児の保護者、小学生の保護者を対象にして家庭教育の支援をするため、情報誌発行や講演会の開催をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	8,704	放課後子ども教室スタッフ謝礼、家庭教育支援員謝礼				
11	需要費	863	放課後子ども教室消耗品、家庭教育支援チーム消耗品				
12	役務費	1,182	放課後子ども教室保険料				
13	委託料	162	放課後子ども教室スタッフ研修会バス運転委託、家庭教育講演会託児委託				
14	使用料及び賃借料	5	放課後子ども教室運動会機材借上				

上記の合計	10,916	職員の人件費合計	0	事業費総合計	10,916	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	放課後子ども教室	市内の小学生全員を対象として放課後の安全・安心の居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験や集団遊びの場を提供する。	08	報償費	6,372
				11	需用費	690
				12	役務費	1,117
				13	委託料	54
					計	6,426
2						
					計	0

予算書ページ	364
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費		具体的な施策	生涯学習機会の充実

53417

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,390	0	0	0	30,825	22,565
前年度	53,331	0	0	0	30,825	22,506
増減額	59	0	0	0	0	59

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金繰入金	30,825							

【目的・効果】
【目的】
 ・「安曇野市公民館の理念」に基づき各種事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
【効果】
 ・定期講座を開設し、市民の学習要望に応えることで市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。
 ・市民に最も身近な地区公民館を支援することで、地域コミュニティの充実に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議を行う。
- ・安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。
- ・安曇野市中央公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に広報する。
- ・地域を超えた全市的事業として安曇野市総合芸術展を開催し、市民に一体感の醸成を図る。
- ・県、中信地区協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。
- ・公民館役員功労者・地区公民館報の表彰を実施し、その功績を称える。
- ・地区公民館の活動と建設に対して補助金を交付し、地区公民館を支援する。

【一般財源増加理由】 地区公民館補助金額が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	158	公民館運営審議会委員報酬				
08	報償費	2,265	公民館大会・公民館講座講師謝礼、中央公民館報編集委員・総合芸術展実行委員他謝礼				
09	旅費	108	関東甲信越静公民館研究大会(神奈川県)旅費				
11	需用費	1,230	中央公民館報他印刷代、大会資料代				
12	役務費	30	表彰賞状筆耕代				
19	負担金補助及び交付金	49,599	地区公民館活動補助金、地区公民館建設補助金、県・中信地区協議会負担金、市民運動会交付金				
上記の合計		53,390	職員の人件費合計	事業費総合計	53,390	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	地区公民館活動補助金	地区公民館が十分な活動ができるよう地区公民館活動に要する経費の一部を補助することにより、地区公民館活動を支援する。	19	補助金	30,825	活動補助金
					計	30,825	
2					計	0	

予算書ページ	366
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	11302100
		部・課・係等	教育部生涯学習課社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110382	公民館建設事業費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

53417

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	399,855	10,548	0	358,300	0	31,007
前年度	779,942	0	0	718,600	0	61,342
増減額	△ 380,087	10,548	0	△ 360,300	0	△ 30,335

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	住宅・建築物安全ストック	10,548							
21	旧合併特例債	358,300								

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・市民の最も身近な生涯学習施設である公民館の整備を進め施設の充実を図る。
 【効果】
 ・だれも使いやすい施設となり、地域づくり活動の拠点としての役割を果たせる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・堀金公民館講堂耐震改修工事と既存の堀金公民館を解体し、駐車場整備を含めた外構工事を実施する。
 ・堀金公民館講堂用のテーブル・イスを整備する。

【一般財源増加理由】 地区公民館補助金額が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	82	確認申請・完了検査手数料証紙代				
13	委託料	13,058	堀金公民館講堂耐震改修等工事監理業務				
15	工事請負費	381,216	堀金公民館講堂耐震改修等工事				
18	備品購入費	5,499	テーブル、イス、イス用台車				

上記の合計	399,855	職員の人件費合計		事業費総合計	399,855	OK
-------	---------	----------	--	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	堀金公民館講堂耐震改修等工事	堀金支所等改修工事に引き続き、堀金公民館講堂耐震改修等工事を行い、堀金地域の生涯学習施設を含めた施設を整備する。	12	役務費	82	証紙代
				13	委託料	13,058	設計監理
				15	工事費請負費	381,216	工事
				18	備品購入費	5,499	テーブル・イス
					計	399,855	
2							
					計	0	

予算書ページ	264
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-4	コード	11302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	8	土木費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	4	都市計画費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	3	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0108230	文化公園維持管理事業		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,907				1,733	15,174
前年度	16,081				1,333	14,748
増減額	826	0	0	0	400	426

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	文化公園施設使用料	1,600							
20	文化公園公衆電話料	3								
20	社会体育施設自動販売機電気料	130								

【目的・効果】
【目的】
 ・三郷文化公園内の体育施設の維持管理を行う。
【効果】
 ・屋内外の各種スポーツコート積極的に利用していただくことで、市民の健康増進や体育活動の活発化が推進できる。
 ○市長の権限に属する事務の補助執行に関する規程による施設(三郷文化公園)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 公園内の施設管理業務を行う。
 ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
 ・施設小破修繕 ・自動ドア、電気設備等機械設備点検 ・消耗品補充 等
●施設概要
 ・屋外体育施設(グラウンド、照明設備、テニスコート、放送設備等)
 ・屋内体育施設(アリーナ、柔道場、剣道場、トレーニングルーム、会議室、ラウンジ、更衣室、トイレ、放送設備等)

【一般財源増加理由】平成28年度より、月曜日も体育施設を貸出するため管理委託料が増加となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,015	施設管理用品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	264	電話料、モップ交換外				
13	委託料	6,503	施設管理委託料、清掃業務等委託料				
14	使用料及び賃借料	153	コピー機等使用料				
15	工事請負費	972	電話交換機設置工事				

上記の合計	16,907	職員の人件費合計	0	事業費総合計	16,907	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷文化公園体育館管理	・三郷文化公園体育館の管理及び三郷地域体育施設の予約、使用料の徴収等をシルバー人材センターに委託する。 ・平成28年度より、月曜日も体育施設を貸出するため、管理委託料が増加となった。	13	管理委託料	4,948
					計	4,948
2	ハード	○ 電話交換機設置工事	・三郷文化公園体育館の電話回線は、三郷支所の電話交換機を経由していたため、三郷支所庁舎の解体に伴い、体育館内に電話交換機を設置する。(交換機は、三郷支所で使用していたものの一部を使用)	15	工事請負費	972
					計	972

予算書ページ	368
--------	-----

重点施策と推進政策	2-3	コード	11302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110440	社会体育総務費		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	133,858				100,000	33,858
前年度	19,219					19,219
増減額	114,639	0	0	0	100,000	14,639

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	100,000							

【目的・効果】

【目的】

・健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズは、一段と高まる中、市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。

【効果】

・スポーツを親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・平成23年度に策定した安曇野市スポーツ振興計画が平成29年度も以って終了するため、策定委員会を設置し、新たに2カ年かけてスポーツ推進計画を策定する。
- ・スポーツ推進審議会に対し、「体育施設使用料の見直し」について意見を求める。
- ・スポーツ推進委員が、生涯学習課及び公民館事業(教室・運動会等)の企画、指導、協力をする。
- ・全国大会以上の各種競技会等へ出場する個人・団体に対して激励金を交付する。
- ・市体育協会、スポーツ少年団に対し、組織強化、財務強化、競技力向上、活動に対し支援を行う。
- ・南部総合公園整備及び新体育館整備基本計画を策定し、公式スポーツ施設整備基金を積立てる。

【一般財源増加理由】 スポーツ推進計画の策定、南部総合公園・新体育館整備基本計画策定支援及び公式スポーツ施設整備基金積立金の予算計上ため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,594	スポーツ推進委員報酬2,412千円・スポーツ推進審議会報酬182千円	19	負担金補助及び交付金	10,691	全国、県スポーツ推進委員負担金91千円・体育協会補助6,200千円・スポーツ少年団補助4,400千円
07	賃金	1,692	事務補助賃金	25	積立金	100,000	公式スポーツ施設整備基金積立金
08	報償費	1,410	スポーツ推進計画策定委員出席謝礼210千円・各種競技会及び発表会出場者激励金1,200千円				
09	旅費	83	toto助成説明会13千円・公式スポーツ施設整備庁内プロジェクトチーム視察70千円				
11	需用費	210	事務用品、スポーツ推進委員手帳108千円・駅伝競走大会報告会贈り物48千円・スポーツ大会賞状等印刷54千円				
12	役務費	56	スポーツ推進委員保険料56千円				
13	委託料	17,122	市民スポーツ祭開催1,500千円・スポーツ推進計画策定1,653千円・南部公園体育館整備計画策定支援13,338千円				

上記の合計	133,858	職員の人件費合計	0	事業費総合計	133,858	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	安曇野市スポーツ推進計画策定	08	報償費	210
				13	委託料	1,653
					計	1,863
2	ソフト	○	南部総合公園再整備及び新体育館整備基本計画策定 公式スポーツ施設整備基金積立金	09	旅費	71
				13	委託料	13,338
				25	積立金	100,000
					計	113,409

予算書ページ	370
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-3	コード	11302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110445	スポーツ振興事業費		具体的な施策	生涯スポーツの推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,352				1,904	6,448
前年度	7,319				1,835	5,484
増減額	1,033	0	0	0	69	964

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	スポーツ教室参加料	1,128							
20	スポーツ教室参加者傷害保険料	776								

【目的・効果】
【目的】
 ・生涯にわたり健康で明るく、活力のある生活を送るためにスポーツに親しむことは、極めて重要な意義を持っており、スポーツ教室等を充実・実現させ、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。
【効果】
 ・スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びの中で仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・子ども、親子を対象としたスポーツ教室を、10教室(新規1教室、拡大3教室)開催する。(子どもの運動能力の低下、運動離れが著しいことから、就園前・幼保育園児を対象とした3教室を拡大し、また親子でふれあう事業、ファミリーで参加できるランニング教室を新規に開催する)
 ・「スポーツ振興計画」の目標値を達成するため、一般成人(スポーツ初心者・未経験者)を対象とした、スポーツ教室等を14教室(新規4教室、拡大1教室)開催する。(トレーニングを主とした教室を8教室開催し、またウォーキングを主とした教室等を4教室開催する)

【一般財源増加理由】 インターバル速歩の所管が、社会教育担当からスポーツ推進担当に移管したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	4,256	スポーツ教室等講師謝礼3,800千円・スポーツ教室託児謝礼等411千円・子ども駅伝記念品45千円				
11	需用費	220	スポーツ教室用品220千円				
12	役務費	857	スポーツ教室講師、参加者保険料857千円				
13	委託料	2,718	スポーツ教室等指導運営委託等2,718千円				
18	備品購入費	301	アーチェリー用具145千円・ウォーキングポール156千円				

上記の合計	8,352	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,352	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども・親子を対象としたスポーツ教室	昨今、子どもたちの体力・運動能力の低下が全国的に問題視されており、また就学前の運動遊びの頻度や経験が体力差等に影響する傾向が見られるため、就園前・幼保育園児を対象とした教室等を5教室開催する。	08	報償費	2,134
				13	委託料	217
					計	2,351
2	ソフト	一般成人を対象としたスポーツ教室	スポーツ振興計画の目標値「成人の週1回スポーツ実施率50%」を達成するため、一般成人者(スポーツ初心者・未経験者)を対象とした、トレーニング・ウォーキングを主としたスポーツ教室等を15教室開催する。	08	報償費	999
				13	委託料	2,225
					計	3,224

予算書ページ	370
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-4	コード	11302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	2	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110450	社会体育施設管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	106,893				13,828	93,065
前年度	268,252				173,828	94,424
増減額	△ 161,359	0	0	0	△ 160,000	△ 1,359

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学校施設使用料	2,580	20	社会体育施設公衆電話料	8				
13	社会体育施設使用料	10,900								
20	社会体育施設自動販売機電気料	340								

【目的・効果】
【目的】
 ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。
 ・市内の体育施設の維持管理を行う。
【効果】
 ・屋内外の各種スポーツ施設を市民が積極的に利用することで、市民の健康増進やスポーツ活動の活発化が推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内全ての社会体育施設の維持管理を行う。
 ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕や工事を行う。不足、老朽備品の更新修理を行う。
 ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
 ・マレットゴルフ場の指定管理委託を行う。 ・学校開放施設の適切な修繕を行う。
●市内社会体育施設
 豊科南社会体育館、勤労者スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、豊科県民運動広場、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷体育館、小倉グラウンド、堀金体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門淵運動広場、明科農村広場、高家スポーツ広場、屋内ゲートボール場、梓橋運動場、各マレットゴルフ場 等

【一般財源増加理由】 耐震化工事等に伴う設計委託料が増加したため。公共施設予約システムの保守業務・使用料の所管が、情報統計課から生涯学習課に移管されたため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,346	管理人賃金(堀金体育館)	19	負担金補助及び交付金	18	防火管理者協議会負担金等
11	需用費	39,778	消耗品費、体育施設修繕費、光熱水費、物品修繕費	22	補償補填及び賠償金	10	補償金
12	役務費	1,494	電話料外、モップ交換外、保険料	23	償還金、利子及び割引料	10	還付金
13	委託料	50,863	施設管理業務委託料、事務事業委託料、設計監理委託料、指定管理委託料	27	公課費	16	公用車重量税
14	使用料及び賃借料	10,167	コピー借上げ料、重機借上げ料、使用料、借地料				
18	備品購入費	1,191	体育器具				

上記の合計	106,893	職員の人件費合計	0	事業費総合計	106,893	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	三郷体育館耐震補強工事設計業務	13	委託料	8,867
			・三郷体育館は平成27年度に耐震診断を行っている。この調査を基に耐震補強(コンクリートブロック壁補強、ブレース設置等)工事設計を行う。 ・三郷体育館は、昭和41年建築の施設であり、耐震化は急務となっている。		計	8,867
2	ハード	○	明科体育館非構造部材耐震化工事設計業務	13	委託料	5,638
			・明科体育館の非構造部材耐震化(アリーナ照明・反射板、柔剣道場等の特定天井の撤去復旧)及びアリーナ照明のLED化等の工事設計を行う。 ・耐震化工事を行うことにより、安心・安全な施設を目指す。		計	5,638

予算書ページ	372
--------	-----

重点施策と 推進政策	3-4	コード	11302200
		部・課・係等	教育部生涯学習課スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	6	保健体育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	2	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の推進
	事業	0110455	市民プール管理費		具体的な施策	スポーツ施設の整備と有効活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,179					25,179
前年度	32,810					32,810
増減額	△ 7,631	0	0	0	0	△ 7,631

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。

【効果】

・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。

・夏休み時の子どもたちに楽しみの場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・プール運営を維持するための施設修繕
- ・指定管理委託
- ・プール用地の借地料支払い

●施設概要

幼児用プール、中プール、スライダー、流水プール、売店 等

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,684	施設修繕費				
13	委託料	11,976	各種設備保守外、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	11,519	借地料				

上記の合計	25,179	職員の人件費合計	0	事業費総合計	25,179	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	スライダーコース修繕 子どもプールタイル修繕	・スライダーコースの危険箇所の補修。こどもプールのタイル目地の部分が深くなっており、怪我をする恐れがあるため補修を行う。 ・施設利用者が、安心・安全に使用していただけるよう改善する。	11	需用費	1,684	
					計	1,684	
2	ソフト	指定管理委託	・穂高プールの管理を、体育施設運営のノウハウを持つ「フクシ・エンタープライズ」に指定管理委託することにより、住民サービスの向上と経費削減等を図る。	13	委託料	10,905	
					計	10,905	

予算書ページ	332
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-5	コード	11303100
		部・課・係等	教育部文化課文化振興係

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110310	文化振興費		具体的な施策	芸術文化活動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	98,665				583	98,082
前年度	110,665				52	110,613
増減額	△ 12,000	0	0	0	531	△ 12,531

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	74							
16	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	9								
18	名誉市民田淵行男顕彰基金繰入金	500								

【目的・効果】
【目的】
 ・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。
【効果】
 ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
 ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・東京藝術大学との交流事業(楽器演奏指導事業、コンサート)、能楽教室、講演会等を開催する。
 ・諸団体と協働で音楽祭、能公演などを行う。また、文化芸術振興事業に対し補助金を交付する。
 ・美術館、記念館等の指定管理(指定管理期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日)
 安曇野市豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・安曇野市穂高陶芸会館:公益財団法人安曇野文化財団
 臼井吉見文学館:ほたるぶくろの会
 ・指定管理施設の修繕を行い、資料を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	165	博物館協議会委員報酬 美術資料等選定委員会委員報酬			14	使用料及び賃借料	1,401	車両借上、施設使用料(講師宿泊) 飯沼飛行士記念館借地料 他		
07	賃金	1,785	臨時職員賃金			15	工事請負費	3,823	指定管理施設改修工事		
08	報償費	1,932	藝大交流事業・能楽教室講師謝礼 コンサート出演料 他			18	備品購入費	1,000	展示用備品		
09	旅費	269	事業に伴う職員旅費、講師実費弁償 他			19	負担金補助及び交付金	16,470	補助金(薪能実行委員会、早春賦音楽祭実行委員会、安曇野文化刊行委員会 他)		
11	需用費	1,045	事業ポスター・ちらし・プログラム印刷 指定管理施設修繕 他			25	積立金	85	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子、名誉市民田淵行男顕彰基金利子		
12	役務費	1,084	作品運搬料、ピアノ調律、講演会講演料 他								
13	委託料	69,606	バス運転委託、指定管理料(5施設) 指定管理施設改修工事設計監理委託料 他								
上記の合計		98,665	職員の人件費合計	0	事業費総合計	98,665	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	東京藝術大学交流事業	昨年度までの楽器演奏指導事業、合同コンサートに加え、新たに小中吹奏楽祭を開催する。音楽に親しむ裾野を広げることができるとともに、より大勢の市民が交流を通じた事業の成果を享受できるようになる。	08	報償費	1,240	
				09	旅費	103	
				11	需用費	249	
					委託料 他	804	
					計	2,396	
2							
					計		

予算書ページ	336
--------	-----

重点施策と 推進政策	2-5	コード	11303100
		部・課・係等	教育部文化課文化振興係

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110315	高橋節郎記念美術館費		具体的な施策	芸術文化活動の推進

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,040				1,749	22,291
前年度	38,947				2,116	36,831
増減額	△ 14,907	0	0	0	△ 367	△ 14,540

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	記念美術館使用料	1,242							
20	美術館グッズ等販売	487								
20	その他教育費雑入	20								

【目的・効果】

【目的】

・高橋節郎芸術の顕彰と、その芸術を後世に継承することにより芸術文化の発展及び地域振興に寄与する。また、生涯学習の場としての活用を図る。そのために必要な資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行う。

【効果】

- ・市民が多様な文化芸術並びに名誉市民に親しむ機会を提供できる。
- ・観光振興に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・常設展・企画展、講座・学習会等の諸事業を通じて、高橋節郎の人と芸術を顕彰する。
- ・主屋・南の蔵を活用し、地元作家らの展覧会を開催する。
- ・広く全国にそば猪口アートを公募し、展覧会を開催する。
- ・施設の修繕を行い、資料等を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	229	コピー機借上料・使用料、著作権等使用料
07	賃金	5,400	臨時職員賃金	15	工事請負費	937	施設改修工事
08	報償費	1,094	講座講師謝礼、公募展報奨金、公募展審査員謝礼 他	16	原材料費	15	庭園苗木
09	旅費	370	作品借用等に係る職員旅費 講師・審査員旅費 他	19	負担金補助及び交付金	160	日本博物館協会、安曇野アートライン推進協議会 他
11	需用費	4,503	管理消耗品、事業用(展覧会・講座等)消耗品、 光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	3,594	作品運搬料、電話料、広告料、保険料 他				
13	委託料	6,049	施設管理(清掃・保守)委託料、展示作業、 資料燻蒸、印刷物デザイン印刷業務 他				

上記の合計	24,040	職員の人件費合計	0	事業費総合計	24,040	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	企画展「高橋節郎をめぐる芸術家たち」(仮称)	高橋節郎に影響を与えた芸術家の作品とともに高橋作品を紹介し、あわせて関連講座を開催する。市民が多様な文化芸術にふれる機会、名誉市民高橋節郎とその作品への理解を深める機会となる。	08	報償費	166
				11	需用費	174
				12	役務費	1,856
					委託料 他	519
					計	2,715
2	ソフト	第5回そば猪口アート公募展	そば猪口アートを公募し展覧会を開催する。海外からも作品が寄せられ、県外で巡回展が予定されるなど、安曇野発の芸術として全国に発信できる。また、「新そばと食の感謝祭」など産業活動との連携が期待できる。	08	報償費	410
				11	需用費	80
				13	委託料	612
					役務費 他	332
					計	1,434

重点施策と 推進政策	2-5
---------------	-----

コード	11303200
部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係

予算書ページ	346
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110355	文化財保護費		具体的な施策	歴史民俗資料の保存活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,734				0	7,734
前年度	16,278				100	16,178
増減額	△ 8,544	0	0	0	△ 100	△ 8,444

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的】 郷土の歴史的文化遺産や伝統文化などの保存・継承を目指す。現在、市内には、国・県・市の指定文化財をはじめ、多くの有形・無形の歴史的文化遺産や伝統文化が存在する。それら文化財を郷土の歴史・文化を学ぶ貴重な資料として、有形文化財については保存管理を、また無形文化財については保存継承を進め、将来に向けて活用をはかっていく。

【効果】 文化財を活かすことにより、地域の個性が高められ、まちづくりにつながる。また新たな文化を創造するうえでの基礎となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・無形民俗文化財の保存継承及び、有形文化財の修理事業等に対する助成を行う。
 ・市の歴史解明のため、資料収集及び調査を行い、市誌編纂のための基礎資料の蓄積を進める。
 ・郷土の歴史や文化財を市民の皆さんにより身近に感じてもらえるよう施策を展開する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	文化財保護審議会委員報酬	15	工事請負費	429	文化財等標柱設置429千円
7	賃金	1,753	文化財保護関連事務臨時職員1人	19	負担金補助金及び交付金	1,713	負担金2千円 補助金1,711(無形民俗文化財伝承1500千円、有形文化財修理170千円 防災管理41千円)
8	報償費	878	専門家相談謝礼100千円 文化財公開謝礼280千円 おふね祭り調査謝礼103千円 文化財調査等出席謝礼395千円	27	公課費	9	自動車重量税9千円
9	旅費	274	職員旅費102千円 費用弁償32千円 実費弁償140千円				
11	需用費	995	消耗品費237千円 燃料費116千円 印刷製本費577千円 物品修繕費65千円				
12	役務費	83	公用車点検及び保険料				
13	委託料	1,547	民家調査考察972千円 映像史料保存活用497千円 史跡内除草作業78千円				
上記の合計		7,734	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,734	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	おふね祭り調査	8	報償費	103
			文化庁「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」導入へ向けての事前調査を行い、平成29年度選択を目指す。	9	旅費	61
				11	需用費	20
					計	184
2	ソフト	○	映像史料保存活用事業	13	委託料	497
			平成27年度市制施行10周年記念事業「あづみのフィルムアーカイブ事業」においてデジタル化できなかった歴史的価値ある8mmフィルムを計画的にデジタル化し、映像史料として博物館等で活用する。			
					計	497

重点施策と 推進政策	2-5
---------------	-----

コード	11303200
部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係

予算書ページ	350
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業		具体的な施策	歴史民俗資料の保存活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,222	1,000				13,222
前年度	16,767	0				16,767
増減額	△ 2,545	1,000	0	0	0	△ 3,545

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国庫支出金	1,000							

【目的】文化財保護法に基づき、埋蔵文化財の保護及び保存活用を図る。
【効果】埋蔵文化財を活用することにより、安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・文化財保護法に基づき、「潮神明宮前遺跡」ほかの緊急発掘調査を実施する。
- ・押野城の現況地形測量調査(遺跡破壊に伴うもの)を実施する。
- ・穂高支所建替えに伴う「穂高神社境内遺跡」の、出土遺物及び図面等の整理作業を進め、報告書作成を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	6,306	発掘調査・出土遺物整理作業臨時職員 4,204千円 緊急発掘調査作業員賃金 2,102千円				
8	報償費	46	専門家謝礼				
11	需用費	1,241	消耗品費(発掘調査・整理等用品)245千円 燃料費24千円 印刷製本費(発掘調査報告書)972千円				
12	役務費	7	発掘作業員保険料				
13	委託料	4,926	発掘調査掘削・測量外3,929千円 出土遺物分析・保存処理997千円				
14	使用料及び賃借料	1,350	発掘調査関連重機他借上1,188千円 遺物整理用機材162千円				
18	備品購入費	346	無人自動空撮システム				
上記の合計		14,222	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,222	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2-5
---------------	-----

コード	11303200
部・課・係等	教育部 文化課 文化財保護係

予算書ページ	348
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110356	歴史文書整理費		具体的な施策	歴史民俗資料の保存活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,822				100	7,722
前年度	0	0				0
増減額	7,822	0	0	0	100	7,722

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	諸収入	100							

【目的】 歴史的価値ある公文書及び古文書などの整理・保存を進め、公開を目指す。
【効果】 歴史的価値ある公文書及び古文書の収集・整理作業を進めることにより、安曇野市の歴史解明や、市誌編纂事業に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・本事業は、平成27年度まで文化財保護事業に予算計上していた古文書整理作業と、総務部の庶務法規担当が所管していた公文書整理事業のうち歴史的価値ある公文書の収集整理作業を併せて「歴史文書整理費」として新設したものである。
・安曇野市内の古文書収集と整理作業(目録作成)を進め、安曇野市の歴史解明や市誌編纂事業に繋げる。
・歴史的価値ある公文書を収集整理するとともに、これまで収集したものを公開、非公開の別を付し、今後の公開へ向けた準備を進める。

【一般財源増加理由】 新設事業

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,506	臨時職員(歴史文書整理員 2人)				
8	報償費	1,050	謝礼(古文書調査 10人×30回)				
9	旅費	14	費用弁償(研修会)				
11	需用費	334	消耗品費(古文書等保存用品 事務用品)240千円 燃料費32千円 印刷製本費(目録作成)他62千円				
13	委託料	2,679	管理委託(警備保障)234千円 事務事業委託(燻蒸・システム追加・古文書調査シルバー人材他)2445千円				
14	使用料及び賃借料	239	借上料(コピー機)37千円 使用料(コピー機 システム保守)202千円				
上記の合計		7,822	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,822	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	歴史的価値ある公文書整理事業			
			現在、文書法規担当から引き継いだ歴史的価値ある公文書は、約4万点。引き続き収集作業を進めるとともに、これまで収集したものに公開、非公開の別を付し、今後の公開へ向けた準備を進める。	7	臨時職員賃金	1,753
				11	需用費	97
				13	委託料	1,035
				14	使用料及び賃借料	239
					計	3,124
2						
					計	0

重点施策と推進政策	2-5
-----------	-----

コード	011303300
部・課・係等	教育部 文化課 博物館係

予算書ページ	338
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110320	郷土博物館費		具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
24,162	24,702	△ 540	0	0	0	453
						23,709
						24,198
						△ 489

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	郷土博物館等使用料	200							453
	20	郷土博物館等コピーサービス料	20							
	20	その他刊行物頒布代(文化課)	233							

【目的・効果】

【目的】

豊科郷土博物館は、郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。穂高郷土資料館及び文化財資料センター等の施設と連携し、市の学芸活動の拠点として事業を展開する。所在地:安曇野市豊科4289番地8 開館年:昭和54年

【効果】

安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

夏季特別展を開催する。
 秋季特別展を開催する。
 各種講座を開催する。
 博物館紀要、安曇野風土記等の刊行物を発行する。
 博物館構想によるコンパクト展示を展開する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	博物館長報酬	14	使用料及び賃借料	357	借上料(印刷機等)、使用料(コピー機等)
07	賃金	11,558	臨時職員賃金(学芸員2人、専門職員2人)	15	工事請負費	951	博物館小規模工事
08	報償費	482	講座・講演会講師謝礼、紀要執筆指導謝礼、資料借用時手土産	18	備品購入費	204	展示用備品(展示台、除湿機)
09	旅費	234	研修会等出張旅費、特別展準備出張旅費、特別展講師等旅費	19	負担金補助及び交付金	47	負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)
11	需用費	5,807	消耗品費、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費	27	公課費	9	公用車自動車重量税
12	役務費	790	通信運搬費、広告料、手数料、保険料				
13	委託料	2,034	管理委託料(警備、消防点検、清掃等)、事務事業委託料(燻蒸、看板製作設置等)				
上記の合計		24,162	職員の人件費合計	0	事業費総合計	24,162	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	博物館準備室業務	07	賃金	2,224
			博物館準備室を立ち上げ、新市立博物館構想に掲げた目標や課題の解決に向けた業務を行う。本年度は主に統廃合の検討や、人材育成、コンパクト展示などを推進する。		計	2,224
2	ソフト	○	コンパクト展示事業	11	需用費	500
			博物館構想に基づき、安曇野市の歴史や文化をコンパクトな展示に集約し、小中学校や交流学习センター等へ展開していく事業		計	500

重点施策と 推進政策	2-5
---------------	-----

コード	011303300
部・課・係等	教育部 文化課 博物館係

予算書ページ	338
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110325	文化財資料センター費		具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,608					5,608
前年度	7,120					7,120
増減額	△ 1,512	0	0	0	0	△ 1,512

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

博物館に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。文化財保護係の所管する歴史資料や埋蔵文化財調査を実施する施設も兼ねている。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年

【効果】

収蔵品の整理等は地道な作業であるが、各地域に分散していた資料の収集、整理を進めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

博物館の収蔵品の整理等を行う。
各地域の資料館の統廃合に係る資料整理を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,681	臨時職員賃金(資料整理作業員2人)				
11	需用費	2,112	消耗品費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	221	通信運搬費、手数料(粗大ゴミ収集運搬料)				
13	委託料	242	管理委託料(警備、消防点検)				
14	使用料及び賃借料	352	借上料(複合機)、使用料				
上記の合計		5,608	職員の人件費合計	0	事業費総合計	5,608	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

	事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						計	0
2						計	0

重点施策と 推進政策	2-5	コード	011303300
		部・課・係等	教育部 文化課 博物館係

予算書ページ	340
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110330	郷土資料館費		具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,964				50	3,914
前年度	3,956				50	3,906
増減額	8	0	0	0	0	8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	郷土博物館等使用料	50							

【目的・効果】

【目的】

穂高郷土資料館は、郷土の歴史資料の収集、保管、展示及び公開や、郷土史の研究及び学習の普及を行う。穂高鐘の鳴る丘集会所は、郷土史等の研修を目的とする体験学習のための施設として、郷土の歴史や文化に係る学習及び青少年の健全育成に係る体験学習に活用している。所在地:安曇野市穂高有明7327番地72 開館年:昭和47年

【効果】

安曇野市の活力と魅力を高め、地域の個性を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

穂高郷土資料館の管理運営を行う。
豊科郷土博物館と連携を図り、市内小学校への出前体験講座を開催する。
平成24年に廃止した旧三郷・旧堀金の資料館は、引き続き郷土資料の収蔵庫として利用しており、その維持管理を行う。
穂高鐘の鳴る丘集会所の管理と活用を行う。

〔一般財源増加理由〕 臨時職員賃金単価増によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,930	臨時職員賃金(事務職員2人)				
08	報償費	241	体験学習講師謝礼、見学者展示解説謝礼				
11	需用費	759	消耗品費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費、物品修繕費				
12	役務費	161	通信運搬費、手数料(雨樋清掃)				
13	委託料	367	管理委託料(警備、消防点検、清掃)				
14	使用料及び賃借料	501	借地料(三郷民俗資料館敷地)				
19	負担金補助及び交付金	5	負担金(安曇野市防火管理者協議会会費等)				
上記の合計		3,964	職員の人件費合計	0	事業費総合計	3,964	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	「昔の暮らし体験教室」	穂高郷土資料館の所有する着物、石臼、蓑、げたスケートなどの民具を、実際に使用してみる出前講座。H26には市内小学校10校等で開催し、982人の子どもたちが体験学習をした。	08	報償費	210
					計	210
2					計	0

重点施策と 推進政策	2-5
---------------	-----

コード	011303300
部・課・係等	教育部 文化課 博物館係

予算書ページ	340
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計 画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	05	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110335	貞享義民記念館事業		具体的な施策	歴史民俗資料の保存・活用

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,801				385	14,416
前年度	15,237				385	14,852
増減額	△ 436	0	0	0	0	△ 436

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	貞享義民記念館使用料	300							385
	20	郷土博物館等コピーサービス料	15							
	20	義民館グッズ売上金	70							

【目的・効果】

【目的】

貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保管、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。所在地:安曇野市三郷明盛3209番地 開館年:平成4年

【効果】

義民の精神を伝え、市民の人権学習の場になる。
安曇野市南部における文化芸術拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。
市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として企画展を開催する。
義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	記念館長報酬	16	原材料費	40	公園苗木等
07	賃金	3,626	臨時職員賃金(事務職員2人)	18	備品購入費	146	資料図書
08	報償費	169	講座講師謝礼、講座手土産、企画展出品謝礼等	19	負担金補助及び交付金	35	負担金(日本博物館協会会費、安曇野市観光協会会費等)
11	需用費	3,495	消耗品費、燃料費、食糧費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費				
12	役務費	253	通信運搬費、広告料、手数料				
13	委託料	3,617	管理委託料(警備、電気保安、消防点検、自動ドア、エレベーター、施設・樹木管理、清掃等)、バス運転				
14	使用料及び賃借料	1,731	借上料(コピー機)、使用料(コピー機等)、借地料				
上記の合計		14,801	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,801	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	342
--------	-----

重点施策と 推進政策	2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110340	豊科交流学習センター費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,066				2,022	26,044
前年度	37,094				1,626	35,468
増減額	△ 9,028	0	0	0	396	△ 9,424

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科交流学習センター使用料	1,550							
20	豊科交流学習センター講座受講料	350								
20	その他教育費雑入(図書館交流課)	122								

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、さまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:豊科5609番地3 開館年:平成23年 愛称「きぼう」

- ・コンサート、展覧会、映画上映会などを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
- ・多目的交流ホール等を利用する市民の活動を支援する。
- ・熊井啓記念館の展示替え、監督作品の上映を行い、名誉市民の顕彰を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	1,798	施設管理・受付臨時職員	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協会
8	報償費	55	講師・出演者謝礼				
9	旅費	57	職員打合せ旅費 講師旅費				
11	需用費	13,590	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	1,455	電話料、公演手数料、ピアノ調律、車検手数料				
13	委託料	9,877	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務、映画上映委託				
14	使用料及び賃借料	1,230	コピー機借上料・使用料、著作権使用料				

上記の合計	28,066	職員の人件費合計	0	事業費総合計	28,066	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ジェフ・バーグラント講演会「世界まるごとHow to 国際人」(仮称)	日時:平成28年5月29日(日)、聴講希望募集200人、中学生以下100円、高校生以上500円 英語に興味を持ち世界に目を向けるきっかけづくりのための講演会を、市内中学生を対象に実施している海外ホームステイ交流派遣事業と連携して開催。	12	役務費	400
				13	委託料	150
					計	550
2					計	0

予算書ページ	344
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110345	穂高交流学习センター費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,223				3,295	31,928
前年度	34,827				3,210	31,617
増減額	396	0	0	0	85	311

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高交流学习センター使用料	2,520							
20	穂高交流学习センター講座受講料	705								
20	その他教育費雑入(図書館交流課)	70								

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」、さらに「安曇野地域学習」の拠点として、多目的交流ホール・展示ギャラリー・地域学習室などを活用してさまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:穂高6765番地2 開館年:平成21年 愛称「みらい」

・展覧会、講座等を開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・新進音楽家公開オーディション並びに出前コンサートなどを開催し、市民が文化芸術に親しむ機会を創出するとともに、若手音楽家の育成支援を図る。
 ・多目的交流ホール、展示ギャラリー等を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加倍理由】 移動観覧席駆動装置部品修繕(540千円)、敷地内樹木剪定(323千円)。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	4,690	企画コーディネーター・施設管理受付	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協会
8	報償費	2,909	講師・出演者謝礼 交流学习センター運営委員会出席謝礼 他	27	公課費	7	自動車重量税
9	旅費	78	職員打合せ 他				
11	需用費	14,483	事業用(展覧会・講座等)消耗品、施設管理用品 燃料、光熱水費、施設・物品修繕費 他				
12	役務費	1,901	電話料、公演手数料、ピアノ調律、保険 他				
13	委託料	9,577	施設管理(清掃、保守)業務 印刷物デザイン・作成業務 他				
14	使用料及び賃借料	1,574	コピー機借上料・使用料、著作権使用料 他				

上記の合計	35,223	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35,223	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	弦楽合奏団「アンサンブル藝弦」コンサート	上質な音楽の鑑賞の場の提供 本コンサート 日時:平成28年8月27日(土)、観客定員 200人、入場料 1,500円 出前コンサート 日時:平成28年8月上旬 場所 堀金と三郷の複合施設、明科子どもと大人交流学习施設“ひまわり”、入場無料	8	報償費	500
				13	委託料	161
					計	661
2					計	0

予算書ページ	346
--------	-----

重点施策と推進政策	2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	文化を学び育むまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の振興
	事業	0110348	明科交流学習施設費		具体的な施策	芸術文化施設の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,926				1,748	11,178
前年度	11,605				1,748	9,857
増減額	1,321	0	0	0	0	1,321

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	学習館使用料	300							
20	その他教育費雑入	1								
20	明科子どもと大人の交流学習施設利用料	1,447								

【目的・効果】

【目的】

・市民の「交流の場」「学習の場」さらに「安曇野地域学習」の拠点として、様々な情報を発信するとともに、市民活動を支援する。

【効果】

・市民が文化芸術に親しみ、喜びや感動を味わうとともに感性を磨き、創造意欲を高めることができる。
 ・市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【施設の概要】

所在地:明科中川手6214番地1 開館年:平成15年 愛称「ひまわり」

・巡回展、出前コンサートなどのイベントを開催し、市民が良質な文化芸術に親しむ機会を創出する。
 ・学習館を利用する市民の活動を支援する。

【一般財源増加理由】 フロン排出抑制法に伴う空調機器類保守点検等(486千円)、入口ひび割れ補修工事等(2,916千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	34	講演会等謝礼、土産代				
11	需用費	5,036	施設管理・事業用(講演等)消耗品他、光熱水費、施設・物品修繕費				
12	役務費	608	電話料、床・カーペット・サッシクリーニング 他				
13	委託料	4,098	施設管理(清掃、保守)業務 夜間等シルバー委託業務				
14	使用料及び賃借料	175	コピー機借り上げ料、安曇野テレビ利用料				
15	工事請負費	2,916	入口ひび割れ修繕ほか				
18	備品購入費	59	ピアノ補助キャスター				

上記の合計	12,926	職員の人件費合計		事業費総合計	12,926	OK
-------	--------	----------	--	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	2
---------------	---

コード	11304100
部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算書ページ	346
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合 計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	1	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110350	交流学习センター費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	594,977		51,200	421,200	100,000	22,577
前年度	40,962			30,400	0	10,562
増減額	554,015	0	51,200	390,800	100,000	12,015

特定 財源の 内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市町村合併特例交付金	51,200							
16	三郷図書館建設事業基金繰入金	100,000								
21	旧合併特例事業債	421,200								

【目的・効果】

【目的】

・市民が集い、交流を深め、学ぶ場として、図書館を核とした交流学习センターの整備充実を図る。

【効果】

・市民待望の三郷交流学习センターの新設と三郷図書館が充実することにより、交流の場、学習の場が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・三郷支所の解体及び三郷交流学习センターの建設を行う。

【一般財源増加理由】 三郷支所解体及び三郷交流学习センター建設に着手するため。財源として市町村合併特例交付金及び旧合併特例事業債を充当する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	377	建築確認手数料外				
13	委託料	3,910	監理委託料				
15	工事請負費	590,690	三郷支所解体工事費、三郷交流学习センター建設工事費				

上記の合計	594,977	職員の人件費合計	0	事業費総合計	594,977	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額(千円)
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	2	コード	11304100
		部・課・係等	教育部 図書館交流課 図書館交流担当

予算書ページ	366
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本方針	人と文化を育むまちの形成
	項	5	社会教育費		主要施策	生涯を通じて学びあうまち
	目	6	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費		具体的な施策	生涯学習施設の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	168,438				43,231	125,207
前年度	177,369				50,752	126,617
増減額	△ 8,931	0	0	0	△ 7,521	△ 1,410

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	三郷図書館建設事業基金利子	1,310	20	図書館相互貸借送料	1				
20	図書カード発行手数料	20	20	市町村振興協会交付金	41,800					
20	図書館コピー使用料等	100								

【目的・効果】

【目的】

- ・市民への質の高い情報を提供できる「情報センター」を目指す。
- ・生涯学習の中核として市民の「学び」のニーズに応える。

【効果】

- ・市民に図書館資料を提供することにより、生涯学習の推進と人材育成に寄与できる。
- ・市民の憩いの場としての役割を担うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・図書館事業のPRを行い、図書館利用者の増加を図る。
- ・小中学校などの教育施設と連携し、人材育成を図る。
- ・図書館内の環境整備を行い、利用者の満足度の向上に努める。
- ・図書館資料の充実と情報提供サービスの拡充を図る。
- ・市民に喜ばれる図書館の運営方法の研究を行う。
- ・新堀金図書館の開館後の利用者の増加に取り組む。
- ・三郷図書館建設に着手し、新図書館開館のための準備を進める。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	3,517	図書館長報酬2名分	14	使用料及び賃借料	16,470	図書館システムリース料、書誌データ使用料、有料データベース使用料他
07	賃金	77,144	非常勤職員賃金37名分(プラス1名)	18	備品購入費	44,450	図書館備品購入、図書購入費(通常分、三郷・堀金図書館開館準備分)、中央図書館閉架書架増設
08	報償費	1,905	講演会、図書館講座講師謝礼	19	負担金補助及び交付金	109	図書館協会負担金、講座受講料
09	旅費	181	職員研修旅費、先進事例視察関係旅費	25	積立金	1,311	三郷図書館建設事業基金利子
11	需用費	13,846	図書整備用品、雑誌、新聞購読料、利用案内・イベントチラシ等印刷費、				
12	役務費	1,376	電話・インターネット通信料他				
13	委託料	8,129	配本車運転委託料、図書館システム保守委託料、ICタグ張付業務				
上記の合計		168,438	職員の人件費合計	0	事業費総合計	168,438	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額(千円)
1	ソフト	図書購入費	・通常図書購入25,000千円(△5,000千円) ・新三郷・堀金図書館図書購入各6,000千円(各△4,000千円、3年計画→5年計画) 【新】学校図書館調べ学習用図書購入1,000千円	18	備品購入費	38,000
					計	38,000
2					計	0

監査委員事務局

重点施策と 推進政策	5-3	コード	1150000		予算書ページ	114
		部・課・係等	監査委員事務局			
予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	6	監査委員費		主要施策	経営的視点にたった行財政運営がなされるまち
	目	1	監査委員費		基本施策	健全な自治体経営の推進
	事業	0102640	監査委員事務局		具体的な施策	健全な財政運営

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,403					27,403
前年度	27,134					27,134
増減額	269	0	0	0	0	269

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

公平でより合理的・能率的な市の行政運営を確保する。

【効果】

監査等を実施するなかで、市行政運営の適法性、効率性、妥当性を検証し、よりよい方策を発見できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・年間の監査計画を策定し、その後各実施計画の作成を行い、監査等を実施する。
- ・全国都市監査委員会総会等研修会へ参加し、知識取得と意識向上を図る。
- ・全国都市監査委員会負担金等団体への負担金を支払う。

【一般財源増加理由】 人件費の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,956	監査委員報酬				
9	旅費	633	全国都市監査委員会総会・三地区共催都市監査事務研修会旅費				
11	需要費	66	図書(地方財務他) エイナーファイル・インデックス他				
19	負担金補助 及び交付金	44	全国都市監査委員会負担金・東海地区都市監査委員会負担金等				

上記の合計	3,699	職員の人件費合計	23,704	事業費総合計	27,403	OK
-------	-------	----------	--------	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

選挙管理委員会事務局

予算書ページ	106
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	1	選挙管理委員会費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,491		1			24,490
前年度	21,823		1			21,822
増減額	2,668	0	0	0	0	2,668

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	在外選挙人名簿登録事務委託費	1							

【目的・効果】
【目的】
 公正、公平、中立な選挙事務を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製、選挙管理委員会定例会・臨時会を開催する。
【効果】
 予定されている各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、研修会への参加により委員及び職員の知識の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 選挙管理委員会事務 選挙管理委員会 定例会(月1回)及び臨時会(必要に応じ開催)の開催
 選挙人名簿の調製 選挙人名簿(定時登録年4回、選挙時登録)・在外選挙人名簿の調製
 選挙の執行管理 参議院議員通常選挙・梓川土地改良区総代選挙・矢原堰土地改良区総代選挙・中信平左岸土地改良区総代選挙・烏川土地改良区総代選挙・第二拾ヶ堰土地改良区総代選挙の執行管理
 総会、研修会への参加 全国選挙管理委員会連合会・全国選挙管理委員会連合会北信越支部・県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会の開催する総会、研修会への参加

【一般財源増加理由】職員人件費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
9	旅費	2	旅費				
11	需用費	61	参考図書外				
19	負担金	282	全国選管連合会負担金・全国選管連合会北信越支部負担金 県選管連合会負担金・19市選管連合会負担金・会議負担金				
上記の合計		2,361	職員の人件費合計			22,130	事業費総合計
						24,491	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	106
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合 計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	2	明るい選挙推進費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	675					675
前年度	230					230
増減額	445	0	0	0	0	445

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 普段から政治と選挙に関心を持ることができるよう啓発活動を行う。
【効果】
 啓発活動を通じ、選挙や候補者に関心を持ってもらうことにより投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 投票率向上に向け、明るい選挙推進協議会の開催、明るい選挙推進県大会へ参加する。
 明るい選挙推進ポスターコンクール(小学校、中学校、高等学校、一般)の作品募集・審査を行い、県、全国コンクールへ推薦する。併せて優良作品の展示、参加賞の配布を行う。
 選挙権年齢が18歳以上に引下げられることから、新有権者に向けた啓発事業を行う。
 参議院議員通常選挙に伴う選挙啓発を行う。

【一般財源増加理由】 参議員通常選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることに伴い、新有権者への啓発事業に注力するため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	606	明るい選挙推進ポスターコンクール参加賞・中信四市選挙啓発記念品・推進協議会委員会議出席謝礼				
11	需用費	69	新有権者啓発パンフレット				
上記の合計		675	職員の人件費合計	0	事業費総合計	675	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	中信四市選挙啓発	8	報償費	331
			参議員通常選挙から選挙権年齢が18歳以上に引下げられることから、中信四市(安曇野市・松本市・塩尻市・大町市)が共同で各市内在校高校生へ選挙啓発物品の配布を行う。		計	331
2	ソフト	○	新有権者向け啓発パンフレットの配布	11	需用費	69
			参議員通常選挙から選挙権年齢が18歳以上に引下げられることに伴い、新有権者へ向け、選挙啓発パンフレットを配布し、参政意識の向上を図る。		計	69

予算書ページ	106
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0113017	梓川土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	135				135	0
前年度	0				0	0
増減額	135	0	0	0	135	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	梓川土地改良区総代選挙	135							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成28年4月26日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 9選挙区(安曇野市3選挙区・松本市6選挙区)
 総代数 102人(安曇野市選挙区33人・松本市選挙区69人)
 選挙の告示により、立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。
 なお、選挙会は選挙区の市選管で実施し、当選証書は管理選管(松本市選管)で発行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	117	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	11	事務消耗品				
12	役務費	7	郵送料				
上記の合計		135	職員の人件費合計	0	事業費総合計	135	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	106
--------	-----

重点施策と推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0113018	矢原堰土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	91				91	0
前年度	0				0	0
増減額	91	0	0	0	91	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	矢原堰土地改良区総代選挙	91							

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。

【効果】

正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成28年9月2日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 1選挙区
 総代数 45人

選挙の告示により、立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	40	事務消耗品・当選証書外				
12	役務費	12	郵送料				

上記の合計	91	職員の人件費合計	0	事業費総合計	91	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0113019	中信平左岸土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	172				172	0
前年度	0				0	0
増減額	172	0	0	0	172	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	中信平左岸土地改良区総代選挙	172							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成28年11月16日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 4選挙区(安曇野市3選挙区・松本市1選挙区)
 総代数 45人(安曇野市選挙区33人・松本市選挙区12人)
 選挙の告示により、立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。
 なお、選挙会は選挙区の市選管で実施し、当選証書は管理選管(安曇野市選管)で発行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	117	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	40	事務消耗品・当選証書外				
12	役務費	15	郵送料				
上記の合計		172	職員の人件費合計	0	事業費総合計	172	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0113020	烏川土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	72				72	0
前年度	0				0	0
増減額	72	0	0	0	72	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	烏川土地改良区総代選挙	72							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成29年3月4日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 1選挙区
 総代数 30人
 選挙の告示により、立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	24	事務消耗品・当選証書外				
12	役務費	9	郵送料				
上記の合計		72	職員の人件費合計	0	事業費総合計	72	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合 計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	3	土地改良区総代選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	0113021	第二拾ヶ堰土地改良区総代選挙		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	72				72	0
前年度	0				0	0
増減額	72	0	0	0	72	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	第二拾ヶ堰土地改良区総代選挙	72							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う土地改良区総代選挙の執行管理により、土地改良法及び改良区定款に規定された総代を決定する。
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(4年)満了に伴う総代の選挙執行管理
 任期 4年
 任期満了日 平成29年3月28日
 選挙執行予定 任期満了日前30日から満了日までの間
 選挙区 1選挙区
 総代数 30人
 選挙の告示により、立候補届の受理、被選挙資格の確認等選挙長事務を行う。
 立候補者が定数を超えた場合は投票を行い、選挙会において当選人を決定し当選証書を付与する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	24	事務消耗品・当選証書外				
12	役務費	9	郵送料				
上記の合計		72	職員の人件費合計	0	事業費総合計	72	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	108
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11600000
		部・課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	協働によるまちづくりの推進
	項	4	選挙費		主要施策	協働で築かれるまち
	目	4	参議院議員選挙費		基本施策	協働のまちづくりの推進
	事業	1120100	参議院議員選挙費		具体的な施策	協働推進の行政システムの構築

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	51,250		49,250			2,000
前年度	0		0			0
増減額	51,250	0	49,250	0	0	2,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	参議院議員選挙委託金	49,250							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う参議院議員通常選挙執行管理
【効果】
 正確な選挙長事務を進めることができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期(6年)満了に伴う参議院議員通常選挙執行管理
 選挙区選出議員 定数1人
 任期満了日 平成28年7月25日
 告示日 任期満了30日以内。ただし参議院開会中又は参議院閉会から23日以内にかかる場合は、閉会から24日以後30日以内(前回:平成22年6月24日)
 期日前投票 (前回:平成22年6月25日から7月10日(16日間))
 投開票日 (前回:平成22年7月11日)
 期日前投票及び当日投票所の設営準備・運営、開票所の設営準備・運営、公営ポスター掲示場の保守等を行う。

【一般財源増加理由】 備品購入に係る調整費一般財源負担分										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
1	報酬	7,589	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人報酬			18	備品購入費	4,479	投票用紙自動交付機外	
7	賃金	2,890	期日前投票事務・不在者投票事務臨時職員賃金							
8	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼							
11	需用費	1,990	事務消耗品・選挙啓発物品・投票事務従事者食糧費・掲示物等印刷・選挙事務機器修繕外							
12	役務費	2,573	郵送料・電話回線使用料・選挙事務機器点検外							
13	委託料	9,186	ポスター掲示場設置保守撤去委託・電算業務委託外							
14	使用料及び賃借料	1,559	投票所借上料・開票所物品リース・投票箱送致用タクシー使用料外							
上記の合計		30,366	職員の人件費合計	20,884	事業費総合計	51,250	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

農業委員会事務局

予算書ページ	200
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	11700000
		部・課・係等	農業委員会事務局

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,256	9	7,239		1,803	71,205
前年度	85,862	11	7,239		1,981	76,631
増減額	△ 5,606	△ 2	0	0	△ 178	△ 5,426

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国有農地管理事務委託金	9	20	農業投資価格評定謝金	8				
15	農業費負担金	7,239	20	農業新聞購読料等	1,720					
20	県農業開発公社業務委託金等	75								

【目的・効果】
【目的】
 ・優良農地確保や効率的利用の実現にむけ、農地の保全と有効利用の促進を図る。
 ・農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。
【効果】
 ・農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農地法に基づく業務の遂行、農地法3条4条5条他の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務
 ・農地台帳整備管理、標準作業料金決定、小作料情報の提供
 ・農用地流動化対策事業促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地の集積を支援
 ・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
 ・人・農地プランと農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化に努め、農家の意向調査を実施しプラン策定に有効活用する。
 ・改正農業委員会法施行による農地利用の最適化の推進と市条例改正準備を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	29,193	農業委員報酬	19	負担金補助及び交付金	3,090	県農業会議、松塩筑安曇負担金他
8	報償費	482	農作業労賃・機械作業料金改定委員会出席謝礼他	27	公課費	9	公用車重量税
9	旅費	139	農地法研修、中日本事務局研修会他				
11	需用費	3,173	事務用品、農作業労賃・機械作業料金協定表印刷代他				
12	役務費	368	郵便料金				
13	委託料	2,540	議事録作成委託、農家台帳データ更新作業委託他				
14	使用料及び賃借料	82	有料道路使用料他				

上記の合計	39,076	職員の人件費合計	41,180	事業費総合計	80,256	OK
--------------	--------	----------	--------	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農地台帳整備事業	荒廃農地パトロール実施結果、農家の経営意向調査等を反映するとともに、土地情報等のデータ更新を行い、農地台帳を活用した農地流動化推進を図る。	12	役務費	154
				13	委託料	2,042
					計	2,196
2					計	0

予算書ページ	200
--------	-----

重点施策と 推進政策	3	コード	11700000
		部・課・係等	農業委員会事務局

予算	款	6	農林水産費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	農業費		主要施策	次代へつなぐ農林水産業を振興するまち
	目	1	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106020	農業者年金事業		具体的な施策	経営基盤の整備・充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	386				229	157
前年度	415				286	129
増減額	△ 29	0	0	0	△ 57	28

特定財源の内訳	款	20	農業者年金事務費	金額	229	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。
【効果】
 ・農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年金への加入促進
 ・年金得喪事務

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	35	農業者年金会議出席謝礼				
11	需用費	203	事務用品、啓発資料印刷代他				
12	役務費	148	郵便料金				
上記の合計		386	職員の人件費合計	0	事業費総合計	386	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	農業者年金加入推進事業	農業者年金加入推進リーフレットを作成し、自営業者などの農業者年金加入資格者への加入推進を積極的に行い、農業者年金加入者増を図る。	11	需要費	101	
					計	101	
2					計	0	

公平委員会事務局

予算書ページ	114
--------	-----

重点施策と 推進政策	5-3	コード	11800000
		部・課・係等	公平委員会事務局

予算	款	2	総務費	総合計画	基本方針	
	項	7	公平委員会費		主要施策	
	目	1	公平委員会費		基本施策	
	事業	0102650	公平委員会事務費		具体的な施策	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	516					516
前年度	516					516
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため
【効果】
 ・不利益処分に関する不服申立て制度の実効性の確保
 ・措置要求制度の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年2回の委員会開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における不服申立て、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	200	公平委員会委員報酬200千円				
9	旅費	182	委員研修の費用弁償141千円				
11	需用費	49	地方公務員人事判定集等49千円				
19	負担金補助及び交付金	85	全国公平委員会連合会等負担金85千円				
上記の合計		516	職員の人件費合計	0	事業費総合計	516	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	全国公平委員会連合会等が開催する研究会への参加	他自治体における不服申立て、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う	9	旅費	182
					計	182
					計	0

特別会計

国民健康保険特別会計

予算書ページ	21
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100010	一般管理費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,478				14,478	0
前年度	10,054				10,054	0
増減額	4,424	0	0	0	4,424	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	14,478							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。
【効果】
 ・事務経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	賃金	5,214	一般事務非常勤職員賃金(3名分)5,214千円				
9	旅費	76	全国都市国保研究協議会(東京1泊)25千円 国保保険者都道府県単位化に伴う説明会(東京日帰り2名分)51千円				
11	需用費	1,118	事務執行に伴う消耗品類購入651千円 保険証等の発送に伴う封筒印刷467千円				
13	委託料	8,011	電算共同処理委託料(国保連合会)4,540千円 保険証等封入封緘業務委託3,471千円				
14	使用料	24	有料道路使用料24千円				
18	備品購入費	35	窓口用シュレッダー購入35千円				
上記の合計		14,478	職員の人件費合計	0	事業費総合計	14,478	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	21
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	連合会負担金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100020	連合会負担金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,155				4,155	0
前年度	4,192				4,192	0
増減額	△ 37	0	0	0	△ 37	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	4,155							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営。
 【効果】
 ・負担金支払により事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	4,155	国保連合会負担金4,155千円				
上記の合計							
		4,155	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,155	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	23
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	賦課徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	賦課徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100040	賦課徴収費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,225				8,225	0
前年度	2,979				2,979	0
増減額	5,246	0	0	0	5,246	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	1,600							
9	事務費繰入分	6,625								

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
 【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	154	徴収事務等研修会154千円	27	公課費	8	公用車自動車重量税8千円
11	需用費	1,300	賦課徴収事務用品300千円、公用車燃料費111千円、納税通知書等発送用封筒印刷781千円、公用車修繕108千円				
12	役務費	93	公用車定期点検66千円、公用車自賠責保険料27千円				
13	委託料	5,867	電算システム業務委託5,867千円				
14	使用料	210	有料道路使用料15千円、コンビニ収納システム使用料195千円				
18	備品購入費	375	コンビニ収納対応プリンタ購入375千円				
19	負担金	218	徴収事務等研修会参加負担金218千円				

上記の合計	8,225	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,225	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	23
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	運営協議会費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	運営協議会費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100050	運営協議会費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	435				435	0
前年度	434				434	0
増減額	1	0	0	0	1	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	435							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費
 【効果】
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
1	報酬	347	運営協議会、委員研修会出席委員報酬347千円								
11	需用費	82	国保新聞購読料82千円								
14	使用料	6	有料道路使用料6千円								
上記の合計		435	職員の人件費合計	0	事業費総合計	435	OK				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	25
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	趣旨普及費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	趣旨普及費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100060	趣旨普及費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,214				1,214	0
前年度	1,379				1,379	0
増減額	△ 165	0	0	0	△ 165	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	事務費繰入分	1,214							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
 【効果】
 ・制度説明用のパンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行できる。(保険証や高齢受給者証の一斉更新時や窓口においての説明用)

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,214	啓発用パンフレット購入1,214千円							
上記の合計		1,214	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,214	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	25
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者療養給付費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,310,000	1,166,568	179,472		4,012,261	951,699
前年度	6,260,000	1,090,525	167,773		4,140,982	860,720
増減額	50,000	76,043	11,699	0	△ 128,721	90,979

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金(現年・過年)	957,184	6	前期高齢者交付金	3,026,858	9	保険基盤安定事業(支援分)	109,748	
3	普通調整交付金	209,384	7	保険財政共同安定化事業交付金	33,893	9	財政安定化支援事業	138,052		
4	普通調整交付金	179,472	9	保険基盤安定事業(軽減分)	203,665	9	基金繰入金	500,045		

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】 一般被保険者に係る医療費支払額が増加しているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	6,310,000	一般被保険者療養給付費6,310,000千円				

上記の合計	6,310,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,310,000	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	25
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者等療養給付費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	347,000				347,000	0
前年度	400,000				399,546	454
増減額	△ 53,000	0	0	0	△ 52,546	△ 454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	5	退職者等療養交付金	346,999							
5	退職者等療養交付金(過年度分)	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	347,000	退職被保険者等療養給付費347,000千円				
上記の合計							
		347,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	347,000	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	27
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100091	一般被保険者療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,500	14,682	2,259		61,031	1,528
前年度	79,500	14,921	2,295		48,234	14,050
増減額	0	△ 239	△ 36	0	12,797	△ 12,522

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	12,047	6	前期高齢者交付金	55,457	11	軽減特例措置	500	
3	普通調整交付金	2,635	9	保険基盤安定事業(軽減分)	3,318					
4	普通調整交付金	2,259	9	保険基盤安定事業(支援分)	1,756					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞りなくできる。

・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、審査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され、支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	79,500	一般被保険者療養費79,500千円				

上記の合計	79,500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	79,500	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	27
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	療養諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者等療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100101	退職被保険者等療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,400				4,400	0
前年度	5,000				5,000	0
増減額	△ 600	0	0	0	△ 600	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	5	退職者等療養交付金	4,400							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞りなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、審査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主要内容			節	節名称	金額	主要内容		
19	負担金	4,400	退職被保険者等療養費4,400千円								
上記の合計											
		4,400	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4,400		OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
						計		0
2								
						計		0

予算書ページ	29
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者高額療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	832,000	153,495	23,615		654,890	0
前年度	825,000	138,027	21,235		635,435	30,303
増減額	7,000	15,468	2,380	0	19,455	△ 30,303

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	療養給付費負担金	125,945	6	前期高齢者交付金	380,909				
3	普通調整交付金	27,550	7	高額医療費共同事業交付金	273,981					
4	普通調整交付金	23,615								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を經由して医療費の支払が滞ることなくできる。

・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	832,000	一般被保険者高額療養費832,000千円				

上記の合計	832,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	832,000	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	29
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	高額療養費		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500					500
前年度	500					500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	500	一般被保険者高額介護合算療養費500千円				

上記の合計	500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	31
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	移送費		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者移送費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100151	退職被保険者移送費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250					250
前年度	250					250
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	250	退職被保険者移送費250千円				
上記の合計							
		250	職員の人件費合計			0	事業費総合計
						250	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	31
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	出産育児諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	出産育児一時金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100161	出産育児一時金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,900				26,600	13,300
前年度	39,900				26,600	13,300
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	出産育児一時金等	26,600							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	39,900	出産育児一時金39,900千円				
上記の合計							
		39,900	職員の人件費合計	0	事業費総合計	39,900	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	33
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	2	保険給付費	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	6	精神諸費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	精神給付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100181	精神給付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,000				22,000	0
前年度	22,000				22,000	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	9	精神給付金	22,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	22,000	精神給付金22,000千円				
上記の合計							
		22,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	22,000	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	33
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100183	後期高齢者支援金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,317,599	490,153	75,408		222,911	529,127
前年度	1,361,718	493,484	75,921		96,373	695,940
増減額	△ 44,119	△ 3,331	△ 513	0	126,538	△ 166,813

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	後期高齢者医療費支援金負担金	402,177	5	退職者等療養交付金	75,972				
3	普通調整交付金	87,976	9	保険基盤安定事業(軽減分)	97,404					
4	普通調整交付金	75,408	9	保険基盤安定事業(支援分)	49,535					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた支援金額を納入することにより、後期高齢者医療制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	1,317,599	後期高齢者支援金1,317,599千円				

上記の合計	1,317,599	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,317,599	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	33
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	3	後期高齢者支援金等	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者支援金等		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者支援金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100185	病床転換支援金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	1				0
前年度	1	1				0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	病床転換支援金負担金	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・支払基金により決められた病床転換支援金額を納入することにより、制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成28年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	1	病床転換支援金1千円				
上記の合計							
	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	35
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	5	老人保健拠出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	老人保健拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	老人保健医療費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100191	老人保健医療費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4	2	1		1	0
前年度	4	2	1		1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	老人保健医療費拠出金負担金	1	5	退職者等療養交付金	1				
3	普通調整交付金	1								
4	普通調整交付金	1								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた老人保健拠出金を納入することにより、経過措置中の制度維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。(平成28年度での支払は発生しない見込み)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金	4	老人保健医療費拠出金4千円				

上記の合計	4	職員の人件費合計	0	事業費総合計	4	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	37
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	6	介護納付金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	介護納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100221	介護納付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	489,442	190,882	29,366		35,159	234,035
前年度	556,534	217,047	33,392		33,421	272,674
増減額	△ 67,092	△ 26,165	△ 4,026	0	1,738	△ 38,639

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	介護納付金負担金	156,621	9	保険基盤安定事業(軽減分)	22,336				
3	普通調整交付金	34,261	9	保険基盤安定事業(支援分)	12,823					
4	普通調整交付金	29,366								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・支払基金により決められた介護納付金を納入することにより、介護保険制度の維持が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・支払基金からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	489,442	介護納付金489,442千円				

上記の合計	489,442	職員の人件費合計	0	事業費総合計	489,442	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	37
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	7	共同事業拠出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	共同事業拠出金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	高額医療費拠出金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100231	共同事業医療費拠出金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	257,093	64,273	64,273			128,547
前年度	234,964	58,740	58,740			117,484
増減額	22,129	5,533	5,533	0	0	11,063

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	高額医療費共同事業負担金	64,273							
4	高額医療費共同事業負担金	64,273								

【目的・効果】
【目的】
 ・高額な医療費(80万円以上)の支払に対して、県内市町村で共同運営を行い、高額な医療費支払の均一を図る。
【効果】
 ・財政状況の厳しい保険者においては、高額な医療費の支払いはさらに財政悪化を招くことになるため、共同運営による均一化を図ることで、負担軽減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支払を行う。

【一般財源増加理由】 高度な医療を行うことにより、医療費の請求が高額化しかつ件数も増加しているため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金	257,093	高額医療費共同事業257,093千円				

上記の合計	257,093	職員の人件費合計	0	事業費総合計	257,093	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と推進政策	1	コード	010703100	予算書ページ	39	
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当			
予算	款	8	保健事業費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	特定健康診査等事業費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	特定健康診査等事業費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100249	特定健康診査等事業費	計画	具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	170,986	19,095	14,116	36,407	101,368
前年度	165,690	18,763	13,477	36,534	96,916
増減額	5,296	332	639	0	△ 127

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	特定健康診査等負担金	14,116	4	特定健康診査等負担金	14,116	11	特定健康診査受託料	10,260	
3	特定健康診査等負担金(過年度分)	1	9	事務費分	13,521	11	特定健診等個人負担金	5,870		
3	特別調整交付金	4,978	9	後期高齢者健診繰入金	6,756					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳～74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を行う。

【効果】

・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見早期治療を促し、医療費の削減が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・特定健康診査の実施(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
- ・保健師、管理栄養士による特定保健指導の実施。
- ・特定健診受診によりハイリスク者の把握と二次健診の実施。

【一般財源増加理由】 特定健康診査受診者数の増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	449	臨時職員賃金(449千円)				
11	需用費	1,623	受診啓発用パンフレット・ポスター購入(854千円)、健診通知等の封筒作成(769千円)				
12	役務費	1,431	新聞・ラジオによる受診啓発広告(1,431千円)				
13	委託料	163,683	集団・個別等健診業務委託(94,554千円)、人間ドック受診委託(64,150千円)、未受診者対策業務委託(4,979千円)				
19	補助金	3,800	人間ドック等受診費用補助(3,800千円)				
上記の合計		170,986	職員の人件費合計	0	事業費総合計	170,986	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	未受診者対策事業	特定健診未受診者に受診勧奨ハガキの送付や電話による受診状況の聞き取りや受診勧奨を実施し、早期発見早期治療により医療費の抑制を図る。	13	委託料	4,979
					計	4,979
2	ソフト	受診啓発広告料	新聞広告、ラジオ放送を活用し、受診期間中に健診のお知らせや健診の必要性や重要性を広報し、受診率向上に繋げる。	12	役務費	1,431
					計	1,431

重点施策と推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	8	保健事業費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	保健事業費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保健事業費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100250	保健事業費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,204		2,445		11,771	3,988
前年度	17,180		2,377		10,677	4,126
増減額	1,024	0	68	0	1,094	△138

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	4	特別調整交付金	2,445	11	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10				
9	事務費分	8,771								
11	高額療養費貸付金収入(現年度分)	2,990								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における国保被保険者の健康増進と健康に関する啓発。

【効果】

・啓発による健康意識の高まりにより、疾病予防効果が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	7,799	レセプト点検職員賃金(7,799千円)				
8	報償費	3,664	健康世帯表彰記念品購入費(3,664千円)				
11	需用費	648	健康づくり啓発用パンフレット・冊子作成(648千円)				
12	役務費	1,395	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知郵送料(1,395千円)				
13	委託料	1,698	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知作成業務委託料(1,698千円)				
21	貸付金	3,000	高額療養費貸付金(3,000千円)				
上記の合計		18,204	職員の人件費合計	0	事業費総合計	18,204	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ジェネリック医薬品差額通知作成業務	ジェネリック医薬品の差額通知を医療費の軽減額が大きい被保険者へ送付し、医薬品の切替えを推進して医療費の削減を図る。	12	役務費	84
				13	委託料	96
				計		180
2				計		0

予算書ページ	41
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	9	積立金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	積立金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	基金積立金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100261	基金積立金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,000					100,000
前年度	100,000					100,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な額を積立てる。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
25	積立金	100,000	基金積立金100,000千円						
上記の合計		100,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100,000	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	41
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	9	積立金	総合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	積立金		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	基金積立金利子		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100266	基金積立金利子		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,061				2,060	1
前年度	1,706				1,705	1
増減額	355	0	0	0	355	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	基金積立金利子	2,060							

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・会計課から示された額を積立てる。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
25	積立金	2,061	基金積立金利子2,061千円						
上記の合計									
		2,061	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,061		OK	

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	41
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	10	公債費	総合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	公債費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一時借入金利子		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100275	一時借入金利子		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・一時借入があった場合、円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要になった場合随時支払をする。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	利子	1	一時借入金利子1千円				

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般被保険者保険税還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,000					7,000
前年度	7,000					7,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	7,000	還付金7,000千円						
上記の合計		7,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	7,000	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	退職被保険者等保険税還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500					500
前年度	600					600
増減額	△ 100	0	0	0	0	△ 100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	500	還付金500千円				
上記の合計		500	職員の人件費合計	0	事業費総合計	500	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	3	一般被保険者還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	233					233
前年度	233					233
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
 【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	233	還付加算金233千円				

上記の合計	233	職員の人件費合計	0	事業費総合計	233	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	4	退職被保険者等還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35					35
前年度	70					70
増減額	△ 35	0	0	0	0	△ 35

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
 【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	35	還付加算金35千円				

上記の合計	35	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	5	療養給付費等交付金償還金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100321	療養給付費等交付金償還金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

- 【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・前年度交付金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

- 【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度交付金額が超過していた場合、支払基金からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	1	療養給付費等交付金償還金1千円				

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	6	療養給付費償還金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100331	療養給付費償還金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1					1
前年度	1					1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	1	療養給付費償還金1千円							
上記の合計		1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	43
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	11	諸支出金	総合 計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金利子及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	8	一般被保険者返納金還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35					35
前年度	35					35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
 【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合随時執行する。

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金	35	被保険者返納金還付金35千円							
上記の合計		35	職員の人件費合計	0	事業費総合計	35	OK			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	45
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	010703100
		部・課・係等	保健医療部 国保年金課 国保年金担当

予算	款	12	予備費	総合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	1100340	予備費		具体的な施策	国民健康保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150,000					150,000
前年度	150,000					150,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	150,000	予備費150,000千円				
上記の合計		150,000	職員の人件費合計	0	事業費総合計	150,000	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

後期高齡者医療特別会計

予算書ページ	14
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600010	一般管理費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57				57	0
前年度	55				55	0
増減額	2	0	0	0	2	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	事務費繰入金	57							

【目的・効果】
 【目的】 後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
 【効果】 事務費を確保することにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 【当該年度の事業概要(手法)】
 事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【一般財源増加理由】 印刷製本費(予算書、決算書の印刷)の増(総務課・会計課からの指示額による)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需要費	57	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷				

上記の合計	57	職員の人件費合計	0	事業費総合計	57	OK
-------	----	----------	---	--------	----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	14
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	徴収費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	徴収費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600030	徴収費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,007				6,007	0
前年度	1,033				1,033	0
増減額	4,974	0	0	0	4,974	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	140							
3	事務費繰入金	5,867								

【目的・効果】
 【目的】 後期高齢者医療保険料収納事務として必要な経費を計上するため
 【効果】 収納事務の円滑な執行が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需要費	204	事務執行に伴う消耗品及び通知書用封筒印刷				
13	委託料	5,803	納付書等封入等事務委託及びコンビニ収納関係委託事務				

上記の合計	6,007	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,007	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	納付書等封入等委託事業	後期高齢者保険料納付書発送事務が円滑に行われ、事務効率が向上する。	13	委託料	3,315	
					計	3,315	
2	ソフト	○ コンビニ収納関係委託事業	後期高齢者保険料の納付を、新たにコンビニエンスストアでも納付を可能とするためのシステム構築する。システムが構築できれば、平成29年4月からコンビニ納付が可能となり、被保険者の保険料納付に対する利便性が向上する。	13	委託料	2,488	
					計	2,488	

予算書ページ	14
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	2	後期高齢者医療広域連合納付金	総 合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	後期高齢者医療広域連合納付金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600070	広域連合納付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,025,438				265,745	759,693
前年度	975,020				247,267	727,753
増減額	50,418	0	0	0	18,478	31,940

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	事務費繰入金	31,178							
3	保険基盤安定繰入金	234,567								

【目的・効果】

- 【目的】 保険者である長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく負担金を支払うため。
- 【効果】 後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も持続可能な保険制度として維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する財源を確保し、請求に基づき市町村負担金を広域連合納付金として、保険者へ支払う。

- ・保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期後期高齢者医療広域連合へ支払う。
- ・保険基盤安定納付金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年6回:5月・7月・9月・11月・1月・3月)
- ・事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う(年4回:5月・8月・12月・3月)

【一般財源増加理由】 被保険者の増加に伴う、保険料収入の増に伴い広域連合納付金が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,025,438	高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく負担金を長野県後期高齢者広域連合へ納付する。				

上記の合計	1,025,438	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,025,438	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	3	諸支出金	総合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	保険料還付金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600080	保険料還付金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	800					800
前年度	1,600					1,600
増減額	△ 800	0	0	0	0	△ 800

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】 過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務に対応するため。
- 【効果】 過年度に遡及されて過誤能となった保険料の還付事務が速やかに遂行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付していく。
死亡による減額更生で過誤納金が発生した場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	800	過年度保険料還付の支払い				

上記の合計	800	職員の人件費合計	0	事業費総合計	800	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	3	諸支出金	総合 計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金		主要施策	安心を支えるまち
	目	2	還付加算金		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600085	還付加算金		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100					100
前年度	250					250
増減額	△ 150	0	0	0	0	△ 150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】 過誤納となった保険料について、還付加算金が発生した場合に支出をする。
- 【効果】 過誤納となった保険料の還付金と併せて還付加算金の支払いも可能となり、迅速な対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 還付加算金計算シートにより計算を行い、保険料の還付口座へ保険料とともに支払う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金	100	保険料還付加算金の支払い。				

上記の合計	100	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策と 推進政策	1-1	コード	10703100
		部・課・係等	保健医療部国保年金課国保年金担当

予算	款	4	予備費	総合計画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費		主要施策	安心を支えるまち
	目	1	予備費		基本施策	社会保障制度の充実
	事業	2600150	予備費		具体的な施策	後期高齢者保健事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100					100
前年度	100					100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
緊急に対応しなければならない事項について、迅速な対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
予算額を上回る支払いを緊急的に行なう必要が生じたときに、対応が可能となる。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	100	緊急的な事項への対応				

上記の合計	100	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

介護保険特別会計

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702100		予算書ページ	18
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	認め合い支えるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100010	一般管理費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,985				6,985	0
前年度	7,135				7,135	0
増減額	150	0	0	0	150	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額	6,985	合計金額	6,985

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険運営のための総務一般管理費(介護保険等運営協議会委員報酬、地域密着型サービス事業者選考委員会賃金、等賦課徴収にかかる以外の経費)
【効果】
 ・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
0 8	報償費	322	介護保険運営協議会委員報酬等				
0 9	旅費	123	制度改正に伴う国の説明会参加旅費、施設指導研修会参加旅費				
1 1	需用費	899	消耗品・参考図書・制度改正対応パンフレット・予算書印刷代				
1 2	役務費	3,898	高額介護・福祉用具等通知発送料・電話代				
1 3	委託料	1,327	システム改修費他				
1 4	使用料及び賃借料	353	制度改正対応介護保険さがせるネット利用料				
1 9	負担金補助及び交付金	63	制度改正対応施設指導監査研修会参加料				
上記の合計		6,985	職員の人件費合計	0	事業費総合計	6,985	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	介護事業者台帳管理システム	市指定事業者、総合事業の事業者等の増加に伴い管理システムを導入	13	委託料	108	
				14	使用料及び賃借料	324	
					計	432	
2							
					計	0	

予算書ページ	18
--------	----

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当

予算	款	1	総務費	総合計 画	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	徴収費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	賦課徴収費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,582				12,582	0
前年度	7,522				7,522	0
増減額	5,060	0	0	0	5,060	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	督促手数料	340	10	延滞金	1				
8	事務費繰入金	12,240								
9	事務費繰越金	1								

【目的・効果】

- ・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。
- ・介護保険料未納者に対し、督促・催告・滞納整理(滞納処分)等を行い、滞納額の縮減に努める。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等で通知する。
- ・介護保険料未納者に対し、督促状・催告書等で通知し、納付を促す。また、滞納整理(滞納処分)を行う。
- ・適正な事務処理を学ぶため、滞納整理等の研修会へ参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	312	収納嘱託員歩合給				
9	旅費	123	職員研修会旅費				
11	需用費	734	封筒等印刷費、事務用品				
12	役務費	5,091	納入通知書・督促状・差押調書等の郵送料				
13	委託料	5,995	電算業務委託、コンビニエンスストア収納導入業務委託				
19	負担金補助及び交付金	327	特別徴収情報経由事務負担金、研修会参加負担金				

上記の合計	12,582	職員の人件費合計	0	事業費総合計	12,582	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	コンビニエンスストア収納導入業務委託	保険料の自主納付の機会を増やすため、利便性の良い納付場所を拡大。	13	委託料	2,621	
					計	2,621	
2							
					計	0	

予算書ページ	20
--------	----

重点施策と推進政策	1	コード	10702200
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 認定調査係

予算	款	1	総務費	合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	介護認定審査会費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	認定調査費等		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100030	認定調査費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	88,131				88,131	0
前年度	86,152				86,152	0
増減額	1,979	0	0	0	1,979	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額	88,130	款	10	雑入	金額	1	合計金額	88,131

【目的・効果】

【目的】

介護保険法に基づき、介護サービスを利用するために必要な要介護認定及び要支援認定を行う。

【効果】

・要介護認定を行うことで、介護サービスの必要度を判断し、高齢者が住み慣れた住環境のもと、心身の状況に合わせた介護サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険被保険者より要介護(要支援)認定申請を受け付け、申請受付から認定結果通知までを行う。
- ・申請後、職員は当該申請に係る被保険者を訪問し、法に基づく心身の状況や環境等の調査を行う。
- ・申請者の主治医より疾病または負傷の状況等についての主治医意見書を求める。
- ・認定調査票及び主治医意見書を松本広域連合に設置された介護認定審査会へ送付し、要介護認定の審査判定を依頼する。
- ・介護認定審査会の審査及び判定の結果に基づき要介護認定を行い、その結果を申請者へ通知する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	39,866	認定調査員等賃金				
11	需用費	1,584	認定調査用事務用品、公用車燃料代、封筒印刷				
12	役務費	24,666	FAX通信料、主治医意見書作成料				
13	委託料	625	県外認定調査委託料、パソコン導入保守				
14	使用料及び賃借料	1,673	認定調査用自動車リース料、有料道路使用料、コピー使用料				
18	備品	44	スキャナー				
19	負担金補助及び交付金	19,673	松本広域連合介護認定審査会負担金				
上記の合計		88,131	職員の人件費合計	0	事業費総合計	88,131	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	22
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費		基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護サービス等諸費		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	8,039,321	国支出金	県支出金	市債	その他	1,776,690
前年度	8,017,087	1,996,255	1,002,136		3,246,920	1,771,776
増減額	22,234	5,536	2,779	0	9,005	4,914

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
3	介護給付費負担金過年度分(国)	1	4	介護給付費交付金過年度分	1	8	介護保険支払基金準備金繰入金他	54,956		
3	現年度分調整交付金	421,647	5	介護給付費負担金現年度分(県)	1,245,448	10	第三者納付金他	2		

【目的・効果】
【目的】
 ・介護サービス給付費
【効果】
 ・介護保険事業計画の推計値に沿った予算計画

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 第6期事業計画の推計値と27年度までの増加状況より本年度分について見積を行った。

【一般財源増加理由】 利用者増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	8,039,321	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他				

上記の合計	8,039,321	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,039,321	OK
-------	-----------	----------	---	--------	-----------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	22
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	その他諸費	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	審査支払手数料		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100080	審査支払手数料		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,548					8,548
前年度	8,281					8,281
増減額	267	0	0	0	0	267

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付費の適正な審査支払いを実施する為に国保連合会を介した給付費の支払いを行う

【効果】

・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】 利用者増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	8,548	審査支払手数料				

上記の合計	8,548	職員の人件費合計	0	事業費総合計	8,548	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	22
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	3	高額介護サービス等費	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	173,880					173,880
前年度	146,746					146,746
増減額	27,134	0	0	0	0	27,134

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険サービス利用者のうち、1(2割)割負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、37,200円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。

【効果】

・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【一般財源増加理由】 高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	173,880	高額介護・予防給付費				

上記の合計	173,880	職員の人件費合計	0	事業費総合計	173,880	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1						計	0
2						計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	24
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費	総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	4	特定入所者介護サービス等費	合計	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	特定入所者介護・予防サービス費	計画	基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費	画	具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	356,838					356,838
前年度	358,564					358,564
増減額	1,726	0	0	0	0	1,726

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に支払う

【効果】

・低所得者への介護サービス利用軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

平成27年度より、制度改正に伴い利用者の資産要件1000万円以下が判定に追加。また配偶者の所得要件は世帯分離しても適用される事に変更。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	356,838	負担限度額超過給付				

上記の合計	356,838	職員の人件費合計	0	事業費総合計	356,838	OK
-------	---------	----------	---	--------	---------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	24
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	2	介護給付費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	5	高額医療合算介護サービス等費	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,455					26,455
前年度	25,306					25,306
増減額	1,149	0	0	0	0	1,149

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)医療及び介護両制度における自己負担額が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う。

【効果】

・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・平成26年度決算額に制度改正分を見込み28年度の予算を見込む。

【一般財源増加理由】利用者増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	26,455	合算負担限度額超過給付				

上記の合計	26,455	職員の人件費合計	0	事業費総合計	26,455	OK
-------	--------	----------	---	--------	--------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702300		予算書ページ	24	
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当				
予算	款	3	地域支援事業		総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防事業			主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護予防二次予防事業費			基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100101	介護予防二次予防事業			具体的な施策	介護予防の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
15,006	19,817	4,811	3,751	1,875		6,077
			4,954	2,477		8,025
			1,203	602	0	1,948
						3,303
						4,361
						1,058

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	地域支援交付金(予防)現年度分	3,751	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	1,875	
	5	県交付金(介護予防)現年度分	1,875				
	4	支払基金支援交付金現年度分	4,202				11,703

【目的・効果】
【目的】27年度までの二次予防事業対象者(要支援・要介護状態になる恐れのある高齢者)把握状況の結果を基に、訪問等により実態把握し、適切な介護予防活動につなげるための支援と、効果的な介護予防事業の提供により要支援・要介護状態になることを予防する。
【効果】・二次予防事業対象者で介護予防教室未参加者と、26年度基本チェックリスト未提出者に対し、訪問活動による介護予防活動への支援を行うことにより、新規の介護予防活動実践者を増やし、市民の介護予防活動の拡大を図ることができる。
 ・二次予防事業対象者が運動機能・口腔機能・認知機能向上のための教室・訪問により介護予防プログラムの提供を受けることで、要支援・要介護状態になることを予防できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・二次予防事業対象者で介護予防教室未参加者に対し、保健師等の訪問により実態を把握し、介護予防活動実践に向けての支援を行う。
 ・26年度の基本チェックリスト未提出者に対し、介護予防事業参加への啓発や保健師等の訪問による実態を把握を行い、介護予防活動実践に向けての支援を行う。
 ・上記の方法で把握された二次予防事業対象者に対して、通所型介護予防事業(運動器・口腔・認知機能向上を図るための教室)と、訪問型介護予防事業を実施する。
 ・介護予防事業参加者が、教室等を修了後も引き続き介護予防活動が実践できるよう支援する。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額
8	報償費	2,625	保健師等の訪問指導のための労務謝礼と訪問型介護予防事業の運動指導者の労務謝礼				
11	需用費	561	訪問・介護予防事業実施のための消耗品				
12	役務費	803	訪問指導と介護予防事業参加の啓発のための郵送料				
13	委託料	11,017	通所型介護予防事業の委託料と介護予防教室参加にあたっての医師の指示書作成委託料				
上記の合計		15,006	職員の人件費合計	0	事業費総合計	15,006	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702300		予算書ページ	24
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	地域支援事業	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	介護予防一次予防事業費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100102	介護予防一次予防事業		具体的な施策	介護予防の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
13,923	8,568	5,355	3,480	1,740		5,638
			2,142	1,071		3,470
			1,338	669	0	2,168
						3,065
						1,885
						1,180

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	3	地域支援交付金(予防)現年度分	3,480	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	1,740				10,858
	5	県交付金(介護予防)現年度分	1,740							
	4	支払基金支援交付金現年度分	3,898							

【目的・効果】
【目的】65歳以上の市民及びその支援者を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、できるだけ自ら介護予防の取り組みができるよう支援し、地域における介護予防の推進を図る。
【効果】
 ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
 ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
 ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催するとともに、認知機能向上教室を新設する。
 ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。
 ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。
 ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための検診・相談・啓蒙活動を行う。
 ・地域や団体等の自主的な介護予防活動の支援を行う。
 ・地域の介護予防拠点における介護予防教室を実施する。

〔一般財源増加理由〕 29年4月に移行する新総合事業の中の一般介護予防事業として重要な位置を占める事業で、移行を見据え介護予防教室を増やすなど事業を拡大する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	3,636	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金				
8	報償費	2,386	各種介護予防教室・歯科検診・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼				
9	旅費	39	認知症予防講習会参加のための旅費				
11	需用費	971	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品				
13	委託料	6,750	各種体操教室と認知機能検査実施のための委託料				
18	備品購入費	128	介護予防教室で使用する健康チェック用身長計等と音響機器				
19	負担金補助及び交付金	13	認知症予防講習会参加費				
上記の合計		13,923	職員の人件費合計	0	事業費総合計	13,923	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	認知機能向上教室	・認知症予防に特化した教室を2教室新設する。この事業により、自主的な認知症予防の取り組みの拡大を図る。	13	委託料	1,776,000
					計	1,776,000
2	ソフト	拠点介護予防教室	・介護予防拠点において、介護予防教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。この事業により自主的な介護予防活動の拡大に繋げることができる。	13	委託料	2,400,000
					計	2,400,000

重点施策と 推進政策	11	コード	10702300		予算書ページ	26
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	地域支援事業	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		具体的な施策	地域包括支援体制の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
55,620	61,691	6,071	21,691	10,846		10,846
			24,059	12,030		12,030
			2,368	1,184	0	1,184
						1,335

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
3	5	地域支援交付金(包括・任意)現年度分	21,691				43,383
		県交付金(包括・任意)現年度分	10,846				
		地域支援(包括・任意)繰入金現年度分	10,846				

【目的・効果】
【目的】市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方が、できるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。
【効果】
 ・地域包括支援センターにおいて、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を行うことで、高齢者の方が、要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。
 ・医療介護連携や認知症施策等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する東部地域包括支援センターは本庁舎内で直営で運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高健康支援センター内で委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所で委託でそれぞれ運営している。
 ・地域包括支援センターにおいては、「介護予防ケアマネジメント業務」「総合相談支援業務」「権利擁護業務」「包括的・継続的ケアマネジメント業務」を実施する。
 ・3か所の地域包括支援センターが連携強化を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。
 ・地域包括支援センターの適切、公正、中立な運営の確保を目指すために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。
 ・地域包括ケア推進のために、地域ケア個別会議を開催するとともに、医療介護連携と認知症施策推進のための事業を行う。

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額
8	報償費	446	介護支援専門員研修・介護支援専門員ブロック研修・権利擁護研修・地域包括支援センター運営協議会出席謝礼等		19	負担金補助及び交付金	186
9	旅費	95	地域包括ケアシステム研修旅費				
11	需用費	626	地域包括支援センターで使用する事務用品、自動車燃料、施設修繕費等				
12	役務費	58	損害賠償保険料等				
13	委託料	35,450	南部地域包括支援センター・北部地域包括支援センター委託料				
14	使用料及び賃借料	1,043	南部・北部地域包括支援センターパソコン・プリンター借上げ料、東部包括支援センター自動車借上げ料				
18	備品購入費	47	国保連伝送用パソコンソフト				
上記の合計		37,951	職員の人件費合計	17,669	事業費総合計	55,620	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
						計		0
2								
						計		0

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702300		予算書ページ	28
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	地域支援事業	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	2	任意事業		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100107	任意事業		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
17,258	17,289	31	6,731	3,365		3,365
			6,743	3,371		3,371
			12	6	0	6

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
特定財源の内訳	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分	6,731							13,461
	5	県交付金(包括・任意)現年度分	3,365							
	8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分	3,365							

【目的・効果】
【目的】 地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護被保険者を現に介護する者に対して、必要な支援を行う。
【効果】 ・施設介護だけに頼らない在宅介護での継続が可能となる。
 ・成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・成年後見支援センター「かけはし」の運営の補助。
 ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。
 ・認知症に関する理解を深め、認知症者と家族を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	94	ケアプランチェック講師謝礼・認知症サポーター養成講座講師謝礼						
11	需用費	165	認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー						
12	役務費	100	成年後見市長申立に要する費用						
13	委託料	269	住宅改修相談作業療法士等への委託費・家族介護交流事業委託費						
19	負担金補助及び交付金	6,424	成年後見支援センター事業補助金						
20	扶助費	10,206	介護用品購入助成扶助・成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助						
上記の合計		17,258	職員の人件費合計	0	事業費総合計	17,258	OK		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	1 1		コード	10702300		予算書ページ	30
			部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	4	介護サービス事業費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成		
	項	1	介護予防支援事業	主要施策	認め合い支えあえるまち		
	目	1	介護予防支援事業	基本施策	高齢者介護サービスの充実		
	事業	3100108	介護サービス事業費	具体的な施策	介護予防の充実		

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,216				24,216	0
前年度	20,804				20,804	0
増減額	3,412	0	0	0	3,412	0

特定財源の内訳	款	6	介護予防サービス計画費収	金額	24,216	合計金額	24,216
	入						

【目的・効果】
【目的】 直営の東部地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。
【効果】
 ・要支援者の状況・環境を勘案し介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスの利用をすることができる。
 ・指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者に委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・直営の東部地域包括支援センターが要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスの確保のために関係機関との連絡調整を行う。
 ・指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	5,295	介護支援専門員等臨時職員賃金				
13	委託料	18,921	指定介護予防支援業務の委託料				
上記の合計							
		24,216	職員の人件費合計	0	事業費総合計	24,216	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1 1		コード	10702300		予算書ページ	26
			部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	地域支援事業		総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	介護予防事業		計	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	3	総合事業費精算金		画	基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100109	総合事業費精算金			具体的な施策	介護予防の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,016	0	2,016	504	252	0	816
						444
						0
						444

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	3	地域支援交付金(予防)現年度分	504	8	地域支援(予防)繰入金現年度分	252	1,572
	5	県交付金(介護予防)現年度分	252				
	4	支払基金支援交付金現年度分	564				

【目的・効果】

【目的】

住所地特例者が、新総合事業を実施している他市町村においてサービスの提供を受けた際の精算金を支払うため。

【効果】

他市町村へ精算金を支払うことにより、保険者間の公平を保つことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市の新総合事業への移行は平成29年度だが、住所地特例者が、新総合事業をすでに実施している他市町村においてサービスを受けた際の費用について、請求に応じ当市において負担する。

【一般財源増加理由】 今年度のみ発生する事業費として新設。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金及び交付金	2,016	総合事業(住所地特例)ケアマネジメント負担金及び通所・訪問相当サービス負担金				

上記の合計	2,016	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2,016	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	30
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	5	基金積立金	総合	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	基金積立金	計画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,395				1,393	2
前年度	795				793	2
増減額	600	0	0	0	600	0

特定財源の内訳	款	7	支払準備基金利息	金額	1,393	合計金額	1,393

【目的・効果】
 【目的】
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立
 【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
2 5	積立金	1,395	介護保険支払準備基金利息積立				

上記の合計 1,395 職員の人件費合計 0 事業費総合計 1,395 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策と 推進政策	1 1	コード	10702300		予算書ページ	30
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護予防担当			
予算	款	3	地域支援事業	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	2	包括的支援事業・任意事業		主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	3	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉と生きがい対策
	事業	3100111	地域包括ケア推進事業		具体的な施策	地域包括支援体制の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,585	4,518	2,259		2,259	2,549
前年度						0
増減額	11,585	4,518	2,259	0	2,259	2,549

特定財源の内訳	款	3	地域支援交付金(包括・任意)現年度分	金額	4,518	合計金額
		5	県交付金(包括・任意)現年度分	金額	2,259	
		8	地域支援(包括・任意)繰入金現年度分	金額	2,259	
					9,036	

【目的・効果】
【目的】 在宅医療・介護連携推進事業 認知症施策推進事業 地域ケア会議推進事業 生活支援体制整備事業 を実施することで地域包括ケアシステムの構築を目指す。
【効果】 医療・介護関係者と協力し、課題の分析と対応策の検討、研修、啓発活動等により、在宅医療・介護連携を推進できる。
 認知症地域支援推進員を中心に、認知症者や家族の相談支援・関係者の連携支援を行い、認知症施策が推進できる。
 市の地域ケア会議体制に基づき、課題の集約を行うとともに、地域包括ケア推進会議により、課題解決を図ることができる。
 5つの日常生活圏域に生活支援コーディネーターを設置することで、生活支援体制整備をすすめることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・在宅医療・介護連携推進業務を市医師会へ委託するとともに、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進する。
 ・3か所の地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員を中心に、認知症者や家族の相談支援・関係者の連携支援を行う。
 ・地域包括ケア推進会議を開催し、集約された課題の解決に向けた取り組みを行う。
 ・5つの日常生活圏域に生活支援コーディネーターを設置し、生活支援体制整備に向けた業務を実施する。

【一般財源増加理由】 昨年度は包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費だったが、今年度から地域包括ケア推進事業費として位置付ける。新たな取り組みとなる生活支援体制整備事業に伴う増額。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	325	研修会講師謝礼・地域包括ケア推進会議出席謝礼				
9	旅費	39	認知症研修旅費				
11	需用費	103	啓発冊子印刷製本(医療介護連携)				
13	委託料	11,078	地域包括支援センター認知症対策委託料・在宅医療介護連携委託料・生活支援体制整備事業委託料				
19	負担金及び交付金	40	認知症研修負担金				
上記の合計		11,585	職員の人件費合計	0	事業費総合計	11,585	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活支援体制整備事業委託料	5生活圏域に、生活支援コーディネーターを設置し、関係者のネットワークや既存の組織等を活用し、生活支援・介護予防の基盤整備を推進し、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築を目指す。	13	2	7,051,000
					計	7,051,000
2					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	32
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	6	公債費	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	公債費	主要施策	認め合い支えあえるまち	
	目	1	利子	基本施策	高齢者介護サービスの充実	
	事業	3100120	一時借入金利子	具体的な施策	介護保険事業の充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100				100	0
前年度	100				100	0
増減額	0	0	0	0	100	0

特定財源の内訳	款	8	事務費繰入金	金額		合計金額	
		10	介護保険会計歳計現金利子	金額			0

【目的・効果】

【目的】

・介護保険給付金支払いに際し国、県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息

【効果】

・安定した介護保険会計の運用を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	100	一時借入金利子				

上記の合計	100	職員の人件費合計	0	事業費総合計	100	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	32
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	7	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金	画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,110					1,110
前年度	1,490					1,490
増減額	380	0	0	0	0	380

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】

また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	1,110	保険料還付金、還付加算金				

上記の合計	1,110	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,110	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	32
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	7	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	償還金及び還付加算金	画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100141	償還金		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1	1	0	0	0	0	1
						0
						0
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】
 【目的】
 ・国・県、及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰越す為の科目設置。
 【効果】
 ・年度内に、返還額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成27年度の給付額確定後、負担金額を算出。決算後に繰越し、28年度に返還する。

【一般財源増加理由】								
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	1	国庫負担金等返還金					

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702300			予算書ページ	32
		部・課・係等	保健医療部 介護保険課 介護予防担当				
予算	款	7	諸支出金	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成	
	項	1	償還金及び還付加算金	画	主要施策	認め合い支えあえるまち	
	目	1	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者介護サービスの充実	
	事業	3100142	地域支援事業返還金		具体的な施策	介護保険事業の充実	

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0		1	0
前年度	1	0	0		1	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
	9	地域支援事業繰越金	1				

【目的・効果】

【目的】

・国・県及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年に繰り越す為の科目設置。

【効果】

・年度内に交付確定しない事から翌年度に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金利子及び割引料	1	地域支援事業国庫金返還金				

上記の合計	1	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1						計	0
2						計	0

重点施策と 推進政策	1	コード	10702100		予算書ページ	34
		部・課・係等	保健医療部介護保険課介護保険担当			
予算	款	8	予備費	総合計	基本方針	穏やかに暮らせるまちの形成
	項	1	予備費	画	主要施策	認め合い支えあえるまち
	目	1	予備費		基本施策	高齢者介護サービスの充実
	事業	3100150	予備費		具体的な施策	介護保険事業の充実

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
50	50	0	0	0	0	50
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	8	事務費繰入金								

【目的・効果】

【目的】

・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	50	予備費				

上記の合計 50 職員の人件費合計 0 事業費総合計 50 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

上川手山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100020	上川手山林財産区 一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	767				412	355
前年度	146				17	129
増減額	621	0	0	0	395	226

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	基金利子		26						
2	上川手山林財産区基金繰入金		386							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老朽化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的に木材生産を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
- ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
- ・1,000人SAKURAプロジェクトに参加する。

【一般財源増加理由】 一般管理費事業、管理委員会費事業、財産管理費事業の統合による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	105	管理会外委員報酬	25	積立金	27	基金利子積立
8	報償費	123	サクラプロジェクト出席謝礼				
9	旅費	139	視察研修費用弁償				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	258	消耗品、参考図書、管理会誌、予算書等印刷製本				
12	役務費	5	郵送料				
22	補償補填及び賠償金	100	権利解消補償金				
上記の合計		767	職員の人件費合計	0	事業費総合計	767	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	2	事業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5100040	上川手山林財産区 造林費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,070					1,070
前年度	998					998
増減額	72	0	0	0	0	72

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老朽化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的に木材生産を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・間伐及び下草刈の実施。

【一般財源増加理由】

間伐及び下草刈委託手数料の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	1,070	間伐及び下草刈				

上記の合計	1,070	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,070	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	14
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	3	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	上川手山林財産区 予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	675					675
前年度	2,291					2,291
増減額	1,616	0	0	0	0	1,616

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積170haの財産管理を行う。アカマツ等の樹木の老朽化や松くい虫被害が目立ってきているため、植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的に木材生産を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・上川手山林財産区特別会計の予備費。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	675	予備費				

上記の合計	675	職員の人件費合計	0	事業費総合計	675	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

北の沢山林財産区特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策と推進政策	3-3	コード	10802200
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当

予算	款	1	総務費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費		主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200010	北の沢山林財産区一般管理費		具体的な施策	地域材、特産林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	853				845	8
前年度	269				229	40
増減額	584	0	0	0	616	32

特定財源の内訳	款	1	基金利子	金額	45	合計金額
		2	北の沢山林財産区基金繰入金	金額	800	

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施策について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
- ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
- ・水源林造林協議会等に係る事業に参加する。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	77	管理会外委員報酬	25	積立金	46	基金利子積立
8	報償費	74	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	231	消耗品、燃料費、管理会賄、予算書等印刷製本				
12	役務費	21	郵送料、傷害保険				
15	工事請負費	346	木橋修繕				
19	負担金補助及び交付金	48	水源林造林協議会等				
上記の合計		853	職員の人件費合計	0	事業費総合計	853	OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	2	事業費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	林業費	画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5200050	北の沢山林財産区水源林 造成事業分収造林費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2				2	0
前年度	2				2	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	3	森林総合研究所負担金	金額	2	合計金額	2
	細節名称						
	金額						
	金額						

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施策について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

分収造林契約した森林整備に係る間伐と下刈業務の委託。

【参考】分収造林契約は、森林所有者(北の沢山林財産区)と独立行政法人森林総合研究所の2者で分収林契約を結び、裾枝払、除伐、保育間伐等を行ったのち、成育木を伐採しその収益を分け合う森林業務です。(山林財産区内に3か所、142haの契約。)

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1	消耗品				
12	役務費	1	間伐、下刈等の委託				

上記の合計	2	職員の人件費合計	0	事業費総合計	2	OK
-------	---	----------	---	--------	---	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	14
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	3	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費	画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	北の沢山林財産区 予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	263					263
前年度	244					244
増減額	19	0	0	0	0	19

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・森林面積335haの財産管理を行う。水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施策について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・北の沢山林財産区特別会計の予備費。

【一般財源増加理由】 予備費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	263	予備費				

上記の合計	263	職員の人件費合計	0	事業費総合計	263	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

有明山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	有明山林財産区 一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
802	228	574	0	0	0	631
						57
						171
						0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	基金利子	91							
3	有明山林財産区基金繰入金	540								

【目的・効果】

【目的】

・森林面積316haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	63	管理会外委員報酬				
8	報償費	74	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	230	消耗品、燃料費、管理会贈、予算書等印刷製本				
12	役務費	333	郵送料、森林整備手数料、傷害保険				
25	積立金	92	基金利子積立				

上記の合計 802 職員の人件費合計 0 事業費総合計 802 OK

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	2	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5300030	有明山林財産区 予備費	画	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	348					348
前年度	535					535
増減額	187	0	0	0	0	187

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・森林面積316haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・有明山林財産区特別会計の予備費。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	348	予備費				

上記の合計	348	職員の人件費合計	0	事業費総合計	348	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

富士尾沢山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	富士尾沢山林財産区 一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	735				398	337
前年度	177				4	173
増減額	558	0	0	0	394	164

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	基金利子		7						
3	富士尾沢山林財産区基金繰入金		391							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積119haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【一般財源増加理由】 一般管理費事業と財産管理費事業の統合による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	63	管理会外委員報酬				
8	報償費	49	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	245	消耗品、燃料費、管理会贈、予算書等印刷製本				
12	役務費	360	郵送料、森林整備手数料、傷害保険				
25	積立金	8	基金積立金、利子積立金				

上記の合計	735	職員の人件費合計	0	事業費総合計	735	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	2	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	富士尾沢山林財産区 予備費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	240					240
前年度	652					652
増減額	412	0	0	0	0	412

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・森林面積119haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・富士尾沢山林財産区特別会計の予備費。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	240	予備費				

上記の合計	240	職員の人件費合計	0	事業費総合計	240	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

穂高山林財産区特別会計

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	1	総務費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	総務管理費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	穂高山林財産区 一般管理費		具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,145	176	969	0	0	0	861
						284
						3
						173
						111

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	2	基金利子		5						
3	穂高山林財産区基金繰入金		856							

【目的・効果】

【目的】

・森林面積2haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【一般財源増加理由】 一般管理費事業と財産管理費事業の統合による。 森林整備手数料の増による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	63	管理会外委員報酬				
8	報償費	49	現地踏査謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	246	消耗品、燃料費、管理会贈、予算書等印刷製本				
12	役務費	771	郵送料、森林整備手数料、傷害保険				
25	積立金	6	基金利子積立				

上記の合計	1,145	職員の人件費合計	0	事業費総合計	1,145	OK
-------	-------	----------	---	--------	-------	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策と 推進政策	3-3	コード	10802200		予算書ページ	12
		部・課・係等	農林部耕地林務課林務担当			
予算	款	2	予備費	総合計	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	予備費	計画	主要施策	次世代へつなく農林水産業を振興するまち
	目	1	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	穂高山林財産区 予備費	画	具体的な施策	地域材、特用林産物の振興

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	342					342
前年度	569					569
増減額	227	0	0	0	0	227

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
										0

【目的・効果】

【目的】

・森林面積2haの財産管理を行う。植林・保育・間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

・森林の適切な管理と整備を進めることで、集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・穂高山林財産区特別会計の予備費。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	342	予備費				

上記の合計	342	職員の人件費合計	0	事業費総合計	342	OK
-------	-----	----------	---	--------	-----	----

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

産業団地造成事業特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策と 推進政策	3-5	コード	10901200
		部・課・係等	商工労政課工業振興係

予算	款	1	産業団地事業費	総合 計 画	基本方針	5章 豊かな産業のあるまちづくり
	項	1	産業団地事業費		主要施策	2節 活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	産業団地事業費		基本施策	2 工業の振興
	事業	6100010	産業団地建設事業費		具体的な施策	生産基盤の整備

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	85,224				85,224	0
前年度	84,991				84,991	0
増減額	233	0	0	0	233	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	土地売払収入	84,350							
2	一般会計繰入金	873								
3	前年度繰越金	1								

【目的・効果】

【目的】

- ・あづみ野産業団地分譲地残り1区画の売却に取り組む。
- ・県外の長野県事務所や企業を訪問し、要望調査や誘致の可能性のある企業の掘り起こしをすると共に、関係部局と新産業団地造成に向けた開発検討を進める。

【効果】

企業誘致によって地元雇用が生まれ、若者などの移住・定住による人口減対策や地域の活性化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・あづみ野産業団地残り1区画の売却
- ・新産業団地造成に向け、関係部局と候補地の開発検討を進める。
- ・東京や大阪の長野県事務所等に出向いて情報交換をし、空き工場等を活用した誘致の可能性を探る。

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	58	企業誘致関係訪問土産代30千円・あづみ野産業団地分譲企業選考委員会出席謝礼28千円				
9	旅費	183	企業誘致関係旅費				
11	需用費	131	消耗品50千円 産業団地看板修繕50千円 決算書・予算書印刷31千円				
12	役務費	108	事業用地ナビ掲載料				
13	委託料	359	産業団地緑地管理、排水路清掃				
17	公有財産購入費	84,350	あづみ野産業団地分譲地1区画の購入費				
19	負担金補助及び交付金	35	あづみ野産業団地案内看板設置負担金				
上記の合計		85,224	職員の人件費合計	0	事業費総合計	85,224	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	産業団地分譲事業	あづみ野産業団地残り1区画の分譲に向け、ホームページの掲載や県の関係機関等にも情報提供し、売却に取り組む。	17	公有財産購入費	84,350
					計	84,350
2						
					計	0

観光宿泊施設特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点施策と 推進政策	3-2	コード	10902300
		部・課・係等	商工観光部 観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	1	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本方針	豊かな産業のあるまちの形成
	項	1	観光宿泊施設事業費		主要施策	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	1	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費		具体的な施策	新たな戦略の実践

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,164				32,164	0
前年度	39,099				39,099	0
増減額	6,935	0	0	0	6,935	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	1	観光宿泊施設維持管理	28,544							
2	有明荘外施設使用料	3,620								

【目的・効果】

【目的】・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備することにより快適な宿泊施設を提供し、交流人口の拡大を図ると共に、市民に憩いの場を提供し、福祉の向上を図る。

【効果】・観光宿泊施設の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・長峰荘、有明荘の維持管理を行なう。
- ・しゃくなげ荘の営業は、安曇野しゃくなげの湯の営業開始の前日までとし、廃止する。

〔一般財源増加理由〕

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
9	旅費	90	事務打合せ	18	備品購入費	1,300	有明荘エアコン
11	需用費	4,750	施設小破修繕	19	負担金補助及び交付金	6,247	しゃくなげ荘温泉利用負担金
12	役務費	420	建物検査他	27	公課費	12	消費税等
13	委託料	7,972	しゃくなげ荘物品整理	29	予備費	1,000	予備費
14	使用料及び賃借料	3,694	ヘリコプター借上、土地借地料(有明荘、大天荘)等				
15	工事請負費	6,629	有明荘食堂エアコン設置工事等				
16	原材料費	50	駐車場整備用砕石				
上記の合計		32,164	職員の人件費合計	0	事業費総合計	32,164	OK

【上記予算の内の「重点事業」の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	有明荘食堂エアコン設置工事	有明荘食堂エアコン設置工事を行い施設利用者へ快適環境を提供する。	15	工事請負費	1,443
				計		1,443
2				計		0